山田美妙著

日本大辭書

（第貳卷）

い 從……い 至……いんわい

う 從……う 至……うちぎ

東京　日本大辭書發行所

国立国会図書館
27. 3. 4
1001933

日本語大辞典

金澤庄三郎 著

株式會社 三省堂書店 出版

ら 五十音図第十行ノ第二番ノ假名。性質ハ全ク他ノ同行ノ他ノ假名ト同ジク、此下ニ他ノ音ヲ續スルニ付ク。又ハ「ら」ノ音ヲ續スルニ付ク。「ら」ノ音ハ相伴ナフ結果「ら」ノ音ハ前ニ來ル。

◁ら (…)感 動詞ノ上ニ付ケテ云フ語。別ニ意味ハナク、只クチクセニ云フダケノモノ。「ら向カフ」、「ら行ク」、「らフル」。

◁ら (…)感 呼ビ掛ケル聲。よト同ジコト。

ら (…)名 (鬼) 普通ト違フコト。—アヤシイコト。—フシギナコト。—近代、曾根崎心中「ココナヨウシニハらナコトデオレラガヤウニ金ツカフ大盡ハ嫌ヒナウナ」。

◁ら (…)名 (魔) スベテ動物ノ身ノ中ニアル機關ノ一ツ。肝臟ノ下ニ小サナ囊ニナツテ居ルモノ。昔云フ六腑ノ一ツ。中ニガイ汁即チ膽汁ヲフクム。—キモ。◎今多クコノ語ハッカバズ、ワツカニ「くさのら」ナドノ熟語トナツテ殘ル。

◁ら (…)名 (蠅) 蠅ノ一種ニ云フ。—捨遺集「サミダレハらコソ來テレ郭公」。

◁ら (…)名 (蝶) 蝶ノ異。—クモノアミ。—夫木集「松ノ木ニ蜘ノらカキヌルニ」。

ら (…)名 (意) (一)心ニ好ムトコロ。—ココロバセ。—心デ望ムトコロ。(二)ココロ。—意味。—スチミチ。

ら (…)名 (醫) (一)病ヒヲナホス術。(二)病ヒヲナホス術ヲ行ナフ人。—クスシ。—醫師。—醫者。—國手。—ドクトル。

◁ら (上)數 (五) (一)二十三ヲ合ハセタ數。(二)二十五ト二十五トノ和。スナハチ、百ノ半。—五十。—イソ。

◁ら (…)感 動詞ノ上ニ付ケテ云フ語。別ニ意味ハナク、只クチクセニ云フダケノモノ。「ら向カフ」、「ら行ク」、「らフル」。

◁ら (…)感 呼ビ掛ケル聲。よト同ジコトロ。—日本紀「ケナノヲクコらフエクキノボル」。—續日本紀「百濟王敬福伊」。

ら (…)名 (移) 昔人皆其他ツカサツカサノ間ニ取リ交ハシタ文書ノ名。—延喜式、「移式」。

◁ら・ふる (第三ヲ、第四ク)(第二上)他動 四段 ら(後語) 上ヲ向ク。—アフグ。

◁らら (第一上)感 (唯唯) ムカシ、人ニ呼バレテ答ヘニ出シタ聲。

らら (…)感 (一)〔一ノ支那音〕ヒトツ(第二使フコトバ)。—「ららソヤン」。

●らら (…)形 (美—良—好—美—佳) よノ近世形容詞。同義。—ヨイ。—「らら人」、「らら子」。

●ららえ (全平)感 (否) 〔らえノ延〕物ヲイナム感ノ語。—イエ。—イイヤ。—イヤ。—イナ。—ウン。—ニヤ。

◎ららやハらやト比ベテらえハ尊大ノココロヲ持ツ、らえト比ベテ意味ヤヤ强イ。

ら・らき (第一上)名 (異域) 外國。—チガツタ國。—「ららきノ兒トナル」。

ららぎり ((第三ギ))(全平)名 (…電馬) 蟲ノ名。秋壁ノ間ナドニ出テ食物ノ殘リ物ヲ食フ。長サハ六七分、背ガ高ク、身ガ大キク、頭ガ細ク、カラダハ茶色デ所所黑斑ガアル。雄ハ鳴キ、雌ハ鳴カズ、鬚ハ往ダ長ク六七寸モアル。東京デハオモニ、オカマコホロギ、又オサルコホロギト云フ。—イイギリソコ。—ハダカコホロギ。—カマゴ。—コホロギ。—ドムシ。—オカマゴ。—カマゴ。—コホロギ。—イイゴ。—ヨウシクマ。

◀ららぎりと ((…))(第三上)名 筑前ノ方言。イイギリ。

ららこ ((第三コ))(全平)名 筑前ノ方言。イイギリ。

ららさめ (第一上)名 [英語 Ether] 清澄透明ノ一種ノ氣體。宇宙ノスミヌキヲ充タストイフモノ。—ニエテラル。—イイサル。◎えゝてるハ一時英語ヲ譯則ニ讀ム事ノ行ハレタ出來タ語。イマハ全ク廢語トナル。

ららさる (…)名 […] ららさめト同ジコトバ。原字ヲ規則正シク讀ンダモノ。

ららや (全平)感 (否) 〔らやノ延〕イナ ムニ義ノ感歎詞。—イナ。—イエ。◎ららえ參考。

らら ((第一ユ))(第一上)根 (愛) シトヤカナコト。—品ノイイコト。—上品ナコト。—源氏「ららナリト覺ニバカリ」。

ららめら ((…))(全平)名 (友愛) 朋友間ノ愛情。

ららめく ((…))(…)根 (優雅) ヤサシク、コマヤカデアルコト(オモニ恩ナドニ云フ)。—「天恩ららめくナリ」。

ららら ((…))(第三ニ)(第三上)副 (悠悠) 落チ付イテ居ルコト。—イウイウト。—「ららららタバコヲノム」。

ららららかん ((…))(…)根 (閑) ららららかんかんノ琴。

ららららかんかんと ((…))(…)副 (閑閑と) 落チ付イテ居ルコト。—イウイウサ。

ららららかんかんと ((…))(…)副 (閑閑と) 落チ付イテ。—イウイウト。

○ららららし ((…))(…)形 (優優し) シクアル。—シトヤカデアル。

ららら・と ((…))(…)副 (悠悠と)

いうノ副詞體。—近松、吉野都女楠「宰相い
ういうと立チ出デ、アタリヲ見マハシ」。
いう・いう・ふ・だん　((……)(第五上)根。(優游不
斷))　グラグラシテトリ締リノ無イコト。
++いう・いん　((第一ユ)(全平)名。(誘引))　サ
ソヒ。—イザナヒ。「遊山ノいういん」。
いう・うつ　((……)(……)名。(蝕))　氣ノムス
ボレ。—氣モチガハッキリトセヌコト。
いううつ・びやう　((……、第六ヨ、第五、六合))
(……)名。(……病)　氣ノフサグ病氣。—キウ
ツビヤウ。—ウツイウビヤウ。
++いう・えい　((第一ユ)(……)名。(游泳))　オヨ
グコト。—オヨギ。「いうえい術」。
いう・えう　((……、第三ヨ)(……)根。(有要))　役
ニ立ツコト。—人リ用デアルコト。—有用。
いう・えき　((第一ユ)(……)根。(有益))　スベ
テ益ニナルコト。—役ニ立ツコト。—イウ
ヨウ。—イウエウ。—イリヨウ。
いう・えき　((……)(……)名。(郵驛))　傳馬ヲ出
ス宿場。
いう・えん　((……)(第一上)根。(優艶))　ヤサ
シク、ウツクシイコト。「いうぇんナル人」。
++いう・えん　((……)(全平)名。(遊宴))　酒ヲ飲
ンデ酒宴ヲシテ遊ブコト。—サカモリ。—
淺井了意、東海道名所記、「會合いうえんノ
折リカラモ鹽寄屋ノカコヒノ茶ノ湯ハキ
ヅマリナリ」。
++いう・がく　((……、第三ガ)(……)名。(遊學))
イウレキシテ學問スルコト。—ヨソヘ出
テ學問スルコト。—リウガク。
いうがく・せい　((……)(第三上)名。(……生))
イウガクスル書生。—リウガクセイ。
いう・き　((第一ユ)(第一上)名。(憂喜))　ウ
レシイコトトカナシイコト。
いう・き　((……)(……)名。(有機))　化學ノ語。
スベテ、動物植物ナド、ソノ身ニ生活成長
ナドノ機關ヲ備ヘルタチ、又ハソノ物。
いう・ぎ　((……、第三ギ)(……)名。(友誼))　ト
モダチノヨシミ。
いう・ぎ　((……)(……)名。(遊戲))　イウゲ。
いう・きしつ　((第一ユ)(第三上)名。(有機質))
有機デアルセイシツ。
いう・きしよ　((……、第四、五合))(第四、五上)
名。(悠記所)　大祭會ノ祭リノユキ(悠
記)ノ宮ノコトヲ扱フトコロ。
いう・きたい　((第一ユ)(全平、又、第四上)名。
(有機體))　有機質ノモノ、即チ動物植
物ナド(無機體ノ對)。
いう・きぶつ　((……)(第三上)名。(……物))　有
機體ノ物。
++○いう・きよ　((……、第三、四合))(第一上)名。(幽
居))　(一)閑居。—靜カナスマヒ。(二)
シヅカニ暮ラスコト。
++いう・きよう　((……)(……)名。(遊興))　遊ビ
興ズルコト。—ナグサミ。
++○いう・く　((第一ユ)(……)名。(憂懼))　(一)
ウレヒトオソレト。(二)憂ヒテオソレル
コト。
++○いう・くわん　((第一ユ、第三ガ)(……)名。(遊觀))
名。(遊觀)
ハルコト。
いう・くわん　((……)(……)名。(憂患))　憂ヒ。
—害。—シンパイ。「野心久シク國ノいう
くわんタリ」。
いう・くん　(第一上)名。(遊君)　イウヂョ。
—アソビメ。「いうくん阿古屋」。
いう・ぐん　((……、第三グ)(全平)名。(……軍))
樣子ヲ見テ必用ノトキニハ味方ヲ援ケル
軍勢。
いう・げ　(第一ユ、第三ゲ)(……)名。(遊戲))
アソビタハムレルコト。—イウギ。
いう・けい　((……)(……)根。(有形))　スベテ、
形チヲソナヘタコト。(むけいノ對)。
いう・げい　((……)(……)名。(……藝))　スベテ、
アソビニ關スル藝(香花、踊リ、絲、竹抔)。
++いう・げき　((……)(全平)名。(……擊))　軍陣ノ
語。必ズシモ部署ヲ定メズ、ソノ時ノ次第
デ味方抔ヲ助ケルトテ敵ニアタルコト。
いうげき・たい　((……)(第三上)名。(……隊))
遊擊ヲ行フ兵隊。
いう・げん　((……)(第一上)根。(幽玄))　趣キ
ガ奥深クテ、容易ニ探リ知レヌ程デアル
コト。「歌ハいうげんナルヲ尚ブ」。
○いう・こう　((第一ユ)(全平)根。(有功))　テ
ガラノアルコト。「いうこうノ士」。
いう・こく　((……)(第一上)名。(憂國))　國
ノタメヲ思ッテイロイロニ苦勞スルコ
ト。—愛國。「いうこくノ臣」。
○いう・こん　((……)(……)名。(幽魂))　死人ノタ
マシヒ。—バウコン。
いう・さい　((……)(全平)名。(有罪))　罪ノ
アルコト(むざいノ對)。
○いう・し　((……)(第一上)名。(遊士))　(一)タ
ビビト。(二)爲スコトモ無クタ居ル人。
いう・し　((……)(……)根。(有志))　其コトニ志
ヲ深クヨセルコト。
いう・し　((……)(……)名。(……))　いうししゃノ
略。「いうし五六人」。
○いう・し　((……)(……)名。(有司))　官吏。—役
人。
いう・し　((……)(……)名。(猶子))　いうじ(猶
子)ト同ジ語。同義。
△いう・じ　((……)(……)名。(……))　ヤウシ(養子)。
—人ノ子ヲ養ッテ自分ノ子トスルコト。
—大平記、「河野對馬ノ守ガいうじニ七郎

道遠トテ今年十六ニナリケル若武者」。
▲いうじ　((……)(……)名。(にじ(虹)ノ轉カ?))
ニジ。—物類稱呼、「虹ヲ西國ニテいうじト
云フ」。
いうし・しゃ　((……、第四、五合)(第四、五上)名
(有志者))　いうし(有志)ノ人。—イウシ
(有志)。
++○いう・しゃう　((……、第四ヨ、第三、四合)(全
平)名。(優賞))　厚クホメルコト。
++○いう・じゅつ　((第一ヨ、第三、四合))(……)名。
(……恤))　イダハツテアハレミ惠ムコト。
いう・しゅ・と・しよく　((……、第六、七合))(第六、
七上)根。(遊手徒食))　遊ンデ居テムダ
メシヲ食ヒツブスコト。—「いうしゅとし
よくノ民」。
いう・しよ　((第一ユ、第三、四合))(第一上)名。
(郵書))　イウビン。—テガミ。
◎いうびんヨリハヤヤ氣ドツタココロヲ
持ツ。
いう・しよく　((……)(全平)名。(有職))(有識ノ字
ヲ後世用ヰアヤマツタモノ)　古實ナド
ヲ調ベル學問。—イウソク。☆いうそく參
考。
いうしよく・か　((……)(全平)名。(……家))　(一)
古實ニアカルイ人。(二)古實ヲ極メル人。
いう・しん　((第一ユ)(……)名。(郵信))　(一)
テガミノタヨリ。(二)テガミ。—イウビン。
いう・じん　((……)(……)名。(友人))　トモダ
チ。—ホウイウ。
○いう・じん　((……)(……)名。(幽人))　靜カニ暮
ラシテ居ル人。
いう・じん　((……)(……)名。(優人))　優長ナ人。
—氣ナドノ長イ人。
◎此語ハオモニ、ヤヤイヤシミノ心ヲモ
ツ。
いう・すゐ　((第一ユ)(……)根。(幽邃))　靜カ
ニ、オダヤカデアルコト(オモニ景色ナ
ド)。「秋色いうすゐナリ」。
++○いう・せい　((……)(……)名。(……栖))　ヒソカ
ニ、又ハ靜カニ、閑靜ナ所ニ住マフコト。—
「幽栖ノ隱士」。
いう・せい　((……)(第三上)名。(遊星))　星學
ノ語。星ノ一種。大陽ヲ中心トシテ我ガ
軌道アアルイテ大陽ヲマハルモノ。水星、
金星、地球、火星、十星、木星、天王星、海王
星ノ類。—ワクセイ。☆星參考。
++いう・せい　((……)(全平)名。(遊說))　スベ
テ、說キマハルコト。—「いうせいノ辯士」。
いう・せい　((……)(第一上)名。(郵稅))　イウ
ビンノ賃。
いう・ぜん　((……)(……)名。(友禪))　いうせん
ぞめノ略。
いう・ぜん　((……)(全平)根。(悠然))　イウイ
ウ。—ユッタリ。—ユックリ。
いうせん・ぞめ　((……)(……)名。(友禪染め))
昔シ京都祇園町ノ畫工梅丸友禪ガ始テ工
風シタ染模樣ノ一種。色色ノ彩色デ人物
花鳥ナドノ模樣ヲアザヤカニ絹ニ染メ出
スモノ。—カモガハヅメ。—イウゼン。
いうぜん・と　((……)(……)副。)　いうぜん(悠然)
ノ副詞體。
△いうぜん・ゑ　((……)(……)名。(友禪繪))　(一)イウ
ゼンノ染メ模樣ノ體ニカイタ畫。—西鶴、一
代女、「ニセいうぜんゑノ扇ニシテスズ風
ヲ招キ」。
△いう・そく　((……)(第一上)副。(優)に)　(一)シ
ヤヤカニ。—ヤサシク。—品ヨク。—閑雅ニ。
—落チ付イテ。「いうにヤサシキ御心」。
(二)タクミニ(藝ナドノ)。—「いうにキコユ
ルツマオト」。
ウシヨク。—イウソコ。—源氏「時ノいうそ
くト天ガ下ヲ靡カシ給ヘルコトナレバ」。
△いう・そこ　((……)(全平)根。(遊惰))　ナマケル
義。
いう・だ　((……)(……)名。(……))(前ノ轉)　同
コト。
++いう・たい　((……)(……)名。(優待))　ヨク人ヲ
モテナスコト。
++いう・たう　((……、第三ト)(第一上)名。(遊蕩))
ハウタウ。—遊ビニ耽ルコト。
++○いう・だう　((第一ユ、第三ド)(全平)根。(誘
導))　イザナヒ。—サソヒ。—イウイン。
いう・ちゃう　((第一ユ、第四ヨ、第三、四合))
(第一上)根。(優長)　ユックリトシタコ
ト。—落チ付イテ居ルコト。—セカセカセ
ヌコト。「いうちゃうナル田舍人」。
○いう・ちゃう　((……)(……)根。(……))　スグレテ
物ニ長ジタコト。
いう・ぢよ　((第一ユ、第三、四合))(……)名。(遊
女)　ウカレメ。—イウクン。☆あそび參
考。—西鶴、若風俗、三十日ギリノワカシユ
忍ブト、いうぢよヲウケダスト、野郎ニ家
買フテヤルト」。
いうぢよ・や　((……)(全平)名。(……屋))　遊女
ヲカカヘテ客ヲ迎ヘル家。
○いう・てい　((第一ユ)(第三上)名。(郵亭))
ハタゴヤ。—ゲキリヨ。—リヨジンヤド。
いう・とう　((……)(全平)根。(優等))　スグレ
タコト。ナミハヅレテ結果ノイイコト。—
「成蹟いうとう」。
○いう・に　((……)(第一上)副。(優)に)　(一)シ
トヤカニ。—ヤサシク。—品ヨク。—閑雅ニ。
—落チ付イテ。「いうにヤサシキ御心」。
(二)タクミニ(藝ナドノ)。—「いうにキコユ
ルツマオト」。

いうね

いう・ぬん　(…)(全平)名。(遊年)　方術家ノ語。八卦ヲソレゾレ配當シ、人人ノ年ニ由ツテ之ヲ忌ムコト。—拾芥抄、「八卦忌事謂遊年禍害絶命方等件三方不可犯土造作」。

いう・び　(…)(第一上)根。(優美)　優ニウツクシイコト。—品ガヨクケダカイコト。

いう・ひつ　(…)(…)名。(右筆)　物ヲ書クコトヲ司ドル役人。—カキヤク。—書記。—モノカキ。

いう・びん　(…)(全平)名。(郵便)　(一)シユクツギニ音信ヲ通ハセルコト。(二)手紙ヅカヒ。(三)(轉シテ)手紙。

いうびん・きよく　(…、第五、六合)(第三上)名。(…局)　郵便ヲ取リ扱フ局。

++いう・へい　(第一ユ)(全平)名。(幽閉)　人ヲ禁ジテ抑シ込メルコト。

++いう・ぼ　(…)(第一上)名。(遊步)　サンポ。—ソゾロアルキ。—遊ビアルクコト。

○いう・みん　(…)(全平)名。(…民)　爲スコトモナクテ居ル人。—アソビニン。—ゴロツキ。—ブランサラン。

○いう・む　(…)(第一上)根。(有無)　(一)有ルコトト無イコトト。—ウム。(二)(轉シテ)アイマイデアルコト。—「イツサイいうむノ中」。

○いう・めい　(…)(全平)根。(幽明)　(一)カスカナノトアラハナノト。(二)(轉シテ)地獄ト娑婆ト。—「いうめい道ヲへダテタリ」。

○いう・めい　(…)(…)名。(…冥)　(一)カスカナコト。—ハツキリトセヌコト。(二)(轉ジテ)地獄世界。—神ナドノ居ルトコロ。—「三魂六魄いうめいニ入ル」。

いう・めい　(…)(…)根。(有名)　名高イ。—音ニキコエタコト。

いうめ

いう・めい・む・じつ　(…)(第五上)句。(有名無實)　名バカリデ實ノナイコト。

++いう・めん　(…)(第一上)名。(宥免)　ユルスコト。—罪ヲユルスコト。—「いうめんヲネガフ」。

○いう・や・らう　(…、第四ロ)(第三上)名。(遊放蕩)　放蕩モノ。—アソビヲ。—ミヤビヲ。—タハレヲ。—李白、採蓮曲、「岸上誰家遊冶郎三三五五映垂楊」。

いう・よ　(第一ユ)(第一上)名。(有餘)　アマリ。—餘分。—ノコリ。—「三百いうよノ誠忠ノ士」。

++いう・よ　(…)(…)名。(猶豫)　(いう(猶)ハ支那獸ノ名。人ノ聲ヲ聞ケバ豫メ木ニ上リ、人ガ無クレバヤガテ下ルト云フ所カラ、スベテ轉ジテ、決斷ノ早ク付カヌトキニ當テ候メテ用ヰル語トナル)。

++○いう・らく　(…)(…)名。(遊樂)　遊ビタノシムコト。—「いうらくニ日ヲ送ル」。

++いう・らん　(…)(…)名。(…覽)　遊ンデ見物スルコト。—物見遊山スルコト。—イウクワン。

いう・り　(…)(第一上)名。(…里)　遊女ノ居ル土地。—クルワ。—ホクリ。—狹斜。—イロザト。

いう・りよ　(…、第二、四合)(…)名。(憂慮)　心配。—クラウ。

いう・れい　(第一ユ)(…)名。(幽靈)　(一)死ンダ人ノ靈。—バウコン。(二)神經ノ迷ヒカラ、死ンダ人ノ心、オモヒ、又ハ姿ナドガ形ニナツテ見エルラシク思ハレルモノ。—バウコン。—バケモノ。—オバケ。—後謠曲、船辨慶、「ソモ是ハ桓武天皇九代ノ胤、平知盛いうれいナリ」。

◎今ノ所デいうれいハ主ニ者コノ第二ノ解義ノ趣キヲ含ム。

いうれい・だけ　(…)(第三上)名。(…茸)　草ノ名。山ナドノ薄闇イトコロニ生ヘルモノ。葉モ莖モ水色デ、見タ所モサミシサウニ、葉ハ鱗ニ似、莖ゴトニ花ガ曲ツテ咲ク。形ハ蓍ノ中ノ臘梅ニ似タモノ。—ス井シヤウラン。—イウレイバナ。—ツユザエモン。

いうれい・ばな　(…)(…)名。(…花)　イウレイダケ。

++いう・れき　(…)(全平)名。(遊歷)　所所ヲ彷徨、國國ヲヘメグルコト。

いう・れつ　(…)(…)名。(優劣)　マサルコトトオトルコトト。—マサリオトリ。—オトリマサリ。—カチマケ。

++いう・れふ　(…、第三リヨ合、第四ウ)(…)名。(遊獵)　職業デナクナグサミニ獵ヲスルコト。

いう・ゐ　(…)(第一上)根。(有爲)　役ニ立ツベキコト。—「いうゐノ人材」。—「いうゐノ士」。

いえ　(全平、又、第二上)感。(否)　いいえト同ジク、人ニ對シテ否ミヲ現ハス語。*いいえ參考。

●いにル　(第二上)自動二。(癒)える)　いゆノ近體動詞。

い・かり　(全平)名。(伊織)　官名。アヅマ百官ノ中ノ一ツ。

い・か　(…)名。(五十日)　(一)△ゴシフニ

いか

チ。(二)子供ガ產マレテ五十日ノ祝ヒゴト。昔ハ餅ヲツイテ祝フ。—源氏、「御いかニ餅ヒマ非ラセ賜ハラントテ」。

いか　(…)名。(烏賊)　(一)海產ノ動物ノ名。身ハ袋ニ似テ、足ハ八本別ニ鬚ノヤウナモノガ二本、口ハ身體ト足トノ間、目ハ口ノ上ニアル。皮ハ白味ノ强イ鼠色デ、身ハ白ク、身體ニ黑イ墨ヲ含ミ、ソレヲ體身ノモノトシ、他ノ物ガ障レバ噴イテ影ヲクラマス。—和名抄「烏賊、以加」。(二)するめいかノ略。—スルメ。するめいかヲ乾シ上ゲタモノ。(三)いかのぼりノ略。—タコ。今ハ東京ヲ除イテ主ニ關西邊リデ云フ。

い・か　(第一上)名。(衣架)　着物ヲヌイダ時ナド暫時ソレヲサバスタメニ掛ケルタメノ道具。オモニ木又ハ竹デツクル。—イカウ。

い・か　(…)名。(以下)　(一)コレカラ下。—コレカラ後。—コノ後。—コノアト。—イゲ。(二)德川氏ノ時ノ制度デ家臣デ主君ノ謁見ヲマダ得ヌモノノ稱ヘ(謁見ヲ得タノヲ以上ト云フニ對シテ)。*いじやう參考。

い・か　(…)名。(醫家)　(一)醫術ヲオコナフ家。(二)(轉シテ)醫術ヲ行フ人。

いが　(第二カ)(第二上)名。(毬蔓)　栗ノ實ノソトガハ。針ナドアマタ生ヘテ居ルモノ。(二)スベテ、針ニ似タ、尖ツタモノガアマタ集マツテ居ルモノ。(三)アヂ(鯵)ナドノアゴカラ尾マデノ間、脊骨ト平行シテ貫ヌイテ居ル一種ノトゲトゲシタ鱗。

●いかイ　(…)形。(苛)い)　甚ダ多イ。—澤山デアル。—猛烈ニアル。—イツカイ。—エツカイ。

●いか・いか　(第一上)副。(苛苛)　イカイカシク。

△いか・いか　(…)感。　子供ノナキゴエ。

いか・いかし　(全平)形。(苛苛し)　甚ダイカイ。—タケダケシイ。—アラアラシイ。

●いか・いか・と　(第一上)副。(…と)　イカツク。—非パツテ。—肩デ風ヲ切ツテ。

いかい・こと　(第二上)副。(苛)い事)　タクサン。—甚ダ多ク。—ジユウブンニ。

◎主ニ、東京ナドデ人カラ物ナドヲ貰ヒ夫ニ對シテタクサンアリガタウト云フ義ノトキニ此語ヲツカフ。—「いかいとヒドウモイタダイテ濟ミマセン」。

いかご　(第一コ)(第一上)名。(衣桁)　着物ヲヌイダ所デソレヲサバス爲ニ掛ケテ置ク座敷道具ノ名。—ミヅカケ。—イカ。—イカウ。

いかう　(…)(…)名。(麝香)　ナミナミカヲリ—(主ニ仙人掌、ゴクラク界デ無イカヲリ)—(主ニ仙人掌、ゴクラク界ナド人間界ニモチガフ塊合ヒニ使フ)。

○いかう　(…)(…)副。(嚴)う)　いかくノ音便。甚シク。—ズ非ブン。—多ク。—キツク。

いかが　(第三ガ)(第二上)副。(如何)　(一)ウタガフトカアヤブムトカノ時ニ主ニカフ語。—ナント。—ドノヤウニ。—後拾遺集、「タケクマノマツハフタキヲ都ビトいかがト問ハバミキト答ヘン」。(二)疑問ノトキウタガヒ問フ意デ用ヰル語。—枕ノ草紙、「マロモウタント思フハいかが？手ハ許シタマハンヤ」。

○いかが・はし　(…、第四ワ)(第四上)形。(…はし)　(一)ドウナルカ覺束ナイ。—ドウナルカ疑ハシイ。—アヤシイ。(二)忌ムベクアル。—ミグルシクアル。

●いか・がはしイ　(…)(第五上)形。(…い)　前ノ近體。

いか・がはし・さ　(…)(第四上)名。(…さ)　イカガハシクアル度合ヒ。

いか・かまぼこ　(第三上)名。　烏賊ヲタタイテ搾ヘタカマボコ。

△いか・かル　(全平)自動、四段(い(發語))　カカル。—オホヒカカル(雲ガ)。—「山ニいかかる雲」。

△いか・かき　(第一上)名。(網結き)　蜘蛛ガ巢ヲ結ブコト。

▲いかき　(全平)名。(…)(前ノ語ノ轉カ、形チノ似タ處カラ)　タケカゴ。—ザル。—カゴ。オモニ西京邊ノ方言。

▲いかき　(…)名。　西京ノ方言。箔ノ一名。

▲いがき　(第二ガ)(…)名。(網結き)　カゴ。—いかき(網結き)ト同シ語。—淺井了意、東海道名所記、「顏ハタンバいがきノソコノ如クアラアラシウ」。

△い・がき　(…)(第一上)名。(忌垣)(いつき(齋)がき(垣)ノ義)　神社ノ垣。—ミヅガキ。—萬葉集、「千早振ル神ノいがきモ超エヌベシ、今ハ我名ノヲシケクモナシ」。—夫木集、「市姫ノ神ノいがきノイカナレバ、アキナヒ物ニ千代ヲツムラン」。

い・がく　(…)(…)名。(醫學)　醫術ノ學問。

い・がぐり　(…、第三グ)(全平)名。(毬蔓)　(一)栗ノ實ノイガニ包マレタモノ。(二)(轉ジテ)スベテ栗ノイガニ似ヨツタカタチヲシタモノ。—「五分刈リノいがぐりアタマ」。

いがぐり・あたま　(…)(第五上)名。(…頭)　(頭ノ髮ヲソロヘテ短ク切ツタグアヒガ栗ノイガニ似タ所カラ)スベテ揃ヘテ短クキツタ髮。

△い・かくル　(全平)自動、四段(い(發語))　カクレル。—カゲヲカクス。

++い・かけ　(…)名。(鑄掛け)　いかけぢノ略。

++いかけ　（全平）名。〔……〕　（一）スベテ銅鐵器ナドノ金屬ノ器ノワレメヲ同ジク金屬ヲ鑄解シタモノデ埋メルコト。（二）▲轉ジテ〕いかけヲシタアトノ形チノ似タ所カラ腫物ノ痕ナドヲ指シテ呼ブカクシコトバ。—「疔ノいかけノ痕ノコリテ」。

▲いかけ　（……）名。　魚ノ名。あらノ一名。

いかけ・し　（……）名。〔鑄掛け師〕　イカケ（鑄掛け）ノコトヲ職トスル人。—イカケヤ。

いかけ・ぢ　（……）名。〔沃懸け地〕　ウルシヌリノ上ニ金粉又ハ銀粉ヲマキカケタモノ。—イカケ。—イツカケヂ。

いかけ・や　（……）名。〔鑄掛け屋〕　イカケシ。

○いかこ・やま　（第三上）枕。〔伊加胡山〕　いかがニカカル枕詞。

いか・ざらめん　（（第三ア））（……）名。〔烏賊素麵〕　烏賊ヲホソイテヨデタモノ。

△いか・さま　（全平）根。〔如何樣〕　いかさまニノ根詞體。

▲いか・さま　（……）名。〔……〕　ソノ物ラシイ形ヲ見セルコト。—ニセモノ。—「いかさまノ品」。

●いか・さま　（……）副。〔……〕　ナルホド。—アコトニ。—イカニモ。—忍夜戀曲者「いかさま切ナルオコトガ心底」。

いか・さまに　（……）副。〔……に〕　ドノヤウニ。—ドウカシテ。—イカヤウニ。—源氏「いかさまにセント思ヘリ」。

○いかし　（第一上）形。〔嚴し〕　（一）イカメシイ。—嚴重デアル。（二）ハナハダシイ。—多イ。—澤山ニアル。（三）アラアラシイ。—タケダケシイ。（四）大キイ。

○いかし　（第二上）形。〔……〕　重大デアル。—オモオモシクアル。

いかス　（……）他動四段。（活）かす〕　（一）死ニサウナモノヲ死ナセヌ。—「醫者ハ人ヲ術デいかす」。（二）イキテ井サセル。—イノチヲ持チ續ケサセル。（三）キキメノアルヤウニ用井ル。—活用スル。—「金ヲいかす」。

いかた　（全平）名。〔掟〕〔おきてノ轉〕　オキテ。大隅、薩摩ノ方言。—物類稱呼、「所ノシキタリトイフ語ノカハリニ……いかたトイフ」。

いかだ　（……）名。（筏）〔うき（浮）いた（板）ノ義〕　（一）竹ヤ木ヲトヂアハセテ船ノ形ニシテ流シテ漕ギ得ルモノ。—和名抄、「桴筏、和名以加太」。（二）〔轉ジテ〕スベテ筏ニ似タ形ヲシタモノ。主ニ鎧ノ小手ナドニアル摸樣。—甲冑製作辨「越中小手ト云フハ手甲小田ノ如ク手先いかだ四五本アリ」。（三）〔轉ジテ〕うぎノ一種。めそヨリ大キク、中串ニ燒キ得ル。（（第二ガ））（第一上）名。〔鑄型〕　金屬ヲ鑄ルト井鑄ケタ金屬ヲツギコムカタ。—和名抄、「伊加太」。

△いか・たらめ　（……、第三ト）（……）名。〔伊賀專女〕　（一）狐ノ異名。（二）狐ガ稻荷ヲ神ノ使ハシメト云フ所カラ狐ヲ神ト祭ツタモノ。（三）〔又轉ジテ、ナカウドナドハ狐ノ如ク人ヲ欺キヤスイ所カラ〕ナカウド。—源氏、「心シラヒノヤウニ思ハレハベランモ今サラいかたらめニヤトツツマシクナン」。（四）〔又轉ジテ〕スベテ、タバカルコト。—タバカリ。

いか・だ・ぢ　（（第二ガ））（第一上）名。〔鑄型〕　金屬ヲ鑄ルト井鑄ケタ金屬ヲツギコムカタ。

いかだ・し　（第三上）名。〔筏師〕　イカダニ乘ッテ漕グ人。—イカダノリ。—新古今集「いかだしヨ、待テ言問ハン水上ハイカバカリ吹ク山ノ嵐ヅ」。

いかだ・のり　（……）名。〔……乘り〕　イカダシ。

●いかつイ　（全平）形。（嚴つい）　サモサモイカイカシイ（人ノ擧動ニツイテイフ）。—異本洞房語園「ソノ一座いかつく見ユル人ヲイカイカギセイヂヤト云フ」。

△いか・づち　（……）名。（雷）〔いか（嚴）つ（之）ち（尊稱）ノ義〕　空中デ積消兩極ノ電氣ガ相アフタメニ空氣ニ觸レテ起ルハゲシイヒビキ。—神。—ナルカミ。—ライ。—カミナリ。—和名抄、「雷公、伊加豆知」。

○いかで　（……）副。（爭）〔いか（如何）にしてノ約〕　（一）ドウシテ。—「いかで及バン」。（二）ナニトゾ。—ドウガナシテ。—「タヨリアラバいかで都へ告ゲヤラン、今日白川ノ關ハコエヌト」。

○いかで・か　（第三上）副。（爭）〔いかでト同ジ語〕　—堀河百首、基俊、「ツマ木コリ、カクンガニスル山サトニいかでか月ノタヅネキツラン」。

いかな・いかな　（第二上）副。　ドウシテ（意味ヲ強メテ云フ時ニツカフ）。—イツカナイツカナ。—「いかないかなソレハナラヌ」。

◎コノ語オモニ反語トシテ用井ル。

いかな・ご　（（第四ゴ））（第三上）名。〔如何な兒〕　小サナ魚ノ名。ひしこニ似テ長サ三四寸、ウス茶色。油ヲ取リ、又ハ醬油ヲツケル。

いかなご・しやうゆ　（……、第六ヨ、第五、六合）（第五、六上）名。〔……醬油〕　イカナゴデ拵ヘタ醬油。讃岐ノ產。

●いかな・こと　（第二上）句。〔……事〕　（一）ドウイフ譯デカ。—ドウイフモノデ。（二）〔轉ジテ〕トテモトテモ叶ハヌト云フ義ノ時ニツカフ語。—「コレハいかなこと！身共ハ

トテモ叶ハヌワイ」。

▲いかなず　（全平）名。〔烏賊茄子〕　草ノ名。てうぜんあさがほノ一名。長門邊ノ方言。

いか・に　（第二上）副。（（如何）に）　（一）疑問ノ語。ドノヤウニ。「いかにセバヨカラン」。—「いかに尋子ン」。（二）推量ノ語。ドレホド。—ドノクラ井。—サゾ。—古今集、「ミヤコ人いかにト問ハバいかがコタヘン」。

いか・にも　（……）句。〔……も〕　（一）ドウシテモ。—ドウ考ヘテモ。—ドノミチ。（二）ナニサマ。—ナルホド。

いか・のぼり　（全平）名。〔凧幟〕　オモチヤノ名。ホソイ竹ノ串ヲ骨トシ、ソレニ紙ヲ張リ、絲目ヲ付ケテ絲デタグリ、凧ニモタセテ空ヘ飛バセルモノ。—イカ。—タコ。—イカゴ。—テンバタ。—ハタ。—タカ。—西鶴、若風俗「ヨダレハ堀ノ水カサヲ增シ、鼻毛ハいかのぼりヲ上ゲ」。

いか・ばかま　（（第二ガ））（第三上）名。〔伊賀袴〕　タチツケ。

○いか・ばかり　（全平）副。〔如何計り〕　（一）ドノ位。—ドレホド。—「いかばかりフク山ノ嵐ヅ」。（二）ドレホドニカ。—何程。—「いかばかりウレシカラン」。

い・がひ　（（第二ガ、第三イ））（第一上）名。〔貽貝〕　貝ノ名。本ガセマク、末ガヒロク、外ハ黑ク、肉ハ赤ク、口ノ邊ニ黑イ毛ガ多イモノ。—ニタガヒ。—ヨシハラガヒ。—ヒメガヒ。—イノガヒ。—ツバクロガヒ。—ケガヒ。—アカガヒ。—カラスガヒ。—センダイガヒ。—延喜、主計式、「鮑鰒貽貝」。—和名抄、「伊加比」。

△いがひ・な　（……）（全平）句。〔言甲斐無〕　いがひなしノ略。同義。—貞女白無垢「いがひなノ興ノ御心ヤ」。

いか・ほど　（……）副。〔如何程〕　ドノクラ井。—イクバク。—イカバカリ。

●いがみ　（（第二ガ））（……）名。　ゆがみノ轉訛。（（第二ガ））伊勢ノ方言。魚ノ名。ぶだひノ一名。

++いがみ・あひ　（……）（……）名。〔唖み合ひ〕　（一）互ニイガムコト（獸ナド）。（二）〔轉ジテ〕スベテ爭フコト（人ナド）。

いがみ・あフ　（……）（……）自動、四段。〔……ふ〕　（一）互ニイガム（ケダモノナド）。（二）〔轉ジテ〕スベテ言ヒ爭フ。—アラソフ（人ナド）。

いがム　（（……））（第二上）自動、四段。〔唖む〕　猛ッテ吠エル。—カミツキサウニナル。—イクバクカ。—何程。—「いかばかりウレシカラン」。

い・がひ　（（第二ガ、第三イ））（第一上）名。〔貽貝〕　貝ノ名。本ガセマク、末ガヒロク、外ハ黑ク、肉ハ赤ク、口ノ邊ニ黑イ毛ガ多イモノ。—ニタガヒ。—ヨシハラガヒ。—ヒメガヒ。—イノガヒ。—ツバクロガヒ。—ケガヒ。—アカガヒ。—カラスガヒ。—センダイガヒ。—延喜、主計式、「鮑鰒貽貝」。—和名抄、「伊加比」。

△いがひ・な　（……）（全平）句。〔言甲斐無〕　いがひなしノ略。同義。—貞女白無垢「いがひなノ興ノ御心ヤ」。

いか・ほど　（……）副。〔如何程〕　ドノクラ井。—イクバク。—イカバカリ。

●いがみ　（（第二ガ））（……）名。　ゆがみノ轉訛。（（第二ガ））伊勢ノ方言。魚ノ名。ぶだひノ一名。

++いがみ・あひ　（……）（……）名。〔唖み合ひ〕　（一）互ニイガムコト（獸ナド）。（二）〔轉ジテ〕スベテ爭フコト（人ナド）。

いがみ・あフ　（……）（……）自動、四段。〔……ふ〕　（一）互ニイガム（ケダモノナド）。（二）〔轉ジテ〕スベテ言ヒ爭フ。—アラソフ（人ナド）。

いがム　（（……））（第二上）自動、四段。〔唖む〕　猛ッテ吠エル。—カミツキサウニナル。—イクバクカ。—何程。—「いかばかりウレシカラン」。

●いがム　（（……））（全平）自動、一。（曲む）　ゆがム。

○いかもの・づくり　（第五上）名。〔……造り〕　イカイカシイツクリ（主ニ刀ナドニ云フ）。—「いかものづくりノ太刀ヲハキ」。

○いか・やう　（（第三ヨ））（全平）根。〔如何樣〕　ドノヤウ。—枕ノ草紙「いかやうナルニカアルト問ヒキコエサセ給ヘバ」。

○いか・やう・に　（……）（……）副。（……に）　ドノヤウニ。—「いかやうにモイヒ開キハシヤウ」。

いからかス　（……）他動、四段。（怒）らかす〕　いからすト同ジ語。〔かすハあそばかすナドノかす〕　宇治拾遺「目大ニシテ見クルベカシ、鼻ヲフキいからかし」。

●いからし　（第三上）形。（嚴らし）　極メテイカイカシイ。—サモイカイカシク有リサウナ。

○いからス　（全平）他動、四段。（怒）らす〕　（一）オコルヤウニスル。—オコラセル。—腹ヲタタセル。—リツプクサセル。（二）カドヲ立タセル。—イカラカス。—ソビヤカス。—「肩ヲいからす」。—「目ヲいからす」。

●いからせル　（第四上）他動、二。　前ノ近體。

●いがらつぽイ　（（第二ガ、第四逼））（全平）形。　名ぐしノ近體。

●いがらつぽ・さ　（……）（第五上）名。　イガラツポクアル度合ヒ。

いかり　（全平）名。〔碇—錨〕　船ヲトドメルトキ綱ニ付ケテ水ノ底ニ沈メ、オモシニスルモノ。ムカシハ石ヲ用井、後世ハ鐵ニシ、サキハ三ツ或ハ四ツニ裂ケテ上ニ曲ガル。—和名抄、「伊加利」。

いかり　（……）名。（怒り）　イカルコト。—立腹スルコト。—ハラダチ。—源氏「人ノ御いかり」。

++○いかり・ごゑ　（（第四ゴ））（第四上）名。〔怒り聲〕　腹ヲ立ツトキ發スル聲。—ドセイ。

いかり・さう　（（第四ソ））（全平）名。〔碇草〕　トキハグサノ名。主ニ山ニ生ヘル。莖ゴ

トニ枝ガ三ツ、枝ゴトニ葉ガ三ツ。葉ハ卵色デキザキザアリ、夏、ウツムイタ花ヲツケル。花ハ四瓣デウス紫ノガ多イ。＝ウムギナ。

いかり・づな　(第三上)名。(碇綱)　イカリニツケル綱。＝イカリナハ。

いかり・なは　((第五ヲ))(……)名。(……綱)　錨ニ付ケル綱。＝イカリヅナ。—拾遺集、湊イヅルアマノ小船ノいかりなはクルシキモノト戀ヒヲ知リヌル」。

いかり・ばうふ　((第四ボ))(第四上)名。(……防風)　料理人ノ語。バウフウノ莖ヲ針デサキ、鍋ニ似セタモノ。サシミノツマナドニツカフ。

▲いかる　(全平)名。　出雲邊ノ方言。いかるがノ一名。

○いかル　(第二上)自動、四段。(怒る)　腹ヲ立テル。＝オコル。＝立腹スル。

いかル　(全平、又第二上)自動、四段。(……)　[前ノ語カラ轉ジテ]カドガ立ツ。＝ソビエル。—「肩ガいかる」。

いかル　(第二上)自動、四段。(活かる)　水ニサシテ生ヲタモツ(オモニ、花ナドニイフ)。＝「藤ガヨクいかる」。

いかるが　((第四カ))(全平)名。(斑鳩)　鳥ノ名。今普通ニイフ、マメマハシ。大キサハモズ(鵙)グラ非、カラダハ藍色、頭モ翼モ黒ク、尾ハ茶色、足ハ赤ク、嘴ハ太ク短クテ黄色ノモノ。＝イカル。＝マメマハシ。＝マメドリ。＝マメッポウ。＝マメワリ。＝イカルゴ。—日本紀「斑鳩(訓イカルガ)」。

○いかるが・の　((……))(……)枕。　よるニカカル枕詞。—「いかるがのヨルカノ池」。

▲いかるご　((第四ゴ))(……)名。(斑鳩)　周防邊ノ方言。鳥ノ名。いかるがノ一名。

○いか・ん　(第二上)副。((如何))(いかにノ音便)　いかにト同ジ語。—法華經「所以者何、(訓)ゴエいかんトナレバ」。

いかん・ぞ　(……)副。((……)ぞ)(いかにぞノ音便)　ドウアッタテ。＝ドウデアラウガ。

いき　(第一上)名。(息＝呼吸)(いき(生)ノ義カ?)　動物ガ鼻ヤ口ヲトホシテ肺臓ヘ空氣ヲ出シ入レスル作用。＝コキフ。＝キソク。—源氏、「イトカク思フタマヘマシカバトいきモ絶エツツ聞コエマホシゲナルコトハアリケナレド」。—「いきモツキアヘズ物ヲコソオモヘ」。

◎いきヲコロス。(ヒソカニヒソム)。—鳩八幡豆ト德利、「ソレヨリ又順朝ハ鶴吉ノ働キニ依ツテ主從伏シ木ニカクレ、いきをころしテ居タマフ所ニ大庭兄弟追ヒカケ來リ」。◎いきガキレル。＝(アヘグ)。＝死ヌ。＝絶命スル。◎いきヲキル。＝(アヘグ)。◎いきヲツグ。＝(ヤスム)。◎いきヲヒキトル。＝命ガナクナル。

いき　(……)名。((生き))　イキルコト。＝活キテアルコト。—「いき死ニ」。—「いきモ死ニモ知レズ」。

いき　(全平)名。((行き))＝((往き))(ゆき(行)ノ轉訛)　イクコト。＝ユクコト(かへりノ對)。—「いきモカヘリモ非キマシダ」。　キシャウ。＝キダテ。＝心イキ。＝心バセ。＝心ダテ。—「いき宇宙ヲ呑ム」。

◎いきハ心ノ勇マシクアルトカ、又無イトカノ壞アヒニ多クツカフ。概シテ言ヘバけつき(血氣)ノ意ヲモツ。

いき　(全平)根。(……)　キシャウガ風流デアルコト。＝サッパリトシタコト。＝弁ナカビテ居ヌコト。＝俗ラシク無イコト。＝アカヌケシテ居ルコト。—谷峨、傾城買二筋道、「須磨絹『イッソ主ノ聲ハいきダヨ』」。

◎いきハ其意味ナカナカ廣ク、殆ンド一口ニハ言ヒツクセヌ。今日コソ左程デハ無イモノノ、今カラ尚一時代殆ンド百年程前マデノ間ハ非常ニ又此語ヲ多クツカッタ。歸スル所ノ意味ハ前器ゲタ通リノ個條、去リナガラ其付ク可キモノニ依ッテ彼是ト斟酌ガアル。ヒキクルメテヤヤ近イ所マデ云ヒ現ハセバいきトひどがらト此二ツノ語ノ間ニ幾分カ正反對ノヤウナ工合ヒガアル。即チいきト云フ語ニオイテハひどがらト云フ、即チ氣高イ方ノ意味ハ寧ロ含マヌ。ナニガナシ俗デナク、風流デ、趣キノアル、シカシシツコク無イヤウナ樣子ノ心ヲ持ッ。ひどがらニ於テハ此段ハ大キニ反對デ、寧ロ事ニヨレバ野暮カモ知レズ、即チいきトハ氷炭タダナラヌ趣キデアルカモ知レズ、又必ズサッパリトシテ居ルトモ限ラズ、只ケダカク、下品デナク、ドコヤラニ風流ノ味ノアル所ヲ言ヒ現ハス意味ヲ持ッ。いきデひどがらト云フ句モソレ故ニ有ル。ヤボデナイ、又下品デ無イトノ心デ此二ツノ語ノ本意ヲアキラメレバ即チ押シ詰メテいき特有ノ義ガ明ラカニナル。今日ノ所デハいきモ色ニ轉ジテ、ヤヤ粹ノ意ヲ持ッ。

いき　((第二ギ))(第一上)名。((異儀))　スベテ、常デナイコト。＝カハッタスガタ。＝イジャウ。

いき　((……))(……)名。((……議))　人ト異ナッタ

議論。＝違ッタ意見。＝イケン。＝イロン。＝イヅン。

いき　((……))(……)名。((意義))　意味。＝趣意。＝ワケ。＝ココロ。＝コトワケ。

●いきあたり・ばったり　((第七逼))(第八上)根。(行き當たり……)　自然ニマカセテドコヘデモ行キ當リハウダイニスルコト。—「いきあたりばったト共ニクサ桃、コノオホアラヲカケギヌニシテ」。

いきあひ・きやうだい　((第四イ、第六ヨ、第五、六合))(第五、六上)名。(……合ひ兄弟)(ゆきあひきやうだいノ轉)　母ハ同ジク、父ダケチガッテ居ル、其兄弟。

++いき・いき　(第三上)根。(生生)　物ガ盛ンニセイセイト勢ヒノイイコト。

いきいき・と　(……)副。　いきいきノ副詞體。

△いき・うス　(……)自動、下二。(行き失す)　ヨクヘガナクナル。＝影ヲカクス。

++いき・うつし　(……)名。(生き寫し)　(一)生キテ居ルママノ姿ヲソックリ寫シ取ルコト。＝シャセイ。(二)モトトナルモノト見マガフバカリ巧ミニ出來テ居ルコト。—西鶴、若風俗、「心ヲ付ケテ見ル程女筆ナガライッヂヤノ手ニいきうつしナレバ」。—半山、見タ京物語、「タコ藥師ノピンヅル古人中村花曉ガ顏ニいきうつしナリ」。

++いき・うめ　(全平)名。(生き埋め)　活キテ居ルママノ人ヲ地ニ埋メテ殺ス刑罰。

いき・かくル　(……)自動、下二。(行き隱る)　行キ去ッテヨクヘガ分カラナクナル。—桃ノ草紙、「人ノ國ノ遠キニいきかくれナドシテ」。

●いき・がけ　((第三カ))(……)名。(……掛け)　イキシナ。＝出掛ケルハシメ。—「旅ヘ出ル其いきがけニ親類ノ家ヲマハル」。—「いきが

△いき・かた　(全平)名。(意氣方)　ココロイキ。＝ココロガケ。—近松、博多小女郎濱桃、「王樣ノいきかたハ又格別ナ物デヤナイカ?」—兜軍記、「トノサマガホシテハ御座レドモいきかたは雪ト墨」。

いき・かへる　((第四エ))(……)自動、四段。(生きヨミガヘル。＝一旦死ンデ又活返る)　ヨミガヘル。＝メザガヘル。

いき・がは　((第三カ、第四オ))(第四上)名。(……はノ對)　生キテ居ル時ノ顏(しがはノ對)。—近松、心中二枚繪草紙「フダヲヒ生キテいきがはヲ見ルハ此世ノカギリカト?」

いきがル　((第三カ))(……)自動、四段。(意氣がる)　自分カラ意氣ダアルト自慢スル。

いき・ぎも　((第三ギ))(第四上)名。(生き膽)　生キテ居ルモノカラソノママ取ッタ膽。—「熊ノいきぎもハ肺勞ニ利ク」。

++いき・ぎれ　(……)(全平)名。(息切れ)　イキガキレルコト。＝アヘグコト。—近松、博多小女郎濱桃、「許シテタモレ小女郎ドイフ聲モハヤいきぎれ、顏モ少ナク見エニケル」。—同、吉野都女楠、「物ガッイタカ帶刀、母ニモ知ラセズイヅクヘ行クダ、正行?母ハいきぎれ、死ヌルモカマハヌカ?」

△いき・くさ　(……)名。(生き草ノ義)　べんけいさうノ一名。粘レヤスク無イトコロカライフ。

++いき・ごみ　((第三ヲ))(第四上)名。(意氣込み)　意氣込ムコト。＝キホヒ。＝ケッキ。

いき・ごム　(……)(第三上)自動、四段。(……む)　勢ヒヲコメル。＝キホフ。＝ヨイレル。

いき・さし　(全平)名。(息差し)　(一)イキッカヒ。＝イキヲスル樣子。—「いきさしノ悪イ病人」。(二)イキゴミ。

●いき・さつ　(第三上)名。　(一)シサイ。＝ナイジャウ。＝コミ入ッタ內部ノ關係。(二)[轉ジテ]クワンケイ。＝ツヅキアヒ。—實井其角、吉原源氏「いきさつアヂニナリ行ク程ニ」。

いきしに　(第一上、又第三上)名。(生き死に)　活キルコトト死ヌコトト。—源氏、「アハレトテ手ヲ許セカシいきしにヲ神ニマカスル我ガ身トナラバ」。—八犬傳、「後レ先立ツいきしにノ海ヨリ荒キトキノ聲」。

いきす　(第一上)名。(海髮＝仙草)　海草ノ名。細ク青ク亂髮ノヤウナモノ。乾ケバ紫ガカッタ黑ニナル。水デ洗ヒ、白クシテ煮テ、トコロテンノヤウニ固メテ食ベル。＝イギス。

いきす　((第二ギ))(……)名。(……)　いきすト同ジモノ。—延喜、內膳式「供御月料伊祇須九斤」。—和名抄「海髮、和名以木須」。

●いきすぎ　((第四ギ))(全平)名。(行き過ぎ)　(一)●スベテ、イキスギルコト。(二)▲デスギモノ。＝ハシャギモノ。＝生意氣ナモノ。(いきすぎものノ略)。

●いきすぎ・もの　(……)(……)名。(……者)　スベテ、出スギタガル人。＝デスギモノ。＝ッッシミブカク無イ人。

いきすぎル　((……))(第四上)自動、四段。(……る)　ゆきすぐノ近體動詞。(一)スベテ分際ヨリハ飛ビ超エテ事ヲスル。(二)生意氣ナコトヲスル。

△いきすだま　(第三上)名。(生き魂)　イキリヤウ。スベテ其人ハマダ死ナズ、ソレデ思ヒヲカケル、即チタダリヲスルトイフ其怨念。—源氏「モノノケ、いきすだまナドイフモノ多ク出デ來テ」。—和名抄、「窮鬼、伊岐須太萬」。

●いきせ（第一上）名。〔息精〕　イキト精力ト。いきせいノ略。

●いきせい（……）名。〔……〕　イキセ。

●いきせいばル（……）自動、一。〔……張る〕　イキゴム。＝力ノ限リ其コトニカカル。

●いきせき（……）副。〔息咳〕　息ヲキッテ。＝ハゲシク急イデ。＝「いきせき其場へ駆ケ付ケテ」。

◎語彙ナドニコレヲ「いき（息）せき（急）」トシタノハイカガ？

いきせばル（……）自動、一。〔息精張る〕　いきせいはるノ略。

▲いきたッ（第三上）自動、一。〔行き立つ〕　ゆきたつノ近體。モノゴトカ進ミ、成リ行ク。

いきたなさ（……）（第一ぎ）（第一、及第四上）名。〔穢穢さ〕　イギタナクアル度合ヒ。

いきたなシ（……）（第一上）形。〔……し〕　容易ニ目ガサメヌ。＝オバウデアル。＝源氏、「人人起キ出デテイトいきたなかりケル夜カナ。御車曳キ出デヨナド云フナリ」。＝枕ノ草紙、「家ニテモミヤヅカヘドコロニテモ逢ハデアリナント思フ人ノ來タルニ、ソラ寢ヲシタレバ、我ガモトニアルモノドモノオコシヨリ來テ、いきたなしト思ヒ顔ニヒキユルガシタル、イトニクシ」。

○いきだはし（第四ワ）（第四上）形。〔だはしハせはし（忙）ノ轉カ？〕　息ガセハシイ。＝息ガキレル。＝アヘグ。

●いきだはしイ（……）（第五上）名。　いきだはしノ近體。

いきだはしさ（……）（第四上）名。　イキダハシクアル度合ヒ。

いきだふれ（第四オ）（全平）名。　ゆきだふれトオナジ語。饑渴、又ハ病氣デ往來ニタフレタル人。

いきち（第三上）名。〔生き血〕　活キテ居ルマヂノ動物ノ體カラスグ取ッタ血。＝セイケツ。＝「丑ノ年ノ丑ノ月丑ノ日ニ生レタルいきちヲ取ッテ服スレバ我ガ君ノ眼病ウタガヒ無ク即座ニ御平癒」。

いきぢ（第一上）名。〔意氣地〕　イヂ。＝「ハリトいきぢノ深川ヤ」。＝三世相錦繡文章、「互ヒノ心モ相ノ手ニ、ノセテネジメヲ定メタラ、引カヌガ江戸ノ女郎ノいきぢ」。

◎コノ語ノ説明ハ甚ダウマク與ヘニクイ。歸スル處ノ義ハいぢトカハラヌ。サリナガラいぢ及ビいきぢ二ツナガラ一種キハメテ異フカイ意味ヲ持ツ。或ヒハ節義カラ、或ヒハ浮キ世ノ義理カラシテ情カラ、或ヒハ德義カラ、或ヒハ人心ニコレヲト思ヒ念ジタ、ソノ念ヲいぢ、又ハいきぢトイフ。ソレ故ニこころナドト比ベレバ一層チヅヨイ意味ヲ荷フ。只いぢトいきぢハ習慣カラ終ニ多少ノ相違ヲ成スコトナツタ。即チ、いぢハヒロク一般ニ通用スル。但シいきぢハ主ニ遊女、歌妓ナドニ用ヰル事トモナツタ。「武士ノいぢ」「親ノいぢ」トイツテ素ヨリヨシ、「女郎ノいぢ」デハ少シヲカシイ。

いきちがひ（第四カ）（第五イ）（全平）名。〔行き違ひ〕　いきちがふノ名詞體。

●いきちがフ（……、第五ウ）（第四上）自動、四段。〔……ふ〕　ゆきちがふト同ジ語。

いきちル（第三上）自動、四段。〔……散る〕　分カレ分カレニナツテ散ル。

○いきづかし（……）形。　息ガキレル。＝萬葉集、「アヂノスムスサノ入江ノコモリヌノアナいきづかしミヅヒキシテ」。

いきづかひ（（第五イ））（……）名。〔息遣ひ〕　息ヲスルコト。＝息ヲツク有樣。＝イキザシ。＝キング。＝コキフ。＝西鶴、「一代女」、「是非トモニクサイモノ、ワニグチノ小ヨシガいきづかひ」。

＋＋いきつぎ（（第四キ））（全平）名。〔……繼ぎ〕　息ヲ入レルコト。＝息ヲツグコト。＝忙シクハタライタアトデ休息スルコト。＝キウソク。

●いきつク（……）自動、一。〔行き就く〕　（一）ゆきつくト同ジコトバ。同義。（二）ナクナル。＝斷絶スル。＝「身代ガいきつく」。（三）〔又、轉ジテ〕死ヌ。＝「病氣デアッタガトウトウいきついタ」。

△いきづク（第三上）自動、四段。〔息づく〕　ナガく息ヲツク。＝チヤウダイソクスル。＝萬葉集、「カクノミヤいきづきヲランアラ玉ノ」。

△いきづム（……）自動、四段。〔……詰む〕　息ガ腹ニツマル。＝イキム。＝イキバル。＝力ヲイレテ息ヲ腹ニ合マセル。＝著聞集、「いきづみテヒラレンヲ期ニヒラセタマヘ」。（二）〔轉ジテ〕コラヘル。＝シンバウスル。

いきづム（……）自動、四段。〔……〕　行キツマル。＝イキドマル。＝セマクルシク窮屈ニナル。

●いきづら（全平）名。〔生き面〕　つら（面）ヲ強メテイフ語。つらト同ジ義。タダ少シ違フ處ハナケキ、イカリナドノ場合ヒニ專ラコレヲツカフ一點。＝谷峨、「頃城買二筋道」、「思ヘバオメオメト、面目ナイ。此いきづらヲ合ハセヤウヨリ、イッソン病ガモトトナリ、死ンデ仕舞ヘバ……マタ浮カム瀬モアラウカト」。

いきづかし（（第五イ））（……）名。〔息遣ひ〕　息ヲスルコト。＝息ヲツク有樣。＝イキザシ。＝キング。＝コキフ。＝西鶴、「一代女」、「是非トモニクサイモノ、ワニグチノ小ヨシガいきづかひ」。

＋＋いきつぎ（（第四キ））（全平）名。〔……繼ぎ〕　息ヲ入レルコト。＝息ヲツグコト。＝忙シクハタライタアトデ休息スルコト。＝キウソク。

●いきつク（……）自動、一。〔行き就く〕　（一）ゆきつくト同ジコトバ。同義。（二）ナクナル。＝斷絶スル。＝「身代ガいきつく」。（三）〔又、轉ジテ〕死ヌ。＝「病氣デアッタガトウトウいきついタ」。

△いきづク（第三上）自動、四段。〔息づく〕　ナガく息ヲツク。＝チヤウダイソクスル。＝萬葉集、「カクノミヤいきづきヲランアラ玉ノ」。

△いきづム（……）自動、四段。〔……詰む〕　息ガ腹ニツマル。＝イキム。＝イキバル。＝力ヲイレテ息ヲ腹ニ合マセル。＝著聞集、「いきづみテヒラレンヲ期ニヒラセタマヘ」。（二）〔轉ジテ〕コラヘル。＝シンバウスル。

いきづム（……）自動、四段。〔……〕　行キツマル。＝イキドマル。＝セマクルシク窮屈ニナル。

●いきづら（全平）名。〔生き面〕　つら（面）ヲ強メテイフ語。つらト同ジ義。タダ少シ違フ處ハナケキ、イカリナドノ場合ヒニ專ラコレヲツカフ一點。＝谷峨、「頃城買二筋道」、「思ヘバオメオメト、面目ナイ。此いきづらヲ合ハセヤウヨリ、イッソン病ガモトトナリ、死ンデ仕舞ヘバ……マタ浮カム瀬モアラウカト」。

いきづ

キナガラヘル）。

いきづえ（第三上）名。〔息杖〕　スベテ天秤棒ナドデ物ヲカツグトキ、物ノオモミヲ支ヘ、息ヲタスケル棒。

いきどころ（全平）名。〔行き處〕　行クベキトコロ。

○いきとしいける・もの（第一、第六、及第九上）句。〔生きとし生ける物〕　此世ニ生キテアル限リノモノ。＝アラユル生キモノ。＝古今集序、「いきとしいけるものイヅレカ歌ヲヨマザリケル」。

△いきだはし（（第四オ））（第四上）形。　いきだはしノ轉訛。同義。＝淺井了意、東海道名所記、「何トハ知ラズ耳ノアナニロヲ差シ寄セ、いきだはしくササヤキ、或ヒハ火ヲ吸ヒ付ケタル煙草ヲ所望シ」。

いきだはり（（第五上））名。〔憤り〕　いきどはるノ名詞體。ハラダチ。＝ムシャクシャバラニナルコト。

いきどはル（……）（（第三上））自動、四段。〔……る〕　（一）歎キ憂フ。＝ウツウツトスル。＝日本紀、「日夜いきどはりテ訴ヘイフ所ナシ」。（二）ウラミ腹立ツ。＝ムシャクシャバラニナル。＝心ノ中ニ不平ヲ多ク含ム。＝「心ヒソカニいきどはりテ」。

△いきどはろし（（……））（（第五上））形。〔いきどはりヲ働カセタコトバ。〕　ココロニ不滿足ヲ覺エテヨロコバヌ。＝日本紀、「目ニシ見エネバいきどはろしモ」。

いきどまり（全平）名。〔行き止まり〕　ゆきどまりトオナジ語。行キハテテソノサキニ行カレナクナルコト。

いきどまル（……）自動、四段。〔生き止まる〕　生キナガラヘル。＝生キテ、此世ニトドマル。＝セイソンスル。＝生キ殘ル。

いきどまル（第四上）自動、四段。〔行き止まる〕　ゆきどまるト同ジコトバ。

●いきなり（全平）副。〔ゆき（行）なり（形）ノ義〕　コトガ行クママノナリニ。＝程度ヲカマハズニ。＝ソノママスグニ。

●いきなりさんばう（……）（第七ボ）（第五上）根。〔……三寶〕　いきなりト同ジコトバ。物ヲナゲヤリニスルコト。＝「いきなりさんばうノウマレッキ」。

△いきにへ（（第四エ））（第四上）名。〔生き贄〕　いけにへノ轉。

いきにんぎやう（（第五キ））（第六ヨ）（第五、六合）（第三上）名。〔……人形〕　マコトノ人間ノヤウニ拵ヘタ人形。オモニ人間グラヰノ大キサニ造ッタモノヲイフ。

いきのこル（全平）自動、四段。〔……殘る〕　イキトマル。

いきのした（第一上）名。〔息の下〕　臨終ノトキノ息ヅカヒ。＝息ガ絶エサウデアッテ、カスカデアルコト。＝竹取物語、「御コヽハ如何オボサルルト問ヘバいきのしたニテ」。

いきのね（……）名。〔……の根〕　（一）息ノモト。（二）〔轉ジテ〕イノチ。＝イキノヲ。

○いきのを（第四上）名。〔……の緒〕　（一）玉ノ緒＝イノチ。＝イキノヲ。＝メイコン。（二）〔轉ジテ〕イノチ。＝カギリ。＝萬葉集、「いきのをニ思ヘル吾ヲヤマヂサノ花ニカ君ガウツロヒヌラン」。

＋＋△いきはぎ（（第四キ））（全平）名。〔生き剝ぎ〕　イキテ居ル動物（オモニ獸）ノ皮ヲソノママ剝グコト。

いきはだ（……）名。〔……膚〕　いきはだたちノ略。

いきはだ（第三上）名。〔意氣肌〕　イキナ

肌アヒ。＝キホヒハダ。

●いきはだかル（全平）自動、一。〔はだかるハひろがるナドノ義〕　イキノコル。＝セイソンスル。＝「いきはだかつテウキメ見ンヨリ、死ヌルガマシヂヤト思フワヤイ」。

◎いきはだかるハ不平ノココロヲ含ミ、自然ニソノ語ノウラニ「ムナシク」トイフ義ヲ持ツ＝即チ、ムナシク生キノコル義ノヅミモ無イソニ生存スル義。

いきはだたち（第三上）名。〔生き膚肌〕　昔ノ刑罰ノ一種。生キテ井ル人ノ肌ヲ傷ツケルコト。延喜、縫殿式、「國ツミトハいきはだたちシニハダタチ」。

いきはだ（……）名。〔生き恥ぢ〕　生キノコッテ居テ受ケル恥ヂ（しにはぢノ對）。＝馬琴、「二分狂言」、「ノ繪馬思フヤウ、此ママニテソコラヲブラッカバ忽チヤマシノ手ニワタリテ、而國アタリノヨシズ張リニいきはぢヲサラサンド」。

いきはり（……）名。〔意氣張り〕　意氣地ト張リト。＝異本洞房語園、「ホカヨリ吉原ヘ來リシ女郎ハイマダハリモナクテ客ヲフルナドト云フコトハナシ。去レバいきはりモナク、フラズト云フ意味デ散茶女郎ト云ヒケリ」。

◎語彙、言海共ニコノ語ヲ解シテ「いきぢヲ張ル」トノ義ニシタハドウイフモノカ？　はりトイフ語ガナイナラ知ラズ、此洞房語園ノ引用ニサヘ既ニ此はりハ有ル處デ、コトサラニ「張ル」ト附會スルノハ穩カデナイ。

いきはり・づく（全平）名。〔づくハあそびづくナドノづく〕　（一）イキハリヲ盡クスコト。＝娘節用、「今ハマコトノいきはりづくダガ」。（二）イキハリヲ盡クスシカタ。

いきは

▲いきばル　(第三上)自動、四段。〔息張る〕　息ヲ腹ノ中ニ張リツメルコト。＝イキム。

△いきぶれ　(全平)名。〔行き觸れ〕　キタナラシイ物ニ行キ會ヒ、ソレニフレタノヲケガレトスルコト。＝シヨクヒ。＝フミアハセ。

いきぼとけ　(第三上)名。〔活き佛〕　生キテ現世ニ在ル佛、即チ德ノタカイ法師、又ハ俗人ナドヲ敬ッテ云フ語。＝十訓抄、「サバカリいきぼとけノチンゴロニ云ヒ出デタマヒケルモノナレバ」。

いきばひ　((第三オ、第四イ))〔……名。〔(勢)ひ〕　(一)イキホフコト。＝イキホフ力。＝人ニ打チ勝ッチカラ。＝人ヲ壓服スルチカラ。＝井リヨク。＝井クワウ。＝源氏、「春宮ノ御オホチニテ遠ニ世ノ中ヲ知リタマフベキミギノオトドノ御いきばひハ物ニモナラズオサレタマヘリ」。(二)盛ンナ氣。＝「火ノいきばひ」。＝「水ノいきばひ」。

いきばひ・こむ　((……))〔……自動四段。〔……込む〕　イキホヒヲ加ヘル。＝イサム。

いきばフ　((第三オ、第四ウ))〔……自動四段。〔いき(息)きばふ(勢)ノ義〕　氣ガサカンニ立ツ。

いきまく　(第一上)自動四段。〔息卷く〕　セキ込ンデ息ヲ號クスル。＝八犬傳、「いきまき、アラク罵ッテ」。

●いきみ　(全平)名。〔……み〕　いきむノ名詞體。スベテイキムコト。

△いきみ　(第二上)名。〔生き身〕　生キテ居ルカラダ、即チ現存ノ人間。＝近松、博多小女郎浪枕、「いきみニハ餌ジキアリ。人間一人ウマルレバ乳アサト云フ天道ノ御フチカタ」。

いきみたま　(第三上)名。〔……御魂〕　(一)舊曆ノ七月ニモテナサレル生者ノ魂。(二)舊曆ノ七月八日カラ十三日マデ日ヲ撰ンデ生者ヲモテナス儀式。(三)轉ジテ、盂蘭盆會ニ子供タチガ、現在ノ吾ガ產ミノ親、又ハ目ウヘヲ馳走スルコト。

●いきム　(全平)自動、四段。〔いきヲ働カシタモノカ？或ハいきづむノ畧カ？〕　イキヲハラノナカニ張ル。＝イキバル。＝イキヅム。

△いきめぐらフ　((第四ク、第五ロ、第六ウ))(第一上)自動、四段。　イキナガラヘヲ人ナドニメグリアフ。

いきもの　(全平)名。〔生き物＝活き物〕　生キテ井ルモノ。＝スベテ、命ノアルモノ。＝ドウブツ。＝キケイ。

○いきやう　((第三ヨ、第二三合))(第一上)名。〔異香〕　ヨノツネデナイカヲリ。＝いきやう馥郁。＝近松、釋迦如來誕生會、「天ニ音樂、いきやう薫ズ」。

○いきやう　((……))〔……名。〔(……)鄕〕　知ラヌ國。＝ヨソノクニ。＝タコク。＝ヨソグニ。

いきやう　((第二キ、……))(全平)根。〔(異形)〕　ヨノツネデ無イカタチ。＝類ノ無イカタチ。＝フシギナカタチ。＝アヤシムベキカタチ。＝近松、釋迦如來誕生會、「黑雲サットタナビキワタリ、夜叉ノ如キいきやうノモノ忽然ト現レ」。

いきやう　((第三)第五ヨ)(第二上)根。〔意氣揚揚〕　イバッテ、サモコレ見ヨガシト云フ體デアルコト。

いきやう・やう　((……))〔……副。〔……〕　前ノ副詞體。＝イキヤウヤウト。

いきやう・と　((……))(第一上)副。〔……と〕　いきやうやう(副)ト同ジモノ。

++いきやすめ　(第三上)名。〔息休め〕　イキヲ休メルコト。＝イキッギ。

++○いきよ　((第二、三合))(第一上)名。〔夷蹞〕　アグラ。＝左右ノ足ヲ組ミ合ハセテ、スワルコト。

いきりやう　((第四ヨ、第三、四合))(第二上)名。〔生き鹽〕　しりやうノ對。ソノ人ハ生キテ居ナガラ猶他ニ祟ルトイフ其人ノオモヒ。＝イキスダマ。

いきル　(全平)自動、四段。　(一)激クナル。＝ホテル。(二)〔轉シテ〕イキホヒガ加ハル。

●いきル　(第二上)自動、二。〔(生)きる〕　いく(生)ノ近體。

●いきれ　(全平)名。　イキレルコト。＝「密封シタ故いきれガカカル」。

●いきれ・くさイ　(……)形。　イキレテ一種ノニホヒガ立ツ。

●いきれ・くさ・み　(第五上)名。　イキレクサクアル度合ヒ。

いきれ・ぜみ　(第三上)名。　常陸ノ方言。なつのぜみノ一名。

●いきれル　(全平)自動、二。　蒸レル。＝アツサニ蒸サレテ臭クナル。＝ホテル。

◎スベテ物ヲ密封シテ長ク空氣ノ流通ガ乏シクナリ、ソレカラシテ蒸レタナドニ、此語ヲオモニツカフ。

○いきわかル　(第三上)自動、下二。〔生き別る〕　生キテ居テ別レル。(しにわかるノ對。

++いきわかれ　(……)名。〔……れ〕　生キワカルコト。(しにわかれノ對。

いきわたり　(全平)名。〔行き亘り〕　ゆきわたりトオナジ語。物事ニ心ヅクコト。＝「いきわたりノイイ大畫」。

いきわたル　(第四上)他動、四段。〔……る〕

ゆきわたる＝同シ語。同義。

いきをさめ　(第三上)名。〔息收め〕　イキヤスメ。＝イキッギ。＝「いきをさめノオモノ」。

いく　(第二上)自動、他動、兩用、四段。〔(行)く〕　ゆくト同ジ語。同義。

○いく　(第一上)自動、四段。〔(生)く〕　次ギノ語ト同ジモノ。

○いく　(第二上)自動、上二。〔……〕　息ガアッテ此世ニ居ル。＝ヨミガヘル。＝生キカヘル。＝蘇生スル。＝イキル。

○いく　(第一上)他動、下二。〔……〕　イカス。＝「死人ヲいくる」。

いく　(……)他動、下二。〔前ノ語ノ轉〕　(一)ウツハ(器)ノ中ノ水ニサシテ生ヲ保タセル(草木ノ枝ノル井)。＝兜軍記、「箇ニいけタル牡丹花ノ水アグカネシ風情ナリ」。(二)〔轉シテ〕ウヅメテ置ク、炭、火ナドヲ。＝淺非了意、東海道名所記、「又ハ目ノッブレタルスリ鉢ノ火ヲいけ」。(三)種ニテタテル。＝「柱ヲいけル」。

○いく　(……)接頭。〔(幾)〕　(一)物ノ數、又ハ數ノ分ラストキニ代用スル接頭語。＝ドレホドノ。＝ドノクラ井ノ。＝何程ノ。＝「いくタビ」。＝「いくヨ」。＝「いく春」。＝「いく千代」。

▲いく　(第二上)他動、四段。〔(行)く〕　東京近在及ビ北陸東北邊ノ方言。ゆく(行)ノ轉訛。

△いく・いく　(第三上)根。　ユックリ。＝ユッタリ。

いくか　(第一上)名。〔(幾日)〕　(一)ドレ程ノ日數。(二)タクサンナ日數。＝萬葉集、「秋タチテいくかモアラネバ此チヌル朝ケノ風ハタモト寒シモ」。

△いくくム　(第三上)自動四段。〔いき(息)こむ(込)ノ義？〕　イカリヲ含ム。＝立腹ヲハラム。＝イキドホル。

++いくさ　(……)名。〔(軍)〕〔いかし(嚴)ノ義？〕　(一)ヘイソツ。＝グンゼイ。＝ヘイシ。＝日本紀、「コハキいくさ」。(二)兵卒ト兵卒トノアラソヒ。＝タタカヒ。＝センサウ。＝カッセン。＝センタウ。＝保元物語、「イノチアリテコソいくさヲモシ」。

いくさ・がみ　((第四ガ))(……)名。〔……神〕　イクサノ勝利ヲ祈ルタメニ祭ル神。主ニ北斗星。即チ北斗星ノ中ニ破軍星ガアリ、劍ノ形ニ見立テテアル所カラ。

いくさ・ごと　((第四ゴ))(……)名。〔軍事〕　子供ナドノタハムレノ名。イクサノマネヲスル遊ビ。＝イクサゴッコ。＝姿花后雛形、子守、「サアコイ、皆コイ、いくさごと。源ハミナモト義經ガ、ソコデ十六ムサシバウ」。

++●いくさごつこ　((……、第五過))(第四上)名。　イクサゴト。

++○いくさだち　(全平)名。〔軍立ち〕　イクサニ出立スルコト。＝シュッチン。＝イクサノカドデ。

++○いくさ・ならし　(第四上)名。〔……習し〕　テウレン。＝サウレン。

いくさ・にん　(全平)名。〔……人〕　イクサビト。＝グンジン。＝ブジン。

いくさ・ぶね　(第四上)名。〔……船〕　スベテイクサヲスル時用井ル舟。＝ヘイセン。＝ヒャウセン。＝ヘイカン。＝グンカン。

いくさ・ぼし　(第三上)名。〔……星〕　北斗星ノ一名。兵家デ此星ヲイクサノマッリ神トスル故。

++△いくさ・よばひ　((第六イ))(第四上)名。〔……呼ばひ〕　トキノコエ。

い・くし　(第二グ))(第一上)名。〔齋申〕〔いみ(齋)くし(申)ノ義〕　神ゴトノ時、玉又ハヌサナドヲ掛ケル榊、又ハ小サナ竹ナドノトナヘ。連歌デハ節分ノ鰯ノアタマヲヒイラギニ貫ヌイタモノヲ云フ。＝年中行司、「いぐしサスッ井ナノ夜半ノ杉障子一夜アクレバ春ニコソナレ」。＝基俊、「ミナヅキノ清キカハラニいぐし立テ、ハラフココロハ神ウケツベシ」。

○いく・せ　(全平)名。〔(幾瀬)〕　(一)イクバクノ瀬。＝ドレ程ノ瀬。(二)〔轉シテ〕ドレクラ井。＝「オモヒギヤいくせノ淀ヲシノギキテ、マノ波アヒニ沈ムベシトハ」。

○いくそ　(……)副。〔(幾十)〕〔いく(幾)を(十)ノ義〕　ナニホド。＝ドノクラ井。＝後撰集、「ミコシ岡、いくそノ代代ニ年ヲ經テ、ケフノミユキヲマチテミツラン」。＝後拾遺集、「行キカヘリ旅ニ年フルカリガネハ、いくそノ春ヲヨソニ見ルラン」。

○いくそ・ばく　(第三上)副。〔いくそハ前ノいくそト同ジモノ。ばくハばかりノ轉〕　イクバク。＝ドレホド。＝六帖、「夕陰ニ來鳴クヒグラシいくそばく日ゴトニ聞ケドアカヌコエカナ」。

▲いくた　(全平)名。〔(軍)〕〔いくさ(軍)ノ轉(餘リ多クハ云ハズ、生醉ヒナドノ口吻トシテ使フ)〕＝櫻田治助、龍ソリヤナンギヤ？ミドモニいくたノ話ヲセイ！オオ話サウトモ、話サウトモ」。

△いくだ　(第一上)副。〔(幾何)〕　イクバク。

△いくだち　(全平)名。〔生く大刀〕　イイタチ(太刀)。＝古事記、「ソノオホ神ノいくだち」。

いくたり　(第一上)名。〔(幾人)〕　(一)ドレダケノヒト。(二)多クノ人。＝「いくたりモ居ル」。

●いくぢ　(……)名。〔いきぢ(意氣地)ノ轉カ？〕

氣象ノスルドサ。＝イヂ。＝キリヨク(下ニ必ズ反語ヲトモナフ)＝「いくぢガ無イ」。

いぐち　((第二グ))(…)名。(兎唇)　上唇ノ中程ガ裂ケタモノ。＝ミツクチ。＝近松、釋迦如來誕生會、「サアソコガ聞キタイ。何ノムクイデいぐちニハ生レルヅ？」

いぐち　((…))(…)根。(…)(前ノ語カラ轉ジテ)　スベテ上下シックリ合ハヌコト。＝「フタ物ノフタト身トいぐちニナッテ」。

●いくぢなイ　(第一上)形。(意氣地無し)　イクヂガ無イ。＝ハリアヒガ無イ。＝キリヨクガナイ。

●いくぢなさ　(第三上)名。(…さ)　イクヂナクアル度合ヒ。

●いくぢなシ　(…)名。(…し)　イクヂノ無イ性質、マタ、ソノ人。＝グウタラベエ。

いくつ　(第一上)名。(幾個)　(一)ドレダケノ數。西鶴、若風俗「聞クニアハレサ增サリテ、いくつト年ヲ問ヘバ……二十二ニナリケルトサ」。(二)(轉ジテ)澤山ノカズ。＝「いくつモアル」。

い・く・どう・ふん　(…)句。(異口同音)　口ハ違ッテモ聲ダケハ同ジトノ義。＝返辭ガイッショデアルコト。＝「いくどうふんニ答ヘタリ」。

△いくは　(第三上)名。(的)　マト。＝矢ヲ射アテルメアテニスル目ボシ。

○い・ば・く　(全平)副。(いく(幾)ばかり(計)ノ轉)　ドレクラ非。＝ナニホド。＝ドレホド。＝イクンバク。＝古今集「いくばくノ田ヲツクレバカホトトギス、死出ノタヲサヲアサナアサナ呼ブ」。

いくは・どころ　(第四上)名。(的所)　あづち同ジモノ。＝和名抄、以久波止古路。

い・ぐひ　((第二グ、第三イ))(第一上)名。(い(蟹)くひ(杙)ノ義)　神ゴトニササゲ物ヲ掛ケルタメノクヒ。＝日本紀、「いぐひヲ打チ」。

いぐひ　((…))(第一上)名。　魚ノ名。うぐひト同ジモノ。＝延喜、內膳式、「伊具比」。

○い・く・ひさ・さ　(第四上)名。(幾久さ)　イクダケアル度合ヒ。＝拾遺集、「アヒ見テハいくひささニハアラヌドモ」。

○い・く・ひさし　(…)形。(…し)　イツマデモ久シクアル。＝ナガク變ハラヌ。＝トコシナヘニ有ル。

●い・く・ひさしイ　(第五上)形。(…い)　いくひさしノ近體。

い・く・ひの・たる・ひ　(第一上)名。(いくるひ(生日)ノたれるひ(足日)ノ義)　ノリト(祝詞)ナドニツカフ語。祭リノ日ヲタタヘテ云フコトバ。イノチナガクコトガ足リル日トノ義。＝延喜、祝詞式、「いくひのたるひ」。

△い・くフ　((第三ウ))(第二上)他動、四段。「くふ(込)ノ轉」　(一)矢ヲ射込ム。(二)(轉ジテ)矢ヲ射ル。

△い・くム　(第二上、又、全平)他動、四段。(射組む)　タガヒニ射ル。＝「彼トコレト矢ヲいくむ」。

△いくゆみ・や　(第四上)名。(生く弓矢)(いくむ)　弓矢ヲ實メテハいくだちナドノいく。

○い・く・ら　(第一上)副。(幾何)　イクバク。＝いくら非。＝ナニホド。＝ドレホド。＝古今集「ウバタマノ闇ノウツツハサダカナル夢ニいくらモナニホド。」。

いけ・ず　(第二ウ)(第二上)他動、四段。(射組ず)　タガヒニ射ル。＝「彼トコレト矢ヲマサラザリケリ」。＝金葉集、「ウトマシヤ、コノ下カゲノワスレ水、いくらノ人ノ影ヲミッラン」。

△いくり　(全平)名。　石ノ異名。＝日本紀、「ユラノトノナカノいくりニ」。

○いくル　(第二上)下二、又、中二。(生くる)　いく參考。

い・くわい　((第二グ、第二(三合))(全平)根。(意外)　思ヒノ外。＝アングワイ。

い・くわん　((第二(三合))(第一上)名。(衣冠))　(一)コロモトカンムリト。＝「いくわん正シクタダシタマヒテ」。(二)袍ノウヘニサシヌキヲ着ケタイデタチ。

いけ　(第二上)名。(池)　凡テ水ヲタタヘテアル所。＝チヒサナ湖。＝和名抄、「伊介」。

いけ　(…)名。　馬關アタリノ方言。非戸ノ一名(前ノいけノ轉？)

▲いけ　(全平)接頭。　スベテ意味ヲ强メテ、ヤヤ悪ミノココロヲ含ンデ云フコトバ。あたト殆ンド同ジ意味。＝「アマアガリノ泉水、いけシヤアシヤアトシタッラヲシテ」。＝「いけバカバカシイ」。

い・げ　((第二ゲ))(第一ト)名。(以下)　イカ(以下)。＝ソレカラ下。

▲いげ　((…))(…)名。　土佐ノ方言。カミ(神)ノ一名。

い・けう　((第二キョ合))(…)名。(異教)　(一)チガッタヲシヘ。(二)(轉ジテ)チガッタ宗教。

○い・けうを　(全平)名。(活け魚)　水ヲタタヘタモノノ中ニ飼ッテ置ク魚。

いけ・がき　((第三ガ))(第二上)名。(いき(生)かき(垣)ノ義)　イキタ木ヲ植エッラヱテ、其ママ垣根トシタモノ。

いけ・ごひ　((第三コ、第四イ))(第三上)名。(活け鯉)　飼ッテ置イテ、不時ノ用ニ備ヘルタメノ鯉。いけうをト同ジココロ。

いけ・す　(全平)名。(活け洲＝(籔))　スベテ魚ヲ飼ッテ置クトコロ。和名抄、(籔以介

須)。

▲いけず　(…)名。　西京ノ方言。ツムジマガリ。＝チヂケモノ。

いけ・ずみ　(第二上)名。(活け炭)　スベテヨクモエタセルタメノ炭。

いけだ・ずみ　(第三上)名。(池田炭)　摂津ノ國、池田村邊カラ出ス炭。クヌギヲ用非ル。＝イチクラズミ。＝淺井了意、東海道名所記、「金銀ソキセル取リソヘ、いけだずみヲ富士灰ニウヅミ」。

++いけ・づくり　(…)名。(活け作り)　魚ヲ活キテ非ルママ洗ヒナドニシ、食用ニ供スルモノ。

▲いけ・どし　(第四上)名。　年ノ意味ヲ强メテ云フ語(オモニ二グミ、ウラミ、又ハアタケタ時ナドニッカフ)。＝谷峨、傾城買二筋道、「いけどしヲシテ馬鹿ヤオロカト笑ハイデ」。

◎イクラカ年齡ノアルモノニ此語ハ用非ラレ得ル。實際子供ナドハヨシ多少ノ年齡ガ有ルニシロ、コノ方ニハ用非ヌ。ツマリ此語ハ年齡ノ數ヲ多ク持テバ持ッダケヨク用非ル。＝「六十トイフいけどしヲシテ」。＝「フンベッザカリノいけどしノクセニ」ノ類。　タダシ「コトシ十五トイフいけどしヲシテ」ト言ハヌ。

いけ・どり　(…)名。(生捕り＝(擒))　(一)生キタママ捕ラヘルコト。(二)(轉ジテ)生キナガラ捕ラヘタ人。＝平家物語、「平氏ノいけどりドモ」。

いけ・どル　(第三上)他動、四段。(…る)　(一)生キナガラ捕ル。＝「人ヲいけどる」。(二)スベテ、ソックリソノママ取ル。＝捲キ上ゲル。＝「テレンテクダデ、客ノ金ヲソックリいけどる」。

いけに・へ　((第四ニ))(第四上)名。(犧牲)　生キタママノ獸ヲ神ニ奉リ、ニヘトスルモノ。＝和名抄、「犧牲、伊介遲倍」。

++△いけ・はぎ　((第四ギ))(全平)名。(生け剝ぎ)　(一)ケダモノナド生キタママ皮ヲ剝グコト。(二)アマッツミノ一ツ。＝古事記、「いけはぎ、サカハギ」。＝古語拾遺、「いけはぎ、サカハギ」。

△いけ・ばな　(第二上)名。(生け花＝活け花)　草木ノ枝ナドヲ花器ニ挿シ、水デ活ケル一種ノ手ワザ。本ハ立花カラ分カレタモノ。枝ヲ色ノフリニタメテ造ル。＝西鶴、若風俗「同ジ枕ニ花室ニ假寢セシニ、其法師コソ見ヱネ、いけばるハ毎日カハリタル」。

いけ・ふ　((第二ギョ合、第二ウ))(第一上)名。(醫業)　醫術ノ職業。

いけ・ぶくろ　(全平)名。(生け袋)　鷹ノ餌ブクロ。(主ニイキ餌ヲ其ママニ入レテ置ク故ニ云フ)。

いけ・ぶね　(第二上)名。(…船)　イケ魚ヲ入レテ置クウツハ。＝ミヅブネ。＝西鶴、置土產、「金魚、銀魚ヲ賣ルモノアリ。庭ニいけぶね七八十モナラベテ」。

いけ・ま　(全平)名。(いかし(活)うま(馬)ノ義)　ツル草ノ名。莖、フル根カラ蔓ヲ出ス。葉ハスベコク、薄ク、圓ク、夏ノ末、葉ノ間カラ小サナ五瓣ノ、白イ花ガ咲ク。花モ實モカシウダマニ能ク似タモノ。主ニ馬ノ病ヒニ利ク所カラ馬醫ノ用トナル。＝ギユウヒセウ。

○いけ・みぐさ　((第四グ))(第三上)名。(池見草)　＝池水草。

○いけ・みづ　(第二上)名。(…水)　池ノ中ニタタヘテアル水。＝新古今集、長家「年ヲ經テ住ムベキ宿ノいけみづハホシアヒノ影モオモナレニケリ」。

○いけ・みづの　(…)枕。　(いけみづ(池水)トいひ(槭)ト縁ノアル所カラ轉ジテ)いひニ掛カル枕コトバ。＝續千載集、定頼、「いけみづのいひタエヌトヤ思フラン、深キ心ハイツカハルベキ」。

●いける　(…)他動、二。　いく(下二)ノ近體。

●いけル　(第三上)自動、二。(ゆき(行)える(得)ノ約)　(一)イクコトヲ得ル。(二)スルコトヲ得ル。＝爲シ得ル。＝行ハレル。＝充分デキル。

++い・けん　(第一上)名。(意見)　(一)心ニ思フ所。＝ミコミ。＝ソンジョリ。(二)(轉ジテ)自分ノ思フトコロヲ告ゲテ人ヲ諫メルコト。＝近松、心中二枚繪草紙、「ヤア兄チヤ人御歸リカ、スヰサンナ御いけんナレドモ御身持ガサウデナイ」。

◎タダシ今日デハ此第二解義ノ意ガオモニ目シタニ對シテ用非ルコトトナル。

い・けん　(…)名。(異見)　(一)イケン。＝人トハ違フ自分ノミコミ。(二)誤ッテ(前ノ第二ノ解義ノ意ニッカフ語。

い・ご　((第二コ))(第一上)名。(以後))　ソノチ。＝ジゴ。＝コレカラノチ。

▲いご　((…))(第二上)名。(飯櫃(いひ(飯)こ(籠)ノ義カ？)　西京ノ方言。オハチ。＝メシビツ。

▲いご　((…))(…)名。　筑前ノ方言。魚ノ名。いひぎりノ一名。

い・こう　(第一上)名。(已講)　僧ノ職名。あじやりト同ジクラヰ。＝拾芥抄、僧正、僧都、律師、法印、法眼、法橋、謂之僧綱。已講、內供、阿闍梨、謂之三綱。

▲いごき（（第二ヨ））（全平、又、第一上）名。（動き）　うごきノ轉訛。

いごく（全平）名。（異國）　違ツタ國。—ヨソグニ。—グワイコク。—近松、吉野鄕女楠「コレ比丘尼殿、ソナタハいごくノ范蠡ヲヤウルルノ？」。

▲いごク（（第二ヨ））（第二上）自動、一。（動く）　うごくノ轉訛。

いごくじん（第三上）名。（異國人）　イコクノ人。—グワイコクジン。

◎コノ語ヤヤ今日ハ廢語トナル。

いごくせん（全平）名。（……船）　イコクノ船。—グワイコクセン。—内藤忠明、内守錄「いごくせん二念ナクウチハラヘトノコトハ」。

◎コノ語ヤヤ今日ハ廢語トナル。

いごくばり（……）名。（……張り）　フルイ着物ヲ洗ヒ張リシテ、アタラシイヤウニスル仕方。西洋風ニスルト云フ所カラ名付ケル。

△いごズ（……）他動、四段。　根ノ付イタママニ掘ル（植物ナド）。—萬葉集、「コヅノ春いごじテ植ユシワガ宿ノ若木ノ梅ハ花咲キニケリ」。

●いごぢ（全平）根。（依怙地）　えこぢの轉。同義。

△いごのフ（（第二ヨ））（第四ウ）（第三上）他動、四段。（いごハ人ヲ罵ル語トイフ。のふハつゞのふナドノのふ）　ののしるノ古言。—古事記、「伊甚能布曾」。

○いごフ（（第三ウ））（第二上）自動、四段。（息ふ）（いき（息）ヲ働カシダコトバ）　息ヲイレル。—キウソクスル。—ヤスム。

いごヲ（（……））（第三上）他動、下二。（……）　イコハセル。—休マセル。—休息サセル。—日本紀、「百性ノ苦ヲいごへヌ」。

いごム（全平）他動、四段。（射込む）　矢ヲ射ツヲ中ヘ入レル。—「木ノミキニいごむ」。

いごもル（第三上）自動、四段。（いゐ齋ノ義）　柄、「コレ比丘尼殿、ソナタハいごくノ范蠡ヲヤウルルノ？」。

△いごやか（第二上）根。　身ノタケノタカクアル事。—イコヨカ。

いごよか（……）根。（岐嶷）　いごやかト同ジ語。—日本紀「生マレテいごよかナルスニ云フ」。

△いごやかニ（……）副。　いごやかノ副詞體。クアル事。—イコヨカ。

いごよかニ（……）副。　いごよかノ副詞體。ジ語。—日本紀「生マレテいごよかナルスガタアリ」。　ドウデアラウカ（其下カラダヲキヨメテトヂコモル（參籠ナド

△いさ（第一上）副。　ドウデアラウカ（其下カナラズ知らずト云フ語ガ付ク）。—「人ハいさ心モ知ラズフルサトハ花ゾ昔シノ香ニホヒケル」。

いざ（……）感。「いざハいざなふノいざ」。　人ヲイザナフ時、マタハ心ナドガハヅム時ニ出ス聲。—イデ。—サア。—ドレ。—ドリヤ。—古今集、「カガミ山いざ立チヨリテ見テ行カン雪見ニコロブ所マデ」。

いさ・がに（（第二ガ））（全平）名。　蟹ノ名。しはらがに、しはがに、ノ一名。

いさがは・まつり（（……、第四ワ））（第五上）名。　一名さゐいさがはまつりト同シ。

いさ・ぎよ・さ（（……））（第三上）形。（……し）　二月ノ十二日ノ始メノ酉ノ日ニイサガハノヤシロデ行ハレル祭リ。

（（……））（全平）名。（……）　（一）甚ダ潔ク性質ガ。—「いさぎよき心根」。（二）勇ノ念ガナイ。—潔白デアル。—ケガレニシマヌ（心マタハ性質ガ）。—「いさぎよき水」。（三）アル。ピレヌ。—ヒリヒリトシナイ。—「いさぎよく往生シニケリ」。

いさ・ご（（第三ヨ））（全平）名。（いし（石）ノ（子）ノ義？）　スナ。—コシヤリ。—スナゴ。—ドシヤ。—和名抄「以左古」。

△いさ・ご（（第二上））名。（いさご（小）ノ（子）ノ義？）　色色マジツタル小魚。—ザコ。—呉竹集、「いさご、小サキ魚ノ子ナリ」。

○いさ・ご・ち（（第三ヨ））（第三上）名。（砂地）　マサゴヂ。—スナヂ。—スナノ多クアル路。

いさご・むし（（……））（……）名。（砂蟲—（石鑑））（砂ノ中ニ井ルユニノ名）　蟲ノ名。流レ河ノ石ノ上ニ居ルモノ。脊ニ小ツナ砂ヲシヨツテ石ニ付ク。形ハかひとニ似、長サハ五六分、色ハ淸茶色、釣リノ餌ニナル。後ニ羽化シテ飛ブ。—セムシ。—ケラ。—タンコロボ。—ゲナ。

△いさき（全平）接頭。（小）　チイサナ。—イザサカナ。—ワヅカナ。—「いさき川」。—「いさきムラダケ」。

いさざ（……）、又、第一上、又、第二上）名。（鱗魚ノ名。兵庫、駿河ナドニ多クアル。冬、眞水ノ中ニウマレ、春夏ノ間トラヘル。身體ハ小サク、長サハ一寸バカリ、身ハ白クテヤヤ黑味ガアリ、身ハどぢようノヤウニヌルヌルスベル。乾セバシラスボシトナル。—トロメン。—ドロメン。—シラス。—シラスタツクリ。—シラスナゴ。—シヤミ。—コアイ。（二）近江ノ琵琶湖邊ニ居ル魚ノ名。大キサ一寸バカリ。頭ガヤヤマルクテハセ（沙魚）ニ似タモノ。—サノボリ。（三）越前ニ產スル魚。近江ノト同ジタグヒ。鮨ニスル。—ウルリコ。

いさざるか（第二上）根。（聊か）（いハ發語、さざか（細小）即チささやかノ義）　（一）ワヅカ。—スコシバカリ。—サセウ。—源氏「世ニいささかモ人ノ心ヲ曲ゲタル事ハアラジトオモフヲ」。（二）カリソメ。—チヨツト。—サンジ。

いささか（……）副。（……）　前ノ副詞體。—イササカニ。

いささか・に（……）副。（……に）　いささか（副）ト同ジ義。

○いさ・ぎ（（第四上））形。（……けし）　イササカノアリサマデアル。—スコシバカリデアル。—續日本紀「いさぎけきコトハ今ノ御門行ヒタマヘ」。

○いさ・ぎ（……）名。（……葉）　イザサカ（（第四上））形。（……）　（一）ワヅカバカリ。（二）カリソメ。—古今集、紀乳母「いささめニ時マツマニゾ日ハヘヌル、心バセヲバ人ニ見エツ」。

○いささめ・に（……）副。　いささめノ副詞體。

○いざ・さらば（第一上）感。（さらばハさからば（然らば）ノ約）　人ヲサソツタリ、又ハ自分ガ是カラ何カシヤウト云フトキニ出ス聲。—ソンナラ。—サヤウナラバ。—「いざ」。

△いざ・せ（……）副。（いざハ爲）ノせ）　人ヲイザナフ語。—萬葉集、「アサヨヲヲヲケニフスサニウマズトモ、アスキセサメヤいざセヲドコニ」。

△いざ・たまへ（（第五ヨ））（……）及（第四上）句。　いざませたまへト同ジコトバ。—イザセ。

△いざッ（全平）自動、上二。　アシズリシテ泣ク。—ドウコクスル。—古事記「ヤツカヒゲムナサカニ至ルマデ泣キいさちキ」。—日本紀「啼泣（訓イサチテ）」。

△いざ・ち（第一上）根。（癡聰）　メザトクアルコト。—目ガサメヤスクアルコト。

いざ・と（……）副。　イデヤト。—サアト。—「いざとしバカリニ歸ル人」。

○いざ・とし（第二上）形。（い（寢）ざとし（聰）ノ義）　メザトイ。—目ガサメヤスイ。—源氏「いざときココチスル夜ノサマナリ」。

○いざ・と・よ（全平）句。　イヤサウデモ無イナド云フ時ニツカフ語。—「いざとよヤガテ歸リタマフベキニ、シバシ待タセタマヘ」。

△いさ・な（……）、又、第二上）名。（いさ（勇）な（魚）ノ義）　くぢらノ古言。

○いさな・どり（第三上）枕。　うみ、はま、なだノ枕詞。

++○いさなひ（（第四イ））（全平）名。（誘ひ）　イザナフコト。—サソヒ。—モヨホシタテ。

○いざなフ（（第四ウ、或ハ第三ノ））（……）他動、四段。（誘ふ）　ツレテ行ク。—ミチビク。—モヨホシタテル。—サソフ。

△いさ・の・まなゐ（第一上）　あののぬなゐトオナジモノ。

いさ・は（全平）名。（斑葉）　草木ノ葉ナド、アタリマヘハ緑デアルノニ、ソレト變ツテ白黃ノ筋、ホシ、ヘリ、モヤウナドノアル物ノトナヘ。—フイリ。「いさはノ萬年青」。—「いさはノッヤブキ」。

△いさ・は（……）名。（いそべ（磯邊）ノ轉）　ヒモノ、シホモノナドヲ賣ル商賈、又、ソノ人。—イサバヤ。

△いさば・や（……）名。　ヒモノ、シホモノナドヲ賣ル家。又、ソノ人。—イサバ。

△いさフ（（第三ウ））（……）他動、四段。（訶）（罵）　シカル。

○いさまし（第三上）形。（勇ましし）　イキホヒガ强イ。—タケダケシイ。—ヲヲシイ。—ヲ來ルコト。—平家物語、「六日ノシヤウブニ合ハヌ花、いさかひはててのちぎりきカナトゾ思ハレケル」。

いさかフ（（第四ウ、或ハ、第三ヨ））（……）自動、四段。（……ふ）（いひさかふ（言逆）ノ義）　コトバデアラソフ。—口論スル。—イヒアフ。—コトバダタカヒスル。—源氏、「今日モイミジクいさかひタマヒケリ」。

いさき（第一上）名。　魚ノ名。夏カラ秋ニカケテヨク捕レル。形ハせいごノヤウデヤヤ圓ク、色ハ鼠色ニ、茶色又ハ赤味、又ハ濃色ヲ持ツ。脇ノ上ニ、黃イロイ筋ガ一ツ。煮テモ燒イテモ料理ニツカフ。—オクセイゴ。

いさき（……）名。（いつ（五）さき（尖）ノ轉訛ト云フ）　あをきりノ一種。實モ葉モあをきりニ似、且ツ葉ハ多ク五ツニ劃レ、葉裏ハヒカリ、實ハ食用ニナル。皮カラ繩ヲツクル。—イツサキ。—ツシマギリ。

●いさ・ぎよイ（（第三ヨ））（第四上、又、第三上）名。（潔い）　いさぎよしノ近體。

いさ・ぎよ・さ（（……））（……）名。（……さ）　イサギヨクアル度合ヒ。

○いさ・ぎよシ（（……））（……）形。（……し）　（一）甚ダキヨイ。—「いさぎよき水」。（二）勇劣ノ念ガナイ。—潔白デアル。—ケガレニシマヌ（心マタハ性質ガ）。—「いさぎよき心根」。（三）アル。ピレヌ。—ヒリヒリトシナイ。—「いさぎよく往生シニケリ」。

いさ・ご（（第三ヨ））（全平）名。（いし（石）ご（子）ノ義？）　スナ。—コシヤリ。—スナゴ。—ドシヤ。—和名抄「以左古」。

△いさ・ご（（第二上））名。（いさご（小）ご（子）ノ義？）　色色マジツタル小魚。—ザコ。—呉竹集、「いさご、小サキ魚ノ子ナリ」。

○いさな・どり（（……））副。　イデヤト。—サアト。—「いさなどとバカリニ歸ル人」。

○いさなひ（（第四イ））（全平）名。（誘ひ）　イザナフコト。—サソヒ。—モヨホシタテ。

○いざなフ（（第四ウ、或ハ第三ノ））（……）他動、四段。（誘ふ）　ツレテ行ク。—ミチビク。—モヨホシタテル。—サソフ。

△いさ・の・まなゐ（第一上）　あののぬなゐトオナジモノ。

いさ・は（全平）名。（斑葉）　草木ノ葉ナド、アタリマヘハ緑デアルノニ、ソレト變ツテ白黃ノ筋、ホシ、ヘリ、モヤウナドノアル物ノトナヘ。—フイリ。「いさはノ萬年青」。—「いさはノッヤブキ」。

△いさ・は（……）名。（いそべ（磯邊）ノ轉）　ヒモノ、シホモノナドヲ賣ル商賈、又、ソノ人。—イサバヤ。

△いさば・や（……）名。　ヒモノ、シホモノナドヲ賣ル家。又、ソノ人。—イサバ。

△いさフ（（第三ウ））（……）他動、四段。（訶）（罵）　シカル。

○いさまし（第三上）形。（勇ましし）　イキホヒガ强イ。—タケダケシイ。—ヲヲシイ。—

ユウキガアル。

●いさましイ（第四上）形。〔……い〕　いさまし・さ（第三上）名。〔……さ〕　イサマシクアル度合ヒ。

●いさみ（全平）根。〔……み〕　イサマシクアルコト。—イキホヒノイイコト。—「豆シボリノ手ヌグヒ、顔ツキヲいさみニシ」—「いさみノアニイ」。

++いさみ（……）名。〔……〕　イサムコト。—「いさみガ付ク」。

▲いさみ（……）名。　出羽ノ方言。さけ（酒）ノ一名。

●いさみ・はだ（第四上）根。〔勇み肌〕　（一）キホヒ肌ノモノノナリフリ、姿、樣子。（二）〔轉ジテ〕イサミノ姿ノアルコト。

△いさみやム（全平？）他動、四段。　キンダンスルコト。—呉竹集、「いさみやむ禁斷ナリ」。

いさム（……）自動、四段。〔勇む〕　イキホヒコム。—氣ガハヅム。—ココロガハヤル。

いさム（第三上）他動、下二。〔諫む〕　トドメル。—イケンスル。—イマシメル。—人ノ惡イ所行ヲソノ人ニ知ラセテソレヲ改メサセルヤウニスル。—伊勢物語、「繼シクバ來テモ見ヨカシ千早フル、神ノいさむるミチナラナクニ」。—夫木集、仲正「鳥居タツアフサカ山ノサカヒナル手ムケノ神ヨワレナいさめソ」。

◎昔ハ此語ヲ相手ニ限ラズ用ヰタモノノ、後世トナッテ主ニ目上ニ對シテイマシメル時ノ場合ヒニツカフ。

++いさめ（全平）名。〔いさむ（他動、下二）ノ名詞體〕　諫メルコト。—イケン—カンゲン。

△いさめ（……）名。〔い（寢）さめ（覺）ノ義〕　ねざめト同ジ語。—六帖、「アヅマヂノいさめノ里ハ初秋ノ長キ夜ヲヒトリ明カスワガ名ゾ」。

●いさめル（……）他動、二。〔諫める〕　いさむ（他動、下二）ノ近體。

++いざよひ（第四イ）名。　イウヨスルコト。—イサヨフコト。—チユウチョ。—タメラヒ。

○いざよひ（……）名。〔十六夜〕　（一）いざよひのつきノ略。（二）〔轉ジテ〕陰曆ノ十六日、又ハ十六夜。—キバウ。

いざよひ・ざくら（……）（第五上）名。〔……櫻〕　さくらノ一種。伊豫ノ道後ノ產。陰曆正月十六日頃ヒラクトイフ。

いざよひ・ばら（……）（第三上）名。〔……薔薇〕　ばらノ一種。葉ハ細ク小サク、山椒ノ葉ニ似タモノ。花ハ夏開キ、大キサ三分バカリ、色ハ桃色又ハ白。駿河、甲斐ニ多クアル。—サンセウバラ。

いざよひ・の・つき（……）（第七上）名。〔夕方カラ少シ後レ、即チイザヨヒ、猶豫シテ出ル月トノ義〕　陰曆十六日ノ夜ノ月。—イザヨヒ。

○いざよフ（第四ウ）（第三上）自動、四段。　トドマッテ動カヌ。—トドマッテ進マヌ。—イウヨスル。—チユウチョスル。—タメラフ。—ダユタフ。—ヤスム。—「いざよひノ山ノハノ月」。

△いさら（全平）接頭「いさるノ異體同種」。　少シバカリノ。—ワヅカノ。—イササカナ。—イササ。—「いさらナミ」。—「いさら水」。—「いさら非」。

い・さら・へ（第四ヱ）（……）名。〔鑄淺へ〕　モノシノ語。金屬ヲ鑄タアトヘ更ニミガキヲ掛ケ滑ラカニナルヤウニサラフコト。—マシリケガナイコト。—日本紀、「イニシヘクニいしッチいしノ

ト、「マタ、ソノモノ。—西鶴、一代女、「タクスダレニ中古ノテッツバ、いさらへノメヌキ」。

++○いさり（……）名。〔漁り〕　イサルコト。—スナドリ。あさりノ對。*あさり參考。

いさり・び（第三上）名。〔……火〕　イサリヲスル時ニタク火。—「アラシニカスム沖ノいさりび」。

いさり・ぶね（第四上）名。〔……船〕　イサリヲスルフネ。—レフセン。—ギョシウ。—スナドリブネ。

△いさル（全平）他動、四段。〔いそ（磯）あさる（探）ノ義〕　スナドル。—アサル。—魚貝ナドヲ取ル。—萬葉集、「ウナバラノオキベニトモシ、いさる火ハアカシテトモセ、ヤマトシマ見ン」。

△いざわ（第一上）感。〔わ（助辭）〕　いざトオナジ語。日本紀、「いざわいざわ」。

いさを（全平）名。〔勳＝功＝績〕　テガラ。—コウセキ。—コウミャウ。—コウ。—クン。—クンコウ。—イサヲシ。

いさをし（……）名。〔……〕　いさをしノ名詞體。いさをト同ジ意味。

△いさをし（第三上）形。〔……し〕〔いさをヲ働カセタモノ〕　骨ヲ折ル。—セイヲ出ス。—ツトメル。—キンベンスル。—日本紀、「懷至忠之誠（訓至忠之、イサヲシキ）」。

△いさをし・びと（第四上）名。〔……人〕　イサヲノアル人。—ガウユウナ人。

いさん（第一上）名。　殘ッタ財產。—アトシキ。—「いさんノ配分ヲアラソフ」。

△いし（第二上）根。〔稚〕　ウヒウヒシクアルコト。—ケガレニ染マヌコト。—マシリケガナイコト。—日本紀、「イニシヘクニいしッチいしノ

トキ」。

いし（……）名。〔石〕　スベテカタイ鑛物ノ名。普通ニハ岩ヨリモ小サク、砂ヨリモ大キイモノ。ドダイ、橋ソノホカ建築ナド色色ニツカフ。—和名抄、「以之」。（二）ごいしノ略。

い・し（第一上）名。〔醫師〕　イシヤ。—クスシ。—スベテ醫ヲ業トスル人。

い・し（……）名。〔意思〕　ココロザシ。—カンガヘ。

△い・し（全平）名。〔椅子〕　いし（椅子）ト同ジ語。四角デ手スリノアル高座。—源氏、「オハシマス殿ノヒンガシノヒサシ、東向キニいしタテテ」。

○いし（第一上）形。〔よし（善）ト異體同種〕　（一）イイ。—ミゴトデアル。—氣ニカナフ。（二）ウマイ（味ナドガ）。—「いしき好ミ」。（三）巧ミデアル。—テギハガ巧イ。—「いしくモシオホセタルカナ」。（四）殊勝デアル。—神妙デアル。—ケナゲデアル。—近松、釋迦如來誕生會、「オオいしくモシタリト引キ寄セ、ユラリト召スママニ」。

△いし（全平）天爾。　古代ノ語。多ク語ノ終リニツカフ。—續日本紀、「ココオモテ御子タチオホオミノ子タチ治メタマフいし」。（第一上）名。〔異事〕　普通デナイコトガラ。—非常ノコト。

++いし・あはせ（第四ワ）（第三上）名。〔石合はせ〕　イシナゴノ石ヲ左右アハセカチマケヲスル遊ビ。

△いし・あやめ（……）名。〔石菖蒲〕　草ノ名。秤類ハ甚ダ多ク、葉ハ細ク菖蒲ノ小サイノヤウデ、兩端ハ薄ク、春ノ末ニ莖ヲヌイテ穗ガ出ル。根ノ長サハ一二寸。細クテ薄綠ノ色ノモノ。根ハ菖蒲ト同ジク節ガ多ク、同ジク又香氣ガ甚ダ高イモノ。藥用ニモナル。—セキシャウ。

▲いし・いし（……）名。〔カタクテ石ニ似タト云フ義〕　御殿女中ナドノ語。だんごノ異名。

△いし・いし（第一上）根。〔以次ノ字音〕　ダンダント、ヒキッヅクコト。

△いしいし・に（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

いし・いも（全平）名。〔石芋＝野芋〕　芋ノ一種。暖國ニ自然ニ生ヘル。食用ニハナラヌモノ。—クハズイモ。—マンヂュウイモ。—ドクイモ。

いし・う（第一上）名。〔異宗〕　いしゆうノ略。チガッタ宗旨。—「いしうノ人」。

いし・うす（第三上）名。〔石磑〕　石デツクッタスリウス。

++いし・うち（全平）名。〔石打ち〕　（一）△子供ナドガ小石ヲ互ヒニ打チ付ケアフ遊ビ。（二）小石ヲ打チアフタカヒ。（三）いしうちのはぬノ略。

いしうち・の・そや（第六上）名。〔……の征矢〕　イシウチノハネデハイダ矢。

いしうち・の・はね（全平）名。〔……の羽〕　鷲ノ尾ノ羽ノ名。尾ノ左右ノハシ、第一第二ノ羽。キハメテ丈夫ナモノ。

いしうちの・やなぐひ（第八ク、第九イ）（第七上）名。〔……胡籙〕　イシウチノソヤヲ入レタヤナグヒ。—源平盛衰記、「義仲アカヂ錦ノ鎧ヒタタレニ紅ノ衣カサネテいしうちのやなぐひニ紮オドシノ鎧ヲ着テ」。

いし・うら（全平）名。〔石占〕　石ヲ並ベ數ヲ調ベナドシテ、吉凶ヲ占フ一種ノワザ。ムカシ行ハレタモノ。ハヒウラ、アシウラ、タタミサンナドノ類。—イハウラ。

いし・かき（第四上）名。〔石垣〕　石デ積ミ上ゲタ垣。—イシガキ。—イシガケ。

いし・がき（第三カ）（全平）名。〔……〕　イシカキ。

△いし・かき・くづれ（第五上）名。〔……崩れ〕　（一）イシカキノクヅレ。（二）〔轉ジテ〕モト然ルベクアッテ後ニワルクナルコト。マタ、ソノモノ（オモニオチブレタ人ニイフ）。西鶴、一代女、何ト御內義、メヅラシイモノハ無イカト庭ニ立チナガラ言ヘバ、京ノいしかきくづれナリト、サル御牢人衆ノムスメゴナリト、新町デ天神シテ居タ女郎ノハテナリト」。

●いし・がけ（……）（全平）名。〔……〕　いしがきノ轉。同義。

いしがけ・ともん（……）（第五上）根。〔……小紋〕　石垣ノ形ニ染メ出シタ小紋。

いしがけ・しぼり（……）名。〔……絞り〕　石垣ノ形ニ絞ッタシボリ。

いし・がに（……）（全平）名。〔石蟹〕　タニアヒナドニ居ルかにノ名。身小サク、カラ堅クテ赤ク、賤民ノ食ニナル。—ヤマガニ。（二）又、前ノかにノ化石シタモノ。—イシノカニ。—和漢三才圖會、「いしがに」。

いし・かは（第四ウ）……名。〔石川〕　石ドコノ河。—石ノ多クアル河。

いし・がひ（第三カ、第四イ）（……）名。〔石貝〕　貝ノ名。みそがひノ一名。

●いし・がへし（第三カ、第四ヱ）（第五上）名。〔意趣返し〕　いしゆがへしノ轉訛。

いし・がみ（第三カ）（第二上）名。〔石神〕　神體トシテ祭ラレル石。—イハガミ。—三代實錄、「貞觀十六年九月丙戌朔八日癸巳石見國上言石神二自出雲來」。

いし・がめ（……）（全平）名。〔石龜〕　普通ノ龜。身ニハカタイ殼ヲ持チ、脊中ノ中心ヤヤ高ク、腹ハ平タク、殼ノ間カラシテ頭、

四ッ足ヲ出ス。大キナノハ七八寸。コレノ小サイノヲぜにがめト云フ。—淺井了意、東海道名所記、「いしがめモジダンダトカヤ」。

いし・がれひ（…、…）（第五イ）（第三上）名。〔石鰈〕魚ノ名。かれひ（鰈）ノ一種。黒イ方ノ皮ニ平タイカタイモノガボツボツ付イタモノ。食用ニナル。

△いし・き（第三上）名。〔石柳〕ムカシ死人ヲイレタ棺ノオホヒ。石デツクル。—セキクワク。

いし・ぎく（（第三ギ）（第二上）名。〔石菊〕（一）くさびらいしノタグヒ。海ノ石ニ生ヘルモノ。形ハ菊ノ花ニ似テ居ル。（二）船來スル細長イ石。形ハトクサニ似、白クテカルク、中ハカラデ、菊ノ花摸樣ガアル。—ガクワンセキ。

△いし・きり（第四上）名。〔…切り〕（一）石ヲ切ルコト。石ヲ切ルシワザ、又ハ職業。（二）石ヲ切リ出ス職人。（三）切リ出シタ石ヲ建築ナドノ爲ニ細工ヲスル職人。—イシヤ。

●いし・ぎり（（第三ギ）（金平）名。〔意趣斬り〕いしゆぎりノ轉訛。

いしきり・のみ（第五上）名。〔…鑿〕本ハマルク末ハ尖ツタ鑿ノ名。石ヲ彫リ又切ルトキニ用ヰルモノ。—イシノミ。—和漢三才圖會、「鑿以之木里乃美」。

△いし・く（金平）名。〔石工〕いしきりノ第二三ノ解義ト同義ノ語。

▲いし・ぐさり（（第三グ）（第三上）名。〔石繰り〕越後ノ方言。草ノ名。せんだんぐさノ一名。

▲いしくなぎ（…）名。鳥ノ名。にはくなぶりノ一名。

いし・ぐら（（第三グ）（金平）名。〔石蔵〕スベテ、石ヲタタンデ作ツタ倉。—イハクラ。

◎別ニいはくらト云フハ今ノ普通ノ意味デハ撥石ヲ堀ツテツクツタモノヲ云フ。

いし・ぐるま（（…）（…）名。〔…車〕大キナ石ヲハコブクルマ。力ノ强クコタヘ得ルタメニ小サナ輪四ツヲツケタモノ。

○いし・くれ（第四上）名。〔…塊〕〔くれハつち〕スベテ、小サナ石或くれナドノくれ」。

ヒハ石ノカケ。—イシコロ。—イシツコロ。

いしけん（金平）名。〔…拳〕拳ノ一種。手ヲ開イタノヲ紙トサダメ、指ヲ二本出シタノヲ石トサダメ、石ハハサミニ勝チ、剪刀ノヲハサミト定メ、コブシヲ出シタハ紙ニカチ、紙ハ石ニ勝ツト假定シテ二人以上ノ人ガ一時ニ手ヲ出シテ其符號ヲ見セ、カチマケヲスルモノ。—ジャンケン。

いし・と（…）名。〔…粉〕スベテ火打チ石ノタグヒ。ピイドロヲ作ル材料トナルベキ石ノ粉。

▲いし・ぢき（第三上）名。〔…御器〕〔どきハタベモノノウツハノ名〕。肥前又ハ東奥ノ方言。ちやわんノ一名。

いしと・づめ（金平）名。〔…子詰め〕ナカムカシノ頃、遊土ニ往往アツタト云フ刑罰ノ名。生キナガラ人ヲ小石デウメルコト。

▲いし・ごひ（（第三ゴ）（第三上）名。〔…鯉〕せんざんかふノ一名。

▲いし・こぶ（金平）名。〔…蜘蛛〕〔こぶハくも（蜘蛛）ノ轉カ？〕薩摩ノ方言。蟲ノ名。くも（蜘）ノ一名。

いし・ころ（…）名。〔…塊〕〔いしくれノ轉カ？〕小サナ石。—コイシ。—サザレイシ。—イシツコロ。—イシクレ。

いし・ざか（…）名。〔…坂〕（一）スベテ、石ノ多イ坂。（二）イシダタミニシタ坂。

▲いし・しだ（…）名。駿河ノ方言。はこねぐさノ一名。

いし・すずり（第三上）名。〔石硯〕スベテ、石デツクツタ硯ノ總名（瀬戸マタハ金屬ル非ノスズリノ對）。

▲いし・すみ（金平）名。〔…炭〕主ニ筑前アタリノ方言。せきたんノ一名。

いし・ずり（…）名。〔…摺り〕（一）石碑ナドノ字ヲスリスミ又ハ油ズミナドデ摺ツテ紙ニ取ルコト（二）〔轉ジテ〕スベテ、書又ハ畫ヲ木ニキザミ、地ヲクロク、其書畫ヲ白クスリダシタモノノトナヘ。

いし・ずゑ（第三上）名。〔礎〕〔いし（石）ずゑ（据）ノ義〕（一）スベテ、家ナドヲ置ク下ノドダイノ石。—ドダイイシ。—ツメイシ。—ツメイシ。—和名抄、「以之須惠」。

いし・たたき（…）名。〔鵜鴒〕鳥ノ名。せきれいノ一名。

いし・だたみ（第五上）名。〔石疊み〕（一）スベテ、方形長方形、或ヒハ三角、或ハ六角イヅレモ大抵ソロヘテ、ヒラ石ヲ敷キナラベルコト。（二）〔轉ジテ〕石ダタミニシタトコロ。—イシダン。—續古今集「ミクマノノカミクラ山ノいしだたみノボリハテテモナヲウツルカナ」（三）〔轉ジテ〕スベテ、前ニ云ツタヤウナ形ヲ大抵ソロヘテナラベタ摸樣。—イチマツ。—森山孝盛、職ノ小手卷、「いしだたみハ若衆形ノ佐野川市松ガ着タリトテイチマツトイヒ」。

いしだたみ・がひ（（第六ガ、第七イ）（…）名。〔…貝〕貝ノ一種。一寸ニ滿タヌ大キサ、黑マタハ赤ノ摸樣ガアル。サナガラ

イシダタミニ似タ摸樣ノアルモノ。

いし・だひ（（第四イ）（第三上）名。〔…鯛〕（一）魚ノ名。クロダヒニ似タモノ。口ハヒロク、ウロコハアヲグロク、脊カラ腹ニタテニ黑色ノ筋ガタクサンアル。大キイノハ三尺餘モアル。—クロクチ。（二）マタ魚ノ名。タヒノムコダンパチノ一名。

△いし・たゾ（…）自動、四段。〔急し飛ぶ〕〔いしゾ（急）たぶ（飛）ノ義〕イシイデ飛ブ。—古事記、「いしたぶやアマハセヅカヒ」。

いし・だん（金平）名。〔石段〕スベテ、石デ作ツタカイダン。—ハシゴダン。—イシハシ。

◎キリイシデ造ルト限ツタ言海ノ解ハオダヤカデ無イ。マルイシノモいしだんト云フ。—淺井了意、東海道名所記「いしだんノモトニ左ニイチフノ木」。

いし・ぢ（…）名。〔…地〕（一）スベテ、石ノ多イ土地。（二）ウルシノ塗リカタノ名。ロイロヲツヤケシニシテ、サナガラザラメイタ石ノヤウニシタモノ。いしぢぬりノ略。

いしぢ・ぬり（…）名。〔…塗り〕いしぢノ第二ノ解義トオナジモノ。

いし・づき（…）名。〔石突き＝鏢〕（一）カタナノコジリ。（二）鎗ナギナタ、ホコナドノ地面ニアタル方ノサキヲ包ンダ金具。

いし・づき（…）名。〔石付き〕土中ニアツテ、クサツタ竹ノ根。—竹ノクチキ。

▲いしづく（…）名。筑後ノ方言。木ノ名。いぬびはノ一名。

△いし・つくり（…）名。〔石作り〕石ヲ細工シタムカシノ職人。

いし・づくり（…）名。〔…造り〕（一）スベテ、石ヲ彫リキザミナドシテツクルコト。（二）石デ造ツタモノヲ云フ。

いし・づくりノ煉瓦。

▲いし・づたひ（（第五イ）（第三上）名。〔…傳ひ〕道ナド行クノニ石ヲツタハツテ行クコト。—「いしづたひスル小夜ノ中山」。

いし・づたひ（…）（…）副。〔…〕前ノ副詞。

△いし・づつい（…）名。〔…槌〕〔づついハつちノ轉ジテ〕石デ造ツタカナ。—日本紀、「石ヲ撃ツタハツテ」。

いし・づつい（第五上）名。〔…燈籠〕いしづつ。

▲いし・なご（（第五ゴ）（…）名。スベテ、石デ造ツタウロウ。—淺井了意、東海道名所記「數百ノいしどうろうアヒ並ベリ」。

いし・どう（…）名。〔…道〕石デデキテ居ル庶（川ナド）。

△いし・どさか（第三上）名。〔…鷄冠〕スベテ、ニハトリノトサカノカタイモノ。

いしなぎ（（第四ギ）（第四上）名。魚ノ名（鯉）ノ古言。

△いし・づたひ（…）（…）副。〔…〕前ノ副詞。

▲いし・なご（（第五ゴ）（…）名。石ヲ投ゲテアソブタノ解義トオナジモノ。

いし・なご（（第五ゴ）（…）名。石ヲ投ゲ「いしづつ」ノ古言

いしのみ　(第三上、又、全平)名。〔……鑿〕

いしきりのみト同ジモノ。

△いしのみ・まし　(第四上)名。〔……の御座〕常陸ノ鹿嶋ノ明神ノ社内ニアル石。明神ガ此石ノ上ニアマクダリサレタト云ヒ傳ヘルモノ。═カナメイシ。═夫木集、光俊「尋チカキ、ケフ見ツルカナ、チハヤブル深山ノオクノいしのみましヲ」。

いし・ばえ　(第三上)名。〔……鮑〕　魚ノ名。

はえノ一名。〔石ノ有ル處ニ居ル故ニ云フ〕。

△いしはし　(全平)名。〔……階〕　イシダン。═イシダンニナッタ道。

いし・ばし　(……)名。〔……橋〕　スベテ、石デ造ッタ橋。═セキケウ。═和名抄、「以之波之」。

いし・はじき　(第三上)名。〔……彈〕　(一)イコシヘノ兵器ノ名。敵陣ヘ石ヲ打ツ道具。═和名抄「飛礫和名以之波之岐建大木置石其上發機以投敵也」。(二)アソビノ名。だんきノタグヒ。石ヲハジキアフタハムレ。

(三)あなどノ一名。

いし・ばち　(全平)名。〔……鉢〕　石デックッタ鉢。═西鶴、一代女、「いしばちニ水ハ有リトモ改メテ水カヘサセテ」。

いし・はなび　(第三上)名。〔……花火〕　草ノ名。いそまつノ一名。

いし・ばひ　(第四イ)(……)名。〔……灰〕　セキクワイセキヲ燒イテ粉ニシタモノ、或ハ又、ハマグリ、カキガラナドヲ燒イテモツクル。═クスリコ。═セキクワイ。═枕草紙、「マコトノいしばひナドニハ得生ヒズヤアラント思フベ」。

いしばひ・いし　((……))(第四上)名。〔石灰石〕　鹽石礦屬ノ石ノ名。堅度ハ一度カラ三度半。色ハ白、赤、黄、綠、黄、茶、ネズミ、黑ナドイロイロアリ。吹管デ燒ケバ鉛ケズニ強イ光リヲ放チ、炭酸ト合シテハたんさんせきくわいトナル。普通ニコレカラいしばひヲ製スル。═セキクワイセキ。

いしばひ・だん　((……))(第六上)名。〔……の段〕　イシバヒヲ固メテ造ッタ段。清涼殿ノ中ニアル名目。

いしばひ・ま　((……))(全平)名。〔……の間〕　いしばひのだんト同ジモノ。═辨内侍日記「いしばひのまニ歸リタチ、ツクヅクト待チ居タリシ」。

いし・はら　((第三ワ))(……)名。〔……原〕　小石ノ多クアル原。

いしばり　(第三上)名。〔(碇)〕　石デコシラヘタ針。

いしばり・だひ　((第六イ))(第四上)名。〔石刺鯛〕　魚ノ名。形ハきんだひニ似テ大キク、尾ニワレメハ無ク、ウロコハ赤ク、紅ノ斑ガアル。ヒレニモ尾ニモ、スルドイ刺ヲ持ツ。═カケキヨ。═エビスダヒ。

▲いし・びし　(全平)名。　魚ノ名。いしぶしノ轉訛。

▲いし・びす　(……)名。　魚ノ名。いしぶしノ轉訛。

△いし・び・や　(……)名。〔石火矢═(大砲)〕〔いし(石)ひや(火矢)ノ義〕　ダイハウ。═オホヅツ。中古戰國ノコロ主ニ行ハレタ語。

いし・ふぐ　((第四グ))(第三上)名。〔……河豚〕　魚ノ名。すすめふぐノ一名。

いし・ぶし　(全平)名。〔石伏し〕〔石ニスヒツイテ居ル性質ノアル所カライフ〕　魚ノ名。形ハはせニ似テ、大キイノハ五寸モアル。ロヒロク頭大キク、ウロコ細カク、色ハ黑ミノアルウス黃色ノモノ。═カハカジカ。═イシモチ。═カハヲコゼ。═ゴロモチ。═ネマル。═マンマル。═ウシヌスビト。═スデッコ。═ネンガボ。═ボンノコ。═ムコ。═トンボウ。═ドウボウ。═ドボ。═トホ。═トンボ。═トンバウズ。═アブラバゼ。═クチナハ。═クチナハドンコ。═カクブツ。═カコブツ。═カコボチヤ。═イシビシ。═イシビス。═グズ。═ドンゴロ。═ドンクウ。═ドンコ。═ドンコツ。═ドゴスコ。═ダンキバウ。═トンコウ。═ドンコウ。═ゴツボ。═ホンシキシヤ。═サムラヒ。═ゴンバ。═カハギス。═チチツコ。═ゴモ。═コモザウ。═ヘド。═ヘドカヂ。═アカコウ。═アナゴウ。═アナハゼ。═ギハチ。═シマハゼ。═イカリウヲ。═イカリイヲ。═チチンコ。═ギンギヨバチ。═ギンギヨ。═ギギヨ。═ウタウタヒ。═トチンコ。═和名抄「鮠、和名伊師布之」。

●いし・ぶし　(第一上)副。　スベテ、決斷ノ容易ニッカヌ義ノ語。═ニエキレズニ。═クズクズ。═「いしぶしスヂテ物ヲモイハズ」。

いし・ふね　(全平)名。〔石船〕　石ヲツミイレタスナドリブネ。レフニ出ル時、舟ガ輕スギレバ、海人ガ石ヲ舟ニツミイレテ潛ギ出スモノ。═夫木集「アカシノウラノアマノいしふね」。

△いし・ぶみ　(……)石。〔(石碑)〕〔いし(石)ふみ(文)ノ義〕　後世ニ事實ヲノコス爲ニ石ニホリ付ケテ置クフミ。═ヒブン。═頼朝「ミチノクノ岩手シノブハエヅ知ラヌ、書キツクシテヨッボノいしぶみ」。

いし・ふろ　(……)名。〔……風呂〕　スエフロ。

主ニ九州アタリニアルモノ。石デックル。

いし・べつつい　((第四逼))(第三上)名。〔……篦〕　石ヲ組ミアゲテ作ッタカマド。

いしぼたん　(……)名。〔石牡丹〕　くさびら

いしノ類。カタチハ牡丹ノ花ニ似タモノ。

いしぼとけ　(全平)名。〔……佛〕　(一)石デキザンダ佛像。(二)〔轉ジテ〕スベテ、感覺ノナイモノ。

△いしま　(……)名。〔……間〕　石ト石トノアハヒ。═源氏「コホリトヂいしまノ水ハ行キナヤミ、空スム月ノ影アナガルル」。

いしま　(……)名。〔(蝨)〕　いしむノ名詞體。

ユガミ。═マガリ。═クヤリ。(主ニウツハナドノ正則デ無イモノヲ云フ)。

▲いしまめ　(……)名。〔……豆〕　草ノ名。まめづたノ一名。長門ノ方言。

△いしみ　(……)名。　器ノ名。フゴ。

いし・みかは　((第五ワ))(第三上)名。〔赤地利〕〔みかはハにかは(膠)ノ轉〕　マトヒックタチノ一年グサ。葉ハ三角デ、莖ニモ葉ニモトゲガアリ。花ハ薔薇ノヤウデ紅白トモニアル。實ハマルク、綠碧紅紫白黑アヒ混ハルモノ。ウチミ、キリキズ抔ノ藥ニソノ液ヲツカフ。液ハ膠ニ似タ處カラ、語ガ轉ジテいしにかはトナッタトイフ。═トンボノカシラ。═カッパグサ。═マムシノアゴ。═ウシノヒタヒ。═ウシノハナヅラ。

いしム　(第二上)自動、四段。〔(蝨)む〕　ユガム。

いしめ　(全平)根。〔石目〕　スベテ、彫刻ナドデ物ノ表面ニ打チ出スコマカイ點。ナナコニヤヤ似ル。ナナコハ正則ニモヤウガ整列シタモノ。いしめハ整列ガ正則デナイモノ。

いしめ・ともん　(第四上)根。〔……小紋〕　イシメノ形チニ染ノ、マタハ織ッタ小紋。

いし・もち　(……)名。〔……持ち═(鑿)〕　(一)魚ノ名。カタチハホボ鮒ニ似テセマク長ク、鱗ハ細ク、ヒレハ長ク、頭ハ短ク、尾ニワレメハ無ク、肉ハモロク、脂ハスクナク、頭ノ中ニ石ニ似タモノガ二ッアル故ニいしもちトイフ。═和名抄「伊之毛知、其頭中有石故亦名石首魚」。(二)又、魚ノ名。しまだひノ一名。(三)又、魚ノ名。いしぶしノ一名。(四)又、魚ノ名。二三寸ノにべノ稱ヘ。═ウバクチ。═シロクチ。

いし・もち　(……)名。〔石持ち〕　いしもちどもんノ略。

いしもち・どもん　((第五コ))(第五上)根。〔……小紋〕　煉瓦ナドノ積ミカタノヤウニ正則ニ積ミアゲタ形チノ小紋。

●いし・や　(全平)名。〔……屋〕　(一)石ヲ賣ル家。(二)イシキリ。═スベテ石ヲ細工シテ職業トシ、又ハ賣買スルモノ。

いし・や　((第二ヤ三合))(……)名。〔(醫者)〕　ジュッヲ行フ人。═クスシ。═イシ。═テンヤク。═ドクトル。＊い(醫)參考。

いし・やう　((第三ヨ))(……)(第一上、又、全平)名。〔(意匠)〕　シユカウ。═コノミ。═クフウ。═アンジ。═「いしやうノスグレタル繪書」。

◎此語近頃カラ次第ニ普通ニナッタ。

△いし・やう　((……))(第一上)名。〔唯稱〕〔「稱唯」ヲ昔サカサマニ云ヒ習ハシタモノ〕　公事ノトキ昔ノ官吏ナドガ應答シタ語ヲイフ義。ウナヅク義。═江家次第「少納言稱唯左廻出召之」。

いし・やう　((……))(……)名。〔(衣裳)〕〔い(衣)上ノ服。しやう(裳)下ノ服ノ義〕　(一)衣服ノ總名。(二)〔轉ジテ〕役者、ヲドリコナドガワザヲ行フトキニ着ル着物。

いし・やう　((……))(……)名。〔以上〕　(一)コレカラ上。═コレカラ前。(二)文書目錄ナドノシマヒニシルスコトバ。上ノゴトシトノ義。(三)德川氏ノ時、將軍ノ謁見ヲ得ル家臣ノトナヘ。モトハおめみえ(御目見)いじやう(以上)ヲ略シタモノ。はたもとノ中ノ一種。＊いか、オヨビはたもと參考。

＊＊いしやう・ごのみ　((第四ヨ、第三ヨ、四合、第四ゴ))(第五上)根。〔衣裳好み〕　美服、マタハ着物ヲ多ク持チタガリ、着カザリタガルコト、マタ、ソノセイシッ。

いし・やき　(全平)根。〔石燒き〕　セトモノノ燒キ方ノ名。つちやきノ對。シラッチノ粉ニ柔カイ土ヲマゼ、水ニ浸シ、ナカズミヲ火ニ掛ケ、カマニ入レテ燒イタモノ。

いしやき・どうふ　(第五上)名。〔……豆腐〕　(一)皿マタハ鍋ニ油ヲ塗リ、其上デックケ燒キニシタ豆腐。(二)スヒモノニシタ燒キ豆腐。

▲いしや・だふし　((第二ヤ三合、第五オ))(第四上)名。〔(醫者倒し)〕〔いしや(醫者)だふし(倒)ノ義〕　肥後ノ方言。草ノ名。葉ハ萩ニ似テ厚ク大キク、冬モシボマズ、フシゴトニ根ガ出、四月頃、長サ二三寸ノ白イ花ガ咲ク。實ハ遲ノ實ニ似タモノ。═センブリ。═トベラグサ。═ミヤマトベラ。═ヤマニガ。═ヤマニガキ。═クララ。

▲いしや・ばう　((……))(第四ボ)(全平)名。〔(醫者坊)〕　いしや(醫者)トオナジ語。ムカシ醫者ハ多クバウズアタマデアッタ處カラツイタ名。═イシャバウズ。

▲いしや・ばうず　((……))(第六上)名。〔……主〕　いしやばうトオナジコトバ。

いし・やま　(全平)名。〔石山〕　石ノ多イ山。

いし・ゆ　((第二ヤ三合))(……)名。〔意趣〕　(一)ココロバセ。═ノヅムトコロ　(二)〔轉ジテ〕

ウラミニ思フコト。═イコン。

++いしゆ・がへし　(…、第四ガ、第五ニ)(第六上)名。(…返し)　怨ミヲカヘスコト。═遺恨ヲムクイルコト。═イシガヘシ。

++いしゆ・ぎり　(第二、三合、第四ギ)(全平)名。(…斬り)　ウラミニ因ッテ他ヲキレモノデアヤメルコト。

い・じゆつ　(第二、三合)(第一上)名。(醫術)　醫者ノ術。

い・じゆつ　(…)(…)名。(異…)　マシユッ。═エウシユッ。═ゲンシユッ。

△いしゆ・ふし　(…)(全平)名。(意趣節)(いしゆ(意趣)ふし(節)ノ義)　イシニヲハラムベキタチ。

いしゆみ　(…ゆ)名。(石弓)　ムカシ用井タ兵器。石ヲ敵陣ヘ投ゲルキカイ。弩弓トハベツモノ。

い・しよ　(第二、三合)(第一上)名。(醫書)　スベテ、醫學マタハ醫術ノコトヲ書イタ書物。

++い・しよく　(…)(…)名。(衣食)　(一)着物ト食物ト。═「いしよく足リテ禮節ヲ知ル」。(二)(轉ジテ)セイクワツ。═クラシ。═「既シキットメニいしよくスル」。

い・しらます　(全平)他動、四段。(射白ます)　矢ヲ射ッテ敵ヲクヂク。

いし・わた　(…)名。(石綿)　(石絨)　角閃石ニ屬スル石ノ名。ヒカリハ絹絲ニ似、色ハ白、綠茶、鼠ナド有ル中ニ、殊ニ鼠ガ多ク有ル。ナミナミノ火ニハ燒ケズ、鎔ケズ、ソレデ屈曲ガ自由デアルタメ、主ニコレデクワクワンプヲ織ル。═アスベタス。(二)又、化石ノ名。　モクメガアッテヘギ易ク、且ツ硬ク、能ク唇ニツク故、ママ龍骨トイッハルモノ。═ジャコツ。(三)又、石ノ名。らふせきニ似テヤヤ柔ク、色ハ薄モエギデ黒イ斑ノアルモノ。

▲いしわり　(…)名。(…割り)　佐渡ノ國ノ方言。モモイロノ土。蠟ニ似タ光リヲ放ッ。(二)鳥ノ名。ひくひどりノ一名(クチバシノ力ノスルドイ故ニイフ名)。(三)▲貝ノ名。筑前ノ方言。いしわり、がひノ畧。

いしわり・がひ　(第五ガ、第六イ)(第四上)名。(…貝)　貝ノ名。海ノ岩ノ穴ノ中ニ居ルモノ。岩ヲ破ッテ取ルコニ此ノ名ガ付ク。形ハいがひニ似テ長ク、色ハウスイモノ。═イシワリ。═カラスガヒ。

○いしゐ　(全平)名。(…井)　(一)石デガハヲ拵ヘタ井戸。(二)石ノ多イ所ニウガッタ井戸。

い・しん　(第一上)名。(異心)　スベテ、フタゴコロ。═チガッタ心。═ウルイ心。═スベテ、ウハベヲ善ク見セテウラニ毒ヲ持ツ心。═「蘇我ノ馬子いしんアリ」。

い・しん　(全平)名。(…人)　(一)普通ト違ッタ人。═妙妙奇談、「北ノ方ヲ見レバ凡ガッタ人。(二)(轉ジテ)英雄ナド、凡ナラザルいじん」。(三)グワイコクジン。═「庸デナイ人」。═クシン　(二)グワイコクジン。═異國ノ人。═イコクジン。

◎此第二ノ外國人トノ義ハ今日ノ所ヤヤ廢語トナリカケタ。今普通ニ體裁ヨクイフ時ニハ外國人或ハ西洋人ノホカハ餘リ多クイハズ。

い・しん・でん・しん　(第一上)句。(以心傳心)　ココロヲ以テ心ニツタヘルトノ義。モト禪宗カラ出タコトバ。ロデハイヘズ、ココロデ敎ヘテ、ニトクスルコト。

い・す　(全平)名。(椅子)(椅子の支那音)　ヨリカカル道具。腰ヲ掛ケルモノ。あぐらニ似テヤヤ形チノ簡畧ナモノ。═イシ。

●いす　(…)名。　木ノ名。ゆすト同ジモノ。オモニ東京又ハ出雲アタリデイフ。

▲いす　(第一上)名。　木ノ名。ゆすトオナジモノ。

▲いすイ　(第二上)形。　サハリニナル。═「初孫ノマニナル。═不快ヲ感ジサセル。═「初孫ノコト故目ニ入レテモいすくハアルマイ」。

いすか　(第一上)名。(交喙)　鳥ノ名。大キサハうそグライ、頭ト脊トハ青ク赤ク、胸ト腹トハ赤ク紫デ、クチバシハアヲミガカッテ、クヒチガッテ居ルモノ。クチバシノクヒ違ッタ所カラ、鬱ヘナドニ、スベテ、組齬スル所ニツカフ。═「いすかノハシトクヒ違フ」。

○いすぐはし　(第三グ、第四ワ)(第三上)枕。(勇細し)(いすバいさ(勇)ノ義、ぐはしハモノヲ賞美スル心、即チいすぐはしハ極メライサマシイトノ義)　くぢらニカカル枕詞。

++△いすすぎ　(第四キ)(全平)名。　いすすぐノ名詞體。オドロキサワグコト。═延喜、祝詞式「ヨメノいすすぎ、イッツシキコトナク」。

△いすすぐ　(第四グ)(第三上)自動、四段。(いし(急)ぎわぐ(騷)ノ義カ?)　オドロキサワグ。═ラウバイスル。

△いすたらひ　(第五イ)(第三上)名。　星學ニ用ヰル器械ノ名。モトハ西班牙語ナドデモアラウカ?　ムカシ蠻人ガ持チ來タラシタ品。一尺バカリノ圓板ヲ三百六十度ニ區劃シ。板ノ面ニアル穴ヲトホシテ日光ヲ通ハセ、ソレニ因ッテ度ヲ檢ベルモノ。═セキスタンツ。

●いすぶル　(全平)他動、四段。(搖ぶる)　ゆすぶるの轉訛。

●いすみそ　(第三上)名。(柚味噌)　ゆずみそノ轉訛。

●いすり　(全平)名。(搖り)　いするノ名詞體。イスルコト。

●いする　(…)他動、一。(…る)　主ニ東京デイフコトバ。不法ナコトヲ云ヒ掛ケ、人ヲオドシテ、錢マタハ賄賂ナドヲトル。═ユスル。═「辨天小僧賣屋ノいする」。

△いすろひ　(第四ヨ)(第三上)自動、四段。ソブロニ心ガススム。═延喜祝詞式「カミタチノいすろひ、アレビマスヲイヒホシ、ヤハシマシテ」。

△い・せ　(第一上)名。(五十瀬)　オホクノ瀬。═「いせワタル川ハ袖ヨリ流ルレバ、問フニ問ハレヌ身ハ浮キヌベシ」。

いせ・あみがさ　(第五ガ)(第五上)名。(伊勢編み笠)　伊勢ノ國カラツクッテ出シタアミガサ。═淺井了意、東海道名所記「老イタル、若キ男女、いせあみがさ、アフミスゲガサヲ着タルモアリ」。

い・せい　(第一上)名。(異姓)　他人ノ名字、カバネ、姓。

いせ・えび　(全平)名。(伊勢海老)　うみえびノ大キナモノ。目ハ高ク、口ノ邊ニ四本ノヒゲガアル。殼ハアラクテ毛ガ生ヘ、全身ハイハユルエビ色、ユデ又ハ煮レバウルハシイ赤イロトナル。═シャエビ。═カマクラエビ。「伊勢カラ東京ニ來タ故、ハシメいせえびト名ノ付イタモノ」。

いせ・おしろい　(第三上)名。(…白粉)　(一)「ムカシ伊勢ノイサワ村(射和村)カラ出タ故ツイタ名」ハラヤ。═ケイフン。

いせ・おんど　(…)名。(…音頭)　伊勢ノ古市カラ歌ヒ出シタ、コウタノ名、本名ハ川崎オンド。伊勢ノ古市ノ近傍ニアル土地、川崎カラハジマル。═イセカハリ。═カハサキオンド。═イセヨドリ。

いせ・かはり　(第四ワ)(…)名。　イセオンド。═西鶴、「若風俗、「ホゲブシ、いせかはりナドトハ格別ニシテ」」。

いせ・ごひ　(第三ゴ、第四イ)(…)名。(…鯉)　赤ク、味ヒハぼらニ似タ魚ノ名。身ハ長ク、目、口ハヲトッテカラスミトスルモノ。═メナダ。═アカメ。═シクチ。═シクチボラ。═シコクチ。

いせ・ごり　(第三ゴ)(…)名。(…行李)　伊勢カラ出ルヤナギゴリ。═元祿板、河念傳、「枕ダンス、ッギギセル、いせごりニ何カウチイレ」。

いせ・ざくら　(…)名。(…櫻)　櫻ノ一種。八重デアカミノ濃イモノ。

いせ・ぢ　(第一上)名。(異說)　フツウト違ッタ說。═「いせつ紛紛」。

いせ・うばき　(第三上)名。(伊勢椿)　八重ノ椿。下ニ五瓣アッテ大キク、中ニ細イ瓣ガ多クアルモノ。═レンゲツバキ。

いせ・どうふ　(…)名。(…豆腐)　上等ノ豆腐。ヤハノイモヲスリオロシ、鯛ノスリミヲ少シ混セ、卵ノ白味ヲ加ヘ、ヨクスリアハセテ、クズダマリヲ掛ケタモノ。

いせ・ばうふう　(第三ボ)(…)名。(…防風)　伊勢カラ諸方ヘツミダシタ故ニ付イタ名。諸國ニアル海濱。葉ハ一ツノ莖カラ三ツ出、オノオノ三枚ツケ、莖ハ紫色デ、四月頃花ガ咲ク。若葉ハナマスニ添ヘテ喰フ。═バウフウ。═ハマバウフウ。═ヤホヤバウフウ。

▲いせ・ばち　(第二上)名。(…鉢)　すりばちノ一名。上總アタリノ方言。

いせ・はなび　(第三上)名。(…花火)　小サナ草ノ名。多モシボマズ、葉ハたでニ似テ、裏、莖ノ上ニウスムラサキノ花ヲ付ケル。═ナントウ。═イハギキャウ。

++いせ・まゐり　(…)名。(…參り)　伊勢ノ大神宮ヘノサンケイ。

いせ・や・ひうが　(第六ガ)(第一上)根。(…やヒ日向)(伊勢ノ國ト日向ノ國トハ極メテハナレテ居ルトイフ所カラ轉ジテ)　スベテ、次第ガ不同、又ハトンチンカンニナルコト。

いせル　(全平)他動、ら變。(よせる(寄)ノ義カ?)　チヤメテ繼ヒ合ハセル。═ククリ繼ヒニスル。

いせ・わかめ　(第四上)名。(伊勢若布)　伊勢ニ產スルワカメ、最上ノモノト云フ。

いせ・をどり　(第三上)名。(…踊り)　イセオンド。═卜養、狂歌集「ワガ君ヲココデ松坂いせをどり、ソコラデシメロマカセハラオビ」。

△いせ・を・の・あま　(第三、及第五上)名。(伊勢海の海人)　伊勢ノ海ノ海人。═源氏「ウキメカルいせをのあまヲ思ヒヤレ、モシホ刈ルテフ須磨ノ浦ニテ」。

いそ　(全平)名。(磯)　(一)スベテ、海邊ナド「石ノアルトコロ。(二)(轉ジテ)スベテ石ハ無クトモ海邊ナドノ波ウチギハ。(三)カンムリノ名ドコロ。カンムリノヒダヒギハ。

△いそ　(…)數。(五十)　十ノ五倍。═ゴジフ。

▲いそ・あいなめ　(第三上)名。　魚ノ名。紀州邊ノ方言。カンダヒ。

++いそ・いそ　(…)副。(いさいさ(勇勇)ノ義)　ココロガ勇ンデ有ルサマデ。═「いそいそ

取ッテ烟草盆。

いそいそと　(第一上)副。　いそいそト浦サヲ晴。

いそいり　(全平)名。〔磯熬り〕　芹ヲ加ヘタ鯛ノ吸ヒモノ。

いそ・がき　((第三カ))(第三上)名。〔磯牡蠣〕　かきノ一種。小サナカキ。—コガキ。

○いそがし　((……))……形。〔忙—急がし〕　ヒマデ無イ。—セハシイ。—繁劇デアル。—多忙デアル。—セハシナイ。

●いそがしイ　((……))(第四上)形。〔……い〕　いそがしノ近體。

●いそがし・がル　((……、第五カ))(第五上)自動、四。〔……がる〕　イソガシク思フ。—セハシガル。

いそがし・さ　((第三カ))(第三上)名。〔……さ〕　イソガシクアル度合ヒ。

いそがス　((第三カ))他動、四段。〔急がす〕　イソガヤウニスル。—セカセル。—セキタテル。—ウナガス。—源氏「今宵ヨリトキコエいそがせず」。

●いそがせル　((……))(第四上)他動、一。〔……せる〕　いそがすノ近體。

○いそがはし　(……、第四ワ)(……)形。〔……はし〕　イソガシイ樣子デアル。

●いそがはしイ　(……)(第五上)形。〔……い〕　いそがしノ近體。

いそがはしさ　((……))(第四上)名。〔……さ〕　イソガハシクアル度合ヒ。

いそ・がひ　((第三カ))(第四イ)(第二上)名。〔磯貝〕　(一)又、貝ヲ磯ニウチヨセテアル貝殼。(二)又、貝ヲ名。石ノウヘ或ハアハビノ殼ニツク。殼ハあはびノヤウニ貝一片ノ形チハよめのさらニ似テ小サク、厚ク、殼ハ尖ッテ鳥ノ嘴ノヤウナモノ。—スズメガヒ。—チドリガヒ。—ミルガヒ。(三)又、貝ノ名。よめがさらノ一名。　かたおり

○いそがひ・の　(……)(……)枕。〔……の〕　もひナドニ掛カル枕コトバ。〔磯ニヨセテアル貝ハ殼ガ大抵ヒトツシカ無クナッテ居ル處カラ〕。

いそ・かへり　((第四ヨ))(全平)名。〔五十返り〕　五十遍。

△いそ・き　(第一上)名。　木ノ名。すぎノ異名トイフ。—呉竹集、「いそきトハ杉ノ異名ナリ」。

いそぎ　((第三ギ))(第二上)名。〔急ぎ〕　(一)イソグコト。(二)用意。—シタク。

○いそ・ぎし　((……))(第三上)根。〔……足〕　イソイデアルコト。—ハヤアシ。

いそぎ・もの　((……))(全平)名。〔……物〕　急ニツクリ、又行フ物。

いそく　(第一上)名。〔夷則〕　(一)十二律ノ一ツ。七月ニアタル律。—前漢、律曆志「則法也。言陽氣法度而使陰氣當傷之物。」(二)轉ジテ、しちがつノ異名。

いそグ　((第二グ))(第二上)自動、四段。〔急ぐ〕　ハヤク行ナハウト思フ。—セク。—ハヤク行フ。—「いそぎ候フ、ホドニ、ハヤク行フ。」

いそ・ざんせう　((第五ショ合))(第五上)名。〔磯山椒〕　小笠原島邊ニ自然ニ生ヒル灌木ノ名。丈ハヒクク冬モ葉ハシボマズ、葉ハさんせうニ似テ小サク、裏ハ白クテ梅ノ花ニ似タ花ヲツケル。實ハ丸クテ、同ジク少サンセウニ似タモノ。能ク磯邊ニ生ヒル故ニコノ名ガ付ク。—ホソノカリガネ。—ハヤザンセウ。

△いそし　(全平)名。　いそし(形)ノ名詞體。

いさをし　(第一上)形。〔勤し〕　ヨクツトメル姿デアル。—ヨク働クアリサマデアル。

○いそぢ　(全平)名。〔磯路〕　イソノミチ。

△いそ・ぢ　(全平)名。〔五十年〕　五十年。

いそ・ちどり　(第三上)名。〔磯千鳥〕　(一)イソベニ居ルチドリ。—夫木集、「タビヲカラキキヤシノバヌいそちどり」。(二)菓子ノ名。いそやきノ一名。

いそ・つゞみ　((第四グ))(……)名。〔……鷸〕　鳥ノ名。南洋ナドニ多ク居ル。ヒヨドリニ似テ大キク、尾モ長ク、カラダハ青黑ク、腹ハ赤黑クテ白イマダラガアル。鳴ク聲ハオモシロクモナイモノ。—イソヒヨドリ。—イカツグミ。—イハツムギ。

○いそな　(全平)名。〔……菜〕　スベテ、磯ニ生ヒル草。食用ニナルベキモノ。—イソナグサ。—新古今集、俊成「ケフトテヤいそなつむらン伊勢島や」。

○いそなゞさ　((第四グ))(第三上)名。〔……草〕　いそなト同ジモノ。

△いそなどり　(……)名。　鳥ノ名。ちどりノ一名。—呉竹集「いそなどり、千鳥ノコトナリ」。

○いそ・ね　(全平)名。〔磯根〕〔いそ(磯)ね(根)ノ義〕　タダノいそト同ジ語。

○いそ・ね　(……)名。〔……寐〕　磯邊ニ寐ルコト。—イソベニ臥スコト。—夫木集「キヨミガタヒトリいそねノ秋ノ夜ニ月モアラシモコロモカナシき」。

○いそ・の・かみ　(……)枕。〔石の上〕〔いそのかみ、ふる何レモ大和國山邊郡ニアル土地〕ふるノ枕詞。—「いそのかみフリニシアトヲ尋ヌシバ」。

いそ・の・かみ　(……)根。〔……〕〔前ノ語カラ轉ジテ〕　フルイモノトノ義。—拾遺集「春ク

レバマツアウチミルいそのかみ、メヅラシグナキヤマダナレドモ」。

いそ・の・かりがね　((第六カ))(全平)名。〔磯の雁金〕　灌木ノ名。いそざんせうト同ジモノ。

△いそ・の・たち・はき　(……)名。　さる(猿)ノ異名ト云フ。

△いそはク　(第三上)自動、四段。〔いきしむト異體同種〕　勵ミツトメル。—キンラウスル。—イソシム。

△いそばフ　((第四ウ))(……)自動、四段。　アソビタハムレル。

いそ・ひよ　(全平)名。〔磯鵯〕　いそつゞみト同ジモノ。

いそ・ひよどり　(第四上)名。〔……〕　いそつゞみノ一名。

△いそフ　((第二ウ))(第二上)他動、四段。　イドム。

いそ・ふぐ　((第四グ))(第三上)名。〔磯河豚〕　魚ノ名。しはさいふぐノ一名。

○いそ・べ　(全平)名。〔……邊〕　磯ノホトリ。

○いそ・ま　(……)名。〔……間〕　イソノアヒダ。—イソノウチ。

○いそ・まくら　(第三上)名。〔……枕〕　磯邊ニタビヲスルコト〔なみまくら、かぢまくらナドト同ジ類〕一說、呉竹集、「磯枕ニアラズ石枕ナリ。七夕ノ夜、瑪瑙ト云フ石ヲ飾ル、ソレヲ云フナリ。タダいそまくらハ海邊ニタビヲスルヲ云ヘリ」。—堀川百首、「ヒコボシノ海人ノイハブネフナ出シテ、今宵ハ磯ニいそまくらスル」。

いそ・まつ　(……)名。〔……松〕　(一)スベテ、磯邊ニ生ヘル松。(二)灌木ノ一種。いそはなびノ一名。伊豆ノ海邊ニ多クアルモノ。ミキハわさびニ似、枝ノサキニ細カイ葉ガ多ク付ク。葉ノ間カラ莖ガ付キ、赤マタハ黃色ノ五瓣ノ細カイ花ガムラガッテ咲ク。—イシハナビ。

いそ・まめ　(全平)名。〔……豆〕　アタタカイ土地ノ海邊ニ自生スル蔓草。形ハなたまめヨリ少サク、サヤノ長サハ二寸アマリ、豆ハ平タクテ黑ク、毒分ガアルト云フ。—バマナタマメ。

いそ・むし　(……)名。〔……蟲〕　鯛、さよりナドノ中ニヤマ居ル蟲。ふなむしニ似タモノ。—タヒノハラミ。

△いそめき　(……)又、第三上)名。〔急めき〕　イソメクコト。いそめくノ名詞體。

△いそ・めク　(第三上)自動、四段。〔……く〕〔めくハあだめく、ナドノめく。いそぎめくノ義〕　イソグサマデアル。

いそ・めばる　(……)名。〔磯目張〕　魚ノ名。

▲いそ・もち　(第二上)名。〔……餅〕　伊豆ノ方言。あまのりノ一名。—物ノ名所ニヨリテカハリケリ、品川海苔ハ伊豆ノいそもち。

○いそ・もと　(全平)名。〔……本〕〔もとハいはもと、やまもとナドノもと〕　イソヂ。—イソベ。—イソノ邊。—萬葉集「オホウミノいそもとニスリ立ツナミノ、ヨラントモヘルハマノサヤケク」。

いそ・もの　(……)名。〔……物〕　(一)スベテ、かいさう海藻ノ一名。(二)▲蟲ノ名。やどかりノ一名。伊豆駿河ノ方言。

○いそ・や　(……)名。〔……屋〕　スベテ、イソベニアル家。

○いそ・やかた　(第三上)名。〔……館〕　いそやト同ジモノ。—夫木集、「アレハテテ人モナギサノいそやかたイツマデアマノスミウカレケン」。

いそ・やき　(全平)名。〔……燒き〕　菓子ノ名。ウドンノ粉ニスコシ醬油ヲ混セ、水ト合ハセテ溶キ、アカガヂ又ハ鐵ノ板ノ上デウスク燒キ、餡ヲ中ヘ包ンダモノ。—イソチドリ。

いそ・れんげ　((第五ゲ))(第三上)名。〔遠華〕　暖國ニ生ズル草ノ名。葉ハアツク、極メテ寒サヲオソレルモノ。

○いそ・わ　(全平)名。〔……曲〕〔わハうらわナドノわ〕　イソノアタリ。—わ參考。—萬葉集、「シホハヤミ、いそわニ居レバアサリスル海人トヤミラン旅行クワレヲ」。

いそ・わし　(……)名。〔……鷲〕　鷲ノ一種。海邊ニ多ク住ムモノ。

い・そん　(第一上)名。〔異存〕　人トハコトナル考ヘ。—イケン。

いた　(……)名。〔板〕　(一)スベテ、材木ヲウスク切リノベタモノ。—和名抄、「伊太」。(二)〔轉ジテ〕板ヲ敷イタ所。—イタジキ。(三)〔又轉ジテ〕スベテ材木ニ限ラズ、ウスク、且ヒラタクナッタモノ。—「テツいた」。—「ラフセキいた」以上金石。—「アツいた」。—「ラセいた」。以上織物。(四)〔又轉ジテ〕いたまヘノ畧。

△いた　(……)接頭。〔甚〕〔いたし(甚)ノ義〕　ハナハダ。

▲いだ　(第二上)名。　五畿內及ビ西國ノ方言。魚ノ名。さいノ一名。

いたい　(第一上)名。〔異體〕　カハツタ姿。—イフウ。—イライ。—「いたいノ人」。

●いたイ　(第二上)形。〔痛い〕　いたしノ近體。

いたいけ　(全平)根。〔幼稚〕〔いたはし(傷)ノ義〕　スベテ子供、又ハカヨワイ

モノナド、イタイタシクアハレムベキ姿デアルコト。「いたいけノ背樣」。

△いたいけ・す　(第四上)自動、さ變〔……す〕　イタイケナアリサマヲスル。—カハユラシク見エル。—寛文四年板、老媒物語、和歌用捨箱ノ中)「イト愛ラシクいたいけしタル印籠巾着」。

いたいた・くさ　((第五ク))(……)名。〔痛痛草〕　草ノ名。のこぎりくさノ一名。

○いたいたし　(……)形。〔……し〕　ハナハダイタハシイ。—最モカハユサウデアル。

●いたいたしイ　(第五上)形。〔……い〕　いたいたしノ近體。

○いたら　((第二ト))(第一上)副。〔甚〕う〕〔いたくノ音便〕　キハメテ。—ハナハダ。—イトイト。

い・たら　((第二ド))(……)名。〔醫道〕　イヨユツノミチ。—イシヤノ學ブミチ。—イガク。—「いたら一切ノ書」。

いたか　(全平?)名。　經ヨコミ、塔婆ヲ書キ、川ヘ流シテ、クドクヲ祈リ、錢ヲモラフ法師。

○いた・がき　((第三カ))(第二上)名。〔板垣〕　杉デ造ッタカキ。—イタベイ。—源氏「いたがきトイフモノ、ウチカタメツクロハセタマフ」。

++いた・がこひ　((……、第五イ))(第三上)名。〔……園ひ〕　フシン場ナドノ外ニ、ザンジ假リニ造ル板塀。

いた・がす　((第三カ))(第二上)名。〔……糟〕　イタノヤウニカタメタ酒ノカス。

いた・がね　((……))(……)名。〔……金〕　板ニシタ金屬。

++△いた・がひ　((……、第四イ))(第三上)名。〔……飼ひ〕　馬ヲッナガズニ、ウマヤノ中デ放チガヒニスルコト〔いた(板)かひ(飼)ノ義〕。

延喜、大神宮式「大神宮櫛飼(訓イタガヒ)御馬各二四」。

いた・がひ　((……))(第二上)名。〔……貝〕　貝ノ名。まゝがひノ一名。

○いたかフ　((第四ウ))(第三上)他動、下二〔いだく(抱)ノ延〕　ダキカカヘル。—竹取物語、「カクヤ姫ヲいだかへテ」。

いた・きれ　(第四上)名。〔板切れ〕　イタノキレハシ。—イタビッキレ。

○いたく　(第一上)副。〔甚く〕　ハナハダシク。—キハメテ。—イタウ。—「キリギリスいたく鳴キソ、ワレモサビ秋ノ夜スガラ泣キアカシツル」。

○いだく　(第二上)他動、四段。〔抱く〕　(一)(第二)カ)カコミ込ム。—カカヘル。—腕ノ内ニ物ヲカコミ込ム。—「モノ云ハヌ稚兒ノソリダク。—和名抄、「モノ云ハヌいだかれズ、泣キダクッガヘリテ、人ニモいだかれズ、泣キダル」。(二)〔轉ジテ〕スベテ物ヲッツンデ居ル。—「海ヲいだく山」。(三)思ヒヲ心ニコメテ居ル。—「ヤシンヲいだく」。

いた・くら　((第二グ))(全平)名。〔板藏〕　板ヲ壁トシテ造ッタ倉。

△いたけシ　(第二上)形。〔甚けし〕　いたしト同ジ語。

いた・こ　(全平)名。〔板來〕　いたこぶしノ翠。—瀬川如皐、ごみ大夫「ドドイツ、いたこハドウデス?」

いた・ご　((第三コ))(……)名。〔板子〕　舟ノ中ノアゲイタ。

いた・ごし　((……))(第二上)名。〔……輿〕　三方ヲ板デ張リ、前ニミスヲ掛ケタ輿。はりごしト同ジコシラヘ。貴、多ク用ヰタモノ。—キゴシ。—ムネアゲ。—シハウゴシ。

●いた・ごと　((第三ゴ))(全平)名。〔痛事〕　イタイ目。—ウキメ。—京傳、艷氣樣燒、「炙ヲスエテ消サレルハチトいたごと」。

いたこ・ぶし　(……)名。〔潮來節〕　德川ノ末年、下總ノ潮來カラハヤリ出シタ唄ノフシ。七、七、七、五ノ四句カラ成ル處ハどどいつニヨク似タモノ。

▲いたこ・むし　(第三上)名。〔……蟲〕　四國ノ方言。蟲ノ名。まひまひつぶろ。

いた・こんがう　((第五ゴ))(第五上)名。〔板金剛〕　板ヲウツタこんがう。即チ板ヲ裏ニ付ケタザウリ。—ザウリゲタ。—イタッケザウリ。ゅこんがう參考。—甘露寺職人盡歌合「シヤウリ! シヤウリ! いたこんがうメセ」。

いた・さ　(第一上)名。〔痛さ〕　イタクアル度合ヒ。

○いたシ　(……)形。〔痛し〕　(一)イタミノ感覺ヲウケル。—和名抄、「伊太之」。(二)イタマシク思ハレル。—カナシク思ハレル。(三)モノゴトニ感ジテ、ココロガイタム。—萬葉集、「世ノナカシッネカクノミトカツ知レド、いたき心ハシヌビ兼ネッモ」。(四)〔轉ジテ〕ハナハダシクアル。—古今集、「カグフレバ止マラヌモノヲトシトヒテ今年モいたく老イヴシニケル」。—同「ナガムトテ花ニモいたくナレヌレバ、散リワカレコソカナシカリケレ」。(五)〔又、轉ジテ〕ウスガイイ。—源氏、「コウチギ引キオトシテケヂメ見セタル、イトいたし」。

◎いたきヌシ。—(キッイ人)。◎いたきモノ。—(イイ物)。

いだし・うた　(第三上)名。〔出だし歌〕　五節ノトキニウタフ歌。

++△いだし・うちぎ　((第六キ))(第四上)名。〔……裡〕　タダノうちぎト同ジコトバ。スベテ、うちぎハ衣ノウヘニ着ルモノデ、人ニモ見エルヤウニ出シテアルユエニイフ。—枕ノ草紙、「ザグリノナホシにいだしうちぎシテ」。

いたし・かゆし　(第一)「及、第四上)根。〔痛し痒し〕　(一)搔ケバ痛ク、搔カナケレバカユクアルコト。(二)〔轉ジテ〕シテイイカ、ツルイカ分カラヌコト。—「いたしかゆしデ分別ツカズ、子ヲトラルルカ夫ヲ捨ツルカ、ナカニ立ッタルソノセッナサ」。

いた・じき　(全平)名。〔板敷き〕　ハリッメテアル板ノマ。—枕ノ草紙、「戸口ノマヘナル細キいたじきニ井タマヒテ」。

△いだし・ぎぬ　((第四ギ))(第四上)名。〔出だし衣〕　ソトカラ見エルヤウニ着タシタギ。

△いだし・ぐるま　((第四グ))(……)名。〔……車〕　ムカシ、オホヤケノ儀式ノ時、カザリタテ出シタクルマ。

△いだし・づま　(全平)名。〔……褄〕〔いだしハいだしぎぬノいだし」　アラハシテ出ス着物ノツマ。

○いだし・ぬく　(……)他動、四段。〔……拔く〕　(一)サウ思ハセテサウセヌ。—アザムク。(二)先ヲコス。—サキグリヲスル。—十訓抄、「ハジメハユユシクハヤリコチタリケレドモ遂ニいだしぬかレニケリ」。

いた・じめ　(……)名。〔板締め〕　スベテ、チリメン、其他絹物ノ類ヲ板デシメテ染メタ染メ模樣ノ名。—森山孝盛、職ノ小手卷「貴賤共ニ子供ハ大分アフギヤアメナリ。今ノいたじめノ類ナリ」。

いたス　(……)他動、四(致す)　(一)○イタラセル。—トドカセル。—到着セサル。(二)〔轉ジテ〕○ココロヲツクス。—伊勢物語「ココロザシハいたしケレド、サルイヤシキ業ナラハザリケレバ」。(三)〔又、轉ジテ〕スモ同ジクいたしッ。(四)●〔又、轉ジテ〕する、おとなふノ敬語。—「ペンキヤウいたす」。

○いだス　(第二上)他動、四段。〔出だす〕　(一)コチラカラヨソヘヤル。—ワガ手ヲハナシテ人手ニ外ヘヤル。(二)カクレテ非タトコロヲ明キラカル。(三)枕ノ草紙、「千代ハワカレノ涙ナニスル。—枕ノ草紙、「火ルベシトイフコトヲ頭ノ中將ウチいだしタマヘレバ」。(全平)名。〔頂〕

いただき　(全平)名。〔頂〕　(一)スベテ、上ニナルトコロ。—ジャウブ。—枕ノ草紙、「火ヲホカザマニヤリテ、炭ヲカサネ置キタルいただきニ置キタル」。(二)〔轉ジテ〕アタマノテッペン。—和名抄、「伊太太岐」。(三)〔又、轉ジテ〕山ノ最高ノトコロ。—セッテウ。—和名抄、「伊太太木」。(四)いただきもちノ翠。(五)▲芝居モノノカクシコトバ。スベテ出來ノワルイ事。

いただきもち　(第四上)名。〔戴き餅〕　マルクヒラタイシンコヲ四メ、ソコニ小豆ノ餡ヲ入レタモノ。四月八日ノ灌佛會ニ用ヰル。—ハナクソモチ。—ハナクサモチ。

△いただきもちひ　(……)名。〔……ひ〕　ムカシ元日、イハヒニ小供ノアタマニ載セタ餅。

いただく　(全平)他動、四段。〔戴く〕　(一)○スベテ、頭ノウヘニ載セル。(二)高クサシアゲル。(三)タフトブ。—ウヤマヒ、アフグ。(四)●もらふノ敬語。—「トノザマカラ御メシヲいただく」。(五)▲オモニ東京デイフ語。ヤリソコナフ。

○いただく　(……)自動、下二〔……く〕　イタダクヤウニスル。

いただたみ　(第二上)名。〔板疊〕　シンニ板ヲ入レタタタミ。

いたち　(……)名。〔鼬鼠〕　(一)獸ノ名。カタチハ鼠ニ似テ大キク、身ハ赤ク、尾ハ太ク、黑ミノ濃イコゲ茶色デ、ツクリッケノヤウナ頭。身ハハナハダ自由デ極メテ細イアヒダヲモ通ル。ニハトリ、鼠ナドヲ捕リ血ヲ吸フ。—ヨタチ。—和名抄、「伊太知」。(二)魚ノ名。いたちうをノ翠。

◎いたちノマカゲ(目影)。(獸ノいたちガ手ヲ目ノ上ニ翳シテ遠クヲ見ルコト。)

◎●いたちのミチ(道)。(全クユキキノ絶エルコト。獸ノいたちハ一度スギタ道ヲ再ビ經ヌト云フ處カラ云フ。)

いたち・あざみ　(第四上)名。〔……薊〕　草ノ名。ひごたいノ類ノ草。葉ハヤヤ菊ニ似、秋、枝カラ大キナ淵紫ノ花ヲ咲カセル。

いたち・うを　(第三上)名。〔……魚〕　魚ノ名。ウロコ細ク、尾ニワレメ無ク、頭ハヒラタク、味ハ鰌ニ似、色ハ獸ノいたちニ似タモノ。—アブラメ。—ミシマダラ。—ナマダラ。

いたち・ぐさ　((第四グ))(……)名。〔……草〕　草ノ名。れんげうノ一名。

▲いたち・ぐも　(……))(第四上)名。〔……雲〕　夏ノ空ニ出ル雲。　加賀ノ方言。—物類稱呼、「ナッグモ、加賀ニテいたちぐもト云フ」。

++いたち・ごつこ　((第四ゴ、第五逼))(……)名。〔……ごつこ〕　(一)子供ノアソビノ名。二人互ヒニ手ノ甲ヲツマミアヒ、ソレカラ順順ニ取リカヘヒキカヘ、ツマンデユク遊ビ。(二)〔轉ジテ〕イッモ同ジデアルコト。

いたち・ささげ　((第六ゲ))(……)名。〔……大角豆〕　ゑんどうまめニ似タ草ノ名。春、フルヲカラ生ヘル。葉ハそらまめニ似テ淵ク、ソノ末ニ細イヒゲノヤウナモノガアリ、花ハ

穂ニナッテあづきニ似、後ニ茶色ニナル。サヤハ一すバカリ。＝ヱンドウサウ。＝ヤマヱンドウ。

いたちの・あし　(第六上)名。〔……の足〕　草ノ名。たがらしノ一種。葉ハきつねざくニ似テ毛ガ無ク、花ハ馬ノ足ノ形ニ似テ五ヒラ或ハ七ヒラ或ハ八ヒラ。＝オホセリ。＝キツネノボタン。

いたちの・けた・がへし　(第七カ、第八エ)(第七上)名。〔……桁返し〕　木ノ名。がまずみノ一名。

▲いたちの・ひと・もと・ぐさ　(第九グ)(第八上)名。〔……一本草〕　佐渡ノ方言。草ノ名。たかさぶらうノ一名。

いたち・はじかみ　(第四上)名。〔……薑＝(山茱萸)〕　木ノ名。さんしゅゆノ一名。

いたち・はぜ　(……)名。〔……櫨〕　木ノ名。れんげうノ一名。

△いたつ・がはし　(第四カ、第五ツ)(第五上)形。(勞)つがはし〕　骨ヲヲル姿デアル。＝ワヅラハシクアル。＝ヤッカイデアル。＝徒然草、「いたつがはしく外ノタノシミヲ求メ」。

△いたつがはしさ　(……)(……)名。〔……さ〕　イタツガハシクアル度合ヒ。

いたつき　(全平)名。(平題箭)　(一)矢ジリノ一種。多ク弓ヲ擧ブ時ニ用ヰル。形ハ小サク、ソコハヒラタクアルモノ。(二)(轉ジテ)スベテ、平タイ處ノ矢ジリヲ付ケタ矢ノ名。＝和名抄(伊太都岐)。

○いたつき　(……)名。(勞)つき〕　(一)いたつきノ名詞體。骨ヲ折ルコト。(二)(轉ジテ)ヤマヒ。

○いたつきいル　(……)自動、下二。〔……入る〕　ホネヲ折ッテ力ヲ入レル。

△いたつク　(第三上)他動、四段。〔……く〕　親切ニトリアツカフ。＝ネンゴロニ世話ヲスル。＝チハレミイタハル。＝源氏「イカニイカニ甲斐アリテオボシいたつかマシ」。

いたつけ　(第二上)名。〔板付け〕　長サ四分カラ六分以下ノクギ(釘)。ウスイ板ヲ打チ付ケルモノ。

△いたつけ・ざうり　(第五ツ)(第五上)名。〔……草履〕　ザウリノ裏ニ板ヲ付ケタモノ。鼻緒ハ大抵サナダニヌル。＝イタコンガウ＝ザウリゲタ。

○いたづら　(全平)根。(徒)　ムダ。＝不用。

++いたづら　(……)名。(悪戯)　(一)子供ノダハムレ。＝ムダデ、ワルイシワザ。＝ワルサ。(二)(淫行)　男女ヒソカニ野合スルコト。＝シッウ。＝ミッツウ。

++△いたづら・いね　(第五上)名。〔徒寝〕　アダネ。＝イタヅラナシワザ。(二)(淫行)男女ヒソカニ通ズルコト。＝曲山人、娘節用「ソレニ引キカヘ、ワタシハいたづらごとノ心ガラ……面目モナイ身デゴザリマス」。

○いたづらごと　(……)名。〔徒死〕　ムダニ死ヌコト。＝ソレダケノコトモ無イノニ死ヌ。

○いたづら・ごと　(第五コ)(全平)名。〔……言〕　ムダナ語。＝ムダクチ。＝アダコト。

○いたづら・ね　(……)名。　(一)(悪戯事)　イタヅラナシワザ。(二)(淫行)男女ヒソカニ寝ルコト。(オモニ戯ヒニ云フ)。＝イタヅラブシ。＝アダ子。

○いたづらにし　(……)名。(徒死)　ムダニ死ヌコト。＝ソレダケノコトモ無イノニ死ヌ。

++○いたづら・ね　(……)名。(悪戯)　ナシク寝ルコト。(オモニ戯ヒニ云フ)。＝イタヅライチ。＝イタヅラブシ。＝アダ子。

△いたづら・びと　(第四上)名。〔……人〕　(一)不用ニナッタ人。＝不用デアル人。(二)レイラクシタ人。＝源氏、「いたづらびとヲバユユシキモノニコソ思ヒステタマフラメト」。

++△いたづら・ぶし　(全平)名。〔……臥し〕　イタヅラ子。

いたづら・もの　(……)名。〔……者〕　(一)スベテ、役ニタタヌモノ。(二)イタヅラヲスルモノ。＝ワルイタハムレヲスルモノ。(三)インボンノモノ。(四)ねずみノ一名。

●いたづら・つ・こ　(第五逼)(……)名。〔……子〕　イタヅラナ所業ヲスル子供。

いた・で　(……)名。〔痛手〕　フカデ。＝オモイ傷。＝チニウシヤウ。

いたで　(……)根。〔甚手〕　スベテ、早クアルコト。＝スミヤカデアルコト。＝呉竹集「いたで、ハヤクト云フコトナリ」。＝堀川百首「いたでニハシルムコノウラ船」。

いた・と　(第二上)名。〔板戸〕　板デ造ッタ戸。＝西鶴、若風俗「狸ノアラシタルいたどヲ修理仕ルベシト」。

いたどり　(……)名。〔虎杖〕　草ノ名。春、ワル根カラ生ヘ、葉ノ形ハ丸ク長ク、夏穂ニナッテ紅、又ハ白ノ小サナ花ガ咲ク。實ハ三角デ、ウスイ羽ノヤウナモノガアル。＝タヂヒ。＝サイタツマ。＝フタバモミヂ。＝ヌヰヌヰ。＝スカンポウ。＝カハタケ。＝サスドリ。＝スヰスヰカヅラ。＝スカンポ。＝スカンポ。

△いた・なく　(第三上)自動、四段。〔甚泣く〕(いたく甚)なく(泣ノ義)　ハナハダシク泣ク。＝古事記「いたなかバ人シリヌベシ」。

いた・の・ま　(全平)名。〔板の間〕　(一)イタジキノマ(間)。(二)スベテ、板ヲハリツメタ所。(三)アゲイタヲ敷イタトコロ。(四)▲芝居デ云フ語。中役者ノ異名。＝劇場新話「いたのまへ鏡臺ヲナホシテ置ク故ニ中役者ヲいたのまトイフ」。(四)さんずけト同ジモノ。フロバニ居テ客ノナガシ、フロノ掃除ナド主ナルモノ。＝西鶴、一代女「龍門フタツワリヲウシロニ結ビ、パンテニいたのまヲワットメケル」。

◎●いたのまヲハタラク。＝湯屋デ他ノ所有物ヲチヨロマカス。

++●いたのまばたらき　(第五上)名。〔……働き〕　湯屋デ他ノ所有物ヲチヨロマカスコト、又ソノ人。

いた・の・もの　(第一上)名。〔……の物〕　織リモノノ稱ヘ。スベテ、板ヲシンニ入レタタンダモノ。＝イタモノ。(まきものノ對)。

○いたはし　(第三ヲ)(第三上)形。(勞)はし〕　(一)シンセッニイタハル體デアル。＝ダイシニ思フ樣子デアル。＝源氏「いたはしウカタジケナクオモホユベカメリ」。(二)ヤマヒニナヤム。＝「オソガ身ノいたはしさニ」。(三)胸ニシミル。＝ムナグルシクアル。(四)勤勞スルアリサマデアル。＝ホネヲ折ル樣子デアル。(五)イトシラシクアル。＝カハユラシクアル。(六)(慘)はしい〕　アハレムベクアル。＝フビンデアル。

いた・ばし　(第二上)板。(板橋)　イタデ造ッタハシ(土橋、石橋、鐵橋ナドノ對)。

●いたはしイ　(第三ヲ)(第五上)形。(慘)はしい〕　いたはしノ第六解義ノ近體。

いたはし・さ　(……)(……)名。(……、勞)はしさ〕　イタハシクアル度合ヒ。

いたはり　(……)(全平)名。　(一)(勤り)イタハルコト。＝アハレムコト。＝源氏「コマヤカナル御いたはりノホドアサカラズ」。

(一二〇)(功)　親切ニ心ヲ用ヰルコト。＝ホネヲリ。＝日本紀「功(訓イタハリ)」。

◎いたはり無シ　(ヲシクナイ。＝ワケモナイ。＝クラウスルホヤデモナイ)。

いたはル　(……)(第三上)他動、四段。〔いた痛ム〕(勞)はる〕　(一)(勤る)イタハシク思フ。(二)(勞)はる〕　ヨロヨロヲ用ヰテ勤勞スル。＝伊勢物語、「ツネノ使ヒヨリハコノ人アウニナシ」。(三)(親切ニトリアツカフ。＝源氏、「我ガ御ッカサノ(二)○(勞)はる〕　ヨロヨロヲ用ヰテ勤勞スル。＝伊勢物語、「ツネノ使ヒヨリハコノ人ヨク、いたはれト云ヒヤレリケレバ」。

△いたはル　(……)(……)自動、四段。(勞)はる〕　ヤマヒニナル。＝ヤム。

◎いたはるコト　(ヒヤウキ)。

いたび　(全平)名。(木遣子)　ツル草ノ名。葉ハもくせいニ似テノコギリ葉ガナク、冬モシボマズ、つたト同ジク木石ニ付ク。花ノ見エヌ間ニ葉ノアヒダニ實ガナル。實ハいぬびはニ似テ、熟セバ黑クアマクナル。＝イタヒカヅラ。

いたび・かづら　(第四上)名。〔……葛〕　いたびノ一名。

○いた・ひき　(第二上)名。(板挽き)　(一)材木ヲ板ニヒキワルコト。(二)イタヒキヲスル人＝コヒキ。

◎いたまノ風。＝(イタノハギアハセノアヒダヲ洩レルカゼ)。

++いた・びき　(全平)名。〔……引き〕　絹ヲ板ニ張リ、糊ヲシテ目ヲツマセルコト。

●いたぴ・きれ　(第五上)名。〔……び切れ〕〔びハ添ヘタ語〕　板ノキレハジ。＝イタピッキレ。

いた・びさし　(第三上)名。〔……廂〕　板ノヒサシ。

●いた・びつ・きれ　(第四逼)(第六上)名。(板びつ切れ)　いたびきれノ轉。

△いたブ　(第二上)名動、四段。(傷ぶ)　心ガイタマシクナル。＝フカクカナシム。＝イタム。

△いたブ　(第三上)自動、上二。(甚振)(いた(甚)ふる(振)ノ義)　カラクナル。＝ハナハダシクナル。

いた・ぶき　(全平)名。(板葺き)　(一)板デ家根ヲフクコト。＝コケラブキ(かはらぶき、かやぶきナドノ對)。(二)イタブキノヤネ。

いた・ぶね　(第二上)名。〔……舟〕　タダノふねトオナジ語。

●いた・ぶル　(……)他動、一。(傷ぶる)　(一)相手ヲイタマセテ、物ヲムサボリウバフ。＝イスル。＝ユスル　(二)(轉ジテ)ユスル。＝ウゴカス。

●いた・ぶれル　(……)自動、二。〔……れる〕　ユレル。＝ウゴク。＝ユラメク。＝「風ガ出タママ舟モ次第ニいたぶれ」。

いた・べい　(第三上)名。(板塀)　板デ造ッタカコヒノヘイ(どべいナドノ對)。

いた・べうし　(第三ビョ合)(……)名。〔……表紙〕　板デ造ッタヘウシ。手本ナドノオモテニ張リ付ケルモノ。

いた・ま　(全平)名。〔……間〕　(一)スベテ、板ト板トハギアハセタ間ノスキマ。(二)いたのまノ略。

◎いたまノ風。＝(イタノハギアハセノアヒダヲ洩レルカゼ)。

いたまき　(音調不詳)名。　子供ノタハムレト云フ。コシラヘカタ知レズ、但シかるたノ類デアルト云フ。＝新撰六帖「ヲサナゴノ春ノ始メノいたまきニッカサクラ井ハソナヘアゲッツ」。

○いたまし　(第三上)形。(傷まし)〔いたみ(痛＝傷)ヲ働カセタモノ〕　哀レデアル。＝

フビンデアル。—イタハシクアル。—カハユサウデアル。

●いたましイ　(第四上)形。〔……い〕　いたましノ近體。

いたましさ　(第三上)名。〔……さ〕　イタマシクアル度合ヒ。

いた・まへ　((第四ヱ)(全平)名。　(一)イタノ前。(二)〔轉ジテ〕スベテ、まないたノマヘ。(三)〔又、轉ジテ〕まないたヲツカサドル人。—レウリニン。—レウリバン。—イタ。(四)〔又、轉ジテ〕料理ノカゲン。—〔いたまへガウマイ〕。

いたみ　(第三上)名。〔(痛—疼)み〕　(一)身ニ感ズル、一種ノクルシイ感覺。刀ナドデ身ヲキリ、又ハ杖ナドデ打ツタ時ニ感ズルタグヒ。(二)〔轉ジテ〕第一ノ解義ニ云フ感覺ニ似タ感覺。—ヤマヒ。—病氣。(三)〔又、轉ジテ〕ソンジ。—キズ。—コハレ。—ヤブレ。

○いたみ　(……、又、第二上)名。〔(傷)み〕　いたむ(傷)ノ名詞體。アイシヤウ(哀傷)—人ノ死ンダノヲカナシムコト。—クヤミ。

いたみ　(第一上)名。〔伊丹〕　酒ノ名。いたみざけノ略。

いたみ・いル　(第二上)自動、四段。〔痛み入る〕　〔いるハかんじいるナドノいる〕　フカクオヌミ思フ。—分ニ過ギテ取リ扱ハレテ、却ツテ、心ニコタヘル。

いたみ・ざけ　(第三上)名。〔伊丹酒〕　上等ノ酒。摂津ノ伊丹カラ出ル酒。

いたム　(第二上)自動、四段。〔(痛—疼)む〕　(一)スベテ、イタミノ感覺ガ生ズル。(二)損ジル。—コハレル。

○いたム　(……)他動、下二。〔(傷)む〕　(一)ナヤムヤウニスル。—イタメル。(二)傷ヲ付クル。—ワルクスル。—コハレ、ソンジサセル。—ソコナフ。—〔草木ヲいたむる風〕。

○いたム　(……)他動、下二。〔……〕　ナヤマセル。—イタマセル。—カナシミナゲクヤウニスル。—イタメル。—〔心ヲいたむる猿ノ聲〕。

○いたム　(……)他動、四段。〔……〕　死ンダノヲカナシム。

○いたム　(……)他動、下二。〔撓む〕　草ヲ打チ(全平)名。〔板目〕　(一)板ト板トノ(三)〔轉ジテ〕ナヤメル。(二)板ノモクメ。(三)〔轉ジテ〕ナヤメガ正シク平行ニ揃ハヌモノ。(四)いためぼりノ略。

○いたム　(……)他動、四段。〔……〕　イタメルコカタメル。—イタメル。

いた・め　(全平)名。〔板目〕　(一)板ト板トノアハセメ。(二)板ノモクメガ正シク平行ニ揃ハヌモノ(まさめノ對)。(四)いためぼりノ略。

いた・め　(第三上)名。〔(傷)め〕　イタメルコト。

いため・がは　((第四カ、第五ワ)(……)名。〔板目革〕　カタメテ、練ツタ革。ヨロヒ、ツバナドニツカフ。

いため・がみ　((第四カ)(……)名。〔……紙〕　幾枚モ紙ヲ糊デ張リ重ネタモノ。書物ノ表紙ナドニツカフ。

いため・きたえ　((第四キ)(第四上)名。〔板目鍛え〕　鉄ノキタエカタノ一ツ。鉄ヲ板目ニナタダ取リマゼテ鍛エ合ハセタモノ。

△いためきたえ・と　(まさめきたえノ對。—甲冑製作辨ドコス(まさめきたえノ對。—甲冑製作辨〔いためきたえハ板ケヤスキ心ナリ〕。

△いため・じほ　((第五オ)(第三上)名。〔……鹽〕　やきしほノ類ト云フ。—枕ノ草紙、いためしほ、アコメカタビラ。

いため・じやく　((第四、五合)(……)名。〔……笏〕　(一)スベテ、イタミノ感覺ガ生ズル。(二)損ジル。—コハレル。

○いたム　(……)他動、下二。〔(傷)む〕　(一)ナヤムヤウニスル。—イタメル。(二)傷ヲ付クル。—アブラヲトル。

いため・ぼり　(……)名。〔板目彫り〕　彫刻ノ語。イタメノ板ヘノ彫刻。—イタメ。(とくちぼりノ對)。

●いためル　(第三上)他動、二。〔(燃)る〕　料理ノ語。油ヲイリツケル。—〔牛蒡ヲいためる〕—〔クヂラノ脂デいためる〕。

●いためル　(……)他動、二。〔(傷)める〕　いたむ(下二)ノ近體。

いた・もの　(第四上)名。〔板物〕　いたのものノ略。

○いた・や　(全平)名。〔板屋〕　(一)板デフイタ屋根ノ家。(二)〔轉ジテ〕イタヤ子。—枕草紙「小サキいたやノ黒ウ、キタナゲナルガ」。—御鳥羽院、「住ミナレヌいたやノ軒ノムラシグレ昔ヲキクニモソデハヌレケリ」。

いた・やかた　(第三上)名。〔……屋形〕　クルマノヤカタヲ板デ拵ヘタモノ。—〔いたやかたノクルマ〕。

いたや・がひ　((第四カ、第五イ))(……)名。〔……貝〕　二三寸バカリノ貝ノ名。一方ハクボミ、一方ハヒラタク、外面ニハ縦ニスヂガキヲミコンデアル。殼ヲバ多クシヤクシニスル。—イタラガヒ。—シヤクシガヒ。

△いた・や・ぐし　((第四グ))(……)名。〔痛矢串〕　〔いた(痛)やぐし(矢串)ノ義〕　イタイタシイ矢ガラ。—日本紀、〔トキニ五瀬ノミコトいたやぐしノ傷イタミマスコト甚シ〕。

いた・やね　(……)名。〔板屋根〕　イタブキノ屋根。

いたら・がひ　((第四カ、第五イ))(……)名。　(一)貝ノ名。いたやがひノ一名。(二)マタ、貝ノ名。きさがひノ一名。

いたり　(全平)名。〔至り〕　(一)イタルコト。—トドキ及ブコト。—〔失禮ノいたり〕。—〔デキンノいたり〕。(二)考ヘナドノヨク屆クコト。—イキワタリ。—大饌〔イミシウいたりアリケル人ニテ〕。

◎いたりアル。—(思ヒヤリノアル。—智惠ノアル)。◎いたりカシコシ。—(智惠ガアッテ、モノゴトニ能クユキワタル。—枕ノ草紙、「オアリいたりかしこくテ」)。

◎いたりスクナシ。—(思ヒヤリノ淺イ。—智惠ノアサイ。—源氏、「いたりすくなく只人ノキコエナス方ニノミヨルベカメル御心ニハ」)。◎いたりフカシ。—(思ヒヤリノアツイ。—源氏、「何ノいたりふかき方ハナケレド」)。

▲いたり・ねこ　(第四上)名。　ドロバウネコ。—物類稱呼、「東國ニテヌスビトヲコ又いたりねこトモ云フ」。

いたル　(全平)自動、四段。〔(至—到—造)る〕　ソノ所マデ行キトドク。—タッスル。—著聞集、「汝必ズ大夫史ニいたるべキモノナリ」。

○いたル　(……)他動、四段。〔……〕　〔前ノ語カラ轉ジテ〕ナル。—カハル。—〔老衰ニいたる〕。

○いた・ゐ　(……)名。〔板井〕　板ガコヒノデキタ井戸。

い・たん　(第一上)名。〔(異端)〕　(一)チガッタトコロ。(二)〔轉ジテ〕スベテ正シクナイコト。—〔いたんニ志ザシテ野心ヲイダク〕。

いち　(……)名。〔市〕　(一)人ナドガ集マッテウリカヒスルコト。(二)〔轉ジテ〕人ガヨッテウリカヒスルトコロ。

◎いちガサカエ(榮)ル。—(ヲハリトナル。—シマヒニナル。—ケッキョクトナル)。

いち　(第二上)名。〔一〕　アタマノ髓ブシノ名ドコロ。中ヲシバッタ元ニヒカラウシロノ部分。—〔いちヲ開カセタルガンヂヤウヅクリ〕。

いち　(……)名。　草ノ名。いちぐさノ略。

いち　(……)數。(一)　(一)ヒトツ。—イッ。—ピン。—ポイント。(二)サイジャウ。—イチ。—バン。—最モスグレタコト、又、モノ。—枕ノ草紙、「スベテ人ハいちニ思ハレズバ更ニナカセン」。(三)三味線、琵琶、又ハバイオリンナド、スベテ樂器ノ第一ノ絲ノ名、ソノ絲ノウチ一番フトイモノ。

いち　(全平)接頭。　他ノ名詞トトモナッテ、まつたい、のこらず、おなじナドノ義ヲ現ハス語。—〔いちメンノ銀世界〕。

○いち　(……)接頭(逸)〔いつ(稜威)ノ義〕　スグレタイサマシイ、又ハハゲシイトカノ義ニツカフ接頭語。—〔いちアシ〕—〔いちヤブ〕。

△いぢ　(第二上)根。〔意地〕　〔次ギノ語カラ轉ジテ〕スベテ、心ノエコヂデアルコト。—いぢ　(……)名。〔……〕　(一)ガイ(我意)。(二)我意ヲハリトホス心。☆いきぢ參考。

○いたル　(……)他動、四段。〔……〕　〔前ノ語カラ轉ジテ〕ナル。—カハル。—〔老衰ニいたる〕。

○いた・ゐ　(……)名。〔板井〕　板ガコヒノデキタ井戸。

い・たん　(第一上)名。〔(異端)〕　(一)チガッタトコロ。(二)〔轉ジテ〕スベテ正シクナイコト。—〔いたんニ志ザシテ野心ヲイダク〕。

いち　(……)名。〔市〕　(一)人ナドガ集マッテウリカヒスルコト。(二)〔轉ジテ〕人ガヨッテウリカヒスルトコロ。

◎いちガサカエ(榮)ル。—(ヲハリトナル。—シマヒニナル。—ケッキョクトナル)。

いち　(第二上)名。〔一〕　アタマノ髓ブシノ名ドコロ。中ヲシバッタ元ニヒカラウシロノ部分。—〔いちヲ開カセタルガンヂ

◎いぢいぢハ動物類、スベテカヨワクテ、チカラノ足ラヌモノガ自分ヨリ優ッタモノニ對シテ怖レ、オノノキ、フルヘルナドノ時ニ用ヰル。他ノモノ(特ニ非動物)ニハ決シテトモナハヌ。

いちいち・に　(第二上)副。〔一一に〕　いちいちトオナジ語。

いちえふ　((第三ヨ、第四ウ))(全平)名。〔(一葉)〕〔いちえふ(一葉)即チ一枚ノ葉トノ義〕　小舟。—〔いちえふノフネニ棹サシテ〕。

◎いちえふハ甚ダ不思議ノ性質ノ語デアル。いちえふヲ浮カベテナドノ文デハ差支ナグ舟トノ義ハ現ハレルガ、ト云ッテモトガ舟ノ義ハナク、タダ舟ヲ形容スル語デアル。故ニ尙ホいちえふノ舟ナドト云ッテ重言ノヤウナガラ其レデモ意味ハトホル。唯、多クハ習慣カラ皆いちえふトバカリ云ヒ、二ェフ、三ェフ其他以上ニハ決シテ數ヘラレヌ。

いちえふ・らん　(……)(第三上)名。〔……蘭〕　深山ニ生ズル小サナ草ノ名。莖一本、葉一本。葉ハ楕圓デ蘭ニ似タ小サナ花ガ咲ク。

いち・おう　(全平)副。〔一應〕　普通ドホリ。—ヒトトホリ。—〔いちおうゴモットモ〕。

いち・がい　((第三ガ)(第二上)根。〔(……概)〕　(一)ヒックルメタモノ。—オシナベテノコト。(二)イチドキ。—ドウジ。—イチジ。

いちがい・に　(……)(……、又、第三上)副。〔……に〕　前ノ副詞體。—〔いちがひにハ言ヘヌ〕。

いち・がう　((第三ゴ)(全平)名。〔(一毫)〕　(一)毛ヒトスヂ。(二)〔轉ジテ〕スベテ、スコシノモノ。—シウガウ。

いち・がふ・ます　((……、第四ウ))(第三上)名。〔……合枡〕　量一合ヲ入レルダケノます。木

ノ厚サハ三分五厘、ウチカタ二寸一分、深サ一寸四分五厘。積六千三百九十五立方分。

いち・かん　(…)名。(…塞)　スベテ、キモノナド肌ウスク着ルコト。—「ヒトヘモノハちかんデブルブルフルヘル」。—「シャツハちかんノ貴乏書生」。

◎オモフニ漢語「一寒貧生」ナドイフいつかんカラ來タ語ラシイ。

いち・がん　((第三ガ))(第二上)名。(…眼)　メツカチ。=カタメ。=ヘンモク。=獨眼。

いち・ぎ　((第三ギ))(…)名。(一)ヒトツノ道理。=イチリ。—「いちぎアリ」。(二)(轉シテ)カンガヘ。=カンガヘルコト。—「いちぎニ及バズ」。(三)スベテ、ソノコトヲ指シテツカフカクシコトバ。=イツケン。—「アナタモ御存シノ通リノいちぎノシマツ」。

●いぢきたな　(第四上)根。(意地穢)　ムサボッテノミクヒシタガルコト。

●いぢきたなさ　(…)名。(…さ)　イヂキタナクアル度合ヒ。

●いぢきたなシ　(…)名。(…し)　イヂキタナイ人ヲ、ソノセイシツ。

いち・くさ　(全平)名。　草ノ名。まんねんぐさノ雌。

いちぐさしかけ　((第三グ))(第四上)名。(一具盞し掛け)　いちぐゆがけトオナジモノ。

いちぐゆがけ　((…。第五ガ))(…)名。(…韘)　左右ノ手ニカケル革ノユガケ、イクサニ用ヰルモノ。=イチグサシカケ。

△いち・ぐら　((第三グ))(全平)名。(市座)(いち(市)くら(座)ノ義)。　市デアキナフ者ヲナラベテ置ク所。

いちくら・すみ　(第四上)名。(一庫炭)　いけだすみノ一名。

▲いぢくル　(第三上)他動、一。　いぢるノ轉訛。

△いち・ぐわち　((第三グ。第三、四合))(第五上)名。(一月)　(一)イチグワツ。=シャウグワツ。=イチゲツ。(二)ヒトツキ。イツカゲツ。

◎いちぐわちノサイ。=(ヒトツキノ間ダケ行フケツサイ)。

いち・くわつ　((…))(…)名。(…)　シャウグワツ。=イチグワチ。

いち・げ　((第三ケ))(全平)名。(一夏)(げハかぼ(夏)ノ呉音ヨミ)。　僧家ノ語。四月十五日カラ七月十五日マデヲいちげ九旬ト云フ。此ノ間ハソトヘ出テ道路ニ多イ蟲ケラヲ踏ミコロスヤウナ殺生ヲセヌ爲メニスベテ僧家デイホリニアンゴ、即チコモル。—謠曲、通小町「コレハ八瀬ノヤマザトニいちげヲ送ル僧ニテ候」。※けつげ參考。

いち・げい　((…))(第二上)名。(一藝)　スベテ、ヒトツノグザマヘ。—「いちげいニヒイデル」。

いち・げ・さう　((…。第四ソ))(全平)名。(一花草)(一)草ノ名。まんねんぐさノ一名。(二)草ノ名。いちりんさうノ一名。(三)マタ草ノ名。いへにれノ一名。

いち・げつ　((第三ゲ))(…)名。(一月)　ヒトツキ。=一ケ月。=イチグワツ。(二)シヤウグワツ。=イチグワツ。=イチグワチ。

いちげルル　(…)自動、二。(畏縮)　(一)オソレチヂム。=オソレスギル。=ヨワル。=スクム。=チイサクナル。—「オソロシザニいちげて」。—「シユセキガいちげる」。

いち・げん・きん　((第三ゲ))(第三上、又、全平)名。(一絃琴)　絃ヲヒトツデ付ケタ琴。

やまにしきぐさノ一名。

いちご・ぐもとき　((…))(第四上)(…)名。(持擬き)　料理ノ語。大根ヲオロシ、酢ト共ニ蜜柑ノ實ヲアヘタモノ、サナガラいちごニ似タモノ。

いちご・やまひ　((…。第六イ))(第四上)名。(一期病ひ)　イッシャウナホラヲヤマヒ。—淺井了意、東海道名所記、「カサヲウツリテいちごやまひニナルモアリ」。

▲いちころ　(第一上)根。　西京ノ方言。ムザウサ。

いち・ざ　(全平)名。(一座)　(一)(第一バンノ座。=シャウザ。=カミザ。=ジャウダン。(二)ドウセキ。(三)ハナシ、講釋、エンゼツ、セツキャウナドスベテ一人ノ一回。(四)スベテ、興行モノナドノレンヂユウノヒトムレ。—「四十郎ソいちざ」。

△いち・さかき　(第三上)名。(逸柳)　赤クロクムラサキバンダ實ノナル木ト云フ。=ビシャカキ。

○いち・さかき　(…)枕。(…)　(前ノ語カラ轉ジテ)いちさかきニ實ガ多クナル所カラふばくト云フ語ニカカル枕詞。—古事記、「いちさかき實ノオホケキヲ」。

△いちざ・の・せんじ　(第五上)名。(一座の宣旨)　第一番ニ着座スベキセンジ(宣旨)。

いち・じ　(第二上)名。(一時)　(一)ヒトトキ。(二)ヒトコロ。—「いちじハ裳ヘシモノノ又サカリシガ」。—「いちじハ裳ヘシモノノ又サカリニナル」。(三)(轉ジテ)ワヅカノマ。=ザンジ。—「いちじノタハムレゴト」。(四)ヒトトキ(時刻ニ云フ語)。一晝夜ヲ二十四ニ分チ其一ヲ稱ヘル語。(五)(轉ジテ)又一晝夜ヲ二十四ニワケタウチノヒトツノ時間ノトナヘ。十二時ノツギ、二時ノ前。ムカシノ漏刻デハ子又ハ午ノ下刻。—「午前いちじ」。—「午後いちじ」。

いち・じ・せん・きん　(全平)句。(…字千金)(ヒトツノ字ガ千ノ價ト云フ義)。　人ノ書マタハ筆ナドヲホメテ一字千金ニアタルト形容スル語。—「筆蹟いちじせんきん」。

いち・じつ　(…)名。(…日)　アルヒ。=ヒトコロ。—「いちじつ山ニ遊ビシコトアリシガ」。

いち・じつ　(…)名。(…)　月ノハジメノ第一番ノ日。=ツイタチ。=イチニチ。

いち・じ・に　(第二上)副。(…時に)　イチドニ。=ヨセアツメテ。—「騷亂いちじに起ル」。

いち・じ・の・はな　(第二上)名。　實物不詳。いちごトモ云フ。—萬葉集、「ミチノベノいちごのはなノイチシロク人ミナ知リヌ我ガコヒヅマハ」。

△いち・じ・ばん　(全平)名。(一字版)(ヒトツビットツノ版ノ義)。　クワッシバン。

いち・じゅく　((第三、四合))(第二上)名。(一熟)(無花果)。　木ノ名。高サ一丈アマリ稍ヤ桐ニ似テ青ク、大キク、ニナル。葉ハ稍ヤ桐ニ似テ青ク、大キク、ザラザラシ、五月頃葉ノ間カラ實ガナル。大キサハ一寸バカリ始メハ青ク、熟スレバ紫イロトナリ、中ニハ赤ク、ウス黄イロノ種ノヤウナモノガ數多クマジッテ居ル。味ヒハアマク、能ク腸胃ノヤマヒヲナホスト云フ。=ムクワクワ。=イチジク。=ウドンゲ。=イヌタウガサ。=ウモレギ。(二)又、木ノ名。いぬびはノ一名。

いちじゅ・の・かげ　((…。第七ゲ))(第二上)名。(一樹の蔭)　モトハ佛教カラ出タ語。いちじゅ即チ一本ノ木ノカゲニヤドルトノ義。

○いち・じるシ　(第三上)形。(著)し(…)(いち(逸)しるし(著)ノ義)。　イチジロシ。=アキラカニ知レル。=コトサラニ目ニタツ。=ケッテン。—源氏、「ハフリコガイフウチマガヒオグシモバ、ゲニいちじるき神ノシルシカ」。

○いち・じるし　(…)形。(…)　前ノ語ト同ジ語。—「いちじるしき利益」。

○いち・じろし　(全平)形。(…)　前ノ前ノ語ト同ジ語。

いち・ぜん・めし　(第三上)名。(一膳飯)　飯ヲ椀ニイッパイニモリ、其レダケデイクライクラト勘定シテ賣ルモノ。主ニ道バタノヤタイミセナドデ賣ル。貧民ノ食。—半山、見タ京物語、「いちぜんめしノカンバンアリ」。

いちせんめし・や　(第六上)名。(…屋)　イチセンメシヲ賣ル家、マタ其ノ人。

いち・ぞく　(第二上)名。(一族)　イッケ。=オナジヤカラ。=シンヅク。=ドウゾク。

いち・ぞん　(…)名。(…存)　自分ヒトリノカンガヘ。=イッコノイケン。—「いちぞんデハカラフ」。

いちだい　(第二上)名。(…代)　(一)スベテ、アルシトカ、カシラダットカ、オモダッタ身分デアルアヒダ。(二)イッシャウ。—「人ハいちだい、名ハマッダイ」。

いちだい・き　(第三上)名。(…代記)　人ノ一代ノ傳ヲカキシルシタ物。=デン。—「義經いちだいき」。

いち・だい・し　(…)名。(…大事)　ヒトツノ大キナコト。=ヨウイデ無イコト。=オホゴト。—太平記、「正成不肖ノ身トシテ此ノいちだいじヲ思ヒ出シ候事外聞ヲハカラザルニ似タリ」。—西鶴、一代女、「コノ時身ノいちだいじヲオボエテ」。

すまごとノ一名。

いち・こ　(第一上)名。(市子=巫女)　クチヨセ。=アヅサミコ。=タタキミコ。=ナホシ。

いちご　((第三ゴ))(全平)名。(苺=蓬藥)　亞灌木ノ一種。野山ノミチバタナドニモアル。葉ハどびニ似テミドリ濃ク、莖ニモ葉ニモトゲ多ク、四月頃白イ花ガ咲ク。夏實ガナッテ熟ス。=イチビコ。=クサイチゴ。=クワンスイチゴ。=ヲバイチゴ。=ナベイチゴ。=ニナヘイチゴ。=ヤブイチゴ。=ワセイチゴ。=ホソイチゴ。=ベリイ。=ストロオベリイ。

いち・ご　((…))(…)名。(一期)(ごハき(期)ノ呉音ヨミ)。　シャウガイ。=イチダイ。—徒然草、「皆コノアラマシニテゾいちごハスグメル」。—勸進帳、「ツヒニ泣カヌ辨慶ガいちごノ涙ゾ殊勝ナル」。

▲いちごさし　((…))(第三上)名。　伊豫ノ方言。草ノ名。ちやひきぐさノ一名。

△いち・こち　(全平)名。(一越)　いちこちてうノ畧。

いち・こつ　(…)名。(…)　いちこつてうノ畧。

△いちこち・てう　((第五チョ合))(…)名。(…調)　十二律ノ調子ノヒトツ。※じんにりつ參考。

いちこつ・てう　((…))(…)名。(…)　いちてうトオナジモノ。

▲いちご・つあぎ　((第三ゴ。第六キ))(第四上)名。(苺鑿ぎ)　長崎ノ方言。草ノ名。花ノ形ハすすめかたびらニ似テ、高サハ一尺アマリ、穗ハ小サクテ、カタイモノ。=ソモソモ。=ニラミグサ。

いちご・ます　((第三ゴ))(第三上)名。(一合桝)

いち・だん　(全平、又、第二上)根。〔一段〕　ヒトキハ。＝ヒトシホ。＝イッソウ。―「いちだんノ御ナグサミ」。

いち・だん　(……)副。〔……〕　前ノ副詞體。―「いちだんオモシロシ」。

◎ムシロ今日ハ癡語トナル。

いち・だん・くわつ　(第五、六合)(第三上)名。〔……活〕　いち・だん・くわつよう　(……)(第二上)名。〔……活用〕　いち・だん・の・はたらき　(……)名。〔……の働き〕　いち・だん・の・はたらき　(……)名。〔……の働き〕　語格ノ語。規則動詞ノ語尾變化ノ中ノトナヘ。附錄參考。＝イチダンクワツヨウ。＝イチダンクワツ。

いち・ぢ　(……)名。〔市路〕〔いち(市)ぢ(路)ノ義〕　アキンドガ互ニ物ヲ交易スル所。＝イチ。―萬葉集、駿河ナル阿部ノいちぢニ。

○いち・ぢやう　(第四ヨ、第三、四合)(全平)根。〔一定〕〔ぢやうハてい(定)ノ呉音ヨミ〕　コレト、ヒトツニ物ノ定マッタコト。―「いちぢやうノ法」。

○いち・ぢやう　(……)(……)副。〔……〕　キット。＝テッキリ。＝タシカニ。＝ヒヂヤウ。＝カナラズ。―「いちぢやう御世ッギタルベキヅ」。

いち・ぢん　(……)根(……陣)。　ヒトフキ。―「いちぢんノナマグサキ風」。

いち・づ　(第二上)根。〔……圖〕　ヒタスラ。＝ヒトムキ。＝ソレノミニ心ヲソソグコト。―「いちづニフカク思ヒツメ」。

●いち・づく　(全平)名。〔意地づく〕〔づくハいひづくナドノづく〕。　イヂノカギリヲツクスコト。

いち・づ・に　(第二上)副。〔一圖に〕　ヒトスヂニ。＝ソレバカリニ。＝ヒタスラニ。

いち・でう　(第三チョ合)(……)名。〔……條〕　イッケン。＝スベテ、ヒトツノコトヲヒックルメテイフ語。―「お話シノいちでう延引シテマコトニ相濟マズ」。

いち・どに　(全平)副。〔……度〕　イチジニ。＝イチドキニ。―「いちどにキリカカル」。

◎いちどダケデハ決シテ「イチジニ」ノ義ヲ出シガ副詞ニナラヌ。カナラズニヲ添ヘルニカギル。　近江ノ方言。蟲ノ名。

▲いちどい　(……)名。　いち・どう　(第三上)名。〔一同〕　孰レモ皆カヒとノ一名。

いち・どう　(全平)名。〔一道〕　オナジデアルコト。＝ゼンタイ。＝ソウタイ。＝ノコラズ。―「いちどうノイデタチ、カヒガヒシク」。

いち・どう　(全平)副。〔……〕　前ノ語ノ副詞體。―「いちどうソロッテ行ク」。

●いち・どき　(第三上)根。〔……時〕　〔どきノきハ意味ノ無イト云フ說モアルガ疑ハシイ。ときハ時ヲいちト連ネテ呼ンダモノラシイ〕。イチジニノコトラズ。

●いち・どき・に　(……)副。〔……に〕　前ノ語ノ副詞體。

◎いちどき、いちどきにノ二ツノ語ハ主ニ東京ソノ他關東ノ諸國デ盛ニイフ。他ノ地方デハアマリ云ハヌ。ママ云フ時ニハ九州アタリ必ラズ多クいつどきに(第二逼)ト云フ。いちどト比較シテ、いちどきハ甚シク意味ノ相違モナイ。いちどきハ異ナッタ點ヲ求ムレバいちどに(第二上)ノ方ハムシロ少シク男ラシイ口マヘノ心ヲ持ッ。いちどきにノ方ハ婦人小兒ナドノヤサシイ口ノハニ多ク乘ル。

いち・にち　(全平)名。〔……日〕　(一)朝カラ夜マデノ間ノ時間。　(二)朝カラアスノ朝ノアヒダ即チ一晝夜。―「日ガナいちにち」。

いち・にち　(……)副。〔……〕　シウジッ。＝ヒネモス。＝イチニチノコラズ。―「いちにち費ヤス」。

いち・にち・の・さい　(……)名。〔……の齋〕　イチニチノ間ットメルサイ。　參考いちぐわちのさい。

いち・にち・へん・し　(第五上)名。〔……片時〕〔ひとひ、かたときノ義〕　ザンジ。―「いちにちへんしモ忘ルルコトナク」。

いち・にん　(全平)名。〔一任〕　(一)其ノ役目ニアル間。―延喜雜式「凡國司一任之內」。(二)〔……〕○マカセキリニスルコト。＝コトゴトク委托スルコト。―「宰相ニいちにんシテカヘリミズ」。

いち・にん・たう・ぜん　(第五ト)(第二上)句。〔……人當千〕　一人ノチカラデ千人ニモアタル。＝イッキタウセン。―梅松論「千騎萬騎ニ向フベシトテ又カケイリケル體、實ニいちにんたうぜんトヲ見エシ」。

いち・にん・まへ　(第六ニ)(全平)名。〔……前〕　(一)人一人ダケノブンリヤウ。(二)人ヒトリダケノコト。＝ヒトナミ。(藝術ナドニ云フ)。―「親ノタンセイ、いちにんまへノ人トナル」。

いち・ぬん　(第二上)名。〔一念〕　ヒトスヂニ思ヒコンダチンリヨ。＝イッシン。―「岩ヲモトホス女ノいちぬん」。

◎いちぬんトいつしんト甚シク相違ノ意味モ無イガ、いちぬんノ方ハ場合ヒニ依ッテハいつしん(一心)ヨリ猶フカク恨ミ、嫉妬、忘執ナドノ義ヲ含ム。

いち・ぬん・ぐさ　(第五グ)(第三上)名。〔……年草〕　一年ゴトニ新芽ヲ出ス草ノ總名。新芽ハフルチカラハ生ヘズ、イッモ新ニ

實カラ生ヘルモノ。＝イチネンサウ。

いち・ぬん・さう　(第五ソ)(……)名。〔一年草〕　いち・ぬんぐさト同ジモノ。

いち・ぬん・ぢゆう　(第五、六合)(全平)名。〔……中〕　一年ノ始メカラ終リマデノアヒダ。＝シウネン。＝シウサイ。―「いちぬんぢゆうアクセクトバカリシテ居テ浮カバレヌ」。

いち・のう　(第二上)名。〔……能〕　スベテ藝術ノヒトツ。＝イチゲイ。―「いちのうニ達スル人」。

◎いちげいハ兎モスレバ遊藝ノココロヲ含ム、タダシいちのうハ遊藝ノココロヲ含マヌ方デアル。―「三味線ノいちげい」。―「詠歌ノいちのう」。

いち・の・かたな　(……)名。〔……の刀〕　料理人ノ語。スベテ初メニ切ルハウチヤウ。

△いち・の・かみ　(第二、及、第四上)名。〔一の上〕〔左大臣ハ太政官ノコトヲイッサイ總理スル所カラ〕　さだいじんノ異名。

いち・の・かみ　(第三上)名。〔市正〕　いちのつかさノ長官。＝いちのつかさ參考。―「片桐いちのかみ」。

△いち・の・きさき　(第五上)名。〔一の后〕〔第一番のきさきト云フ義〕　皇后。

いち・の・ど　(第二上)名。〔……五〕　ぬひばりノ一種。カチジヤクデ一寸五分ダケノ長サノモノ。

△いち・の・だいじん　(……、第四上)名。〔……大臣〕　さだいじん(左大臣)ノ一名。＝イチノカミ(一の上)。

△いち・の・つかさ　(第一上)名。〔つかさハスベテ高イ所ノ義〕　スベテ市ノ高イ所。―古事記「いちのつかさニヒナヘヤニ」。

いち・の・つかさ　(第二上)名。〔市の司〕　昔シ京都ノ町ヲ預カッタ官。京ヲ西ト東トノ二ツニ分ケ、東西ニ分カレテヲサメル。ウリカヒ、金銀、道具ノ眞贋、ソノ他スベテ違法ノコトヲタダスヤクメ。にしのいちのつかさハ其意味通リニ西ノイチノツカサト云フ。但シ東ハ慣例カラコトサラニ東ヲ云ハヌコトニナリ、タダいちのつかさト云フ。

●いち・のて　(第三上)名。〔一の手〕　(一)ハシメノヤリカタ。＝イチバンノヤリカタ。＝サイシメノヤリカタ。(二)〔轉ジテ〕極メテイイシカタ。＝「何デモハヤク逃ゲルガヤウノテダテ。(三)第一解義カラ轉ジテ」ダいちのて。」―異本洞房語園「木戸ノ內ニテ兩人カラメ取リタリ。集三〔捕吏ノ名〕ガいちのてナリ」。

いち・の・ところ　(全平)名。〔……處〕　せつしやう、又ハくわんぱくノ異名。―枕草紙「いちの・ところ・ラネド」。

いち・の・はち　(第二、及、第五上)名。〔……八〕　ぬひばりノ一種。カチジヤクデ一寸八分ダケノ長サノモノ。＝ザフキンバリ。

△いち・の・ひと　(第二上)名。〔……人〕　いちのところトオナジモノ。―枕ノ草紙、「メデタキモノいちのひとノ御アリキ」。

いち・の・ひれ　(……)名。〔……鰭〕　料理人ノ語。魚ノヒレギハノ肉。

いち・の・みこ　(……)名。〔……皇子〕　第一番ノ皇子。＝イチノミヤ。―源氏「いちのみこハ大臣ノ女御ノ御ハラニテ」。

いち・の・みや　(……)名。〔……宮〕　(一)イチノミコ。(二)クニグニニアル其國第一番ノ神社。

いち・の・ろく　(……、第五上)名。〔……六〕　ぬひばりノ一種。カネジヤクデ一寸六分ダケノ長サノモノ。

いち・ば　(全平)名。〔市場〕　スベテ市ノタツ所。―「青物ノいちば」。―「魚ノいちば」。

いち・はち　(……)名。〔一八〕　草ノ名。いちはつト同ジモノ。

いちはつ　(……)名。〔……〕　草ノ名。葉ハ一尺バカリ、「ひあふぎニ似テミドリ濃ク、夏ノ始メ莖ヲ出ス。かきつばたニ似テルリイロニ赤クコイ紫ノホシノアル花ヲ付ケル。花ニハ白イノモ茶色ノモアル。＝コヤスグサ。＝イチハチ。

○いち・はやし　(第三上)形。〔逸速し〕〔いち(稜威)ノ義〕　(一)イキホヒガッヨイ。(二)スサマシク早イ。(三)心ガスルドイ。＝氣ガミジカイ。―日本紀、「嚴忌(訓イチハヤシ)」。―源平盛衰記、「天性入道ハ善事ニモ惡事ニモコヲバカヘリミズいちはやき人ニテ」。―伊勢物語「ムカシビトハカクいちはやきミヤビヲナンシケル」。(四)アワタダシイ。―蜻蛉日記、「門いちはやくタタク」。

△いち・はやブ　(第五上)自動(下二)。〔……ぶ〕　タケクナル。＝アラクナル。＝チハヤブル。

●いち・ばル　(第三上)自動、一。〔意地張る〕　イヂヲ張ル。＝思フママヲトホシタガル。

いち・ばん　(第二上)根。〔一番〕　(一)ヒトツガヒ。＝ヒトクミ。―「ムラノシモ左ノいちばんハオノレ云ハン。サ思ヒタマヘナドダノムルニ」。(二)ダイイチ。＝ゴクノハジメ。

●いち・ばん　(……)副。〔……〕　ココロミニ。＝チヨット。＝カリソメニ。―「いちばんヒトツ見ヤウカ」。

いち・ばん　(全平)副。〔……〕　第一ニ。＝コノ

ウヘモナグ。＝コトニスグレテ。「いちばん價ノタカイシロモノ」。

いちばんがけ　（第五ガ）（第六上）名。〔……駈け〕　（一）軍陣ノ語。ダイ一ヂンニ敵ノナカナドヘカケイルコト。（二）轉ジテ〔……〕スベテ、人ヨリサキニスルコト。

いちばんがつせん　（……、第六逼）（第五上）名。〔……合戰〕　一番ハシメニ起ルタタカヒ。

いちばんくび　（第三上）名。〔……首〕　軍陣ノ語。第一番ニ取ツタ敵ノ首。

いちばんず　（……）名。〔……酢〕　最モツヨイ酢。ツクツタカラハシメニ取ツタモノ。

いちばんななへ　（第七ヱ）（第五上）名。〔……備へ〕　第一番ニソナヘタ軍隊。

いちばんちや　（第五、六合）（第三上）名。〔……茶〕　サイショニツンダ茶ノシンメ。最上ノ品。

いちばんて　（……）名。〔……手〕　軍陣ノ語。第一番ニ出テ敵ニアタルヘイタイ。＝センポウ。

いちばんでし　（……）名。〔……弟子〕　弟子ノウチノ第一ニ位スベキデシ。＝カウテイ。

いちばんどり　（……）名。〔……鶏〕　（一）アケガタ何ヨリ先キニ第一番ニ鳴クにはとり。＝西鶴、若風俗「曉ノ鐘いちばんどりノ鳴カバ」。（二）イチバンドリノ鳴クコロ。＝滑稽。敵ノナハバリ中ヘ第一番ニ乘リ入ルコト。＝センヂン。＝セントウ。＝イチバンガケ。

いちばんめ　（第五上）名。〔……目〕　（一）芝居デイフ語。舞臺ヲアケテカラハシメニ行フ狂言。多ク時代モノヲスル。（二）〔轉ジテ〕シダイモノ。＝「いちばんめ狂言」。

いちばんやり　（第三上）名。〔……鑓〕　軍陣ノ語。雖レヨリ先キニ敵陣ヘマツサキニ鎗ヲツキイレルコト。

いちひ　（（第三イ））第一上）名。〔櫟〕　喬木ノ一種。櫪ノル井。葉ハしらがしヨリ薄ク、大キク、實モヨク櫪ニ似、材ハカタク、能ク舟ノ艫ニツクル。＝イチビガシ。＝イチヒノカサ。＝日本紀、「赤檮、此云伊知毘」。＝和名抄「櫟子、和名伊知毘」。

いちび　（第一上）名。〔雨麻〕　イチネングサノ名。葉ハ桐ニ似テヤハラカク、薄イ毛ガアル。夏、五瓣ノ黄イロノ花ヲ付ケ、實ハサヤガ平タクマルクテ輪トナル。昔ハ此ノ草ノ皮ヲハイテハバキトシ、今ハ多ク繩ヨロル。＝ゴサイバ。＝イチブ。＝イチベイ。＝ハナビキ。＝キリアサ。

いちび　（……）名。〔黄麻〕　一年クサノ名。海邊ニ多ク植エ、皮ヲハイデ船ノツナニスル。葉ハえのきニ似テ長クテトガリ、花ハいちびニ似テ小サク、實ハいちじゆくノ形チデ小サイ。種ハごまノ如ク、小サクテ平タイモノ。＝イチブ。＝シナノソ。＝カナビキヲ。＝ツナソ。

いちひがし　（（第三イ）、（第四カ））（第二上）名。〔櫟櫪〕　木ノ名。いちひ（櫟）ノ一名。

いちびがら　（（第四ガ））（第三上）名。〔雨麻〕　イチビ（雨麻）ノカラ。コレヲ燒イテ鹿ニシ、ホタチニツカフ。＝イチベイガラ。＝ホクチ。

△いちびこ　（全平）名。　草ノ名。いちごノ一名。＝日本紀「蘆竇、此云伊致彌姑」。

○いちびと　（第二上）名。（（市人））　（一）市ニ居テアキナヒヲスル人。＝アキウド。＝和名抄「伊知比止」。

○いちひのかさ　（（第三イ））（第一及第五上）名。　木ノ名。いちひ（櫟）トオナジモノ。

いちびはばき　（第四上）名。〔雨麻脛巾〕　イチビ（雨麻）ノ皮デ作ツタハバキ。昔、衛府從者ナドガ多ク用ヰタモノ。

いちひめ　（全平）名。（（市姫））　市ヲマモルト云フ女神ノ名。＝夫木集、「いちひめノ神ノイガキノイカナレバアキナヒ物ニ千代ヲツムラン」。

▲いちびル　（第三上）自動、二。　西京ノ方言。ハヂカヘルバカリニ喜ブ。

いちぶ　（第二上）名。〔一分〕　史生ノ一名〔公廨ノ一分ヲタマハル故〕。

いちぶ　（……）名。　（一）草ノ名。いちび（雨麻）ノ一名。（二）又、草ノ名。いちび（黄麻）ノ一名。

いちぶし、じう　（第四上）句。〔一部始終〕〔書籍ノ一部始終ノ義カラ轉ジテ〕始メカラ終リマデ。＝近松、曾根崎心中「いちぶしじう聞イタタモ」。

いちぶつじやうど　（（第六ヨ）、第五、六合）（全平、又、五六上）名。（（一佛淨土））　ヒトツニ揃ツテ、同ジ佛界ニ生マレ逢フコト。

いちぶめし　（第三上）名。〔一分召し〕　昔シ、式部省デ史生ヲ任命シタコト。☞いちぶ（一分）參考。

いちぶん　（第二上）名。〔……〕　ソノ物タルベキ、ヲウチノアルコト。＝ソノ物タルベキ甲斐ノ有ルコト。＝近松、曾根崎心中「いちぶんハスタツタ」。

◎いちぶんヲ立テル。＝（ソノ物タルベキヲウチヲアラハス）。

いちべい　（……）名。　草ノ名。いちび（雨麻）ノ一名。

いちべい、がら　（（第五カ））（……）名。　いちびがらノ轉訛。

いちべつ、いちい　（第五上）句。（（一別以來））　イチドワカレテカラコノカタ。＝「いちべついちいノ挨拶」。

いちべゑたん　（第三上）名。（市兵衛丹？）　下品ノ鉛丹。オシロイヲ取ツタカスヲ再ビヤイテ搾ヘタモノ。下等ナエノグニ使フ。

いちまい、かん、ばん　（第五上）名。（一枚看板）　（一）芝居ナドノ語。上等ナ役者ノ名ヲカンバンニ出スニアタリ、連名ニセズ、ヒトリデ一枚ヲ占メサセル、ソノ看板。＝西鶴、若風俗、「江戸ノ芝居大夫玉村主膳トいちまいかんばんニ名ヲヒロメ」。（二）轉ジテ、オモダツテ居ルコト。マタ、ソノ物。

いちまい、かんばん　（……）名。（……）〔著物ナド人ノ眼ニ付クモノヲかんばんト異名スル所カラ轉ジテ〕　タツタ一枚シカ無イ著物〔主ニアザケツテ云フ〕。＝「婚禮葬禮御能拜見、いちまいかんばんノイッチャウラ、子マキ、オキマキ、ブダンマキ、ドチラニ行ツテモタチハ盡キズ」。

いちまい、ぐろ　（（第五グ））（第三上、又、第五上）根。（……黑）　ケモノノ毛ナミノ稱。全身殘ラズ黑イモノ（オモニ狐、犬ニイフ）。

いちまい、じろ　（……）名。（……白）　ケモノノ毛ナミノトナヘ。全身ノコラズ白イモノ（オモニ狐、犬ナドニイフ）。

いちまい、だな　（第三上）名。（……棚）　田ノ中ヲ引ク小舟ノ名。＝タブチ。＝和漢三才圖繪、劉繡俗云一枚棚」。

いちまい、ゑ　（……）名。（……繪）　サイシキズリニシタ畫ノ一枚ツツニ出來テ居ルモノ。參考うきよゑ。

いちまつ　（全平）名。（市松）　いちまつもがらノ轉訛。

いちまつ、こもん　（第五上）名。（……小紋）　イチマツモヤウノ小紋。

いちまつ、もやう　（（第六ヨ））（……）名。（……摸樣）　元文ノ頃、役者佐野川市松ガ此ノ摸樣ノ服ヲ著ハジメタカラ始マツタモヤウノ名。いしだたみト同ジモノ。

いちまんぢゆう、じころ　（（第五、六合））第八上）名。（一饅頭鞠）　中古ハヤツタ兜ノシコロニコロノ一ツ。コシマキニソリヲ付ケ、ハチツケノ板一枚ダケヲマンヂユウナリニシテ、二ノ板カラ下ハ日根野流ノシコロニシタモノ。

++いちみ　（第二上）名。（（一味））　同ジミカタ。＝ドウシン。

いちみ、の、あめ　（第二、及、第五上）名。（……雨）　オシナベテフル雨。佛ノ說法ノマンベンナイノニ喩ヘテ云フ。法華經藥草喩品、「佛王等說如一味雨」。＝「モロトモニいちみのあめハカカレドモ松ハミドリニ藤ハムラサキ」。

いちみやう　（（第四ヨ）、（第三、四合））（第二上）名。（（一名））　マタノ名。＝ベツミヤウ。＝イミヤウ。

△いちめ　（全平）名。（市女）　スベテ市ニ住ム女。（二）轉ジテ女ノアキンド。

いちめい　（第二上）名。（一命）　人ヒトリノイノチ。＝「いちめいナグウツ」。

◎いちめいハ只ノいのちヨリハ意味ヲヨメラ云フ所ニッカフ。

いちめ、がさ　（（第四ガ））（第四上）名。（市女笠）　ナカホドガ上ヘッキヌケテ高クナツタヌリガサ。昔シノ婦人ガ能クカブツタモノ。今畫ニ書イタ常盤ナドガカブツテ居ル笠ノ類ヒ。＝桃ノ草紙、「アメフルヒノいちめがさ」。

●いちめル　（全平）他動、二。〔意地める？〕〔いぢ（意地）ヲハタラカセタモノカ？〕　人ヲナヤマセ、弄ブ。＝サイナム。＝クルシメル。

◎いちめるハ悪意ヲ持ツテ行ナフ心ヲ持ツ。其レニ又チカラノアルモノガチカラノ無イモノニ對シテクルシメル場合ニ多クツカフ。＝「ヨワイモノいちめ」。

いちめん　（……）名。（（一面））　ヒトツラ。＝オシナベテアルコト。＝イチエン。＝「田畠いちめんガ水ヲカブル」。

いちめんに　（……）副。（……に）　前ノ副詞體。

いちめん、しき　（第三上）名。（……識）　ヒトタビオモテヲ合ハセタコト。＝ヒトタビ交際ヲシタコト。＝「いちめんしきノ無イモノニムタイナ無心」。

いちもく　（全平）名。（……目）　ヒトメ。＝「いちもく燎然タリ」。

いちもく、さん　（第三上）根。（……散）〔いち（一）もく（目）ふ（不）さん（散）ノ略。即チ一方ヘ目ヲツケテ他ニチラサヌトノ義カ？〕　イツサン。＝イッショケンメイ。＝イチヅ。

いちもくさん、に　（……）副。（……に）　いちもくさんノ副詞體。

○いちもち　（第二上）名。〔逸物〕　スベテスグレタ人又ハ動物。＝イチモツ。＝「奥州黑ト云フコレ屈竟ノいちもちナリ」。

いちもつ　（……）名。（……）　（一）イチモチ。（二）男子ノカクシドコロノ異名。

いちもつ　（全平）名。（……）　胸ニ包ンデ持ツタクミ（多ク惡イ方）。＝「胸ニいちもつ」。

いちもん　（第三上）名。（一門）　（一）同ジイヘガラ。＝イッケ。＝「平家ノいちもん」。（二）轉ジテ本家ニツヅク同姓。

●いちもんきなか (第二上)名。 東京デオモニイフ語。いちもん(一文)ノ義ヲッヨメテ云フ語。—スコシバカリノ錢。

◎いちもんきなかハ主ニ反語ヲ必ラズ下ニ持ッテ用ヰラレル。積極ニハ餘リッカハヌ。例スレバ「いちもんきなかノ金モモタヌ」ナド、スベテ、ウチケシノ所ニツカフ。其ノ意味トスル所ハいちもんト少シモカハラズ、只ガいちもんヲッヨメテ云フラシク見エル。きなかノ語ニ付イテハ二三ノ說ガアルモノノ、イカニモ信ガ置ケヌ。

いち・もん・じ (第三上)名。(一文字) (一)一ト云フ文字。(二)カケモノノカザリノ一ツ。書畫ノ紙ノ天地ニ横ニホソク付ケルウックシイ布ノキレ、マタハ紙ノトナヘ。(三)酒ノノミ方ノ名。サカヅキニ有ル酒ヲ呑ミ、ワッカニ一滴バカリ殘シ、ソノママソノシヅクト共ニ膳ノ上ナドデサカヅキヲ引ケバ、ソノシヅクニ因ッテいちもんじガ書ケルトイフコト。コノ一文字ヲウマク書クノガ六カシイトイフ。

いち・もん・じ (…)根。(…) 一ノ字ノヤウニマッスグデアルコト。—「いちもんじニ敵陣ヘッキイッタリ」。—近松、釋迦如來誕生會「最ゴモル鷲ノ氣モタケタ、いちもんじニオトスト見エシガ」。

●いち・もん・せに (第五上)名。(…錢) タッタ一文ノゼニ。—ワヅカバカリノ金錢。—「いちもんぜにカ、ナマヅメカ」。

いち・もん・せん (金平)名。(…) イチモンノゼニ。—イチモンニ相當スルゼニ。

いち・もん・ぞり (…)名。(…剃り) ムカシ江戸ノ壯ニアッタカミユヒドコノ名。モト、錢一文デ剃ッタユエノ名。—曳尾庵、ワガ夜、「其後江戸ノハジメ、赤羽根ノ床最初ナリ。…ソノ比コレヲいちもんぞりトイフ」。

いち・もん・ふ・つう (第二上)句。(…不通) 字ガ一字モヨメヌ。—淺井了意、東海道名所記、「江戸京橋ニ紀國屋作内トテいちもんふつうノモノ」。

++いち・もん・をしみ (第五上)根。(…惜しみ) ワヅカナ錢ヲ惜シムコト。惜シンデ却ッテ損ヲスル義ヲ含ム。—「いちもんをしみノ百ヅン」。

いち・や (金平)名。(一夜) ヒトバン。—日ノクレカラ明ケルマデ。

いち・やう (第三ヨ)(…)根。(…樣) ヒトツサマ。—同ジスガタ。

いちやう・に (…)(…)副。(…に) オナジスガタニ。—ヒトツザマニ。—「月イヅレバ野モ山モミナいちやうにアヲミウタリテ」。

いち・やう・らい・ふく (…)(…)句。(一陽來復) 曆ノ語。陰曆ノ十一月又ハ冬至。此ノ日カラ陽ガカヘリ來テ春トナルトノ義。—「いちやうらいふく風物アラタナリ」。

いち・や・ぐさ (第四グ)(第三上)名。(一夜草) 草ノ名。べんけいさうノ一名。

いち・や・ぐさう (第五ソ)(金平)名。(一藥草) (一)草ノ名。莖ハ四寸バカリデ楕圓形、ミドリシボマズ、夏ベッニ莖ヲ出シ、六瓣ノ白イ花ヲ付ケル。稀ニハ紫イロノ花モアル。—カガミグサ。—アタゴグサ。—カガミサウ。—キッカフサウ。—ベッカフサウ。—スズラン。—ノアフヒ。—ヤマサイシン。—マキオモテ。(二)又、草ノ名。べんけいさうノ一名。

いち・や・けん・ぎやう (第六ギ、第七ヨ、第六、七合)(第四上)根。(…夜檢校) (一)イチヤダケ、ケンギヤウノ身分デアルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、暫時榮華ニアフコト。—近松、博多小女郎浪枕「客ハ過ギッル海賊ドモ。マッサキ立ッテ毛剃九右衞門。…チクラ手クラノいちやけんぎやう」。(三)(又、轉ジテ)スベテ、トホリガカリニ、心ニモヨクトメズ取リアッカフコト。—淺井了意、東海道名所記、「コトサラ座頭ドノモ、アハレいちやけんぎやうニナシハベラバ、雨氣ノ鳩ノ高クフキテ、蟷螂ガ斧ノハリヒヂデアルベキヲ」。

いち・や・ざけ (第三上)名。(…酒) スベテ、一夜ヅクリノ酒。

▲いちや・つき (第二、三合)(金平)名。 イチヤックコト。—ムタッキ。

▲いちや・つく (…)(金平)自動、一。 タハムレル。—フザケル。—ムタムタスル。—ザレル。(オモニ男女ナド)。—馬琴、二分狂言「十郎ノ繪馬ハチトハッテ見ント、ココヘ來テヨシドリニいちやつく」。

いち・や・づくり (第四上)名。(一夜作り) (一)一夜ノ中ニ搾ヘルコト。—「いちやづくりノ甘酒」。(二)(轉ジテ)スベテ、ハヤゴシラヘ。—「いちやづくりノニハカブシン」。

●いち・や・づま (…)名。(…妻) ヒトバンダケノ妻。—ヒトヨヅマ。—アソビメ。—近松、吉野都女楠「いちやづまカ、アソビメカ?」。

▲いち・や・によろり (第四「五合」)(第六上)名。伊豫ノ方言。草ノ名。まんじゆしやけノ一名。

△いち・や・をんな (第四上)名。(一夜女) ヒトヨヅマ。—西鶴、若風俗「南ノ端ノハタゴヤニ人トメルいちやをんなノ立チ出デ」。

いち・ゆう (第二、三合)(第一上)名。(意中) 心ノウチ。—カンガヘ。—オモフトコロ。

いち・ゆう (…)(…)根。(…) 愛シ思フコト。「心ノ中ニタタミコム義」。

◎いちゆうノ人。—ヨヒビト。

++い・ぢゆう (…)(金平)名。(移住) 土地ヲカヘテ住ムコト。—ヒキウツルコト。

い・ぢゆう (…)(…)名。(異重) 物理學ノ語。水ヲ標鴉トシテシラベ出ス、スベテノ物ノメカタ。—ヒヂユウ。

いぢゆう・みん (…)(…)名。(移住民) 土地ヲカヘテ住ム人民。

いち・らく (…)名。(一樂) いちらくぶり、又ハいちらくあみノ略。

いちらく・あみ (…)名。(…編み) スベテ、いちらくぶりト同ジ姿ニ物ヲアムコト。

(二)いちらくぶりト同ジ姿ニ簾デ編ンダアミモノ。—「いちらくあみノキセルッツ」。

いちらく・ぶり (…)名。(…織り)(和泉ノ國ノ人土屋一樂ト云フ人ガ工風シタト云フ。始メ簾ヲハナハダ細クシ、色色ノ品物ヲ組ンデ造ッタモノ」。最上ノ絹ノオリモノノ一種。極メテ正則ニ絲ヲ浮カセテ織リ出シタモノ。

◎昔シハ今云フいちらくあみヲいちらくぶりト云ッタ。今いちらくぶりト云ヘバ織リ物ノ義ニナッテ編ミ物ノ義ニナラヌ。

○いぢらし (第三上)形。(いぢハいぢナドノいぢ) イタハシイ。—キノドクラシイ。—カハユサウデアル。—イヂイヂシタ姿デアル。(スベテ子供其他チカラノヨワイモノナドニ云フ)。

●いぢらしイ (第四上)形。 いぢらしノ近體。

いぢらし・さ (第三上)名。 イヂラシクアル度合ヒ。

△いち・らふ (第三ロ、第四ウ)(金平)名。(一籠) 年功ヲ積ンダ人。—オモダッタ人。「モトハ僧徒ノ位階カラハジマル。後世俗人ニモツカフ」。—らふ(籠)參考。—「いちらふノ藏人」。

++いち・らん (第二上)名。(…覽) ヒトトホリ見ルコト。

いち・り (…)名。(…理) ヒトトホリノ道理。—「いちりアリ」。

いち・りう (…)名。(…流) イッパ。—他ニ異ッテ別ニアル流義。—八犬傳、「自我いちりうヲキハメタリ」。(二)ヒトスヂ。—イチダウ。—ソノモノ、ソレダケ。—「鎗いちりうノ名人ト世ニウタハレル」。

▲いち・りゅ・さ (第四グ)(第三上)名。(…里草) 奥州青森邊ノ方言。雌ノまんねんぐさノ一名。

いち・り・づか (…)名。(…塚) 昔シ一里ゴトニ土ヲ高クモリアゲ、樹ヲ植エテシルシトシタモノ。樹ハオホク榎ヲモチヰタ。—一休、「カドマッハ冥途ノ旅ノいちりづか、メデタクモアリ、メデタクモナシ」。

いち・りふ・ぜん・ばい (第四ウ)(第二上)句。(…粒萬倍) (一)ヒトツブヲマイテ萬ッブニナル(稻ニ云フ)。(二)(轉ジテ)スベテ、僅カナモノガ澤山ニフエルコト。

いち・りん・さう (第五ソ)(金平)名。(…輪草) (一)草ノ名。莖ノ高サハ一尺バカリ、葉ハふうろさうニ似テ、三四月ゴロ色ノ白イヒトヘノ花ヲ付ケル。花ノ形チハ梅ニ似テ、稍ヤ大キイモノ。—イチゲサウ。(二)▲マタ草ノ名。箱根ノ方言。うめばちさう。

●いぢル (第二上)他動、一。(弄る) 手デモテアソブ。—聞キ上手、「子供ガ寄ッテいぢりマスユエ、ムコイ事ヂヤト存ジテ」。

いち・るゐ (…)名。(一類) (一)同ジブル非。—ナカマ。—ヒトムレ。(二)ドウアク。—イッケ。

++いち・れい (…)名。(…禮) (一)ヒトツ行ナフ禮。(二)(轉ジテ)タダノれい(禮)ト同ジ語。—「いちれいシテタチサリヌ」。

いち・れつ (金平)根。(…列) ヒトナラビ。

いちれつ・いつたい (第六逼)(…)根。(…一隊) オモニ東京デイフ語。オナジナカマ。—ウンメイヲ共ニスルヒトムレ。

いち・れん・たく・しやう (第八ヨ、第七、八合)(第二上)名。(一連托生) (一)いちれん(連)たく(托)しやう(生)ノ義。 夫婦ナド、同ジレンゲノ上ニウマレル。佛說カラ出タ語。チンブツヲ稱ヘレバ死ンデゴクラクノオナジ蓮臺ノ上ニウマレルトノ所カラ起ル。—八犬傳、「未來ハ必ラズいちれんたくしやう」。

いち・ろく (…)名。(一六) (一)スゴロクナドニ用ヰル語。サイノ目ニ一ト六ト出ルコト。(二)マタ、月ノ中ニスベテ一ト六トノ付ク日、即チ一日、六日、十一日、十六日、二十一日、二十六日、三十一日。(三)(一、六ノ日ニハヒトコロ今日ノ月曜ノヤウニ藥ヲ休ンダ所カラ轉ジテ)キウジッ。—ヤスミビ。—ドンタク。

いち・ろく・しよう・ぶ (第五、六合)(第五六上)名。(…勝負) (一)バクエキ、又ハスゴロクナドノ語。ショウブゴトデ此ノ一ト六トノヒトツノ定マリカタニアルト見ッモリテ高ヲククッテ行フコト。(二)(轉ジテ)スベテアヤフイコトヲ冒險デ、決心シ

ヲ行フコト。═バサケン。

●いらわる (第二上)形。{意地悪} イヂワルイヨト。═「いらわるノウマレツキ」。

●いらわる (…)名。{…} イヂワルイモノ。又ハ人。

●いらわるイ (第四上)形。{…い} ココロガスナホデナク、トモスレバ人ヲイヂメル人ヲクルシメタガル。

●いらわるとんじゃら ((第八)第七八合))(第五上)名。{…根生} イヂワルイココロヨリ。═「いらわるとんじゃら鼻マガリ」。

●いらわるさ (第三上)名。{…さ} イヂワルクアル度合ヒ。

いらわ (第一上)名。{一位═(水銀)} 水ノ名。南ナル式部ニ至ル。銀ハ白ク又ハかやニ似テ圓ク、緑スレバ赤ク、味ハアマイ。水ハ世ダ上品デモクスハ色ヤうニ似ル。昔シタ起レヲ筋ナドニツカフ。今モ色色ノウツハモノ、又ハ國ノホチナドニスル。═アララギ。═ヤマヒヤクダメ。═キヤラボタ。═ヌヤショウ。═ミヂヅワリ。

いらえん (全平)副。{…圓} (一)コトトク。═ゼンメイ。═異本洞房語圓「今マデアリキタルコトナレバ中中いらえんニハアヒヤムマジ」。(二)スコシモ(多ク反語ヲ持ツ)。═「いらえんカテンガマルヲヌ」。

◎いらえんハいらめんトスコシ意味ガ違フ。いらめんハそもそも物ノ表面ナドニ關係スル。但シいらえんハ表面ノホカニ人間ノ物ノシツニナドニモ關係スル時ハいらめん」「時いらえん」トハ云フ。「ジツニいらめん」トハアマリ云ハヌ。但シ「ジツニいらえん」トハ云イル。

◀いらつばり ((第三上)(第五上)形。{意地つ張り} イヂワル。

◀いらんち (第四上)名。 いちにち(一日)ノ音便。

△いつ (第一上)名。{稜威} ツヨクアルコト。═ツヨイイキホヒ。═スルドサ。═日本紀「稜威此云伊都」。

いつ (…)名。{何時} (一)シカトワカラヌ時ヲサス語。═イツノトキ。═古今集「ヌレシホヌ山路ノ雨ノシツニハマニいつカチトセヲ我ハ經ニケン」。(二)イモイ。═ツキヤノヨロ。═「いつヨリモヨク出來タ」。═家隆「いつモタダ心バカリハ和歌ノ道ニヨルトモシラヌ老イノ波カナ」。

いつ (…)副。{…} イツシノ時ニ。═「いつ行クカ?」

○いつ (…)數。{(五)} 二十三十合ハセタカズ。═イツツ。

いつ (…)數。{(一)} (一)イチ。═ヒトツ。(二)熟語トナシテ他ノ語ノアタマニ付キ、まつたくトカ、おなじくトカ、又ハあるひはトカノ心ヲ現ス語。コノ場合ヒニハ多ク第二項トナル。═「いつてん(一天)」。═「いつたい(一體)」。═「いつせつ(一説)」。

○いツ (…)自動、下二。{(冠)つ} コホル。═イチル。＊いちてる參考。

○いヅ (…)自動、下二。{(出)づ} (一)スベテ、感カチカラシトイアラハレル。═カクレタ感カラシトイアラハレテ目ニフレルヤウニナル。(いる(入)ノ對)。═「雲ヨリいづる山」。═「東ヨリいづる日」。(二)(時ジテ)成リアガル。═ハジマル。═「サスガニ今ハ智慧モいづ」。═「不川モいづ」。

○いヅ (第二上)他動、下二。{…} いだす ト同ジ語。他ノ語ノ終リニ付イテ熟語トナル。═「イヒいづる」。═「ヨミいづる」。

○いづ (全平)感嘆。{(何)}[いづれノ略]ドチラノ。═イヅレノ。═ドコ。═「いづカド名」。

△いつ・いち (第二上)名。{逸逃} アンヒニハマルコト。═ダウラク。

いつ・いし (第二上)名。{伊豆石} 伊豆ノ國カラ出ス石材ノ總名。

いつ・か (第二上)名。{(五日)} (一)イツツダケノ日數。(二)月月ノツイタチカラ第五番目ニアタル日ノ名。═枕ノ草紙「五月いつかハ憂ウクラシタル」。

△いつ・かし (…)名。{蕗腿}[いつハいつく(蕗)ノ幾]神社ノ木。═神社ノかしノキ。═日本紀「磯城いつかしノモト」。

△いつかし (…)形。{露かし} 感ガアル。═タスフトク、ケダカイ。═源氏「ムカシノタメシヨリモいつかしき御アリサマナリ」。

△いつかし・さ (…)名。{…さ} イツカシクアル度合ヒ。

○いつ・かた (全平)代。{(何方)} 方角ノ定マレヌ所ニツカフ代名詞。═ドチラ。═イヅレハ。═源氏「いつかたニト思ヒマドヘド其ノヤマニ得タツネキコエズ」。

△いつかた・ゐ・ま・ゐ (第四上)根。{…穢に}[ゐまハ天爾乎波]ドノミチ。═ドツチニシテモ。═ヨシヤドウ有ウトモ。═源氏「いつかたゐまにもイトホシクコソ」。

△いつか・の・せち (全平)名。{五日の節} 昔シ五月五日、天皇ガ武德殿ニ出御アツテ行ナハレタニツノ行事。═「穀日本紀「天平十九年五月天皇御南廂觀騎射」。詔曰「昔五日節帝用菖浦爲縵」。

△い・つ (第三ガ)((…)自動四段。{い槽る}[い(後綴)]ツナガル。

いつき (第一上)名。{(斧後刃)} 木ノ名。

そんしゆゆニ似タ樣。瓦投ノカシラニ花ガ咲ク。四葉デ白ク、實ハ桑ニ似テヤハラカイモノ。═ヤマグハ。═ヤマラハ。═ヤマラン。

いつき (全平)名。{(齋)き} (一)○スベテ、イツクコト。(二)いつきのみこノ略。═源氏「加茂ノいつきニハンワウノ居タマフベキ例多クモアラザリケレド」。

△いつ・ぎ・いつ・ぎ ((第三)及(第六ギ))(第二上)名。{いつぎ・いつぎ}[い(後綴)]つぎつぎト。オナジ事。

△いつ・ぎ・いつ・ぎ ((…))(…)副。{…}[…] 前ノ動詞ノ。

いつ・ぎぬ ((第三ギ))(第三上)名。{五衣} 昔シ云ツタ語。着物ノヒトツコヒ五品ヲスベテ云フ名目。即チ、ウワノキ、シタガサネ、ハナヒ、ヒトヘ、ヒツギキ。

いつき・の・みこ (全平)名。{齋の御子═齋主} ムカシ天皇即位ノトキ、伊勢ノ大神、又ハ加茂ノ神ナドニヒトリコクウトシテ奉ラレタ女王。內親王ノトナヘ。コレラノ君ハイツレモ未嫁ノ御身ニカギツタモノ。═イツキノミヤ。═サイグウ。═延喜「齋宮式「凡天皇即位者定伊勢大神宮齋主」。═同「齋院式「凡天皇即位者定賀茂大神齋主」。

いつき・の・みや (…)名。{…宮} (一)伊勢大神ノ宮。(二)又伊勢、加茂ナドイツキノミコノ居ラレル所。(三)(時ジテ)いつきのみこノ一名。

△いつきのみや・の・つかさ (…)名。{…の司} イツキノミヤノコトヲ司ル官。═サイグウレン。═和名抄「以豆岐乃美夜乃豆加佐」。

△いつき・の・ゐん (第五上)名。{…院} 加茂ノサイキン。加茂ハ天子ノウツスヲデアル度カラ仲勢ノ二ナケラ乱上九年五月ハジメテコレヲ置カレタモノ。

△いつきのゐん・の・つかさ (…)(…の司} イツキノミヤノコトヲ取リ行ナフ官名。═サイキンシ。

いつき・むすめ (第四上)名。{…娘}[いつきハ(イジニスル義)] ガイジニスルムスメ。═源氏「流龍王ノキサキニナルベキいつきむすめナンメリ」。

いつき・め (全平)名。{…女} 前ニツカヘル女。

△いつク (…)自動、及他動、四段。{…く}[いみ(慎)ヲハラカセタモノカ?] ケガレヲ去ツテ、ツツシンデ仕ヘタテマツル(神ニ)。═古事記「此ノ三柱ノ神ハムナガタノキミラガモテいつくママくノオホガミナリ」。

○いつク (…)他動、四段。{…} タイセツニスル。═タイジニスル。═アイシマモル。═「いつきかしづく」。

いつく (…)代。{(何處)}[いつこノ轉] ドチラ。═ドコ。═源氏「かキシラマヲ惜キハレテモ行クカタヤいつくトマリト知ラズアルカナ」。

○いつくし (第二上)形。(一){(慈)くし} イカメシイ。═ゲンチニウデアル。═ツツシバデアル。═タダカクアル。═オゴソカデアル。═源氏「イツキノミヤノ左衛門ノスケニ入リタマヒニケレバ、イトドいつくしき御キヨマハリニコトヅケテ」。(二)(時ジテ)(美)くし。ウツクシイ。═源氏「ウルハシタテ、ハカバカシキカタニ見レバいつくしくアザヤカニ眼モ及バヌコトチヌル」。(三)マタ、時ジテ{(愛)くし} アイラシイ。═カハユラシイ。═「いつくしき

モ」。

◎○いつくしき(齋)ノリ(法)。═憲法。═日本紀「いつくしきのり十七條」。

○いつくしさ (…)名。{…さ} イツクシクアル度合ヒ。

△いつくしび (全平)名。{…び} いつくしみト同ジ語。

△いつくしム (第四上)他動、四段。{…む}

いつくしみ (全平)名。{(愛)くしみ} スベテカハユガルコト。═古今集序「アマキキオホンいつくしみノ波ヤシマノホカマデ洗レ」。

○いつくしム (第四上)他動、四段。{…む} (一)アイスル。═カハユガル。(二)(時ジテ)タイセツニスル。(三)アハレミヲカケル。

○いつくん・か (第三上)副。{(安)}[いつく(何處)にか(天爾波)ノ音便] ドウシテ。(漢籍ヨリ)ココカラ始マツタモノ。下ニ必ラズ推量ノ語ガ來ル。═「いつくんか知ラン」。

○いつくん・で (…)副。{(焉)}[いつく(何處)にで(天爾波)ノ音便] ドウシテ。═ナントシテ。(漢籍ヨリ)ココカラ出タモノ。下ニ必ラズ推量ノ語ヲ置ク。═「いつくんかラン」。

ナンシンカラン」。

△いつ・こ (全平)代。{(何處)} スベテ、場合ノ定マラヌ所ニ用ヒル代名詞。═ドコ。═イヅクコ。═イヅレノトコロ。

○いつ・さ・いる・さ (第一上)名。{出つる入る さ} デハイリ。═デイリ。

△いつ・し (全平)代。{(何地)}[いつちノ轉] 昔シノアツマコトバ。═ドチラ。═イヅレノトコロ。═ドコ。═イヅク。═高業集「いつしキテカイモガナダカン」。

いつ・し・か　(第一上)副。〔何時しか〕〔いつ(何時)し(体メ字)か(歟)ノ義〕　(一)心ヅカヌウチニ。—イツノマニカ。—ハヤク。—〔いつしか秋モ過ギユキテ〕。(二)イツノコトデアラウト。—〔ケフヨリハ今コン年ノキノフヲヅいつしか〕トノミ待チワタルベキ〕。

いつ・しゆく・しや　((第三、四ノ及、第六、七合))(第五上)名。　草ノ名。はなみやうがノ一名。

いつ・せん・りやう　((第六ヨ、第五、六合))(第三上)名。〔伊豆仙薬〕　澤瀉ノ名。うばがねもちノ一名。

いつ・ぞ・や　(……)副。〔何時ぞや—(日外)〕　スギタコロ。—センコロ。—サキゴロ。—サキツコロ。—センダッテ。—源氏〔いつぞやモ花ノサカリニヒトメ見シ水ノモトサヘヤ秋ハサビシキ〕。

いつ・だひ　((第四イ))(全平)名。〔伊豆鯛〕　魚ノ名。しまだひノ一名。

△いづ・ち　(……)代。〔何地〕　イヅコ。—イヅカタ。—イヅシ。—ドチラ。—ドッチ。—ドコ。—竹取物語〔いづちモ、いづちモ足ノムキタランカタヘイナンズ〕。

△いつ・う　(……)名。〔五つ〕　昔シノ時ノ名。今ノ八時。—シヨカウ。

いつ・う　(……)數。〔……〕　二ト三ヲ合ハセタカズ。—イツ。—枕ノ草紙〔マイテいつつムツナドハ唯鬼ニヌヨシヲ碧スベケレド〕。

いつつ　(……)名〔ナキゴヱカラ付ケタカ?〕　蟲ノ名。こはろぎノ一名。

いつつ・あとめ　(第四上)名。〔五つ釣〕　五　枚カサネタあとめ。ムカシノ服。

△いつつ・ぎぬ　((第四キ))(……)名。〔……衣〕　五　枚カサネタ風ニ仕立テタ着物。昔シノ婦人ノ服。ヌヒカタハ今云フにんぎやうノタグヒ。カサネグアヒデ、サクラガサネ、ウメガサネナド色色ノ名ガ付ク。いつつしか秋モ過ギユキテ」

名。　いとがな　一名。

●いつも　(第一上)形。{何時もの}　常ト変ハラヌ一近世、俗多小女郎浪枕「いつもの時分ニマタクダリヤ一」

いつもむしろ　(第四上)名。{出雲游}　出雲ノ國カラ織リ出スむしろ。ムカシ上品トノ部ノアッタモノ。—枕ノ草紙「マコトノいつもむしろノタタミ」

◁いつも　(全平)代。{何方}　イヅレ。—イコ。—ドコ。—後撰集「トモカクモ云フコヨノ人ノ見エヌカナ、いつもハツユノカカリドコロハ」

いつれ　(…)代。{何れ}　スベテタシカニ分カラヌ物コトヲ指ス時ニ用ヰル代名詞。—イヅレ。—ドレ。—ドチラ。—源氏「いつれノオホントキニカ」

●いつれも　(…)副。{…}　ヤガテハ。—ソノウチニハ。—ヤガテ久シクスギヌ内ニ。—「いつれもマタアガリマス」

○いつれ・が　(第三上)副。{孰カ}{いつれ(代)が(助)ノ義}　ドチラカ。

い・て　(第二上)名。{射手}　弓ヲ射ル人。—シヤシヨ。

○いで　(第一上)感。　(一)スベテ人ヲウナガシタテル時、マタハ氣ノ付イタ時ナドニ發スル辭。—「いでモノ見セント立チアガリ」。(二)イヤモウ。—古今集「いで人ハコノトノミヲヨキ、ソキクサノウシ心ハイロニコトニシテ」。(三)○(後世)感ジテ感歎ノ語。—「いでオモヒ知ラセテクレン」。

○いで・ゆく　((第四ウ))(全平)自動、四段。{出で逝ぬ}　人ト人ト別而スル。—人ト行キアフ。—スベテ、デアフ。

いとこ　(第一上)名。{従兄弟}　いとがな　一名。

●いつも　(第一上)形。{何時もの}　常トカハラヌ一近世、俗多小女郎浪枕「いつもの時分ニマタクダリヤ一」

いつもむしろ　(第四上)名。{出雲游}　出雲ノ國カラ織リ出スむしろ。ムカシ上品トノ部ノアッタモノ。—枕ノ草紙「マコトノいつもむしろノタタミ」

◁いつも　(全平)代。{何方}　イヅレ。—イコ。—ドコ。—後撰集「トモカクモ云フコヨノ人ノ見エヌカナ、いつもハツユノカカリドコロハ」

いつれ　(…)代。{何れ}　スベテタシカニ分カラヌ物コトヲ指ス時ニ用ヰル代名詞。—イヅレ。—ドレ。—ドチラ。—源氏「いつれノオホントキニカ」

●いつれも　(…)副。{…}　ヤガテハ。—ソノウチニハ。—ヤガテ久シクスギヌ内ニ。—「いつれもマタアガリマス」

○いつれ・が　(第三上)副。{孰カ}{いつれ(代)が(助)ノ義}　ドチラカ。

い・て　(第二上)名。{射手}　弓ヲ射ル人。—シヤシヨ。

○いで　(第一上)感。　(一)スベテ人ヲウナガシタテル時、マタハ氣ノ付イタ時ナドニ發スル辭。—「いでモノ見セント立チアガリ」。(二)イヤモウ。—古今集「いで人ハコノトノミヲヨキ、ソキクサノウシ心ハイロニコトニシテ」。(三)○(後世)感ジテ感歎ノ語。—「いでオモヒ知ラセテクレン」。

○いで・あつ　((第四ウ))(全平)自動、四段。{出で逝ぬ}　人ト人ト別而スル。—人ト行キアフ。—スベテ、デアフ。

いとこ　(第一上)名。{従兄弟}　ナミナミトハ遊ツタカタチ。—イギヤウ。

◎いとこ　主ニイデタサナドヲ云フ。いとこ共リナガラ天然ノカタチモ云フ。いとこノ方ハ天然ノカタチウニハアマリ用ヰズ。或レ故いとこノ人ト云ヘバ通ノ義ニ遊ツタイデタチヲシタ人ト云フノ義ニ常トナル。

+○いで・ら　(全平)名。{(出)で(入)ら}{いでらるノ名詞體}　デイリ。—デハイリ。—源氏「君ノいでらりシタマフニウチツヨン」。

○いで・ふし　(…)自動、四段。{…る}　デタリハイツタリスル。—デハイリスル。—シコノツニフスル。—源氏「源少納言畿内ナドノウケハリタルケシキニテいでふしシ」。

いで・ら　((第二チヨ合))(第一上)(異切)　(一)國ノ遊ツタ所ノテウテイ(本切ノ對)。(二)【轉ジテ】ナガツタクニ。—ガワイコク。—トツクニ。

◎コノ語今日ハホトンド普通語ニ於テ廢語トナル。

い・とま　(…)名。{暇}　エニシ。—ヒヒス。—主花ニウルホハス良。

△いで・ものを　((第三ギ))(全平)名。{出で物を}　ツシテテ却ツテハニヌコト。ツシテテ却ツテ案外ハウサウニ思ハレ、ツシテテ却ツテ案外ニ幾子ノワルクナルコト。(いでは人ノ對)—源氏「カカルフシノウサハ例ノ上手メキタマフ男タチモ中中いでものを」。

○いで・く　(第二上)自動、か變。{…来}　(一)スベテ出テクル。—シコツ。—ガンスル。—源氏「カウヤウノコツオカシキ歌ナド、其ノヲ又十文字ニ中カラ四ツ切リニシタモノ。

いで・ふは　((…))(第二上)名。{…羽}　ヲシドリニアル羽ノ名。—兩脇ニアツテいでふノカタチヲシタモノ。—オモヒバ。

いで・ば　((…))(…)名。{…歯}　いでふノ歯ノ形ヲシテ未ヒロ廣ガツタ下歯ノ歯。オモニ婦人ノ下歯ニツケル。—奥女中制鑑「足歯ハいでふば黑ヌリニテ」。

△いで・ましし　(全平)名。{出で座し}　(一)イデマスコト。(二)天皇ノミニキ。

△いで・ます　(…、又第二上)自動、四段。{…す}　(一)いで(出)ノ敬語。(二)ミニキガアル。—日本紀「天照大神ノミコノいでませルミチニ」。

○いで・むかふ　((第五ウ))(全平)他動、四段。{…向ふ}　出テムカヒアフ。

いで・ゆ　(第二上)名。{出で湯}—(温泉)　スベテ土中カラ自然ニワキダス湯。又ハ湯ノ性質ヲ持ツタモノ。—ヲンセン。—クワウセン。—有馬ノいでゆ。

●いてる　(…)自動、二。{(迫)る}　いつ(迫)ノ近轉。コホリツイテハレル。—ザムサニ大地ガいてる。

◎いてる及ビいつ(迫)ノ語原ハ如何ニモ探レナイ。ソノ本義トスル處ハとはるト云フカ或ル意味ニ於テ、とはるトチガフ。即チいてるハ水ナドノとはる義ハ合マヌ。水分ノ無ササウニ見エル類ノモノノコホル義ヲノミ合ム。—地ガいてる」トハイフ。「水ガいてる」トハ言ハヌ。

○いで・る　(…、又全平)名。{出で居}　客ナドヲムカヘルトコロ。—キヤクデン。—キヤクマ。—シンデン。—デキ。

いで・ん　(第一上)名。{(移轉)}　ウツリカハルコト。—バショガカハルコト。—ジウショヲカヘルコト。—ヒツコシ。—ヒキウツシリ。—ワタマシ。

いと　(…)名。{(絲)}　(一)スベテ細ク、ナガクヒキノバシテ、ヨリナド掛ケタモノ。(二)スベテ、糸ガ細ク長クナツタモノ。—「ハリガキノいと」。—「ヒトダマノいと」。(三)琴ニ三味線ナドノ樂器ニ張ツテ鳴ラスイト。—ゲン。(四)キヌイト(木綿絲ニ對シテイフ)—「いと入リ商部」。

いと　(…)名。{いとし(愛)ノ義}　(一)◀コドモ。—セウニ。(オモニ西京デ云フ)—物類稱呼「小兒ヲ云フ京ニテいとト稱ス」。(二)◀轉ジテ又西京ノ方言。マナムスメ。—イツキムスメ。

◎いとハ今日オモニ女ノ子ノ方ヲ指ス。

◀いと　(…)名。{(絲)}{まめなつとうニハヌメリガ有ツテ、ヨク絲ヲヒク處カライフ}　オモニ、昔シノ奥女中ノ語。まめなつとうノ一名。

いと　(全平)副。{(迫)いと(痛)ノ轉}　メテタ。—甚ダシク。—モツトモ。—イヤ。—古事記「いとヒサシクシテ」。—萬葉集「アガヤドノ秋ナキニケリ、秋カルゼノ吹カンヲマタバいとトホミカモ」。

いと　(第一上)名。{(異上)}　チガツタ國。—イコク。—ムキヤウ。

◀いと・あをを　(第三上)名。{絲青草}　佐渡ノ方言。あををノ一名。

いと・うり　(第四上)名。{…入り}{いとハいと(絲)第四解義トオナジモノ}　モメンイトデ織ル中ノキヌイトヲマジノテ織ツタモノ。

いと・いんげん　((第五ゲ))(第三上)名。{…隱

料理人ノ語。たいとんヲ遊ク轉ギリニシテ、其ノヲ又十文字ニ中カラ四ツ切リニシタモノ。

いとこ・ば　((…))(第二上)名。{…羽}　ヲシドリニアル羽ノ名。—兩脇ニアツテいとふノカタチヲシタモノ。—オモヒバ。

いとこ・ば　(…)(…)名。{…歯}　いとこふノ歯ノ形ヲシテ未ヒロ廣ガツタ下歯ノ歯。オモニ婦人ノ下歯ニツケル。—奥女中制鑑「足歯ハいとこふば黑ヌリニテ」。

△いで・ましし　(全平)名。{出で座し}　(一)イデマスコト。(二)天皇ノミニキ。

△いで・ます　(…、又第二上)自動、四段。{…す}　(一)いで(出)ノ敬語。(二)ミニキガアル。—日本紀「天照大神ノミコノいでませルミチニ」。

○いで・むかふ　((第五ウ))(全平)他動、四段。{…向ふ}　出テムカヒアフ。

いで・ゆ　(第二上)名。{出で湯}—(温泉)　スベテ土中カラ自然ニワキダス湯。又ハ湯ノ性質ヲ持ツタモノ。—ヲンセン。—クワウセン。—有馬ノいでゆ。

●いてる　(…)自動、二。{(迫)る}　いつ(迫)ノ近轉。コホリツイテハレル。—ザムサニ大地ガいてる。

◎いてる及ビいつ(迫)ノ語原ハ如何ニモ探レナイ。ソノ本義トスル處ハとはるト云フカ或ル意味ニ於テ、とはるトチガフ。即チいてるハ水ナドノとはる義ハ合マヌ。水分ノ無ササウニ見エル類ノモノノコホル義ヲノミ合ム。—地ガいてる」トハイフ。「水ガいてる」トハ言ハヌ。

○いで・る　(…、又全平)名。{出で居}　客ナドヲムカヘルトコロ。—キヤクデン。—キヤクマ。—シンデン。—デキ。

いで・ん　(第一上)名。{(移轉)}　ウツリカハルコト。—バショガカハルコト。—ジウショヲカヘルコト。—ヒツコシ。—ヒキウツシリ。—ワタマシ。

いと　(…)名。{(絲)}　(一)スベテ細ク、ナガクヒキノバシテ、ヨリナド掛ケタモノ。(二)スベテ、糸ガ細ク長クナツタモノ。—「ハリガキノいと」。—「ヒトダマノいと」。(三)琴ニ三味線ナドノ樂器ニ張ツテ鳴ラスイト。—ゲン。(四)キヌイト(木綿絲ニ對シテイフ)—「いと入リ商部」。

いと　(…)名。{いとし(愛)ノ義}　(一)◀コドモ。—セウニ。(オモニ西京デ云フ)—物類稱呼「小兒ヲ云フ京ニテいとト稱ス」。(二)◀轉ジテ又西京ノ方言。マナムスメ。—イツキムスメ。

◎いとハ今日オモニ女ノ子ノ方ヲ指ス。

◀いと　(…)名。{(絲)}{まめなつとうニハヌメリガ有ツテ、ヨク絲ヲヒク處カライフ}　オモニ、昔シノ奥女中ノ語。まめなつとうノ一名。

いと　(全平)副。{(迫)いと(痛)ノ轉}　メテタ。—甚ダシク。—モツトモ。—イヤ。—古事記「いとヒサシクシテ」。—萬葉集「アガヤドノ秋ナキニケリ、秋カルゼノ吹カンヲマタバいとホミカモ」。

いと　(第一上)名。{(異上)}　チガツタ國。—イコク。—ムキヤウ。

◀いと・あをを　(第三上)名。{絲青草}　佐渡ノ方言。あををノ一名。

いと・うり　(第四上)名。{…入り}{いとハいと(絲)第四解義トオナジモノ}　モメンイトデ織ル中ノキヌイトヲマジノテ織ツタモノ。

いと・いんげん　((第五ゲ))(第三上)名。{…隱

元〕 料理人ノ語。いんげんノサヤヲ絲ノヤウニ細クキザンダモノ。レウリノツマニ付ケル。

いどう (全平)名。〔異同〕 チガツタコト同ジコトト。

いとうち (第四上)名。〔絲打ち〕〔いとハいと(絲)第四解義トオナジモノ〕 キヌイトデ組ンダモノ。西鶴、若風俗、「ハギクノイツトコロ、絞、いとうちノヒラオビ」。

いとうり (第三上)名。〔……瓜〕 瓜ノ名。

へちまノ一名。

いとうを (全平)名。〔……魚〕 魚ノ名。いとよりだひノ一名。

△いとおどし (第三上)名。〔……威し〕 スベテ、絲デツツツタオドシ。オモニヨロヒニイフ。〔かはのよろひノ對〕

いとおり (全平)名。〔……織り〕 絹ノヨリ絲デ織ツタオリモノノ名。今、オモニハレギニツカフ。

△いとおり・ひめ (第四上)名。〔……織姫〕たなばたノめがみノ異名。—ショクデヨ。〔ハタオリヲ主ドルトイフ古傳ニ本ヅイタ語〕

いとかけ・がひ ((第五カ、第六イ))(……)名。〔……掛け貝〕 貝ノ名。になニ似テ小ヅク、外面ノタテスヂハフトク、恰モ白イ絲ヲマトヒ付ケタヤウニ見エル所カラ此ノ名モ付ク。—イトガヒ。—イトカケボラ。—ヤヤカヒ。—ヲダマキ。

いとかけぼら (第五上)名。〔……螺〕 貝ノ名。いとかけがひノ一名。

いとかさご ((第五ヨ))(第三上)名。〔……笠子〕 魚ノ名。たひのひこげんぱちノ一名。

▲いとかづら (……)名。〔……葛〕 近江ノ國ノ方言。草ノ名。さみせんづるノ一名。

いとがひ ((第三カ、第四イ))(第二上)名。〔……貝〕 貝ノ名。いとかけがひの一名。

いとがや ((第三カ))(全平)名。〔……岐屋〕 草ノ名。りゆうのひげノ一名。

いとき・ぎやう ((第三キ、第五ヨ、第四、五合))(第三上)名。〔……桔梗〕 草ノ名。ひめぎきやうノ一名。

△いとき・なし (……)形。〔幼稚〕〔いときなきハツモトシレト同ジ語。—源氏、「いときなきユヒニ長キ世ヲチギル心ハ結ビコメツヤ」。

いとき・り (全平)名。〔絲切り〕 (一)セトモノ(殊ニ茶碗ナド)ノソコ。ロクロカラ絲デククリ取ツタアトノ所。—イトツコ。—ヒネリドメ。—イトジリ。(二)いときりだんごノ異。

いとき・りだんご (第七ゴ)(第五上)名。〔……團子〕 絲デククリ切ツタだんご。

いときり・ば (第四上)名。〔……齒〕 人間ノきばノ一名。(コノ齒デ絲ヲクヒキリ得ル所カライフ。)

いとぐち ((第三グ))(第二上)名。〔絲口—端緒〕 (一)スベテ、絲ノハジマリ。—タンショ。スベテ物事ノナリハジマリ。—(トリカカルハジメ)。

◎いとぐちガ付ク。—(トリカカルハジメガ見ツカル)。

いとぐら (……)(全平)名。〔……座〕 三味線ノナドコロ。イトマキヲマク所。サヲノ上ノ方。

++いとくらべ (第三上)名。〔……競べ〕 スベテ、絃ノ樂器ヲヒキクラベルコト。

いとくり (第四上)名。〔……繰り〕 (一)草ノ名。をだまきノ一名。(二)スベテ、絲ヲクル女。—西鶴、一代女、「當分ノ世ワタリニ西陣ニいとくりニヤトハレ」。

いとくり (第三グ)(第二上)名。〔……栗〕 栗ノ實ヲホソクキザンダモノ。—ハリグリ。

いとくり・うを (第四上)名。〔……繰り魚〕 魚ノ名。いとよりだひノ一名。

いとくり・ぐるま ((第五グ))(第五上)名。〔……車〕 (一)スベテ、絲ヲクリ取ル車。(二)オモニ、絹絲ヲ取ル車ノ名。—オホガ。—クル。—コロ。

いとぐるま ((第三グ))(第三上)名。〔絲車〕 いとよりぐるまノ略。オモニ綿カラ絲ヲトリ、或ヒハヨリアハセル爲メノ道具。

△いとげ ((第三ゲ))(全平)根。〔幼氣〕 イトケナイコト。

いとげ (……)(……)名。〔絲毛〕 (一)いとげのくるまノ略。(二)いとげのよろひノ略。

△いとけし (第三上)形。〔幼げし〕〔いたいけト異體同種〕 いとけなしト同ジ語。—御堂關白、「いとけくト春ノミヤコト見ルカラニ植ユケン花ノモトヨシヅ思フ」。

●いとけなイ (第四上)形。〔幼げな〕 いとけなしノ近體。

いとけ・な・さ (……)名。〔……さ〕 イトケナクアル度合ヒ。

○いとけなシ (……)形。〔……し〕 トシハガ行カヨ。—アドケナイ。—ヲサナイ。—イトケシ。—源氏桐壺、「いとけなきヨリチギルユクスエ」。

いとげ・の・くるま (第三ゲ)(全平)名。〔絲毛の車〕 昔シ用ヰタ車ノ一種。牛車ノヤカタニヨリイトヲバウバウト簑ノヤウニ垂レタモノ。院、后宮、內親王、攝政、關白ナドガ用ヰタモノ。—イトゲ。

いとげ・の・よろひ ((……第七イ))(……)名。〔……鎧〕 スベテ、絲デオドシタヨロヒ。人ヲシタハいといんげんナドノいと。

△いとこ (第二上)代〔伊刀古〕

シンデ呼ブ語。今ノめにきナドト同ジダヒ。—古事記、「いとこヤノイモノミコト」。

いとこ (……)名。〔從兄弟—從姉妹〕〔前ノ語カラ出テ、轉ジテ〕 父母ノヲヒ、或ハメヒ。—和名抄、「伊止古」。

△いとこ・ふは・をぢ (第五オ)(第四上)名。 祖父ノイトコ。

△いとこ・ふは・をば (……)(……)名。 祖父ノイトコメ。

いとこだけ ((第三ゴ))(全平)名。〔絲苔〕 山林ナドノ木ニ毛ノヤウニ、付イテ垂レサガル苔ノ類。長サハ二三尺、葉ハキハメテミドリニ、木ハ細クテ絲ノヤウナモノ。

いとこ・ちがひ ((第五ガ、第六イ))(第四上)名。〔從弟違ひ〕 父ノイトコ。—ジユウソフ。

いとこ・に (全平)名。〔從弟煮〕 アヅキ、コンニヤク、ヤキドウフ、ニンジンナドヲ一處ニ煮マセタミソシル。☆ふことじる參考。

△いとこ・め (……)名。 イトコニアタルベキ婦人。—チチノメヒ。

いとこ・よめ (第三上)名。 イトコノツマ。

いとこ・をぢ (……)名。 父ノイトコ。

いとこ・をば (……)名。 父ノイトコメ。

いとこ・でんにやく ((第三ゴ、第五、六合))(……)名。〔絲蒟蒻〕 絲ノヤウニ細クシタコンニヤク。

いとさき (全平)名。〔……先〕 アラタニ出來タ絲(大神宮ニアタラシイ絲ヲ奉ツル時ニ云フ語)。

いとざくら (第二上)名。〔……櫻〕 ひがんざくらノ一種。シタニ垂レテシダレニナルモノ。—シダリザクラ。—シダレヒガン。

いとさばき (……)名。〔……捌き〕 (一)絲ヲトリアツカフシカタ。(二)轉ジテ〕オモニ、樂器ノ絲ノトリアツカヒカタ。—兜軍記、「バヂリシヤウアルいとさばき」。

△いとさめ (全平)名。〔……雨〕 コマカイ雨。—ヌカアメ。—コサメ。

いとざより (第三上)名。〔……鱵〕 ホソビイテ絲ノヤウニシタさより。料理ノ語。

○いとし (第二上)形。〔愛し〕〔いとはしノ略〕 カハヒラシイ。—イトホシイ。

いとじ (……)名。 蟲ノ名。こはろぎノ近體。

●いとしイ (第三上)形。〔愛しい〕 いとし。

いとし・さ (第二上)名。〔……さ〕 イトシクアル度合ヒ。

いとし・ば (……)名。〔絲芝〕 草ノ名。しばノ一種。葉ハキハメテ細ク絲ノヤウナモノ。—ヒメシバ。

いとじり (全平)名。〔……尻〕 いとぞこトオナジモノ。

いとすぎ ((第四ギ))(……)名。〔……杉〕 木ノ名。すぎノ一種。木ハマツスグニノビテ、エダ、葉ガ下ニタレルモノ。

いとすげ ((第四ケ))(……)名。〔……菅〕 木ノ名。山ノカゲ、又ハガケノ土地ニ生ズルモノ。葉ハキハメテ細ク、りゆうのひげノヤウデ、長サハ一尺アマリ、夏、みのすげノ穗ニ似テ小サナ花ヲ付ケ、後ニ實ヲ結ブ。

いとすすき (第二上)名。〔……薄〕 すすきノ一種。葉モ莖モ根モトモニ細クテ根ノ色ハ紫ニ赤ミヲ帶ビタモノ。—コススキ。—夫木集、長方、「スガルフスクルスノ小野ノいとすすきマスホノ色ニ露ヤ染マラン」。—對面曾クノツラヲ「野分ケテカヨフ花ススキ、ヨケテモカラムいとすすき」。

いとすぢ (……)名。〔……筋—條—縷〕 (一)スベテ、絲ノスヂ。—和名抄、「伊度須知」。(二)轉ジテ〕スベテ絲ノヤウニ細クナツテ居ルモノ。—「ケムリノいとすぢ」。

いとぞこ (全平)名。〔……底〕 (一)桐器ノソコノイトクリ。(二)轉ジテ〕ヤキモノノソコナドニアル座—イトジリ。

いとだけ (第一上)名。〔……竹〕 (一)樂器ノ總名。いとハ琴ノタグヒ、たけハ笛ノ類ヒ。(二)轉ジテ〕オンガク。—「今夕いとたけクワンゲンノオンモヨホシ」。

いとだて (全平)名。〔……楯〕 絲ヲ入レテ置クシブカミノフクロ。

いとだて (……)名。〔……筵〕 タテヲ麻ノ絲、ヌキヲワラデ織ツタムシロ。旅行ナドニ井ナカモノガ能ク着ルモノ。

いとづつみ (第三上)名。〔……包み〕 細イ麻絲デ卷キツメテ漆ヌリニシタ弓。

▲いとど (第二上)名。 蟲ノ名。こはろぎノ一名。京都ノ方言。

いとど (全平)副。〔最最〕〔いと(最)ヲカサネタモノ〕 イヨイヨ。—ハナハダシク。—コトサラニ。—ナホ。—貫之、「チチロムシヨル吹ク風ヤ寒カラン、フクレバいとどヨワル聲カナ」。—源氏、「イタウ思ヒワビタルヲいとどアハレトゴランジテ」。

○いとどし (第三上)形。〔……し〕 イヨイヨハナハダシイ。—ヒトキハデアル。—伊勢物語、「いとどしく過ギユクカタノ戀ヒシキニウラヤマシクモカベル波カナ」。

△いとなシ (第二上)形。〔暇無し〕 (一)イトマガ無イ。—イソガシイ。—セハシイ。—古今集、「アハレトモウシトモ物ヲ思フトキ

ナドカナミダノいとなかルラン」。（二）スコシバカリデアル。

++いとなみ（全平）名。〔營み〕（一）スベテ、イトナムコト。—シワザ。—ショクブン。（二）ヨウイ。—シタク。

いとなム（第三上）他動、四段。〔……む〕〔いとま〔暇〕なし〔無〕ノ義〕（一）コシラヘル。—トトノヘル。（二）シタクヲスル。—ヨウイスル。—源氏、「いとなみ、カシヅキ、聞コエタヤフ」。

いと・にしき（……）名。〔絲錦〕〔裘—繊〕〔和名、加波古呂毛。俗云、以止不之木。〕

△いとの夕（全平、又、第三上）自動、四段。ハナハダシクアル。—萬葉集「いとのき（五十殿寸）ラウスキマユ毛ヲイタヅラニカガシメツツモアハヌ人カモ」。

△いと・の・くつ（第一、及、第五上）名。〔絲の沓〕ムカシ、ハイタモノ。絲デ編ンデ作ッタくつ。—シカイ。—和名抄、「絲鞋、伊止乃久都。今案俗云之賀伊」。

いと・の・たれ（……）名。〔……垂れ〕　芝居デ用ヰルかつらノ一ッ。

いと・はぎ（第四ギ）〔全平〕名。〔……萩〕　スベテ枝ノ細イはぎ萩。

○いとはし（第三ワ）〔第三上〕形。〔厭はし〕イトフベクアル。—キラハシクアル。—イムベクアル。—唐物語、「此ノ人コレヲ聞イテウレシカラズいとはしきサマニナン思ヒケルヲ」。

○いとはしさ（……）〔……さ〕　イトハシクアル度合ヒ。

▲いと・ばす（全平）名。〔絲遣〕　和泉ノ國ノ方言。草ノ名。ゆきのしたノ一名。

いとひ（第三イ）〔第二上〕名。〔厭ひ〕　いとふノ名詞體。—イトフコト。—イムコト。—キラヒ。—イミ嫌ヒ。—イヤニ思フコト。

いと・ひ・おどし（第四上）名。〔絲緋威し〕　緋色ノ絲ノオドシゲ（鎧ニ云フ）。

いと・ひき・なつとう（第六逼）〔第五上〕名。〔……引き納豆〕〔ヌメッテイトヲヒク故ニ云フ〕　まめなつとうト同ジモノ。—ナットウ。

いと・ひば（第三上、又、全平）名。〔……檜葉〕　木ノ名。葉ハとのてがしハニ似テ、マバラデ赤クヤハラカクテ、且ツ葉ハ下ニ垂レサガルモノ。—シダレヒバ。

いと・びん（全平）名。〔……鬢〕　舊幕時代ノナカホドニ行ナハレタ一種ノ髮ノユヒカタ。頭ノ髮ヲソリサケテ兩ノビンヲ細クセマク殘シ、引キツメテ結ンダモノ。ヲトコダテ、キホヒハダ、アラモノナドガ好ンデ結ッタモノ。—曳尾庵ワガ友、元祿ハジメ中村傳九郎いとびん、此風ヲハジム」。

▲いと・びん（……）名。〔……〕　周防ノ方言。くわゐノ一種。

いと・びん・やつこ（第六逼）〔第五上〕名。〔……奴〕　イトビンニ髮ヲ結ッタ男子。

いとふ（第二ウ）〔第二上〕他動、四段。〔厭ふ〕（一）イミキラフ。—イヤニ思フ。—イヤガル。—ニクム。—古今集「雲モナクナギタル朝ハワレナレヤいとはれテノミ年ノヘヌラン」。（二）轉ジテ、イタハル。—マモル。—カバフ。—無名抄「ヲシムベキ春ヲ人ニいとはセテ、ラダノメニヤナラントスラン」。

いと・へん（全平）名。〔絲偏〕　漢字ノベンニナッテ居ル絲ト云フ字。紙、經ノル井。

○いとほし（第三オ）〔第三上〕形。〔愛し〕〔いたはし（痛）ノ義〕（一）アハレデアル。—イダハシクアル。—フビンニ思ハレル。—キノドクニ思ハレル。—源氏、「小君いとほしサニヲブタクモアラデマドヒアリク」。—金葉集、「逢フ迄ハ思ヒモヨラズ夏引キノいとほしトダニイフヲ聞カバヤ」。（二）〔轉ジテ〕イトシイ。—カハユク思ハレル。

○いとほしム（……）〔第四上〕他動、四段。〔……む〕　イトホシク思フ。—イトシク思フ。—フビンニ思フ。

いとま（第三上）名。〔暇—閑〕（一）スベテ、コトノナイトキ。—カンカ。—ヒマ。—イト。「モモシキノ大宮人ハいとまアレヤ、櫻カザシテ今日モクラシツ」。（二）ナガクいとまニナルト云フ所カラ轉ジテ、スベテ、宮マタハ人ニ仕ヘルコトヲ止メテ辭シ去ルコト。「いとまヲトル」。（四）〔いとまヲ告ゲルト云フ所カラ轉ジテ〕スベテ、別レ去ルコト。—ワカレヲツゲルコト。

◎いとまアク（明）。—（ヒマニナル。—榮華物語、「此ノ僧ドモいとまあくヲ待チテ」。◎いとまイル（入）。—ヒマガイル。—源氏、「カナブミ見タマフルハ目ノいとまいりテ」。◎いとまマヲス（申）。—（イトマヲチガフ）。

いと・まき（全平）名。〔絲卷き〕（一）絲ヲマイテ置ク道具。—西鶴、「一代女、「ユビヌキ、いとまきモ手ニツカズシテ」。（二）三味線ニアル名ドコロ。てんじゆノ一名。（三）婦人ノ髮ノ名。舊幕ノ末ゴロカラ始マッテ、今日マデモナホ殘ッテ居ル。體裁ハくしまきニ似テ、くしまきト違フ所ハ櫛ヲ心ニ入レズ、カシラノ頂上ニ右左カラ横ニ十文字ニブッチガヒニ毛ヲアヤニシ、いとまきノ形チニ毛ヲマイタ一點。ミチノ高クナラヌタメニ、カツラシタナドニ適シ、鏡ヒ子、遊女ノ師匠、ワドリヲ習フムスメナドガ多ク結フ。

いとまきひとで（第六上）名。〔……人手〕　海ノ蟲ノ名。形ハ平タクテ、カドガ五ツ。大キサハ二三寸、黄イロノモ、茶イロノモアリ、イヅレモ丹イロノホシガアル。腹ハヒラタク、マンナカニ口ノアルモノ。

いとまき・ゆば（第五上）名。〔……豆腐皮〕—湯葉。　方形ニ切ッタゆば。

++いとまき・ごひ（第五イ）〔第四上〕名。〔暇乞ひ〕（一）イトマヲ乞ヒ求メルコト。（二）〔轉ジテ〕ワカレヲツゲルコト。—〔告別〕。

○いとまし（第三上）形。〔挑まし〕〔いどみ（挑）ヲハタラカセタ語〕　キソヒアラソフ姿デアル。—ハリアフ姿デアル。—源氏「いとましきォンム心」。

○いとまぶみ（……）名。〔暇文〕　イトマヲ求メル願書。—ジヘウ。

いと・まゆ（……）名。〔絲眉〕　うぐひすまゆトオナジモノ。

△いどみ・ごと（第四ゴ）〔全平〕名。〔挑み事〕　イドミワザ。

いと・みず（第二上）名。〔絲水〕　アマダレ。

△いどみ・わざ（全平）名。〔挑み業〕　キソヒアラソフシワザ。—イドミゴト。

いどム（第二上）他動、四段。〔挑む〕（一）ハリアフ。—キソヒアラソフ。（二）モヨホス。—ケシカケル。—「戯ヒヲいどむ」。（三）戯ヒヲシカケル。—「琴心ヲ以テいどむ」。

いと・むし（……）名。〔絲蟲〕　蟲ノ名。こばうぎノ一名。

いと・め（第三上）名。〔……目〕　（一）イトスヂ。（二）タコ〔凧〕ノ表面ニツリノタメニ付ケルアマダノ絲ノ名。

いと・め（……）名。〔厭目〕〔いとひ（厭）め（目）ノ義〕　イトヒ。—シンパイ。—ケネン。—「金ニいとめハツケヌ」。

いとめ・うを（……）名。〔絲目魚〕　魚ノ名。

いとよりだひノ一名。〔絲屋〕　スベテ絲ル井ヲ賣ル家。マタハ、ソノ人。

いと・やなぎ（第五ギ）〔第三上〕名。〔……柳〕　しだりやなぎノ一名。〔枝ガイトノヤウニ細クアル故ニ云フ〕

△いと・や・もの（全平）名。〔……屋者〕　絲屋ニ井ル人。—西鶴「又ヒトリハいとやもの、コレモミセヲンナニコシラヘ」。

いと・ゆふ（第四ウ）〔第二上〕名。〔……結ふ〕〔遊絲〕〔いとゆひ（絲結）ノ義〕。（一）△ムカシ、飾リナドニアマダノ絲ヲトリアハセテ結ンダ、ソノモノ。—榮華物語、「アルハいとゆふムスヒカラギヌナドノ」。（二）〔或ハ漢語ノ遊絲ヲ逆サニ呼ンダモノカト云フ〕。カギロヒ。—カゲロフ。—イウシ。

いと・より（全平）名。〔……撚り〕　（一）魚ノ名。（二）△あやつり にんぎやうト同ジ語。—淺井了意、東海道名所記「三十郎ガ狂言、傳介ガいとよりトテ京中コレニ浮カサレテ見物スルホドニ」。

いと・より・ぐるま（第五グ）〔第五上〕名。〔……車〕　いとやるまト同ジモノ。

いとより・だひ（第六イ）〔第四上〕名。〔……鯛〕　魚ノ名。形ハ鯛ニ似テ身ハセマク、ウロコノ色ハユスグレナリ。スベテ黄ト青トノスチガアル。尾ノ末ノ上ノ方ニ黄イロノ絲ガ一本。スベテ、其絲ノ長サハ殆ンド身トオナジナモノ。いとよりトハ之カラシテツイタ名。—イトヨリ。—イトウヲ。—イトクリウヲ。—イトメウヲ。—ベニザコ。—蜀山人、俗耳蚊吹「スヒモノ、アカミソ、いとよりだひ」。

△いと・より・め（……）名。〔……女〕　ムカシ、絲ヲヨルノヲ役分トシタ女。—延喜、中務式、「いとよりめ三人」。

△いとら（全平）名。　鳥ノ名。うぐらノ一名。〔うづらノ轉訛ノ音〕。

いと・らん（第二上）名。〔絲蘭〕　草ノ名。ひもらんノ一名。

▲いとろべ（全平）名。　備前ノ方言。草ノ名。ねのとづちノ一名。

▲いとろべる（第三上）名。　備前ノ方言。草ノ名。ねのとづちノ一名。

いと・わく（全平）名。　絲ヲマトヒツケル爲メノワク。—イトクリ。

いな（第一上）名。　貝ノ名。みなノ一名。

いな（第二上）名。〔鯔〕　魚ノ名。ぼらノ小サイモノ。—クチメ。—ミヤウキチ。—ナヨシ。

◎此ノ魚ハ所ニ依ッテイロイロノ稱ヘガアル。伊勢ノ國桑名デハ六寸バカリナノヲ云ヒ、播磨デハ四寸バカリナノヲ云ヒ、石ノ卷アタリデハ四五寸ノヲ云ヒ、東京デハ、オモニ、四五寸ノモノヲ云フ。其ノ始メノ小サナノハ至ル所トナヘガカハル。或ハすばしりト云ヒ、すばト云ヒ、すばつこト云ヒ、おぼこト云フ。大キクナレバぼらトナル。何レモソレアレノ下デ解ク。

いな（第一上）接頭。〔稻〕〔いね（稻）ノ轉〕　名詞ノウヘニッイテ熟語トナル語。—「いな蟲」。—「いな田」。

○いな（……）副。〔否〕　スベテ、人ノ云フコ

トニ不承知ヲ表シテ打チ消ス語。イヤ。＝イイヤ。＝イイエ。＝ウウン。＝ウンニャ。＝

「最上川、いなニハアラヌイナブチノ」。

いな・おほせどり　(第四オ)(第三上)名。〔稲負せ鳥〕　古歌ニヨクアル鳥ノ名。イロイロノ説ガアッテ、ツマビラカデ無イ。或ハせきれいト云ヒ、或ハときトモ云フ。ソノ外くひなト云フノモアリ、がんト云フノモ、やせどりト云フノモ、すずめト云フノモアル。せきれいト云フノハ和泉式部ノ歌ニ、「アフコトヲいなおほせどりノヲシヘズバ人ヲ戀ヒ路ニマドハザラマシ」ト云フノニヨル。ときト云フノハ家隆ノ歌、「秋ノ田ノいなおほせどりノコガレ羽モコノハ催ホスツユヤ染ムラン」ト云フノニヨル。定家ノ説デハいしたたきトイヒ、俊頼ノ説デハにはたたきトイフ。オモフニ、ソレホドノ深イ義ノアル名デハナク、多分ハ秋ノ鳥ノ總名デナカラウカ？

―大和物語、「サヨフケテいなおほせどり鳴クナルハ君ガタタクト思ヒケルカナ」(くひな)。―古今集、人丸、「ワガカドニいなおほせどりノナクナヘニケフフク風ニ秋ハ來ニケリ」(がん)。―六帖、忠峯、「ヤマダモル秋ノカリホモオク露ハいなおほせどりノナミダナリケリ」(がん)。―堀川百首、顯仲、「ワガツクルカド田ノヒタニオドロキテいなおほせどりノ立チワグラン」(すずめ)。―同、仲實、「アキタカルオシネノヒタハハヘタレド、いなおほせどりノ來鳴シナルカナ」(すずめ)。

いなき　(第一上)名。〔……置〕　(一)昔シノムラヲサノ稱ヘ。―日本紀、「眩其姓謂稻置(訓、イナキ)」。(二)後世、カバネノ名。第八等ニ位スルモノ。☆かばね參考。

いなぎ　((第二キ))(……)名。〔……木〕　刈ツタ稻ヲホス道具。竹ヤ木デ作ル。＝イナバタ。

いなき・ぐさ　((第四グ))(第三上)名。〔……草〕　草ノ名。ねのとづちノ一名。

△いな・きをとめ　(第四上)名。〔稻搗少女〕〔きイネヲ搗クヲトメ。ツカハつき(搗)ノ義〕　イネヲ搗クヲトメ。

△いなク　(第二上)自動、四段。〔噂〕〔いなクレテアヘグ(馬ガ)。

いなぐき　((第三グ))(……)名。〔稻莖〕　稻ノクキ。―後拾遺集、顯季、「シギノフス刈リ田ニ立テルいなぐきノイナトハ人ノ言ハズモアラナン」。

いなくさ　(全平)名。〔……草〕　草ノ名。かいなノ一名。

△いなぐら　((第三グ))(……)名。〔……倉＝廩〕　イネヲ入レテ置ククラ。―コメグラ。―和名抄、「廩、伊奈久良」。

▲いなげんざ　(第三上)名。　常陸ノ方言。蟲ノ名。あかゑんばノ一名。

いな・ご　((第三ゴ))(全平)名。〔稻子〕　蟲ノ名。ミドリイロノト、茶イロノトノ二ツガアリ、好ンデ稻ノ葉ヲ食フ。火デイリツケテ食ベル人モアル。種類、ッチイナゴ、ハタオリ、ハタバタナド色色。＝コタカ。＝イナバッタ。

いな・こき　(第二上)名。〔……扱き〕　稻ノ穗ヲコク道具。細イ鐵ノ串ヲ並ベ、其ノ上ニ稻ヲウヂカケテ櫛デスクヤウナグアヒデ扱ク。＝イネコキ。＝ゴケダフシ。＝ゴケナカセ。＝センダコキ。＝センバコキ。＝センコキ。＝カナコキ。＝カナコバシ。＝カラハシ。

いなご・まろ　((第三ゴ))(第三上)名。〔……子麿〕　蟲ノ名。はたふりニ似テ脊中ガトガリ、角ガ二ツアル。茶イロノト、ミドリノト二種類。雄ハ長サ一寸、雌ハ一寸カラ三四寸、脊カラ尾マデ色ハ赤イモノ。＝シャウライムシ。＝オシヤウライ。＝エボシダカ。＝シヤウリヤウバッタ。＝ヂギヂギ。＝ヂギムシ。＝ヂギソ。＝ヂギドノ。＝ハタオリ。＝ハタトウ。＝アハッゲ。＝トラボウ。＝ガチ。＝バッタ。＝ホッタ。＝ハタハタ。＝アラバッタキ。＝バダ。＝ハタタ。＝ハヅタギ。＝フヨフキムシ。＝トウシンタカ。＝イヂウラシ。＝イヂムシ。＝イナムシ。＝タナバタ。＝テウボウ。＝フヂムシ。＝キチキチムシ。＝ホトケノウマ。

いなさ　(全平)名。　ヒガシミナミノ風。今日デモオモニ東京邊デイフ。―物類稱呼、「江戸ニテハ東南ノ風ヲいなさトイフ」。

△いなしき　(……)名。〔稻敷き〕　(一)稻ヲ敷イテ居ドコロトスルコト。(二)(後世、轉ジテ)非ナカ。

○いなス　(……)他動、四段。〔往〕なす〕　ユカセル。＝サラセル。＝ヤル。

△いなせ　(第一上)名〔いな(否)せ(然)ノ義〕　イヤトオウト。―「いなせモ言ハヌ」。

●いなせ　(全平)根。〔腦背〕　昔シ、東京ノ江戸ト云ッタ頃、ウワガシカラ出タイサミハダノ人人ガマゲノイチヲ魚ノいなノカシラニ似セテ拵ヘテ結ッタ所カラハジマッタ語。後世終ニ轉ジテ、タダチニキホヒハダトノ義ニナッタモノ。―イサミハダ。＝キホヒハダ。＝イキ。

●いなせル　(……)他動、二〔往〕なせる〕　いなすノ近體。

いなだ　(……)名。　魚ノ名。ぶりノヤヤ小サナモノノトナヘ。わかしゆヨリハヤヤ大キナモノ。シユッセウヨノ一種。＝フクラギ。＝ハマチ。＝アヲ。

△いなだき　(……)名。〔頂〕　いただきノ音便。＝イタダキ。

△いな・たま　(……)名。〔稻魂〕〔いね(稻)たま(魂)ノ義〕　イナヅマ。＝イナビカリ。

いなつきがに　((第五カ))(第四上)名。　實物不詳ノカニ。―夫木集、「アシハラノ刈リ田ノオモニ遣ト散リテいなつきがにモ世ヲワタルラン」。

いな・づま　(第二上)名。〔稻妻＝電〕　積、消雨極ノ電氣ノ相合フ爲メニ起コルヒカリ。夏秋ノ夜、ソラデヨクヒカル。＝イナビカリ。＝イナツルビ。＝イナタマ。＝デン、―和名抄、「伊奈豆萬」。

いなつるび　(第三上)名。〔……交び〕　いなづまノ一名。

いなな・く　(全平、又第二上、又第三上)自動、四段。〔嘶く〕　聲タカク鳴ク(馬ガ)。―和名抄、「以奈奈久」。

△いな・の・みの・うらべ　(第六上)名。〔稻の實の卜部〕　大嘗會ノ時發遣スルうらべ。―延喜、大嘗會式、「八月中旬中宮、差宮主一人、卜部三人發遣兩國各二人。其一人號稻實卜部(訓、イナノミノウラベ)」。☆いなのみのきみ參考。

△いな・の・み・の・きみ　(第三上)名。〔……公〕　大嘗會ニツカハレル人ノ稱。＝イナノミノオキナ。

△いな・の・み・の・や　(……)名。〔……屋〕　大嘗會ノ時ニ神ニタテマツル稻ヲヲサメテ置クトコロ。

○いな・の・め　(……、又、全平)名。〔黎明〕〔いなのめのト云フ枕詞カラ出テ〕　アケガタ。

○いなのめ・の　(第二上)枕。〔……の〕〔いね(寢)の(之)め(目)の(之)ノ義〕　ゆくトイフ語ニカカル枕詞。夜ガアケルト云フ義。

いなば・かり　(……)名。〔稻秤〕　稻ノメカタヲハカルハカリ。

△いな・はき　(第二上)名。〔……掃き〕　稻ヲ取リ扱フムシロ。＝イナハキムシロ。

いなはき・むしろ　(第五上)名。〔……蓆〕　いなはきト同ジモノ。

いなばた　(全平)名。〔稻機〕　稻ヲカケテホスタメノ道具。＝イナギ。＝ハッキ。＝ハテ。―類聚三代格、「田中樹木、懸曝稻穎、其穀之燎似當火炎、俗名謂之稻機(訓、イナバタ)」。

いなばった　((第四通))(第三上)名。〔稻蝗蝌〕　蟲ノ名。いなごノ一名。

いなばったき　(……)(……)名。〔……〕　蟲ノ名。

いなひ　(第二上)名。　鳥ノ名。いなびト同ジモノ。

いなび　(……)名。　鳥ノ名。ひばりニ似テヤヤ小サク、頭モ背モ翅モ黒ミガカカリ、胸ハ卵色デ黒イ斑ガアルモノ。＝イナヒ。＝タヒバリ。

いなびかり　(第三上)名。〔稻光り＝電〕　イナヅマ。―イナッルビ。＝イナタマ。―和名抄、「電、和名伊奈比加利」。

△いなび・どころ　(第四上)名。〔辭び所〕　イナムベキトコロ。―源氏、「イトドいなびどころナカランガ」。

△いなブ　(第二上)他動、四段。〔辭ぶ〕　いなむトオナジ語。―續日本紀、「ススムモシラニ退クモシラニトいなびマヲセリ」。

△いなブ　(……)他動、上二。〔……〕　いなむト同ジ語。―源氏、「いなぶるヲ責メタマヘバ」。

いなば　(……)名。〔稻穗〕　いねノ穗。

○いなみの・の　(第四上)枕。〔印南野の〕〔いなみのハ播磨ノ國ニアル地名〕　いなニ掛カル枕コトバ。―拾遺集、「ヲミナヘシ、ワレニ宿貸セ、いなみのノイナト云フトモコヲ過ギメヤ」。

○いなム　(第二上)他動、四段。〔辭む〕〔いなヲ働カセタモノ〕　イヤト言ッテ承諾セヌ。＝ジタイスル。

いな・むし　(……)名。〔稻蟲＝蝗〕　(一)スベテ、いねヲ害スル蟲ノトナヘ。(二)いなごまろノ一名。

△いな・むしろ　(第二上)名。〔寢蓆〕〔いな(寢)むしろ(蓆)ノ義〕　チドコニ敷クムシロ。

いな・むしろ　(……)名。〔稻蓆〕　イヂノ生ヘフシテアルサマヲムシロニ見立テタ語。―夫木集、「夕露ニ玉シク小田ノいなむしろ」。

○いな・むしろ　(……)枕。〔寢蓆〕〔ムカシ、貴人ハ寢ル折リマデ皮ヲ敷イタ故事カラ〕　かはトイフコトバニ掛カル枕コトバ。又、ママ、タダしく(敷)トイフ語ニカカルコトモ有ル。

いな・むら　(全平)名。〔稻叢〕　(一)ワラノママニ積ンダ稻。(二)轉ジテ稻ヲ刈ツタママデ竿ニカケテ、サラシテ置クモノ。―八犬傳、「いなむらカゲヨリ手鎗ノホサキ」。

△いな・もちひ　(第三上)名。〔……餅〕　ムシタ餅。―「見渡セバ秋ノ田ノモノいなもちひ」。

いなもり・ぐさ　((第五ツ))(全平)名。〔……盛草〕　草ノ名。伊勢ノ國、菰野ノ里、稻盛谷ニ多クアル草。ヨク深山ナドニ生ヘル。高サハ七八寸。葉ハはこべニ似テ廣ク、夏、こなすびノ花ニ似テ蒲ムラサキ、又ハ白ノ花ヲツケル。＝ヨッバグサ。

いな・や　(第一上)接。〔否や〕〔いなニ感歎詞ノやヲ加ヘタモノ〕　スグニ。＝タダチニ。＝ト同時ニ。―「聞クヤいなやオドロキサ

ワグ」。

いなり　(……)名。〔稲荷〕〔いぬ(稲)なり(生)ノ義〕　山城ノ國藤ノ森ニアル神ノ名。＝ウガノミタマ。

いなりずし　(第三上)名。〔……鮨〕〔キツネハいなりノ神ノツカハシメデアルト云フ所カラ、油揚ゲヲいなりニシナヘル、ソレカラシテ狐ヲトッテツケタ名〕　アブラゲデ包ンダすし。

++○いなりまうで　((第四モ))(第四上)名。〔稲荷詣で〕　山城ノ國ノ稲荷ノヤシロノ祭リヘノ參詣。二月ハツウマノ日。—貫之集、〔キサラギ初午ニいなりまうでシタルトコロ〕。

++いなりまち　(……)名。〔……祭〕〔まちハつきまち、ひまち、みまちナドノまち〕　イナリマツリ〔まつりノ反、まち〕。

▲いなりまち　(……)名。〔……町〕　ぺいぺいやくしやノ異名。芝居ノ樂屋ノソバニ稲荷ガ祭ツテアル、ソノ近クヲモトいなりまち ト稱ヘ、ココニぺいぺいやくしやガ居ルトコロカラ轉ジテ、ソコニ居ルぺいぺいやくしやノ名ニナツタ。幕アヒノ口上ナドニハムカシ多クコレガ出、ソノ外コシラヘモノノ蛙、鳥、蛇ナドヲツカフノモ皆コレラガ行フ。＝オシタノワカシ。

いなりまつり　(第四上)名。〔稲荷祭り〕　イナリノ神ノマツリ。＝二月初午ノ日。＝イナリマチ(稲荷祭)。

△いなりまんぬんこ　(第六上)名。　昔シ、イナリ祭リノ日ニ、坂東デ、子供タチガ市中ニ錢ヲ乞フテアルクコト。

△いなル　(第二上)自動、四段。〔唸る〕〔うなるノ轉〕　ウメク。＝ウナル。—古事記、〔土蜘ヤツタケル其ムロニアリテ待チ、いなる。〕

○いにし・へ　((第四ニ))(全平)名。〔古〕〔いにしへ(往)ノ義〕　ムカシ。＝コダイ。＝コセキ。＝フウコ。

いぬ　(第二上)名。〔犬＝狗〕　(一)家ニ飼フケモノノ一ッ。性質極メテ人ニ馴レ易ク、カシコクテ愛敬ガアリ、獵リニツカヒ、夜ヲモ守ラセル。種類ハカリイヌ、ムクイヌ、スパニエル、ムク、カメナド色色。＝トト。＝トウトウ。＝ヱヌ。＝ワンワン。＝慈鉄和尚、〔オモヒグマノ人モノヲ、アハレニいぬノ主ヲ知リヌル〕。　(二)〔前ノ語カラ轉ジテ〕　えとノ一ッ。第一ノ子カラ數ヘテ十一番目ニアタル。即チ、酉ノツギ、亥ノマヘ。　(三)方角ノ一ッ。西(酉)ト北(子)トノ中間ヨリヤ西ニヨツタ方。　(四)夜ノ八時。

いぬ　(全平)接頭。〔犬〕　イヤシミ、カロシメナドノ意ヲ含ンデ、他ノ名詞ノウヘニツク接頭語。—〔いぬツクバ。〕—〔いぬザムラヒ〕。

○いぬ・ヌ　(第二上)自動、下二。〔寢ぬ〕〔い(寢)ぬ(寢)ノ義〕　ネドコニ於テネムル。

○いぬ・ヌ　(……)自動、な變。〔往ぬ〕　(一)コク。＝サル。＝行ッテシマフ。　(二)スギル(年、月ナドニテフ)。

いぬ・あらちぎ　((第六ギ))(第三上)名。〔犬苦蕘〕　草ノ名。いぬえノ一名。＝延喜典藥式、〔香薷七斤〕訓イヌアララギ)。

いぬ・いたどり　(第四上)名。〔……虎杖〕　草ノ名。いたどりノ一種。高サハ一尺バカリ、山ニ生ヘル。＝イヌサド。＝コイタドリ。

いぬうど　(第三上)名。〔……獨活〕　草ノ名。ししうどノ一名。

いぬえ　(全平)名。　(一)〔……萍＝(香薷)〕一年草ノ名。高イノハ三四尺ニモナル。大小ノ二種ガアリ、莖ハ四角デ、九月頃、ナギナタノヤウナ花ヲツケル。小サイ方ノいぬえハ小サクテ長ク、にんじんぼくニ似、大キイ方ノいぬえハ葉ガ大キク、えニ似イヅレモ實ヲ結ブ。＝イヌアララギ。＝ヤズミアブラ。＝ナギナタカウジユ。—和名抄、〔香薷、和名以沼衣〕。　(二)((假蘇))草ノ名。ののえノ一名。

いぬ・えび　(第二上)名。〔犬蘞〕　草ノ名。えびノ一名。

いぬ・ふふ・もの　((第四ウ))(第三上)名。〔……追ふ物〕　犬ヲ射テ射術ヲ習フ法。馬場ヲ作リ、竹ノカキヲヌメグラシ、騎馬デ、スハウ、ヒタタレナドヲ着シ、ヒキメノ矢デ犬ヲ追ヒカケ、ソレヲ射テ勝負ヲスルモノ。十二騎ヲヒトラトシ。フタテ、又サンテモアル。

いぬ・ふもだか　(……瀉)。〔……澤瀉〕　草ノ名。なまねノ一名。

いぬ・かうじゆ　((第三コ))(第五、六合))(……)名。〔……香薷〕　草ノ名。高サハ一二尺、莖ハ四角デ、枝葉ハ向ヒアフ。葉ハいぬえノ葉ニ似テ短カク、毛ガスクナク、花ハ薄紫又ハ白デ、三四寸ノ穗ニナツテ咲ク。

いぬ・かうぞ　((第三コ))(……)名。〔……楮〕　草ノ名。ひめかうぞノ一名。

いぬ・かうたけ　((……))(……)。〔草茸〕　キノコノ一ッ。かうたけヨリハ傘ウスク、秋、オモニ生ヘル。

▲いぬ・かご　((第四ゴ))(第二上)名。〔……籠〕　草ノ名。播磨ノ方言。とがんびノ一名。

いぬ・がし　((第三ガ))(……)名。〔……樫〕　木ノ名。やぶよくげいノ類。大木デアルモノ。

葉ハかつらニ似テ、タテ筋ガアル。春、莖ソマハリニ澤山赤イ花ガ咲キ、形チハくろもじニ似テ、甚ダ愛ラシク、ウツクシイモノ。＝マツラニクケイ。＝コウモクセイ。

いぬ・かば　(第三上)名。〔……樺〕　木ノ名。

いぬはばノ一名。

いぬ・かひ　((第四イ))(第二上)名。〔……飼ひ〕　鷹狩リノ時ニ鳥ヲ追フ犬ヲ常ニ飼ヒナラシテ置ク人、又、ソノワザ。

いぬ・かひ・びと　((……))(第三上)名。〔……人〕　いぬかひト同ジモノ。—夫木集、〔アハセツル戀ヒノハシ鷹ヲキソラシ、いぬかひびとノコヘシキルナリ〕。

△いぬ・かひ・ぼし　((……))(……)名。〔……星＝(牽牛星)〕　星ノ名。＝ケンギウ。＝ヒコボシ。—和名抄、〔牽牛、以奴加比保之〕。

いぬ・がみ　((第三ガ))(第二上)名。〔犬神〕　犬ヲ使ッテ行フ魔術。四國九州ナドニ多クハヤルモノ。

いぬ・がや　((……))(……)名。〔……榧〕　木ノ名。

かやノ一種。葉ハ多キクテ薄ク、葉ウラハ白ク、實ガ熟スレバ赤クナル。仁カラ油ヲ取ル。油ハトボシアブラトナルバカリ、他ノ用ニナラヌ。

いぬ・がらし　((……))(第三上)名。〔……辛子〕　草ノ名。からしニ似テ葉ハ小サク、高サハ五六寸カラ一尺アマリトナル。春、四瓣ノ小サナ黄イロイ花ガ咲ク。莖モ、葉モ、ハナハダカライモノ。＝ダガラシ。＝ノガラシ。＝キツネガラシ。＝キツネノカラシ。＝アゼガラシ。＝ハダナダイコン。＝アゼダイコン。

いぬ・がんぞく　(……)名。　くさそてつノ一種。深山又ハ濕地ニ生ヘル。葉ハ大キク、高サ二三尺ニナル。＝ヘビノセツタ。＝ヒガンヅク。＝イヌクサソテツ。

▲いぬ・がんぴ　(……)名。〔犬雁皮〕　播磨ノ方言。きこがんぴノ一種。花ハ白ク、高サハ一二尺、花ハ夏カラ秋ニカケテ咲ク。根ノ皮ヲトッテ紙ニコシラヘル。＊とがんぴ參考。

△いぬき　(全平)名。　家ノイリクチノ石ダタミ。

いぬ・きり　((第三キ))(第二上)名。〔犬桐〕　(一)木ノ名。あふらぎりノ一名。　(二)▲又木ノ名。筑前ノ方言。はとやなぎノ一名。

いぬ・くぐり　((第四グ))(全平)名。〔……潛り〕　垣、扉ナドニアル穴。犬ノ出入リノタメニ設クタモノ。

いぬ・ぐこ　((第三グ))(第二上)名。〔……枸杞〕　木ノ名。くこノ一名。

▲いぬ・ぐさ　(……)((……))名。〔……草〕　和泉ノ國ノ方言。草ノ名。ゑのこぐさノ一名。

いぬ・くさ・そてつ　(第五上)名。〔……蘇鐵〕　いぬがんぞくノ一名。

いぬ・くす　(全平)名。〔……楠〕　木ノ名。くすのきノ一種。能ク大木トナル。葉ハゆづりはニ似テ、同ジク葉ウラハ白ク、秋ノ頃豆ノヤウナ實ヲ結ブ。＝アヲクス。＝カラダモ。＝ヤマクス。

いぬ・くず　(第三上)名。〔……葛〕　草ノ名。つたうるしノ一名。

いぬ・くは　((第三グ))(……)名。〔……桑〕　木ノ名。つみノ一名。

△いぬ・くひ　((第四イ))(……)名。〔……食ひ〕　犬ヲカミアハセルコト。—增鏡、〔いぬくひ、田樂ナドヲ愛シケル〕。

▲いぬ・げいとう　((第三ゲ))(……)名。〔……鷄頭〕　伊豫ノ方言。草ノ名。うまさくノ一名。

いぬ・げやき　((……))(……)名。〔……槻〕　木ノ名。ゆざんせうノ一名。紀伊ノ國ノ方言。

++いぬ・じに　(第四上)名。〔……死に〕　ムダニあきにれノ一名。

いぬげり　((……))(第二上)名。〔……鳧〕　鳥ノ名。カラダハけりト同ジク、アタマノカブリガアルモノ。＝ナベグリ。

▲いぬ・ごせう　((第三ゴ))(第四ショ合))(第三上)名。〔……胡椒〕　豊前ノ國ノ方言。草ノ名。ごなすびノ一名。

▲いぬ・ごば　((第四ボ))(……)名。〔……牛蒡〕　土佐ノ國ノ方言。草ノ名。いをすきノ一名。

いぬ・ごま　((第三ゴ))(全平、又第二上)名。〔……胡麻〕　山ニ生ヘル小サナ木。葉ノ長サハ三寸バカリ、葉ノヘリニ鋸齒ガアリ、胡麻ノヤウナ香ヒガスル。夏、小サナ白イ花ガ多ク咲キ、秋、赤イ實ガナル。＝ゴマノキ。

いぬ・ころ　(全平)名。〔ろハ添ヘ字〕　犬ノ子。＝イヌツコロ。

▲いぬ・ころ・ころ　(第三上)名。　肥前ノ國ノ方言。草ノ名。ゑのこぐさノ一名。

▲いぬ・さいき　(……)名。　東國ノ方言。草ノ名。あしたぐさノ一名。

いぬ・ざくら　(……)名。〔犬櫻〕　木ノ名。はざくらニ似テ、花ノ穗ハ三寸バカリ。色ハ白クテ下ニサガル。實ハシホヅケニシテ食ベル。＝ウハミズザクラ。

いぬ・さど　(……)名。　草ノ名。いぬいたどりノ一名。

いぬ・ざんせう　((第五ショ合))(……)名。〔犬山椒〕　(一)山野ニ自生スル草。ナミノさんせうヨリ葉ハセマクテ長ク、夏、小サナ花ガ咲イテ、實ガナル。一種イヤナ臭氣ガアッテ、食用ニナラヌ。　(二)▲木ノ名。ふゆざんせうノ一名。紀伊ノ國ノ方言。

++いぬ・じに　(第四上)名。〔……死に〕　ムダニ

死ヌコト。—ヤクニモタタズシヌコト。

いぬ・しばゐ　（第三上）名。〔……芝居〕　犬ニヲシヘテ、ヲドリヲサセルシバヰ。

○いぬ・じもの　（第二上）枕。〔……じ物〕〔じものハ「トシ云フ」ノ義。即チ、いぬのごとしトノ義〕　みちにふすナドニ掛カル枕詞。

いぬ・じゆろ　（（第三、四合））（……）名。〔……棕櫚〕　大キナ木ノ名。葉ハ梨ノ葉ニ似テ小サク、葉ノ下ニトゲノアルモノ。

いぬ・しゆろ・ちく　（（……））（第五上）名。〔……竹〕　たけノ一種。しゆろちくノ下品ナモノ。屬ノホネニスル。

いぬ・せきしやう　（（第六ヨ、第五、六合））（第三上）名。〔犬石菖〕　田ノクロニ生ヘル草。葉ハせきしやうト同ジク、心カラ莖ヲ出シテ、同ジクせきしやうノヤウナ花ヲ付ケル。花ハヤハはすゞニ似タモノ。—カウガイセキシヤウ。—カウガイクサ。

いぬ・ぜんまい　（……）名。〔……薇〕　東京代代木村ノ邊カラ出ルぜんまいノ一種。莖ハコハクテ食用ニナラヌ。

▲いぬ・すひは　（（第四イ））（……）名。　伯耆ノ國ノ方言。草ノ名。しのねノ一名。

▲いぬ・そば　（……）名。〔……蕎麥〕　伊豫ノ國ノ方言。草ノ名。たそばノ一名。

いぬ・そらまめ　（第四上）名。〔……蠶豆〕　草ノ名。からすのえんどうノ一名。

▲いぬ・だいわう　（（第五ヲ））（（第三上））名。〔……大黃〕　伊豫ノ方言。草ノ名。すかんぽノ一名。

いぬ・たうがき　（（第三ト、第五ガ））（……）名。〔……唐柿〕　木ノ名いちぢゆくノ一名。

いぬ・たで　（第二上）名。〔……蓼〕　（一）草ノ名。たでノ一種。高サ六七尺ニナル。葉ノ形ハたばこニ似テトガリ、柔ラカクテ毛ガ多ク、八月頃、桃色デ、下ニ垂レル花ノ穗ヲ付ケルモノ。—オホケタデ。—シユビンサウ。—オニタデ。—タウタデ。—ホタルタデ。—ヒラクチオドシ。—マムシグサ。—ラウセンタバコ。—ハブデコブラ。（二）又、草ノ名。野ニ生ヘル。辛味ハ無ク、食用ニモナラズ、秋、紅葉シテウツクシクナル。—オニタデ。

▲いぬ・だら　（……、又、（第三上））名。〔……惣〕　大和ノ國ノ方言。木ノ名。はりぎりノ一名。

いぬ・たぶ　（（第三上））名。　草ノ名。いたびノ一名。

いぬ・つげ　（（第四ケ））（（全平））名。〔犬黃楊〕　つげノ一名。

▲いぬ・つつじ　（（第四上））名。〔……躑躅〕　陸前ノ方言。草ノ名。きつつじノ一名。

▲いぬ・つづら　（（第三上））名。〔……葛〕　紀伊ノ國熊野邊ノ方言。草ノ名。はすのはかづらノ一名。

▲いぬ・つばき　（……）名。〔……椿〕　和泉ノ國ノ方言。木ノ名。ねづみもちノ一名。

▲いぬ・つばな　（……）名。〔……茅花〕　若狹ノ國ノ方言。草ノ名。ちからしばノ一名。

いぬ・とくさ　（……）名。〔……木賊〕草ノ名。　カタチハすぎなニ似テ大キク、枝ハ無ク、年ヲ經レバ大キクナル。夏、莖ガデテ花ガ咲ク。マレニハ枝ノスコシアルノモアル。—カハラドクサ。—スギドクサ。—スギナドクサ。—ミヅドクサ。—テウセンドクサ。—ハマドクサ。—タニチスギナ。—シンノマツウ。

いぬ・なし　（第二上）名。〔……梨〕　（一）木ノ名。しらくちもものノ一名。（二）又、木ノ名。美濃ノ國ノ方言。やまなしノ一名。

いぬ・なづま　（第三上）名。〔……蓼〕　草ノ名。はまたかなノ一名。

いぬ・なめすすき　（第五上）名。〔……紙め薄〕　きのこノ一ッ。なめすすきニ先立ッテ、秋生ヘル。形モ、色モ、なめすすきニ似テ、ヤヤコエ、味ハワルイ。

いぬ・ぬのびき　（第四上）名。〔……布引き〕　きのこノ一ッ。ぬのびきニ似テ、端ガ長ク、カサハ少シ茶イロガカリ、味ヒハニガクテ、ウマクナイモノ。

いぬ・の・しり　（第五上）名。〔……の尻〕　草ノ名。ぬのしりぐさノ一名。

▲いぬ・の・しり・つき　（……）名。〔……突き〕　近江ノ國ノ方言。木ノ名。へびのぼらずノ一名。

いぬ・の・たま　（……）名。〔犬の玉〕　犬ノ腹中ニママアル玉ノヤウナ、一種ノカタマリ。—和漢三才圖會、「イヌノタマ」。

△いぬ・の・たまひ　（（第六イ））（……）名。　イヌノヘド。—和名抄、「大食、以奴乃太末比」。

いぬ・の・はな・ひげ　（（第七ケ））（全平）名。〔……鼻鬚〕　草ノ名。山野濕地ナドニ生ヘル。穗ノ形チハいぬぢきしやうニ似タモノ。

いぬ・の・ひげ　（（第五ケ））（……）名。〔……鬚〕　草ノ名。はしぐさノタグヒ。形チモはしぐさニヨク似タモノ。枝ニ白イロノ平タイタマガアル。コレガ花ノオホクアツマツタモノト云フ。

いぬ・の・ふぐり　（（第五グ））（第四上）名。〔……睾丸〕　草ノ名。葉ハいぬかうじゆニ似テ、三分バカリ、鋸齒ガアリ、葉ノ間ニウスムラサキノ花ヲヒラキ、シベノ中ニ青色ノ丸イ實ガ二ツナル。

▲いぬ・の・へど・くさ　（第五上）名。〔……反吐草〕　備後ノ方言。草ノ名。しふきノ一名。

いぬ・の・はぎ　（（第五キ））（全平）名。〔……萩〕　草ノ名。

濫木ノ名。萩ノ一種。莖ノ高サ二尺バカリ、葉ハ萩ニ似テ厚ク、莖ニモ葉ニモ毛ガアリ、秋萩ニ似タ白イ花ヲツケル。

△いぬ・ばこ　（第二上）名。〔犬張子〕　いぬはりこト同ジモノ。〔ばこハはりこノ略〕

いぬ・はじかみ　（第三上）名。〔……薑〕　草ノ名。はじかみニ似タモノ。但シ根ハ食ヘヌ。花ハつくノ花ニ似テ赤ク、ツノツボミヲ蘆ヅケニシテ、冬ヲ經レバ琥珀色ニナリ、食用ニシテ美味ノモノトナル。

いぬ・ばしり　（……）名。〔……走り〕　城、ツイヂナドノ外ニスコシアケテアルトコロ。

いぬ・ばへ　（（第四エ））（第二上）名。〔……蠅〕　蟲ノ名。犬ニツクはへ。身ハイタッテ堅ク、脊中ハ平ラデ、茶色ノモノ。犬ノ血ヲスッテ生キテ非ルト云フ處カラノ名。—和名抄、「犬蠅」。

▲いぬ・ぱら　（……）名。〔……蟲獸〕　伊豫ノ方言。草ノ名。うくひすのさるがきの一名。

いぬ・はりこ　（第三上）名。〔……張リ子〕　中古カラ始マッタ一種ノ玩弄物ノタグヒ。オモニ、婚禮、又ハ小兒ノ誕生ノ式ニ用非ル。顏ヲバ小兒ノヤウニコシラヘ、體ハチヤウド寐タ犬ト同ジク、ハリコデツクル。モトハ邪ヲサケル爲メニ造ッテ、イハユルとまいぬノ轉訛シタモノト云フ。中ニハ又四本足デ立ッテイタノモアル。—イヌバコ。—狂女新世帶、「コレ煩惱ノいぬはりこ」。

いぬひ　（（第三イ））（全平）名。　鳥ノ名。いぬひばりノ略。たひばりト同ジモノ。

いぬ・びえ　（第二上）名。〔犬稗〕　野バヘノひえノ名。ナミノひえヨリハヤヤ小サイモノ。

いぬ・びと　（……）名。〔……人〕　ムカシ禁裏デイヌボエヲシタハヤヒトノトナヘ。☆いぬぼえ參考。

いぬ・びは　（（第四ワ））（第二上）名。〔……枇杷〕　小サナ木ノ名。葉ハ本ガヒロク、サキガトガリ、アックテ互生シ、切レバ白イ汁ガ出ル。夏、葉ノ間ニいちじゆくニ似テ小サナ實ヲムスビ、ヤガテ熟シテ赤クナル。—サルノシリ。—カラスノヒハ。—カラスビハ。—エノビハ。—エノビ。—カキノホホヅキ。—イチジユ。—ホホヅキ。—サルガキ。—ウシノヒ。—カックロ。—マメギ。—マメヅタ。—マメギシバ。—イヌホホヅキ。—イタブ。—イヌボウ。—イヌタウガキ。—ヤマビハ。—チ—チブ。—チチンプイ。—イシヅク。—ウシノシタ。—コダラ。—チチノキ。—リウガン。

いぬ・ひばり　（……）名。〔……雲雀〕　鳥ノ名。たひばりノ一名。

▲いぬ・びよう　（（第三、四合））（第二上）名。〔びようハすべりひゆノひゆノ轉〕　相撲ノ方言。草ノ名。すべりひゆノ一名。

いぬ・ふせぎ　（（第五ギ））（第四上）名。〔……防ぎ〕　スベテ佛堂ノ前ニコシラヘルヒクイ格子。—枕ノ草紙、「いぬふせぎノ中ヲミイレタルココチイミジクタフトシ」。

いぬ・ぶだう　（（第四ド））（第三上）名。〔……葡萄〕　草ノ名。えびかつらノ一名。

いぬ・ぶんどう　（……）名。〔……文豆〕　草ノ名。やぶまめノ一名。

++いぬ・ぼえ　（全平）名。〔……吠え〕　ムカシ、禁裏ニハヤヒトガ御門ノ左ト右トニ非テ、いぬどゑトイッテ一種ノホボエノヤウナ聲ヲ出シタコト。神代ノ遺風ト云フ。

いぬ・ぼた　（（第四オ））（第三上）名。　木ノ名。大木トナル。葉ハにんじんニ似テ、花ヤ實ハスコシはりぎりニ似タモノ。—イヌカバ。—ニンジンボク。—コンゼッ。

いぬ・ぼはづき　（……）（……）名。〔犬酸漿〕　（一）木ノ名。いぬびはノ一名。（二）草ノ名。こなすびノ一名。

いぬ・まき　（……）名。〔……槇〕　トキハ木ノ名。葉ハ厚ク、長サ二三寸、巾二三分。互生シ、夏、葉ノ間ニ實ヲ結ブ。實ハ花ノ見エヌ中ニ早ク結ブ。—ラカンマツ。—マキ。—クサマキ。

いぬ・むぎ　（（第四キ））（……）名。〔……麥〕　草ノ名。こうばふむぎノ一名。

▲いぬ・やきもも　（……）名。　筑前ノ方言。木ノ名。つくのきノ一名。

いぬ・ゆづりは　（第五上）名。〔犬讓り葉〕　木ノ名。ゆづりはノ一種。ヂクノ赤クナルモノ。

いぬ・ゆり　（第二上）名。〔……百合〕　草ノ名。おにゆりノ一名。

いぬ・よもぎ　（（第五ギ））（第三上）名。〔……蓬〕　（一）草ノ名。ひきよもぎノ一名。（二）又、草ノ名。いはよもぎノ一名。

いぬ・わし　（第二上）名。〔……鷲〕　くまわしノ一名。

いぬ・わらび　（第三上）名。〔……蕨〕　草ノ名。しだノ一種。濕地ニ生ヘル。葉ハ細カニ分カレテヤハラカク、食用ニモナラヌ。—オニワラビ。—ヤマワラビ。

いぬ・ゐ　（第二上）名。〔戌亥—乾〕　方角ノ名。いぬ(戌)トゐ(亥)トノアヒダ。—セイホク。—ニシキタ。☆えと參考。

いぬ・ゑんじゆ　（（第五、六合））（第三上）名。〔犬槐〕　木ノ名。ゑんじゆノ一種。葉ハ大キク、ふぢノヤウニアツク、オモテニ白ク

ヤウ。═セイスイ。═イキノチ。═タヤノヲ。（二）タノミ。═タヨリ。═上チギ。═オキシサセモガツヨヲしのちニテアハレコトシノ秋モイヌスリ。

しのぢ・ぢは（（第五ワ））（（第四上）名。　常陸ノ方言。ぶのことそノ一名。

しのち・がけ（（第四カ））（（第五上）根。〔命掛け〕　スマヤ、イノチヲ失フコトモカクリミズ事ヲオコナフコト。近松、恋多小女郎遠帆、「ミッデウナイ、愛ケ取ツメ、コレ惚七ヌガヒニしのちがけノミスギ、タマシヒヲミガクク仲間ノ法。

しのち・がく（（…、第五ニ））（全平）根。〔…換く〕　一命ニカカハルモキ貴トサデアルコト。═近松、博多小女郎遠帆、「しのちがへノワトリ、フ親父ニアツケタトハ。

＋＋しのち・こひ（（第四コ、第五イ））（全平、又、第四上）名。〔…乞ひ〕　（一）イノチノ永クアルノヲイノルコト。═繁花物語、世カタメニオハシマセバ、イツレノタノミモモタメ殿ノ御しのちこひヲノミ申シオモクリ。（二）〔神ジテ〕願サレナウナイノチヲタヌケテトヘアム。

しのち・しらず（第四上）名。〔…知らず〕　イノチノアヤフイノモカクリミズ、押シ切ッテ事ヲスル性質ヤタノ人。═ムカフミズ。

◎コノ解釋ニヨレバしのちしらずトしのちがけトサシテ違ハチガハヌウニ見ちがけハ驚動、即チハタラキヲイヒアアラハシ、しのちしらずハ性質ヲイヒアアラハス。「しのちしらず人間」、「しのちがけノ仕事」、類。

＋＋しのち・びろひ（（第六イ））（…）名。〔…拾ひ〕

しのち・ぶ（（第四ブ））（…）名。〔…ぶ〕　ヤウ。═セイスイ。═イキノチ。═タヤノヲ。（二）タノミ。═タヨリ。═上チギ。═オキシサセモガツヨヲしのちニテアハレコトシノ秋モイヌスリ。

しのち・ぶは（（第五ワ））（（第四上）名。　常陸ノ方言。ぶのことそノ一名。

しのち・がけ（（第四カ））（（第五上）根。〔命掛け〕　スマヤ、イノチヲ失フコトモカクリミズ事ヲオコナフコト。近松、博

ッ。數ハ一人。—職員令「醫博士一人」。
いは・かた（（第二ワ）（全平）名）〔岩堅〕　貝ノ名。いはよしノ一名。
▲いは・かづら（（……）（第三上）名）〔……蔦〕　草ノ名。ゆきのしたノ一名。上野ノ方言。
いは・かど（（……）（……）名。（一）〔……門〕スベテ門ノヤウニガンセキガソバタッテ居ルモノ。（二）〔……角〕岩石ノカド（角）。—拾潰集「アフサカノ關ノいはかどフミナラシ山タチイヅルキリハラノコマ」。
いは・がね（（第二ワ、第三ガ）（全平）名）〔……が根〕　（一）○〔いは（岩）が（之）ね（根）ノ義〕スベテ岩ノヰモト。（二）▲木ノ名。紀伊ニアル。形チハばりばりのきニ似テ、夏花ガ咲ク。木ハ大キクナラヌ。
いはがね・さう（（……、第五ソ）（……）名）〔……草〕　（一）いはれんげノ一種。葉ハ四角デ、大キサハ三四分。甚ダアック、夏花ガ咲ク。形モ色モつるれんげニ似タモノ。—ヤマヅタヒ。—ミヅウルシ。（二）マタ、草ノ名。かなびきさうノ一名。
△いは・がみ（（第二ワ、第三ガ）（……）名）〔石神〕　イシガミ。
いは・がらみ（（……）（第五上）名）〔岩搦み〕　草ノ名。深山ニ生ヘ、ノコギリバノ小サイモノ。
いは・かんしつ（第三上）名）。　石ノ名。からすいしノ一名。
いは・き（（第二ワ）（全平）名）〔岩木〕　（一）イシト木。—ボクセキ。（二）〔轉シテ〕スベテ非情ナモノ。（三）木ノ名。ねずみもちノ一種。葉ハモロク、アック、カタイモノ。（四）▲石ノ名。からすいしノ一名。九州ノ方言。（五）紙ノ名。いはきがみノ略。
いはき・がみ（（……、第四ガ）（第三上）名）〔磐城紙〕　磐城ノ國カラ出ル紙ノ名。はんしノ一種。
いは・ぎきやう（（第二ワ、第三ギ、第五ヨ、第四、五合）（……）名）〔岩桔梗〕　（一）草ノ名。高山ノ上ニ生ヘル。ひなぎきやうノ一種。（二）マタ、草ノ名。いせはなびノ一名。
いは・ぎく（（第二ワ、第三ギ）（第二上）名）〔……菊〕　草ノ名。いはとぎくノ一名。
いは・きつつき（（第二ワ）（第四上）名）〔……啄木鳥〕　鳥ノ名。いはげらノ一名。
いはぎり・さう（（……、第三ギ、第五ソ）（全平）名）〔……切り草〕　草ノ名。ゆきのしたノ一名。
いは・きんばい（（……）（第三上）名）〔……草ノ名〕。深山ノ岩ノ上ニ生ヘル。形ハへびいちごニ似テ、花ハ黄イロクテ、小サイモノ。—イハイチゴ。
○いはく（（第二ワ）（第一上）副）。（曰く）〔いふ（言）ノ延〕　イフニハ。—イフヤウ。—イヘラク。—「カヘリテいはく」。—「いはくイヒガタシ」。
いはく（（……）（……）名）。〔……〕〔前ノ語カラ轉シテ〕。　云フベキトコロ。—イハレ。—ワケ。—シサイ。—「いはくノアルコト」。
◎スベテ、アヤシミノ心ヲ持ツ時ニツカフ。
△いはク（（……）（第三上）自動、下二）〔童く〕　子供ラシクアル。☆いわく參考。
いは・ぐくり（（……、第四グ）（……）名）〔岩括り〕　鳥ノ名。ほほじろニ似テ、ヤヤ大キク、チズミ色ノアタマ、紫ノヰズミガカッタ脊、ツバサハ黑ク、尾ハ茶イロナモノ。—イハサザイ。—イハアラヒ。
いは・くさ（（第二ワ）（全平）名）。〔……草〕　草ノ名。いはのかはトオナジモノ。
△いは・くす・ぶね（（……）（第五上）名）。〔……樟船〕　昔シ神代ニ用ヰタフネ。—「アマノいはくすぶね」。
いは・ぐすり（（……、第三グ）（第三上）名）。〔……藥〕　（一）草ノ名。すくなひこのくすねノ一名。（二）マタ、草ノ名。いはくみノ一名。をぐつノ一名。
△いは・ぐつ（（……）（全平）名）。
いはくに・ちぢみ（（第二ワ）（第五上）名）。〔岩國縮み〕　周防ノ岩國カラ製シテ出スちぢみ。夏ノ服ニナル。
いはくに・ばんし（（……）（……）名）。〔……半紙〕　周防ノ岩國ノ町カラ諸方ヘ出スはんし。
いは・ぐみ（（……、第三グ）（全平）名）〔岩組み〕　（一）草ノ名。深山ノ石ノ上ニ生ヘル。葉ハひのきニ似テウスク、能クシグルモノ。—イハゴケ。—イハコチ。—イハヒバ。—イハグスリ。—イハマツ。—クサヒバ。—コケマツ。—テングノモトドリ。（二）△草ノ名。いはのかはノ一名。—和名抄「以波久美」。
いは・ぐみ（（……）（……）名）。〔……〕　ゼ居デッカフ道具ノ一ツ。竹ヲ心ニシテハリコデ岩ナドノ形チニ拵ヘタモノ。
▲いは・ぐも（（……）（第三上）名）〔岩雲〕　夏ノソラニ出ル雲ノトナヘ。—物類稱呼「ナッグモ、櫛磨ニテいはぐもト云フ」。
○いは・くやす（（第二ワ）（第四上）名）。〔……崩やす〕〔くやすハくゆ（崩）ノ義〕。　かしこしニ掛カル枕詞。〔岩ナドノ崩レ落チサウニアル有樣ハソゾロニカシコク、オソロシイトノ所カラ〕。
△いは・くら（（……）（全平）名）。〔……座〕　スメラミコトノマダアマクダリセラレヌ時御座ツタ高ミクラ。—延喜祝詞式「アマノいはくら」。
いは・くら（（……）（……）名）。〔……倉〕　スベテ岩デックッタくら倉。
○いは・け・なさ（（……）（第四上）名）。〔童氣なさ〕　イハケナクアル度合ヒ。
○いは・け・なし（（……）（……）形）。〔……し〕　ヲサナイ。—トシガ行カヌ。—源氏「いはけなき人モイカニト思ヒヤリツツ」。
いは・げら（（……、第三ゲ）（全平）名）。〔岩啄木〕　鳥ノ名。きつつきノ一種。深山ニ居ル。大キサハめじろグラ井、身ハ濃イミドリ色デ、首ト腹トニ赤イ毛ガアル。—イハキッツキ。—イハッツキ。
いは・こぎく（（……、第四ギ）（第三上）名）。〔……小菊〕　（一）海邊ニ生ヘル一種ノ菊。葉ハ小サクテアック、葉ウラハ白ク、七八月頃小サナ黄イロナ花ガ咲ク。—ウラシロギク。—シホギク。—イハトギク。—アハギク。（二）マタ草ノ名。しゆんぎくノ一種。高サ五寸グラ井、紅又ハ白ノ花ガ咲ク。—ヒメシュンギク。—キキャウギク。
いは・ごけ（（第二ワ、第三ゴ）（全平）名）。〔……苔〕　（一）草ノ名。いはぐみノ一名。（二）又、きのこノ名。いはたけノ一名。
いは・こす（（第二ワ）（第二上）名）。　琴ノ名ドコロ。コトヂノ先キノ緒ノアタル所。—十訓抄、「コトヂノサキノ緒ノアタル所ヲ」。
いは・こすげ（（……、第五ゲ）（第三上）名）。〔岩小菅〕　草ノ名。岩ノ間ニ生ヘルやますげ。
いは・こち（（第六ソ）（第二上）名）。　草ノ名。いはぐみノ一名。
いは・こんじやう（（……、第六ヨ、第五、六合）（……）名）。〔……紺青〕　こんじやうノ一名。
いはさか（（……）（全平）名）。〔磐境〕　神ヲマツル所。—日本紀「アマツヒモロギ、アマツいはさかヲオコシタテテ」。
いは・さき（（……）（第二上）名）。〔岩崎〕　岩ノ崎。
いは・さき・の・かみ（（……）（……）名）。〔……裂きの神〕　次ギノ語トオナジモノ。
いは・さく・の・かみ（（……）（……）名）。〔……くの神〕　虛空ヲマモルトイフ神ノ名。一說、あまのがはニ居ルトイフ女神ノ名。—イハサキノカミ。
いは・ざくら（（……）（第三上）名）。〔……櫻〕　草ノ名。深山マタハガンセキナドニ生ヘル一種ノさくらさう。
いは・ざさい（（……）（……）名）。〔……鷦鷯〕　（一）鳥ノ名。いはくぐりノ一名。（二）マタ鳥ノ名。たきさざいノ一名。
いはし（（……）（……）名）。〔石韋〕　草ノ名。いはのかはの一名。
いは・しば（（……）（第二上）名）。〔岩芝〕　筑前ノ方言。石ノ名。からすいしノ一名。
△いは・しろ（（第二ワ）（……）名）。　わらびノ異名ト云フ。—八雲御抄、「トキナラヌワラビヲいはしろト云フ」。
△いは・すき（（……）（全平）名）。〔齋鋤〕　いむすきト同ジモノ。
いは・すげ（（……、第四ゲ）（第二上）名）。〔岩菅〕　草ノ名。をさすげノ一種。山中ノ岩ニ生ヘ、形チハ小サク、葉ハ細カイモノ。
いは・すずめ（（第二ワ）（第三上）名）。〔……雀〕　鳥ノ名。いはくぐりノ一名。
いは・せきしやう（（……、第六ヨ、第五、六合）（……）名）。〔……石菖〕　いはぜきしやうト同ジモノ。
いは・ぜきしやう（（……）（……）名）。〔……〕　草ノ名。タニマ、イハマナドニ生ヘル。葉ハせきしやうニ似、チガフ所ハニホヒガ無イコト。花ハ穗ニナッテ咲キ、小サクテ白イ。
△いはたば（（……）（……）名）。〔……烟草〕　草ノ名。タニアヒノ岩ニ生ヘル。葉ハちさニ似テ、夏、ウスムラサキノ五瓣ノ花ヲ付ケル。地方ニ因ッテハ此ノ葉ヲ食用ニスルトモ云フ。—イハヂサ。—イハヂシャ。—イハナ。—ミヅタバコ。
▲いはたら（（……）（……）名）。〔……總〕　越後ノ方—ハナセキシャウ。—イハセキシャウ。
○いはそそぐ（（第二ワ、第五グ）（全平）自動、四段）。〔……注ぐ〕　イハノ上ヲ流レル。
○いはそそぐ（（……）（……）名）。〔……枕〕　きし（岸）ニカカル枕詞。
いは・たいげき（（第二ワ、第五ゲ）（第三上）名）。〔……大戟〕　草ノ名。南國ノ海邊ニ生ヘル。プルネカラ生ヘ、葉ハセマク長ク極メテ薄イ綠リ色デマハリガ紫イロ。夏ノ始メニ花ガ出ル、形ハたいげきト同ジモノ。
○いはた・ぶび（（第二ワ）（第四上）名）。〔……田帶〕　ミゴモツタ婦人ガ腹ニシメル帶。イツキカラ結ブ。—呉竹集「女ノ孕ミテ肌ニスル帶ナリ。五月トイフニ結ブナリ」。
いは・たげ（（……）（第二上）名）。〔……茸〕　深山ノガンセキニ生ヘルきのこ。形ハきくらげノヤウデ、圓ク、ウスク、大キナノハ二三寸モアル。オモテハ茶色、脊ハクロクテ、ザラザラシ、食用ニナル。—イハゴケ。—下學集「石耳、イハタケ」。
△いは・たたス（（……）（第四上）自動、四段）。〔……立たす〕　（一）岩ノヤウニ立ツ。（二）〔轉シテ〕常磐ニ非ラセラレルトイフ敬語。—古事記、「トコヨニイマスいはたたすスクナミカミノ」。
いは・たたみ（（……）（第三上）名）。〔……疊み〕　平面ノ岩ガカサナッテ疊ミノヤウニナッタ所。
いはたば・こ（（……）（……）名）。〔……烟草〕　草ノ名。タニアヒノ岩ニ生ヘル。葉ハちさニ似テ、夏、ウスムラサキノ五瓣ノ花ヲ付ケル。地方ニ因ッテハ此ノ葉ヲ食用ニスルトモ云フ。—イハヂサ。—イハヂシャ。—イハナ。—ミヅタバコ。
▲いはたら（（……）（……）名）。〔……總〕　越後ノ方

言、草ノ名。とりのあしぐさノ一名。
いは・ぐさ（……）（第二上）名。（……蘿）　貝ノ名。
いは・ぐし（……）（第二上）名。（……高苣）　草ノ名。いはたばこノ一名。
いは・ぐしや（……、第四、五合）（……）名。（……）
草ノ名。いはたばこノ一名。
いは・ちどり（（第二ワ））（第三上）名。（……千鳥）
（一）鳥ノ名。ちどりノ一種。カシラモ、脊モ、ツバサモ、尾モトモニ黑ク、胸ハ白ク尾ハつばめノヤウニワカレタモノ。身ハ極メテカルク、河ノ上ナドニ群ツテ飛ブ。（二）草ノ名。深山ノ岩ニ生ヘル。一ツノ莖ニ葉一ツ、紫ニ紅ノカカツタ、菌ニ似タ小サナ花ヲ六ツ七ツ付ケル。
いはつき・ねぎ（（……、第六ギ））（第五上）名。（……覩葱）　武藏ノ岩槻カラ出ルねぎ。ねぎノ上品ナモノ。
いはつき・もめん（（第二ワ））（……）名。（……木綿）
武藏ノ岩槻カラ出ル木綿。
いは・つぐみ（（……、第四ジ））（第三上）名。（岩鶫）
鳥ノ名。いそつぐみノ一名。
++いは・づたひ（（……、第五イ））（……）名。（……傳ひ）
岩カラ岩トツタハルコト。
いは・つつじ（（第二ワ））（第四上）名。（……躑躅）
（一）イハマニ生ヘルつつじノ總名。—古今集、「思ヒイヅルトキハノ山ノいはつつじ、イハネバコソアレ、戀ヒシキモノヲ」。（二）マタ、つつじノ一種。花ノ色ハ赤ク、きりしまニ似タモノ。（三）▲マタ、木ノ名。信濃ノ方言。みつばつつじノ一名。（四）マタ木ノ名。さはてらしノ一名。
いは・つつじ（（……）（……）名。（……）　カサキノ色目ノ名。表ガクレナ井、ウラガ紫ノモノ。
○いは・づなの（（……）（全平）秩）（岩蘿の）　（いはづなハいはづた（石蘿）ノ轉。つたかづらハワカレテマタモトノ所ヘ生ヘカヘルモノト云フ所カラ、老イテ又ワカガヘルノ緣ヲトル」。わかがへりニ掛カル枕詞。
いは・つばき（（……）（第三上）名。（……椿）　小サナ灌木ノ名。いはなんてんノ一名。
いは・つぼ（（……）（第二上）名。（……壺）　ガンセキノ間ノ、ヒクク壺ニナツテ居ル所。
いは・つぼ（（……）（全平）名。（……）　石ノ名。
はつたいいしノ一名。大キイノモ小サイノモ色色アル。外面ハクロズンダ、セピアイロデ、土砂ガ附着スル。中ハカラデ、コゲチヤ色ノ粉ガアル。—イボイシ。—スズイシ。—オニノツブテ。—ヨロヒイシ。—フクロイシ。
▲いは・つひぎ（（……、第五ギ））（第三上）名。（……鵠）
鳥ノ名。いそつぐみノ一名。
いは・つらら（（第二ワ））（……）名。（……垂氷）（つららニ形チノ似タ處カラ）　石ノ名。いしのちノ一名。
いは・と・かぐら（（……、第五グ））（第四上）名。
戸神樂）　（一）天照皇大神ガアマノイハトヘ籠モラレタ時、他ノ諸神ガ裘シタかぐらノトナヘ。（二）芝居ノハヤシノ一ツ、對面サカヅキノトキナド用ヰル。
△いは・と・かしこ（（第二ワ））（……）名。　水ノ中ニアル石。—イハカドノ石。
△いは・と・がしは（（……、第四ガ））（……）名。（岩戸柏）（景行天皇ガタタカヒニ出ラレタ時、此タタカヒニ勝テルコトナラ其前兆トシテ此石モかしはノヤウニナレトテ石ヲ蹴ラレタトコロ、ソノトホリ石ハ碎ケテかしはノ木ノ葉ノヤウニナツテ散ツタトイフ故事カラ起ル」。　スベテ、石ノ異名。—新勅撰集、「ツレナサノタメシハアレド吉野川いはとがしは洗フシラナミ」。
いは・と・ぎく（（……、第四ギ））（第三上）名。（……菊）　草ノ名。いはこぎくノ一名。
いは・ぐくさ（（第二ワ））（……）名。（岩木賊）
草ノ名。すくなひこのくすねノ一名。
いは・どこ（（……）（全平）名。（……床）　（一）タヒラニ岩ガツラナツテ床ノヤウニナツタモノ。（二）△人ヲ葬ツタ所。
△いは・と・せき（（……）（第四上）名。（……關）　ソラ。—天。—呉竹集、「いはとせき、スベテ天ノコトヲイフ」。
いばどの（全平）名。（射場殿）　昔シ禁裏ニ設ケテアツタ射場。
いは・とり（（第二ワ））（……）名。（岩鳥）　鳥ノ名。らいのとりノ一名。
いは・な（（第二ワ））（……）名。（岩魚—（嘉魚））（いは（岩な（魚）ノ義）　魚ノ名。谷川ノイハノアナニ住ム。形チハあゆニ能ク似テ小サクテ、白イモノ。味ハカルクテ、食用ニナル。
いは・な（（……）（……）名。（……菜）　（一）▲伊勢ノ方言。草ノ名。ひらさきぎばうしノ一名。（二）又、草ノ名。いはたばこノ一名。
いは・なし（（……）（第二上）名。（……梨）　小サナ灌木ノ名。富士、日光ナドノ高山ニ生ヘル。高サハ二三寸、地ヲ匐ツテ密生シ、葉ハつげニ似テ對生シ、實ハなんてんニ似テ、秋、赤クナル。食用ニモナル。—コケモモ。—ハマナシ。—オヤマリンゴ。
いは・なづな（（……）（第三上）名。（……薺）　草ノ名。たねつけばなノ一種。深山ノ岩ニハヘル。高サ四五寸。—イハタガラシ。
いは・なんてん（（……）（……）名。（……南天）　伊豆、箱根アタリノ山ノ岩ニハヘル灌木ノ名。葉ハなんてんニ似テ互生シ、冬モシボマズ、夏、白イ花ヲ二ツ三ツ咲カセル。花ノ形チハなるとゆりニ似タモノ。—イハ

ツバキ。
いは・にし（（……）（第二上）名。（……螺）　貝ノ名。とがにしノ一種。大キサハオヤユビホド、ソトガハニ黑ク、イボガオホク、肉ハ赤ク黃イロク、味ヒハ甚ダ辛イモノ。—カラニシ。—イボニシ。—イハカタ。—ホウホウニシ。
△いはぬ・いろ（（……）（全平）根。（言はぬ色）　クチナシイロ。クチナシ（口無シ）ト云フ語ノ緣カラ付ケタモノ。—新古今集、「ココノヘニアラデ八重咲ク山ブキノいはぬいろヲバ知ル人モナシ」。
○いは・ぬ（（……）（……）名。（岩根）　（一）イハノネモト。（二）イハ。—イハホ。—ガンセキ。
いは・ぬ・かへで（（……、第五エ））（第四上）名。（……楓）　木ノ名。日光及ビ木曾ナドノ山ニハヘル。かへでノ一種。葉ハ大キクテ、ワレメノアサイモノ。—ヨロツコカヘデ。
△いはぬ・ぐさ（（……、第四グ））（第三上）名。（……草）　わらびノ異名トイフ（いはねニ生ヘル處カラ）。
○いは・の・かげみち（（……、第五ゲ））（第五上）名。（岩の蔭道）　岩ノカゲニアル道。—古今集、「世ニフレバ憂サコソマサレ、ミ吉野ノいはのかげみちフミナラシテン」。
いは・の・かは（（……、第五ワ））（……）名。（……草—（石韋））　山カゲノ古木又ハ岩ニハヘル草ノ名。しだノ類。根ハナガクヒロガリ、處處ニ葉ガ出ル。葉ノ長サ六七寸、ヒロサ一寸バカリ、アツクテ茶色デ、ザラザラスル。冬モカレヌモノ。—イハシ。—イハクミ。—イハガシハ。—イハクサ。—ヒトツバ。—カラヒトツバ。
▲いは・の・せい（（第二ワ））（第四上）名。（……石蕈）　（一）（祝肥前ノ方言。貝ノ名。せノ一名。
▲いは・の・つめ（（……）（全平）名。（……爪）　播磨ノ方言。貝ノ名。せノ一名。
△いは・の・ぼ（（……）（第三上）名。（……戶）　岩ノ方言。草ノ名。まんねんぐさノ雄ノ一名。
▲いは・の・ぼり（（……）（……）名。（岩昇り）　伯耆ノ方言。草ノ名。まんねんぐさノ雄ノ一名。
いは・ば（（……）（全平）接。（言はば）　タトヘテ見レバ。—イツテミレバ。—（いはば人ハ小天地ナリ」。
○いは・はざま（（……）（第三上）名。（岩峽）　岩ト岩トノ間。
△いは・ばし（（……）（第二上）名。（……橋）　岩ノハシ。—イシバシ。ムカシハ淺瀨ニ石ヲ飛ビ石ドシテオキ並ベテ其上ヲワタツタモノ。—拾遺集、「いはばしノヨルノチギリモ絶エヌベシ、明クルワビシキカツラギノ神」。
○いはばし・の（（……）（……）枕。（……の）　まぢかし、あふみナドニカカル枕詞。（いはばしハ各ノ石ノ間ガマヂカイトコロカラまぢかしトカカリ又、石ト石トガナラビアフトコロカラあふみトカカル」。
++いはばじめ（第三上）名。（射場始め）　射場ドノデ弓ヲ射ハジメルコト。ムカシ宮中デ行ハレタ儀式。
○いは・ばしる（（第二ワ））（……）枕。（岩奔る）　たぎつ、たぎナドニカカル枕詞。（たぎつハたぎつトオナジク水ガ瀨トナツテハゲシク流ルルトコロノ緣カラカカル」。
△いは・ばしル（（……）（全平）自動、四段。（……）　岩ノ上ヲハシリ流レル（水ガ）。
++いはひ（（……、第三イ））（第二上）名。（……（祝）ひ）（いはふノ名詞體）。イハフコト。—（祝ヒ過ス）ひ

日光ニ產スルしだノ類ノ草ノ名。根ハ指グラヰ、岩ノ上ニマトヒツク。—ニックワウシダ。

△いはひどの　《第二ワ、第三イ》《全平》名。〔齋ひ殿〕　神ヲマツル殿。

いはひのいと　《……》《第五上》名。〔祝ひの絲〕　ヨロヒノオドシイトノ一ツ。タクボクオドシノ絲ノ一名。

△いはひのかがみ　《……、第六カ》《全平》名。〔齋ひの鏡〕　イハヒウヤマフ鏡。

△いはひのつゑ　《……、第三イ》《第五上》名。〔祝ひの杖〕　うづゑト同ジモノ。—桃ノ草紙「ウヅエノカシラツツミタル小キ紙ニ、山ドヨム鈴ノヒビキヲタヅヌレバいはひのつゑノ音ニヅアリケル」。

△いはひのみてぐら　《……、第七グ》《全平》名。〔……齋ひの御幣〕　神ニタテマツルヌサニギテ。

△いはひのみや　《……、第三イ》《全平》名。〔……宮〕　カシヅキイハヒマツル宮—イハミヤ—イツキノミヤ。—日本紀「カレ大神ノヲシヘニシタガヒテソノホコラヲ伊勢ノ國ニタツ。ヨリテいはひのみやヲ五十鈴ノ川ノ上ニオコセリ」。

いはひば　《……》《第二上》名。〔岩檜葉〕　深山ノ岩ノ上ニハヘル草。いはぐみノ一名。

△いはひびと　《……、第三イ》《……》名。〔齋ひ人〕　神ニツカヘタテマツル人。—カンヌシ。

△いはひべ　《……》《第二上》名。〔……瓮〕　ムカシ、神酒ヲ神ニタテマツル器。—インベ—日本紀「コヽニいはひべヲモテ」。

いはひも　《……》《全平》名。〔岩紐〕　草ノ名。ひもらんノ一名。

△いはひもとはる　《……》《第三イ、第六オ》《全平》自動、四段。〔い（發語）〕ハ

ヒマハル。—ハヒメグル。

いはひや　《……》《第二ワ、第三イ》《第二上》名。〔祝ひ矢〕　合戰ノふシメニ兩方カラマヅ一矢ヲ射カハスソノ矢。

△いはひをの　《……》《第四上》名。〔齋ひ斧〕　いむをのノ一名。

△いはフ　《……、第三ウ》《第二上》他動、四段。〔齋ふ〕　ケガレヲイミ、再拜ッツシンデ神ヲマツル。

いはフ　《……》《……》他動、四段。〔祝—賀ふ〕　ロコブ。—ホグ。—コトホグ。—賀ス。—シユクス。

△いはフ　《……》《……》他動、四段。〔齋ふ〕　マモル。—守護スル（神ガ）。—萬葉集、「オホフチ子ニ眞梶シヌキ、コノアコヲカラクニヘヤル、いはへ、カミダチー」。

△いはフ　《……》《……》自動、四段。〔い（這）ふ〕　(一)ゆきのしたノ一種。葉ハ大キクテ喇叭ニ似、オモテウラ共ニ綠デ、毛ハナク花ハ小サク、穗ハ長イモノ。（二）▲又、越前ノ方言。草ノ名。ゆきのしたの一名。

いはふ　《……》《……》名。〔……藤〕　亞灌木ノ名。山中ニハヘル。高サ一二尺、葉ハふぢニ似テ小サク、夏、葉ノ間カラ穗ヲ出シ、藤アル。—ヒメフヂ。—ナツフヂ。—ニハフヂ。

△いはぶち　《……》《……》名。〔……淵〕　岩ノアルフチ（淵）—萬葉集、「カミナビノウナソノクマノいはぶちニコモリテノミハワガ戀ヒヲラン」。

いはふぬの　《第二ホ、第三ウ》《全平》名。〔異法布〕　鎧ノいへぢニツカフ布ノ一ツ。

いはふね　《第二ワ》《……》名。〔……舟〕　神代ニ神神ガ乘ラレタフネ。楠デツクッタト云フ。—萬葉集、「久方ノアマノサグメガいはふねヲトメシ高津ハアセニケルカモ」。

○いはほ　《……、第三オ》《……》名。〔巖〕　スベテ、大キナ石ノ總名。—イハホロ。—和名抄「巖以八保」。

いはほすげ　《……、第五ケ》《第三上》名。〔……菅〕　岩ノ間ニ生ズルやますげ。

△いはほろ　《第二ワ》《全平》名。〔ろ（助辭）〕　イハホ。

○いはま　《……》《……》名。〔岩間〕　岩ノアヒダ。

▲いはまき　《……》《第二上》名。〔……槇〕　丹波ノ方言。草ノ名。まんねんぐさノ一名。

＋○いはまくら　《……》《第三上》名。〔……枕〕〔まくらハかぢまくらノまくら〕　岩ヲマクラニシテネムルコト。

△いはまし。ごと　《……、第五コ》《第四上》名。〔言はまし事〕　イハント思フコト。—イヒタイコト。—源氏、「イケルカヒナキヤ。タガいはましごとニカ？」

▲いはまつ　《第二ワ》《第二上》名。〔岩松〕　伊豫讃岐邊ノ方言。草ノ名。いはぐみノ一名。

○いはまほし　《……》《第四上》名。〔言はまほし〕　イヒタク思フ。—イヒタイ。—紫式部日記、「マシテ人ノ中ニマシリテハいはまほしきコトモハベレド」。

○いはまほしさ　《……》《……》名。〔……さ〕　イハマホシクアル度合ヒ。

いはまめ　《……》《全平》名。〔岩豆〕　磨ノ方言。草ノ名。まめづたノ一名。（一）▲播マタ草ノ名。すくなひこのくすねノ一名。（二）

いはみ。ぎんざん　《……》《第四上》名。〔石見銀山〕　石見國邊摩郡ノ銀山カラ出ルヨセキ（鬼石）デ拵ヘタ鼠コロシノ藥。

いはみ。せきれい　《……》《……》〔……鶺鴒〕　鳥ノ名。せきれいノ一種。石見國ニ多ク居ル。脊ハアヲ黑ク、翼ハ黑ニ黃ガマジリ、尾ヲバ横ニウゴカス。

いはみ。のふでがき　《……、第七ガ》《第六上》名。〔……の筆柿〕　クガモノノ名。ふでがきノ一種。石見ノ產物。—フデガキ。—非ノキモ。

いはみ。わた　《第二ワ》《第三上》名。〔……綿〕　石見ノ國カラ出ルわた。

△いはム　《……》《第二上》名。自動、四段。〔滿む〕　充滿スル。—ミチミチル。—タクサンニアル。—日本紀、「イハレノ邑ニシキいはめリ」。

△いはもちもすぎ　《……、第七ギ》《第五上》名。〔岩村鞆杉〕〔もすぎハひすぎノ轉、即チ、ワカイ杉ノ義〕　はつせやまニ掛カル枕詞。

▲いはもち　《第二ワ》《第二上》名。〔……冬青〕　薩摩ノ方言。木ノ名。あせぼノ一名。

いはもと　《全平》名。〔……本〕　岩ノ根モト。—新撰六帖、「谷カゲノいはもとシヅクツクヅクト時ヲモヲカズ濡ルル袖カナ」。

いはもとすげ　《……、第六ケ》《第四上》名。〔……菅〕　岩ノヲモトニ生ヘタやますげ。

いはもみ　《……》《第三上》名。〔岩樅〕　灌木ノ名。高山ニ生ヘル。高サハ五六寸。葉ハきやらノヤウデ、細クテヤハラカク、裏ウスベニ色ノ小サナ花ガサク。—ツガザクラ。—ツガマツ。—ダケモミ。

いはももこけもものノ一名。

いはや　《……》《……》名。〔……屋—窟〕　(一)スベテ岩ヲウガツテ造ッタスミカ。（二）イハマニアルホラアナ。—和名抄「伊波夜」。

▲いはやぎく　《……、第四ギ》《第二上》名。〔……菊〕　草ノ名。ゆぶらぎくノ一名。

△いはやど　《……》《全平》名。〔……門—……戸〕　イハヤノカド。—イハノヤ戸。—古事記「アメノいはやどヲタテテ」。

いはやなぎ　《……、第五ギ》《第三上》名。〔岩柳〕　高サ三三尺ノ灌木ノ名。葉モ莖モやなぎニ似テ二三月頃、五瓣ノコマカイ白イ花ガ咲ク。—ニハヤナギ。—コゴメヤナギ。—ミキヤナギ。

△いばユ　《第二上》自動、下二。〔嘶ゆ〕　イナナク。—和名抄「嘶、以波由」。

いはゆきのしたノ一　《第二ワ》《第五上》名。〔……雪の下〕　草ノ名。やまゆきのしたノ一名。

いはゆる　《……》《第三上》〔所謂〕　いは（言）ゆ（被）ヲ分詞ニシタモノ。—世ニ云フトコロノ。—フツウニイフ。—源氏「アハレ光ル源氏ノ、いはゆる御サカリノ大將ナドニオハセシコロ」。

いはよもぎ　《……、第五ギ》《……》名。〔岩蓬〕　草ノ名。ひきよもぎノ一名。

いばら　《第一上》名。〔薔薇—茨〕　(一)スベテ、ばらノ類ノ總名。—ウバラ。—イバラシャウビ。（二）○〔轉ジテ〕スベテトゲノアル木。（三）○〔マタ轉ジテ〕木ノトゲ。

いばらき。うどん　《第五上》名。〔茨城溫飩〕　極メテ細ク切ッタうどん。

いばらしやうび　《第五ヨ、第四、五合》《第四、五上》名。〔……薔薇〕　いばら第一解義ト同ジモノ。

いばらたけ　《第三上》名。〔……竹〕　植物ノ名。たけノ一種。幹ニトゲノアルモノ。

いばらばす　《……》名。〔茨蓮〕〔トゲノ有ル處カライフ〕　草ノ名。丹波ノ方言。ふにばすノ一名。

いばらぼたん　《第四上》名。〔……牡丹〕〔……〕　木ノ名。からしんばらノ異名。

いは。らん　《第二ワ》《全平》名。〔岩蘭〕　(一)▲土佐ノ方言。草ノ名。ふらんノ一名。（二）マタ、草ノ名。とてふらんノ一名。

＋○いばり　《……》名。〔……尿〕　ゆばりト同ジモノ。

いばりぶくろ　《第四上》名。〔……袋—膀胱〕　ゆばりぶくろト同ジモノ。

い。ばル　《第二上》自動、四段。〔いきばる（意氣張）ノ轉〕　ツヨイ姿ヲヨソホフ。—ツヨサヲシメス。—イキホヒヲ張ル。—エバル。

◎此いばるト云フ字ニ「威張」トアテタノハ中古カラノシキタリデアルモノノ、甚ダ面白ク無イ。實ヲ云ヘバ其レデモ善シ。去リナガラナラハシノ上カラ兎角假名チガヒノヤウニ思ハレル。威ノ本音ハゆ行ノい。夫レ故理屈カラ云ヘバあいうえおノいデ間ニ合ハセテ差シ支ヘナイモノノ、從來オモニコレヲゆゑんノゆゑノ字ト同ジ類ヒデわ行ノゐノ中ニ組ミ入レテアル所カラ見レバ、如何ニモ此いばるニ「威」ヲアテルノハヲカシク見エル。實際ノ古言ハドウチガツテモ威ヲ張ルヨリハいきばるノ畧トシカ思ハレヌ。いきばるノ畧ナレバ無論其假名ハゐ行ノいデ差シ支ヘル所ハナイ。尙ホ此「威」ノ字ニ付イテノ假名ツカヒハわ行ノゐノ部デクハシク解ク。

いはれ　《第二ワ》《全平》名。〔所以—由緒〕〔いはれ（被言）ノ義〕　イハレルベキワケ。—シサイ。—イフベキユ非シヨ。—著聞集、「汝ガ怨ムトコロいはれナキニアラヲド」。

いはれんげ　《……、第五ケ》《第三上》名。〔岩蓮華—佛甲草〕　草ノ名。つめれんげノ

一種。葉ハヒロクテトガラズ、形ハれんげニ似タモノ。古イ瓦屋根ナドニ生ヘル。

いはろくしやう　(第二ワ、第六ヨ、第五、六合)(……)名。〔……線青〕　鐵物ノ名。ろくしやうノ一名。

△いはわた　(第二ワ)(全平)名。〔……曲〕〔わた(曲)ノ義、即チなわたノわたノ類〕　岩ノメグッテアル所。—新撰六帖「山ガハノアタリハコホルいはわたニ洗レモ行カズヲシテ鳴クナル」。

○いはゐ　(……)(全平)名。〔……井〕　岩ノアヒダノ井戸。=イシ井。

△いはゐづら　(……)(第二上)名。　實物不詳。すべりひゆノ一名ト云フ。

◎高田與清ノ說ニヨレバ兎ニ角ニ水ニ這ヒ廣ガルつるぐさノ一ットイフ。或ヒハサウデモアラウカ？　オモフニいはゐづらハつづらノ約デアラウ。但し與清ハいはゐヲ解シテい(發語)はゐ(這)トイヒ、はゐノゐハ彼ノ「四位」ノゐヲしひ(椎)ニ通ハセタ昔シノ例トオナジモノトシ、即ちはゐハはひアルト云ッタノハイカガ？　タダいはゐ岩居)ト解イテ差シツカヘアルマイモノヲ。—萬葉集「カミツケヌカホヤガ沼ノいはゐづらヒカバ濡レツツアヲナ絶エソネ」。

いはをし　(……)(第三上)名。〔岩鶯鳶〕　鳥ノ名。最モ小サナをしどり。脊ノ色ハミドリデ胸ニ月ガタガアル。長サ八寸バカリノモノ。

○い・ばん　(第一上)名。(夷蠻)　エビス。=パンイ。=エミジ。

○いはん・かたなシ　(第二ワ)(第二上)形。〔言はん方無し〕　言フベキ方法モナイ。=言語ノホカデアル。

▲いはん・だら　(……)(第四上)名。〔だらハたら(鱈)〕佐渡ノ方言。草ノ名。とりのあしぐさノ一名。

いはん・や　(……)(第一上)副。(況—矧んや)　マシテ。=ソノ上ニ。—伊勢物語「コトバモ云ヒシラズ、いはんや歌ハヨマザリケレバ」。

◎漢文デハいはんやノチニ必ラズをやト云フ語ヲ加ヘル例デアル所カラ、近頃此種類ガ普通ニ多クナッタモノノ、日本ノ古言デハ必ズシモサウデ無イ。

いひ　(第二イ)(第一上)名。(飯)　(一)ス　ベテ、米ヲ蒸シタモノ。(二)後世、米ヲムシテ、タイタモノ。日本人ノ常食。=ヲシ。=ヲス。=カタカユ。=メシ。=クゴ。=ゴゴ。=オダイ。=オナカ。=ダイバン。=グゴ。=オダイクゴ。=ゴゼン。=オゼン。=ゴレウ。=ヤハラ。=ママ。=マンマ。=オマンマ。=パッパ。

△いひ　(……)(……)名。(槭)　板デ箱ヲ拵ヘ、地中ヲ通シ、水ヲカヨハセルモノ。=ヒクチ。=トヒ。—續千歲集、定頼「イケ水ノいひタヘヌトヤ思フラン、深キ心ハイツカハルベキ」。—和名抄「以比」。云フコト。=ナリ」。

△いひ　(第二上)名。　實物不詳。中古、どんさぎノ古名ト云フ。—和名抄「鵁鶄和名伊微」。

○い・ひ・あがル　(第二イ、第四ガ)(第四上)自動、四段。〔言ひ昂る〕　云ヒツノル。

○いひ・あぐ　(第二イ、第四グ)(第三上)他動、下二。〔……上ゲ〕　下カラ上ヘ申シアゲル。=マウシアゲル。

○い・ひ・あッ　(第二イ)(……)他動、下二。〔……中ウ〕　ハカリ考ヘテマコトヲアテル。=イヒアテル。

●いひ・あてル　(……)(第四上)動他、二。〔……てる〕　いひあつノ近體。

○いひ・あはス　(……、第四ワ)(……)他動、四段。〔……合はす〕　タガヒニ語ヲ一致サセル。=タガヒニ云フコトヲ同ジクスル。=イヒアハセル。—後拾遺「風吹ケバ櫛ノシタバノソヨソヨトいひあはせッッイヅチ行クラン」。

○いひ・あはス　(……)(……)他動、下二。〔……〕　前ノ語ト同ジモノ。—源氏「イトワリナキワザカナトいひあはせッッ」。

いひ・あはせ　(……)(全平)名。〔言ひ合はせ〕　イヒアハセルコト。=タガヒニ語ヲ一致サセルコト。=マウシアハセ。—「イクドウオン、只いひあはせヲノミイフ」。

●いひ・あはせル　(……)(第五上)他動、二。〔……る〕　いひあはすノ近體。

いひ・あひ　(第二、及、第四イ)(全平)名。〔言ひ合ひ〕　(一)イヒアフコト。(二)イサカヒ。=クチアラソヒ。=コトバダタカヒ。=サウロン。

いひ・あフ　(第二イ、第四ウ)(第三上)他動、四段。〔……ふ〕　(一)タガヒニ物ヲイフ。(二)イサカフ。=クチアラソヒヲスル。=サウロンスル。=コウロンスル。

いひ・あり　(第二イ)(第一上)名。〔赤蟻〕　蟲ノ名。あかありノ一名。—和名抄「伊比阿里」。

○いひ・いだス　(……)(第四上)自動、四段。〔言ひ出だす〕　クチヲ切ル。=イヒハジメル。—平家物語「サルニテモ何者ノいひいだ

しケルヤラン」。

○いひ・いッ　(……)(第二上)自動、下二。〔……ヅ〕　いひいだすト同ジ語。—源氏「オノヅカラいひいでッタヘバ、マケジダマシヒニ追ヒ來ナント思フニ」。

いひ・いひ　(第二、及、第四イ)(第二上)副。〔……言ひ〕　クリカヘシテイッテ。=イヒナガラ。—アキラメロトいひいひナゲク」。

○いひ・いル　(第二イ)(第二上)他動、下二。〔……入る〕　イヒコム。—枕ノ草紙「夜ヒトヨ言ヒツルコトノコリヲ女ノ耳ニいひいれ」。

●いひ・いれル　(……)(第四上)他動、二。〔……れる〕　いひいるノ近體。

いひ・おク　(……)(第三上)他動、四段。〔……置く〕　イヒノコス。=コトバヲノコス。—狹衣物語「グニ凄マジキモノニいひおきタル師走ノ月」。

いひ・おくル　(……)(第四上)他動、四段。〔……送る〕　イヒヤル。—「手紙デ意中ヲいひおくる」。

いひ・おとス　(……)(……)他動、四段。〔……貶す〕　ワルクイフ。=イヒクダス。=コクヒヤウスル。—重之集、「霧ハレテンラニ磨ケル月カゲヲ山ノコホリトいひナおとしソ」。

いひ・がかり　(……、第三ガ)(全平)名。〔……掛かり〕　(一)アトカタノ無イコトヲ認ヒコト。=イヒカケ。—「いひがかりデ金ヲイタブル」。(二)モハヤ言ヒ出シテシマフコト。—近松、二枚繪草紙「市郎右衛門モいひがかり、イヤイヤ、コナタニ習ハイデモ此方ノ胸中ニアル淨瑠璃ハ此鼻ガ覺エテ居ル。御開キヤレト扇ヲッッテ」。

いひ・かかル　(第二イ)(第四上)他動、四段。〔……る〕　(一)アヒテニ向ッテハナシカケル。(二)ヤヤイヒハジメル。

○いひ・かク　(……)(第三上)他動、下二。〔……ク〕　(一)アヒテニハナシヲシカケル。—源氏、「タチドマリ、霧ノマガキノ過ギウクバ草ノトザシニサハリシモセジ、トいひかけテ入リヌ」。(二)イヒダス。=イヒハジメル。(三)無實ノコトヲ認ヒル。

++いひ・かけ　(……)(全平)名。〔……け〕　(一)イヒカケルコト。=ハナシハジメルコト。(二)歌ナドデ語一ッヲ二ッハ一ッハ忍ぶト云フ動詞ヲ意味シ、一ッハしのぶト云フ草ヲ意味スモ」ソしのぶハしのぶハ一ッハ忍ぶト云フ動詞ヲ意味シ、一ッハしのぶト云フ草ヲ意味ス。「アヒミマクほしハカズナクアヘバ「モモシキヤ、古キノキバノしのぶニリナガラ」ノほしノ類ヒ、コレモほし(欲)ノほしノ類ヒ、又

スル。

いひ・さう　（（第二イ、第三ギ））（全平）名。木ノ名。葉ハあかめがしハノ葉ニ似テ、ヤヤ赤ク、マルク春小サナ白イ花ガ咲キ、なんてんノヤウナ實ガナル。—タウセンダン。—ナンテン。

いひ・きル　（（第二イ）（第三上）他動、四段。〔言ひ切る〕（一）イヒヲハル。—イヒハテル。（二）（轉ジテ）カナラズカウカウデアルトイフ。—ダンゲンスル。

△いびク　（第二上）自動、四段。〔慰く〕　イビキヲカク。

▲いひ・くくム　（（第二イ））（第四上）他動、下二。〔言ひ含む〕　いひふくむト同ジ語。イヒツケル。—心得サセル。—フクマセル。—桃ノ草紙「キタナゲナランハカキステテナド、いひくくめテ」。

●いひ・くくめル　（（……））（第五上）他動、二。〔……める〕　いひくくむノ近體。

いひ・くさ　（（……、第三ク））（全平）名。〔言ひ草〕〔ゑまハあそびやさナドノくさ〕（一）言フベキタネ。—イヒゴト。（二）（轉ジテ）コゴト。—ワルクチ。

いひ・くさス　（（第二イ））（第四上）他動、四段。〔……腐す〕　ワルクイフ。—イヒオトス。

○いひ・くたス　（（……））（……）他動、四段。〔……〕　いひくさすト同ジ語。—桃ノ草紙「ワガ知リカリケレバ、フト言ヒ出デテいひくたしナドスルイトニクシ」。

○いひ・くだス　（（……））（……）他動、四段。〔言ひ下す〕　いひくさすト同ジ語。

いひ・くらス　（（……））（……）他動、四段。〔……暮らす〕　ソノコトバカリヲ云ッテ時ヲスゴス。—「其レノミいひくらしテ日ヲ送リヌ」。

○いひ・くるム　（（……））（……）他動、下二。〔……噛む〕　マコトラシクイヒナス。—イヒタテテ、ゴマカス。

●いひ・くろめル　（（……））（第五上）他動、二。〔……める〕　いひくろひノ近體。

△いひ・け　（（……））（第一上）名。〔飯笥〕〔けハくしけハ。—オハチ。—メシビツ。　昔シ飯ヲモッタウツいひ・けス　（（……））（第三上）他動、四段。〔言ひ消す〕（一）人ノハナシヲウチケス。（二）（轉ジテ）カナラズカウカウデアルトイフ。—ダンゲンスル。

○いひ・けッ　（（……））（……）他動、四段。〔……つ〕　いひけすト同ジ語。—源氏「光ル源氏名ノミ事事シウいひけたレタマフ」。

○いひ・けらく　（（……））（……）副。〔言ひけらく〕　言フニハ。—言ッタニハ。—言ッタヤウ。—イヘラク。—古事記「ウミノワニヲアザムキテいひけらく」。

△いひ・ごと　（（……、第三コ））（全平）名。〔……事〕　イヒグサ。—イヒワザ。—近松、吉野都女楠「ウタテノ人ノいひごとヤ」。

●いひ・こめル　（（第二イ））（第四上）他動、二。〔……込める〕　ヒトセル。—セッパスル。—逃ベテアヒテニ閉口サセル。—トキフセル。

○いひ・さス　（（……））（第三上）他動、四段。〔……差す〕　イヒフカテヤメル。—伊勢物語「オノオノ親アリケレバ、ツツミテいひさしテヤミニケリ」。

○いひしたみ　（（……））（第四上）名。〔飯羅〕　昔シ飯ヲ蒸ストキコシキノソコニオイタ竹カゴ。今イフせいろうニ似タモノ。—和名抄「箪子、以比之太美」。

△いひ・しらズ　（（……））（第三上、又、全平）副。〔言ひ知らず〕　イフヤウモナク。—イヒガヒモナク。—言語ノホカデ。—源氏「家ノサマモいひしらずアレマドヒテ」。—古今集「ソヘニトテトスレバカカリ、カクスレバ、アナいひしらず、アフサキルサニ」。

△いひ・しる　（（……））（第三上）自動、四段。〔……知る〕　ヨクイヒナス。—言ヒカタヲ知ッテ居ル。—伊勢物語「文モヲサヲサ知ラズ、コトバモいひしらズ」。

△いひ・しろフ　（（……、第五ウ））（第四上）他動、四段。　タガヒニイヒアラソフ。—コトバダタカヒヲスル。—論ジアフ。—桃ノ草紙、「物語リノヨキ、アシキ、ニクキ所ナドヲアサダメ、いひしろひズ憂シ」。

●いひ・すぎ　（（第二イ、第四ギ））（全平）名。　イヒスゴシ。

●いひ・すぎル　（（……））（第四上）他動、二。〔言ひ過ぎる〕　いひすぐノ近體。

○いひ・すグ　（（第二イ、第四グ））（第二上）他動、上二。〔……ぐ〕　いひすごすト同ジ語。

いひ・すぐス　（（……））（第四上）他動、四段。〔……す〕　いひすごすト同ジ語。

いひ・すごし　（（第二イ、第四ゴ））（全平）名。〔……ごし〕　イヒスゴスコト。—ドグワイニイフコト。

いひ・すごス　（（……））（第四上）他動、四段。〔……す〕　ソレダケノ程度ヨリヨケイニイフ。—ドグワイニイフ。—イヒスグス。—イヒソス。

いひ・ずし　（（第二イ））（第一上）名。〔飯鮨〕　タダノすしト同ジ語。飯デックル故ニいひトモ云フ。—八犬傳「いひずし、アマザケ、梨、ミカン、ダイフク、モチロンオホグヒニテ何デモ四文ノ總ヲマヒ」。

○いひ・すッ　（（……））（第四上）他動、下二。〔言ひ捨つ〕　イフハナス。—答ヘヲモトメズ物

ヲ云フ。

いひすて　（（……））（全平）形。〔……て〕　イヒステルコト。

●いひすてル　（（……））（第四上）他動、二。〔……る〕　いひずつノ近體。

いひそこなひ　（（第二、及、第六イ））（全平）名。〔言ひ損ひ〕　イヒソコナフコト。—イヒソンジルコト。

いひそこなフ　（（第二イ、第六ウ））（第五上）他動、四段。〔……ふ〕　イヒアヤマル。—イヒソンジル。

△いひそス　（（第二イ））（第三上）他動、四段。〔……過す〕〔そすハすごす（過）ノ約〕　いひすごすト同ジ語。多ク、バラダチナドノ時イヒスゴシタトキニイフ。—源氏、「ワレ猛クいひそしハベルニ」。

いひそやス　（（……））（第四上）他動、四段。〔……囃す〕　イヒハヤス。—イヒタテテモテハヤス。

いひだと　（（……））（第一上）名。〔飯蛸〕　海產動物ノ名。たこノ一種。小サナモノ。春ノ始メ腹ノ中ニメシツブノヤウナ白イ肉ガミチル。〔ソレ故コノ名ガック〕—カヒダコ。

○いひたッ　（（……））（第三上）他動、下二。〔言ひ立つ〕　（一）トリアゲテイフ。（二）ヤヲシアゲル（上ヘ）。

いひ・たて　（（……））（全平）名。〔……て〕　（一）コウジツ。—スベテ、イヒタテルベキタネ。（二）芝居ノコウジヤウ。

++●いひ・だて　（（……））（……）名。〔……〕〔だてハあそびだてノだて〕　トリアゲテイフコト。—「いひだてヲスレバ悪イ事ヅクメデ切リガナイ」。

●いひ・たてル　（（……））（第四上）他動、二。〔……る〕　いひたつノ近體。

○いひ・たり　（（全平））名。〔寢漫り〕〔（還尿）〕〔いひ（寢）ひたり（漫）ノ義〕　（一）キムッテ居テ小便ヲモラスコト。—ヨッパリ。—チセウベン。—イビタレ。（二）（轉ジテ）予供ナド目ノサメテ非ル中デモ、フジヤウブデ無イ所デ、大小便ヲスルコト。

++いひたれ　（（……））名。〔……れ〕　前ト同ジ語。

いひ・ちらス　（（第二イ））（第四上）他動、四段。〔言ひ散らす〕　（一）ヒロクイヒフラス。—拾玉集、「サシモカクイフ心ノツラケレバ逢ヒミテ來ヤいひちらさマシ」。（二）（轉ジテ）イヒヤブル。—ロンパスル。—セッパスル。（三）●（又、轉ジテ）いふ（言）ノ意味ヲ一種ツヨメテ云フ語。—「サマザマノコトヲいひちらす」。—「ムダクチヲいひちらすバカリ、効ハアガラヌ」。

いひ・ひつ　（（第三上））名。〔飯櫃〕〔いひ（飯）ひつ（櫃）ノ義〕　（一）圓ニ長ミノ付イタ形。—コバンガタ。—ダエン。（二）（轉ジテ）ユガミノ付イタ圓イ形チ。

△いひ・うガフ　（（第二イ、第四カ、第五ウ））（第四上）他動、四段。〔言ひ繼がふ〕〔つがふハつぐ（繼）ノ延〕　イヒツグ。—イヒツヅケル。

○いひ・うク　（（第二イ））（全平）他動、下二。〔……付く〕　（一）コトバデ命令ヲ傳ヘル。（二）ツゲグチスル。

いひ・うグ　（（……、第四グ））（第三上）他動、四段。〔……繼ぐ〕　（一）コトバデツタヘル。—イヒツタヘル。（二）イヒツヅケル。（三）デンゴンスル。

●いひ・づく　（（第二イ））（全平）名。〔……蕊〕〔づくハあそびづくノづく〕　（一）言フダケ言フコト。—「いひづくニスレバコチラガ勝ッ」。

○いひ・づくシ　（（第二イ））（第三上）他動、四段。〔……差す〕　（一）イフ仕方。—「いひづくシダイデ了簡シヤウ」。

いひ・つけ　（（……））（……）名。〔言ひ付け〕　イヒツケルコト。—メイレイ。—「いひつけニソムク」。

●いひ・つけル　（（……））（第四上）他動、二。〔……る〕　いひづくノ近體。イッケル。

いひ・つたへ　（（……、第五ニ））（全平）名。〔言ひ傳へ〕　コトバノ上デ傳ヘ來タコト。—コウヒ。—「いひつたへニノコル」。

いひ・つたへル　（（……））（第五上）他動、二。〔……る〕　イヒツタヘスルコト。—人カラ人トコトバノ上デ順順ニツタヘル。

▲いひ・づつみ　（（……））（第三上）名。〔飯包み〕　伊勢ノ方言。木ノ名。ささげノ一名。

いひ・つのル　（（……））（第四上）他動、四段。〔言ひ募る〕　ダンダンハゲシク言ヒハル。

いひつ・ばら　（第三上）名。〔飯櫃薔薇〕　草ノ名。うぐひすのさるがきノ一名。

いひ・つめル　（（第二イ））（第四上）他動、二。〔言ひ詰める〕　（一）其カギリノ所マデイフ。（二）イヒコメル。—ヤリコメル。—セッパスル。

△いひ・つらひ　（（第二、及、第五イ））（……）名。〔……列ひ〕〔つらひハあげつらひノつらひ〕　イヒツラネルコト。

いひ・とク　（（第二イ））（第三上）他動、四段。〔……釋く〕　ベンカイスル。—セッメイスル。

いひ・とはス　（（……、第四オ））（……）他動、四段。〔……通す〕　イヒハル。—オシキッテイフ。—シユチャウスル。—「自說ヲいひとはす」。

○いひ・とはル　（（……））（……）他動、四段。〔……る〕　トドコホリナク言フ。—源氏「物ヨクいひとはれるヲ」。

△いひ・とよ　（（第二イ））（全平）名。　鳥ノ名。

ふくろふノ古名。—日本紀、「休留（訓、イヒトヨ）」

いひ・とル　（…）〈第三上〉他動、四段。〔言ひ取る〕　コトバニウツシテ言フ。「とるハ見とる、ききとるナドノとる」

いひ・ながし　（…、第四ガ）〈全平〉名。〔…流し〕　イヒナガスコト。

いひ・ながス　（…）〈第四上〉他動、四段。〔…す〕　（一）イヒヒロメル。—イヒチラス。—イヒツタヘル。—源氏、「アサキ名ヲいひながしケル河口ハイカガモラシシセキノアラガキ」。（二）〈轉ジテ〉言ツタママニスル。—言ツテ、返事ヲマタス。

いひ・なス　（〈第二イ〉）〈第三上〉他動、四段。〔…做す〕　（一）サウデナイノヲサウデアルヤウニイフ。—源氏、「ツクリタルトコロニワタシテントオボシタツニ、カカルレウナリケリナド花ヤカニいひなす人ヤアラン、ナドクルシケレバ」。—枕ノ草紙、「アラスモノニいひなしテヤミヌル」。（二）〈轉ジテ〉ケイヨウスル。

いひ・なづけ　（…）〈全平〉名。〔言ひ名づけ〕〔許嫁〕　男女ガコドモデアル時カラアラカジメ結婚ヲ約シテオクコト。—キヨカ。

いひ・なほし　（…、第四オ）〈…〉名。〔…直し〕　イヒナホスコト。

いひ・なほス　（…）〈第四上〉他動、四段。〔…す〕　イヒカヘル。—イヒアラタメル。—枕ノ草紙、「新中納言ナドいひなほしタマヒシ」。

○いひ・ならはし　（〈第二イ〉、〈第五ワ〉）〈全平〉名。〔…習はし〕　イヒナラハセルコト。—クチクセ。

いひ・ならはス　（…）〈第五上〉他動、四段。〔…す〕　クチクセトナル。

++●いひ・ぬけ　（〈第二イ〉）〈全平〉名。〔言ひ抜け〕　イヒヌケルコト。—谷峨、傾城買二筋道、「萬一ノ事ガ有ツタトキ後日ニいひぬけヲシテ置カネエケリヤ外聞ガワルイ」。

●いひ・ぬけル　（…）〈第四上〉他動、二。〔…る〕　スベテ、イヒクロメル。—イヒクルメテノガレル。

++いひ・のとし　（…）〈全平〉名。〔言ひ殘し〕　言ヒノコスコト。—イヒノコリ。

いひ・のとス　（…）〈第四上〉他動、四段。〔…す〕　（一）ハナシヲノコス。（二）〈轉ジテ〉ノチニイヒオク。—アトヘイヒオク。

いひ・のこり　（…）〈全平〉名。〔…り〕　イヒノコシ。

▲いひ・ばち　（…）〈第一上〉名。〔飯鉢〕　めしびつト同ジモノ。

いひ・はなス　（…）〈第四上〉他動四段。〔言ひ放す〕　いひはなつトオナジ語。

○いひ・はなつ　（…）他動、四段。〔…〕　（一）思ツタカギリヲ言ヒ切ル。—拾遺集、「兎モ角モいひはなたレヨ、池水ノ深サ淺サヲ雖カ知ルベキ」。（二）ダンゲンスル。—イヒハナス。—イヒキル。

いひ・はやス　（…）（…）他動、四段。〔…囃す〕　イヒソヤス。—サンヒヤウスル。

いひ・はル　（…）〈第三上〉他動、四段。〔…張る〕　理屈ヲイヒトホス。—シコチヤウスル。

△いひ・びつ　（…）〈第一上〉名。〔飯櫃〕　めしびつト同ジ語。

●いひ・ぶん　（…、第五ガ、第六イ）〈第四上〉他動、二。〔…負〕　貝ノ名。形ハ楕圓デ外面ハ黄、紫、黑ナドノシマニナリ。内面ハダノ紫ノモノ。大キイノデ三四寸アル。

++いひ・ひらき　（〈第二イ〉）〈全平〉名。〔言ひ開き〕　イヒヒラクコト。—ベンカイ。—イヒワケ。—ブンリ。—ベンメイ。

いひ・ひらク　（…）〈第四上〉他動、四段。〔…く〕　スベテ、言ツテ子細ヲ明キラカニスル。—ベンカイスル。—ベンメイスル。—イヒワケル。

○いひ・ふくム　（…）他動、下二。〔…含む〕　ノミコムヤウニロク言フ。—フクムヤウニツツマズ、肆カニイフ。—イヒククム。

いひ・ふくめ　（…）〈全平〉名。〔…め〕　スベテ、イヒフクメルコト。

いひ・ふくめル　（…）〈第五上〉他動、二。〔…る〕

いひ・ふくむノ近體。

いひ・ふせル　（…）〈第四上〉他動、二。〔言ひ伏せる〕　イヒコメル。—セツブクスル。—イヒツメル。—西鶴、一代女、「タウザバカリノ執心、サリトハ思ヒヨラズ、クチヲシク立チ歸ルヲサマザマいひふせらレテサモシクモ懲ニ引カレ」。—近松、釋迦如來誕生會、「我ガ妻吉祥ニいひふせらレセンカタツキテ調伏トヤ」。

いひ・ふらス　（…）（…）他動、四段。〔…觸らす〕　（一）イヒヒロメル。—イヒチラス。（二）世デウハサスル。—リウゲンスル。—ヒヤウバンスル。

いひ・ふるス　（…）（…）他動、四段。〔…古るす〕　言ヒナレテメヅラシクナクナル。—狹衣物語、「カネテヨリメヅラシカルベキコトニアメノシタいひふるしッレド」。

●いひ・ぶん　（…）〈第二上〉名。〔…分〕　言ツベキコト。—イヒグサトスベキコト。—コウジットスベキコト。—西鶴、一代女、「いひぶん喧嘩モナクテ始マリヌ」。—谷峨、傾城買二筋道、「イツソオレガ小遣ノウチヲ借ザバいひぶんナシノ内所デスムト外ノキコエヲ思フユエニ」。—十返舍一九、馬鹿ニ

ツケル藥、「ヒトガラトイヒ、發明トイヒ、ドコヘ出シテモいひぶんノ無イムスコドノサ」。

●いひ・べた　（…）〈全平〉枕。〔…下手〕　スベテ辯舌ノヘタデアルコト。—『キキ上手ノいひべた』。

いひ・ぼ　（…）〈第一上〉名。　（一）〔飯粒〕メシツブ。—オヤンマツブ。（二）△〔疣〕〔疣〕ノ古言。—和名抄、「以比保」。

いひ・ぼどク　（…）〈第四上〉他動、四段。〔言ひ解く〕　イヒヒラク。

いひぼむしり　（…）〈…〉名。〔疣毟り〕〔蜻蛉〕　蟲ノ名。いぼむしりノ一名。

△いひぼめ　（…）〈全平〉名。〔疣目〕　いぼト同ジモノ。

●いひ・まげル　（…、第四ゲ）〈第四上〉他動、二。〔言ひ曲げる〕　サウアルベキコトヲサウデナイト言ヒナス。〔オモニ理ヲ非ニマゲルトキニ云フ〕。

いひ・まはし　（〈第二イ〉、〈第四ワ〉）〈全平〉名。〔…回し〕　イヒマハスコト。—言フグアヒ。—いひまはしガウマイ。

いひ・まはス　（…）〈第四上〉他動、四段。〔…す〕　タクミニイフ。—源氏、「ムベムベシクいひまはしハベルニ」。

いひ・まへ　（〈第二イ〉、〈第四ニ〉）〈全平〉名。〔言ひ前〕　（一）言フベキタチ。—コウジッ。—イヒグサ。—イヒグサノモト。（二）言ッヨ機子。—「キレイナいひまへ」「よまへ、ハくちまへ、そどこまへ、ナドノまへ」。

いひ・もらス　（〈第二イ〉）〈第四上〉他動、四段。〔…漏らす〕　（一）ヒミツヲ洩ラス。—源氏、「カヤウノッイデニモ人ノいひもらさンヲ」。（二）イヒノコス。—イヒアマス。

いひ・やぶル　（…）〈全平〉他動、二。〔…破る〕　イヒマカス。—イヒフセル。—セツバスル。

○いひやぶる　（…）〈第四上〉他動、二。〔…る〕　ノ一層ハゲシイ義ヲ現ハス。いひこめるハタダセツバスルダケノ所、但シいひやぶるハウチヤブル心ヲ持ツ。

いひ・やム　（…）〈第三上〉他動、四段。〔…止む〕　イヒヲハル。—イヒカケテヤメル。—枕ノ草紙、「シモヨリマヰルヲ見テいひやみ」。

いひ・やル　（…）〈…〉他動、四段。〔…遣る〕　スベテ他ニツダシラセル。—イヒツカハス。—續後拾遺集、「朝ユフニ見シタマヅサノカキタエテいひやるカタモナキワカレカナ」。

いひ・よル　（…）〈…〉他動、四段。〔…寄る〕　（一）物ヲイヒカケテシタシミ近ヅク。—源氏、「ハカナキツイデニいひよりテハベリシヲ」。（二）ソノ人ヲ戀フオモヒヲソノ人ニ知ラセル。

●いひり　（全平）名。　イヒルコト。—ワヅラハシク、ナヤマスコト。

●いひル　（第二上）他動、二。〔言ひる〕　ワヅラハシイホドナヤマセル。—サイナム。—セビル。—「菓子ガホシイト親ヲいひる」。

●いひル　（…）他動、一。〔あぶるノ轉〕　アブッテ燒ク（肉ナド）。

（〈第二イ〉）〈第三上〉他動、四段。〔言ッギノ語ト同ジ語。

○いひ・わジ　（…）〈…〉他動、下二。〔…〕　情實ひ分〕

○いひ・わク　ヲトキワケライフ。—ブンソスル。—ベンカイスル。—ベンメイスル。

++いひ・わけ　（…）〈全平〉名。〔…〕　イヒワケルコト。—イヒヒラク。—ブンソ。—ベンメイ。—ベンカイ。—近松、釋迦如來誕生會、「ケガデ御座ルトいひわけスレバ、マダクチクセ。

いひ・ならはス　（…）〈第五上〉他動、四段。〔…す〕

サゴタヘシヲルカト、ニギリコブシガ捺ニナル」。

●いひ・わけル　（…）〈第四上〉他動、二。〔…る〕　いひわくノ近體。

いひ・わざ　（…）〈…〉名。〔言ひ業〕　いひごとト同ジ語。

++いひ・わたし　（…）〈全平〉名。〔…渡し〕　イヒタスコト。—メイレイ。—フレ。

いひ・わたス　（…）〈第四上〉他動、四段。〔…す〕　イヒツタヘル。—メイレイヲツタヘル。—オホセヲ告ゲシラセル。

いひ・わたル　（…）〈…〉他動、四段。〔…渡る〕　トシツキヲ經テ心ザス所ヲイヒシラセル。—源氏、「カヨヒシ所ナドモ絶エテイトネンゴロニいひわたりケリ」。

いひ・わづらフ　（…、第六ウ）〈第五上〉他動、四段。〔…煩ふ〕　イヒニクク思フ。—イヒハバム。—イヒカネル。

○いひ・わブ　（〈第二イ〉）〈全平〉他動、二。〔…詫ぶ〕　イヒカネル。—イヒニクク思フ。—源氏、「唯ケヂカクテ聞コエンコトヲ聞キニクシトモオボシコトワレド、ヨロヅニいひわびテ」。

△いひ・わん　（…）〈第一上〉名。〔飯椀〕　メシワン。—オヤワン。

++▲いひたれ　（〈第三逼〉）〈全平〉名。〔癡浸れ〕　いひたれノ轉訛。

いふ　（第一上）名。〔異父〕　ママノ父。—カリノ父。

いフ　（〈第一ヰ、第二ウ〉）〈第二上〉他動、四段。〔言ヰ—曰ヰ—謂ヰ—道ヰ—云ふ〕　（一）スベテ、語ニ出ス。—コトバニノベル。—ハナス。—カタル。—伊勢物語、「イヘバエニはネバ胸ニサワガレテ心ヒトツニナゲク頃カナ」。（二）ナヅクル。—「天地ノ間ニアル、コ

レヲ人トいふ。

いふ (……)(……)自動、四段。〔……〕 〔前ノ語カラ轉シテ物ヲイフ。〕—クヰヲキク。—舌ヲマハス。

いふ (……)(第一上)名。〔棍〕 笏ヲトツテ揮スル體。ムカシ紫裏デオモニ行ハレタモノ。

いふいん (〔第一〕、及、第三ニ、〔第二〕、及、第四ウ)(第三上)副。〔言ふ言ん〕 イヒツツ。—イヒナガラ。—源氏「火アヤフシトいふいふアヅカリガサウシノカタヘ往ヌルナニいふかし、鐘ノ聲。

●いふかしイ (第四上)形。〔……い〕 いふかしノ近體。

いふかしさ (第三上)名。〔……さ〕 イブカシクアル度合ヒ。

いふかしみ (全平)名。〔……み〕 イブカシイコト。—フシン。—ウタガヒ。

○いふかしみ・ス (第四上)他動、サ變。〔……す〕 シタフ。—心ヲカケル。

○いふかた・なシ (〔第二〕ウ)(……)形。〔言ふ方なし〕 イフヤウモナイ。—源氏「オボツカナサヲいふかたなくオボサル」。

○いふかひ・なさ (〔……〕第四イ)(第三上)名。〔……甲斐無さ〕 イフカヒナクアル度合ヒ。

いふかひ・なシ (〔……〕)(……)形。〔……し〕 (一)

言フカヒガナイ。—イヒガヒナイ。(二)イクヂガナイ。

いふかル (……)他動、四段。〔訝る〕 イブカシクオモフ。—不審ニオモフ。—古今集序、「主仁トイフ人いふかりオモヒテ」。

いふき (全平)名。〔伊吹木〕〔檜柏〕 木ノ名。ひのきニ似タ木。材ノアカイ色ニヨツテ名ヅケタ。—イブキ。ビヤクシうみきあかトモイフ。

いふき (……)名。 かぜノ古言。

いふきだいこん (第四上)名。〔伊吹大根〕 草ノ名。ねずみだいこんノ一名。

いふきたうき (〔第四ト〕)(……)名。〔……當歸〕 草ノ名。葉ハにんじんニ似テ、ハゲシスギテ藥用ニハ適セヌモノ。—エチゴタウキ。—タンゴタウキ。

いふきとらのを (第六上)名。〔……虎の尾〕 草ノ名。しだノ類。葉ハしだニ似テ小サク、厚ク、綠色ヨク、夏ノ始メ六瓣ノ小サナ花カ群ガリ咲ク〔ハジメ近江ノ伊吹山カラデタ故ノ名〕—ヤナギサウ。—エビグサ。—ヤマダイウウ。

いふきぼ (〔第四ボ〕)(第四上)名。〔……防風〕 草ノ名。葉ハにんじんニ似テ、小サナ花ガ白ク咲ク。

いふきやくしん (〔第四、五合〕)(第七上)名。〔……柏槇〕 木ノ名。いぶきノ一名。

△いふきまどはし (〔第六ウ〕)(第五上)名。カゼニフキマドハサレルコト。

いふきよもぎ (〔第六ギ〕)(第四上)名。〔伊吹蓬〕〔草蒿〕 草ノ名。よもぎノ一種。大キイノハ一丈アマリ、葉ハよもぎニ似テ一尺アマリ、ウラニ白イ毛ガオホイ故ニうらじろトモイフ。オホクもぐさニ製スルモノ。—オホヨモギ。—ヌマヨモギ。—ウラジロ。

いふく (第一上)名。〔衣服〕 キヌ。—コロモ。—キモノ。—イシヤウ。—フク。

いふく (……)名。〔異服〕 コトナツタ著モノ。—ヨノツネデナイ服。

いふく (全平)名。〔異腹〕 ハラチガヒ。—「異腹ノ兄弟」。

いふし (第三上)名。〔燻し〕 (一)スベテイブスコト。(二)硫黃ヲ燃シテ亞硫酸瓦斯ヲツクリ、ソレデ金屬(オモニ鉄)ノウツハナドニ煤色ヲツケルコト。—いぶしヲカケル。(三)カヤリビ(カイブシノ略)。

いふ・じやう (〔第二ウ、第四ヨ、第三、四合〕)(第三、四上)名。〔揖讓〕 互ニ禮拜シテユヅリアフコト。モト支那ノ禮式。

いふス (〔第二上〕)他動、四段。〔燻す〕 (一)スベテ、モノヲ燒イテ、烟ヲオコス。—クスベル。—フスベル。—エブス。(二)△アブツテヤク。—「蛤ヲいふす」。(三)金屬ノ類ニイブシヲカケル。—いぶし參考。(四)カヤリビデ苦シメル(蚊ヲ)。

○いふせ・さ (……)名。〔鬱悒さ〕 イブセクアル度合ヒ。—源氏「ナホいふせさヲカギリナク宣ハセツルヲ」。

○いふせシ (第三上)形。〔……し〕 (一)オボツカナクイブカシイ。—土佐日記「イツシカトいふせかりツルナニハガタ、蘆漕ギウケテミフネ來ニケリ」。(二)心ガムスボレル。—氣ガウツウツトナル。—萬葉集「久方ノ雨ノフル日ヲタダヒトリ山ベニヲレバいふせかりケリ」。

いふつ (第一上)名。〔異物〕 普通デナイモノ。—ツチニカハツタモノ。

○いふならく (〔第二ウ〕)(第三上)副。〔言ふならく〕 イフニハ。—イフヤウハ。—「いふならくコレ漢家ノ女」。

○いふば・かりなシ (……)(第三上)形。〔……計りなし〕 イヒツクサレヌホドデアル。

●いふめ (……)(……)名。〔……目〕〔めハうきめナドノめ〕 言フトホリノコト。—言フガママノコト。—三世相錦繪文章、「ケフハ芝居、アスハ花見、御新造サン御新造サントいふめガデラア」。

△いふり (全平)形。 (一)スベテ心ブショク、ナサケナクアルコト。—シヘタゲ。—日本紀、「コノカミタケク安忍(訓イブリ)ニマシテ」。(二)人ヲイビリタガルコト。—種彦、用捨箱、「イマ、小兒ノワガママニいぶりナルヲヤンチヤントテ云フ」。

△いふル (第二上)他動、四段。〔言觸る〕 イヒフレル。—イヒヒロメル。

いぶル (……)自動、四段。〔燻る〕 モエズニケムル。—クスブル。—プスプス燃エル。—エブル。

いぶん (第一上)名。〔異聞〕 チガツタ風聞。—メツタニ無イウハサ。

○いぶん (……)名。〔移文〕 ヒキフダ。—處處ニマハシテ見セル廻狀。—「北山ノいぶん」。

○いへ (〔第二ニ〕)(第二上)名。〔家〕 (一)スベテ、人ナドガ住ムタメニツクル建テモノ。—和名抄、「伊閑」。(二)轉シテ妻。—宇都保物語、「左大臣ノいへムカシヨリマヅシカラズ」。(三)ワガ家。—自分ノ家。—ホオム。—萬葉集「いへニカヘリテナリヲシマサヲ」。(四)先祖カラ傳ハツテ來タ代代ノミヤウセキ。—「いへヲツグ」。(五)イツケ。—ウカラヤカラ。(六)イヘガラ。(七)スベテ、小道具類ヲイレル箱ノトナヘ。—「鏡ノいへ」。

◎△いへノカぜ (風)—(カフウ—ソノイヘイノノワザ—拾遺集、菅家御母「久方ノ月ノ桂ノ枝ノ折ルバカリいへのかぜヲモ吹カセテシガナ」。—金葉集、顯輔、「いへのかぜ吹キヌモノカラハツカシノ森ノコトノハ散ラシツルカナ」。◎△いへノクニ (國)—(コキヤウ。—生レタ國)。

◎△いへワデル (出)—(シニツケスル)。

◎いへヲイヅル。—(シニツケスル)。◎

△いへヌカシ (高)—(身分ガイイ)。◎

△いへヒロシ (廣)—(親類ガオホイ—一族ガ多イ)。

△いへ・あるじ (……)(第三上)名。〔……主〕 ソノ家ノヌシ。—イヘヌシ。—枕ノ草紙、「『アレハタヅ、ケソウニ?』トイヘバ『アラズ、いへあるじ、ツボネアルジトサダメ申ス』」。

いへ・ぐサ (〔……〕)(第三上)自動、下二。〔……出ぐ〕 ヤキコトノハベルナリ」トイヘバ。

いへ・う (〔第二ヒヨ合〕)(全平)名。〔意表〕 オモヒノホカ。—アングワイ。—イグワイ。—「いへうニ出ヅ」。

△いへ・かぜ (〔第二ヒ〕)(第二上)名。〔家風〕 ワガ家ノカタカラ吹ク風。—萬葉集「いへハ日ニ日ニフケドワキモコガイヘヅかぜハ日ニ日ニフケドワキモコガイヘヅトモチラク」。

いへ・がら (〔……〕)(第三ガ)(第四上)名。〔……柄〕 名家。—タツトイイヘスヂ。—モンバツ。

△いへ・ごと (〔……〕)(第三ゴ)(第二上)名。〔……言〕 家カラノタヨリ。—家カラノ傳言。

△いへ・ざかり (〔第二ヒ〕)(第三上)名。〔……離り〕〔さかりハさかる(離)ノ名詞體〕 家ヲトホクハナレルコト。

△いへ・ざかル (〔……〕)(全平)自動、四段。〔……る〕 家ヲ遠クハナレル。

△いへ・ざくら (〔……〕)(第三上)名。〔……櫻〕 自分ノ家ニ咲ク櫻。

△いへ・じく (〔……〕)(……)自動、四段。〔……じく〕〔じくハじむノ轉〕 イヘラシクナル。

△いへ・じち (〔……〕)(第二上)名。〔……質〕 質ニ入レタ家。—西鶴、「若風俗」「島原通ヒシテいへじちノ洗ルルト」。

○いへ・ぢ (〔……〕)(……)名。〔……路〕 (一)ワガ家ヘカヘル路。(二)ワガ家ヘ行ク路。

いへ・ぢ (〔……〕)(……)名。〔……地〕 ヨロヒノ下地ニハリツケル布、革ノ類ノトナヘ。中古ハ重ニ麻ヲツカフ。必ズシモ麻ニハ限ラズ、トカク巾廣イモノヲツカフ。緞子、八丈ナドモアリ、巾一尺二寸アマリ、古イノニハ金入リモアリ、麻布ノ上ヲ金箔デ紋又ハ擬織ヲオシタノモアリ、地ハ藍ガ鉄鏽ヲ受ケヌト云フ處カラ重ニ藍デ染メル。

△いへ・づ (〔……〕)(第三上)自動、下二。〔……出ぢ〕 シニツケスル。—法師ニナル。—續日本紀、「いへでテモマツリゴトヲ行フニ豈サハルベキ」。

△いへ・つ・いも (〔……〕)(……)名。〔……芋〕 野菜ノ名。普通ノいも(芋)ノ一名。

△いへ・づかさ (〔……〕)(……)名。〔……司〕 家ノ事ヲ取リ扱カハセル人。—カレイ。—ケイシ。

いへ・うき (〔……〕)(第四上)根。〔……附き〕 マヘカラソノ家ニツイテ居ルコト。—いへつきノ娘。

△いへ・づく (〔……〕)(第三上)自動、四段。〔……づく〕 家ニ近ヅク。—萬葉集「ワキモコヲ行キテハヤコン淡路島、雲井ニ見エス、いへづくラシモ」。

いへ・づくり (〔……〕)(……)名。〔……造り〕 家ノ造リカタ。—ヤヅクリ。—ヤガマヘ。—イヘガマヘ。—カサク。—ケツコウ。—コウザウ。

いへ・うづき (〔……〕)(……)根。〔……纖き〕 家家

テ、家ニシカフモノ。＝ラウガウ。(四)家ニ井ルコトモ。＝高藪集「富ミ人ノらくのとゝのヘキル身ナミ」。

らく・のもん ((…))(第四上)名。{…紋} 中古カラ始マツタ一種ノユモヤウ。武家ガハタヽシルシニ付ケタノカラ起ル。衣服調度マデシノ家家ノ紋ヲトシテケルシルシ。＝モンドコロ。＝モン。

◁らくばえに ((…))(第二上)句。{言くは得に}〔にハ以(不)ノ意〕 イフニイハレヌ。＝言ハウトスレバ自ク。＝伊勢物語「らくばえにイハヤキハワガレテ心ヒトツヲナゲクコロカナ」。

◀らくばら ((…))(全平)名。{家蜂} 家ニ飼ツテオク蜂。

らくばと ((…))(第三上)名。{…鳩} 鳥ノ名。鳩ノ一種。家ニ飼フ。大サ八九寸、首ハ短ク、胸ハイハユル八トムネデ高ク、足ハ短ク、毛並ハイロイロアルモノノ、トバキスミトイフ色ノカオホイ。＝カヒバト。＝ドバト。＝ホロッポウ。＝和名抄「伊倍八止」。

◁らくびと ((…))(第二上)名。{…人} (一)スベテ家ニシカヽル人。＝クニンノ。＝カジン。(二)〔轉ジテ〕貴族ノ家ニ出入スル人。

◁らくびら ((…))(…)名。{…村} 家ノムラガツテアルトコロ。＝古事記「カギロヒノモユルらくびらヲイヘノアタリ」。

らくもう ((…))(全平)名。 一家ヲ立テテ居ル主人。＝ヨシユ。

らくもと ((…))(第四上)名。{…元} スベテ遊戯ナドノ所作ノ中ノ最モスグレタ格式デ総理ナドヲスルモノ。＝手所面找。後者ハ物語「ハヤクらくもと始ノ子トナリ、らくもと濱マスラ旨トシ、らくもと後ノ子ハ世ニ用ヒラレズ」ト云フ。

◁らくもの ((…))(第二上)名。{…物} (四)家ニ井ルコトモ。＝高藪集「富ミ人ノらくのとゝのヘキル身ナミ」。

らくのもん ((…))(第四上)名。{…紋} 中古カラ始マツタ一種ノユモヤウ。武家ガハタヽシルシニ付ケタノカラ起ル。衣服調度マデシノ家家ノ紋ヲトシテケルシルシ。＝モンドコロ。＝モン。

◁らくばえに ((…))(第二上)句。{言くは得に}〔にハ以(不)ノ意〕 イフニイハレヌ。＝言ハウトスレバ自ク。＝伊勢物語「らくばえにイハヤキハワガレテ心ヒトツヲナゲクコロカナ」。

◀らくばら ((…))(全平)名。{家蜂} 家ニ飼ツテオク蜂。

らくばと ((…))(第三上)名。{…鳩} 鳥ノ名。鳩ノ一種。家ニ飼フ。大サ八九寸、首ハ短ク、胸ハイハユル八トムネデ高ク、足ハ短ク、毛並ハイロイロアルモノノ、トバキスミトイフ色ノカオホイ。＝カヒバト。＝ドバト。＝ホロッポウ。＝和名抄「伊倍八止」。

◁らくびと ((…))(第二上)名。{…人} (一)スベテ家ニシカヽル人。＝クニンノ。＝カジン。(二)〔轉ジテ〕貴族ノ家ニ出入スル人。

◁らくびら ((…))(…)名。{…村} 家ノムラガツテアルトコロ。＝古事記「カギロヒノモユルらくびらヲイヘノアタリ」。

らくもう ((…))(全平)名。 一家ヲ立テテ居ル主人。＝ヨシユ。

らくもと ((…))(第四上)名。{…元} スベテ遊戯ナドノ所作ノ中ノ最モスグレタ格式デ総理ナドヲスルモノ。＝手所面找。後者ハ物語「ハヤクらくもと始ノ子トナリ、らくもと濱マスラ旨トシ、らくもと後ノ子ハ世ニ用ヒラレズ」ト云フ。

らくもとゝ ((…))(第二上)名。{…家} (一)スベテ家ニシカヽル人。＝クニンノ。＝カジン。(二)〔轉ジテ〕貴族ノ家ニ出入スル人。

らくなみ ((…))(全平)名。{…極} 単ノ名。せうぐんさうノ一名。

らくぬし ((…))(第二上)名。{…主} (一)◁スベテ家ノモチヌシ。＝イヘノヌシ。＝枕ノ草紙「キタノナウシニハカケガキモカカリケル、ソレモツキズらくぬしナレバアルヲヨク知リテケケリ」。(二)〔轉ジテ〕貴族家ノモチヌシ、又ハソノトリシマリヲスル人。＝ナハイニン。＝オホヤ。

◁らくのらも ((…))(第五上)名。{…の芋} ものらもト同ジモノ。

◁らくのらも ((…))(…)名。{…蘇} 自分ノ家ノ麦。＝高藪集「王ギヤノサキ沈ミらくのらもニモノイハズ来テ思ヒカキツモ」。

◁らくのゑん ((…))(全平)名。{…君} 主人。＝ダンナ。＝紫花物語「チヒサナガラらくのゑんノキミニテオハスルオンアリサマ」。

◁らくのゑん ((…))(第四ク)(第三上)名。{…員} 家デツカフガウ。＝イヘノダンナ。＝寺治令遺「ナニ、カマ、スキ、クハ、カラスキ、ナドイフモノニ至ルマデらくのゑんスキニトリツミテ」。

◁らくのゑゝく ((第二ニ))(第五上)名。{…足} らくのゑト同ジ語。

らくのこ ((…))(第三上)名。{家の子} (一)ソノ家ニ生マレ出ズ一ツノ家門ノ子。(二)〔轉ジテ〕ナンケ。＝イチモン。(三)スベテ

らくなみ

ノスベテシナシテアルコト。

○らくなみ ((…))(第二上)名。{…波} 家ノモチカヽルハ。＝始藪集「家能」らくなみとニアヤメノ花モ折ルベキニネタクモ魔ヲスベテケルカナ」。＝源氏集「ヤマヤキタク折リテ山路ニカヽルサヤ、らくなみホキカザシナルラン」。

◁らくのうゑう ((…))(第三上)名。{…の鳥} にはとりノ一名。

○らくのうゑう ((…))(…)枕。{…} 枕詞「かけハにはとりノ古言デアルカカルル枕詞」。

◁らくゑ ((…))(…)名。{家田} スベテ家ヲモチヌシトコロ。或ハヒソカニ城都ケ出ル場合ヒナドニイフ。＝曲山人「城都用ヒコレニハ深イ様子ノアルノサ、トモ云フシタコトヲウラヤノ狭ニガカリシシテ」。(二)定所ニナルコト。

◁らくゑうにん ((…))(…)名。{…万自} 〔らくゑにノ延〕 らくゑにトオナジモノ。＝伊勢物語「サキ人ニシアラサウケレバらくゑうにニ至ナギテ」。

◎字ノ音カラ言ヘバ賀ハたうにデナケレバナラヌ。

◁らくゑこう ((…))(…)名。{…廻} スミカ。＝スヤヒ。＝チヨウキヨ。＝チヨウシヨ。

◁らくゑに ((…))(…)名。{…万自} ソノ家ノ妻ヨルベキモノノ尊稱。＝イヘトウシ。

らくなみ ((…))(第四上)名。{…非み} 家ノナラシ。＝家ヤノナラシ。＝機家子。

◎らくなみ家ノナラヒカタノヨシアナドニ云フ。らくつうゑハ家ノスダ並

計スヤカラオホシ。

○らくらく ((…))(第二上)副。{言くらく}〔らくハゆらくノ略〕 イフニハ。＝イフキウ。＝「歌キラくらく」。

○らくゐ ((…))(…)名。{家居} スマヒ。＝ヂヨウキヨ。＝「らくゐ居レバ」。

◁らくゐル ((…))(…)自動「上一」。{…る} 家ヲシクシテスマフ。＝イヘヰスル。＝貫之集「山風ニ香ヲタヅネテヤ梅ノ花ニホヒくルホドニらくゐスケン」。

らくん (第一上)名。{…鈍} ナガツタコト。＝カハツタコト。又ソンヲモノ。＝一筆庵「尾浮世物助物語」出目助オヤメノらくんナシラヲソノオヤシキノ御殿様ガ見ヤメテヨ」。

○らは ((第二ホ))(第二上)名。{…尾} スベテ、草木ヲ結ンデ遊ンダカヤ。＝イホリ。

◁らは ((…))(…)数。{(五百)} (一)コヒヤク。(二)〔轉ジテ〕スベテ数ノホクヲアラハスコト。＝「らはイヲノ翁」。

らはけ (第一上)名。{(疣)}〔らふはノ約〕 皮膚病ノ一種。皮膚オホヨソ微紫グラノ大キサニ一種ノアマヤホシシガ高クナルモノ。＝イヒボ。＝ニボ。＝ニボニボ。＝イヲメ。＝イヒボメ。

◀らば (…)名。{…} 爪ノ名。豫前ノ方言。らばゆびノ一名。

らば・らし (第二上)名。{…石} 石ノ名。らばつぼノ一名。

○らはら (第一上)名。{(蛇邦)} ナガツタ国。＝イヨク。

らばら (全平?)名。 鳥ノ名。ものつきどりノ一名。

らば・らしら (全平)名。〔らばゆしらノ音便〕 蟲ノ名。かもめどりノ一名。

○らば・ゑ・ゑす ((第二ホ))(第四上)枕。〔付ル枕ガシケク蔓ストコロカラらば(五百)ゑ殺)ト形容シテ〕 たゆ ニカカル枕コトバ。

らばがくる ((第三ガ)(第四ル))(第三上)名。{蛇蛙—蝦蟇} かくるノ一種。形チハ頗ル大キク、色ハ黑ズミ、背中ニイボガ多ク、一種ノ臭氣ノアルモノ。＝イボガヘル。＝クサガヘル。＝ガマ。

○らば・く (第一上)名。{(鼠木)} 普通デナイ木。＝珍ラシイ木。＝珍貴らばく。

らばくさ (全平)名。{蛇草} 草ノ名。水邊ニハヘル。形ハ細長ク、夏ウスムラサキ色ノ小サナ三瓣ノ花ヲツケル。肌ノらばくヲ取リ去ル能ガアルトイフ。麁カラノ名。＝イボトリグサ。＝メイボクサ。

◀らばくひ ((第四イ))(第二上)名。{…食ひ} 相撲ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。＝物類稱呼「相撲ニテイボシリ、又らばくひ」。

らばさぎ ((第四ギ))(全平)名。{…鷺} 鳥ノ名。ものつきどりノ一名。

◀らばさし (…)名。{…刺し} 青森ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。

らばしめぢ (第三上)名。{…茸} きのこノ一種。しめぢノ類。バシメノ出タイボヲアマタ積ミカサネタ様ナモノ。＝イボタケ。

◀らばじり (全平)名。{…蛇り} (一)相撲ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。いばぐひ参考。(二)らばじりもるノ略。

らばじり・もる (…)名。{…蛇も} (一)蝦ノニヒカタノ一種ノ名。グルグルマキニシタモノ。(二)◀〔轉ジテ〕又蝦ノ名。そゝはつノ一名。

らばじり・むし (第四上)名。{…蟲} 蟲ノ名。かもめどりノ一名。

○らば・ゑ・ゑす ((第二ホ))(第四上)枕。〔付ル枕ガシケク蔓ストコロカラらば(五百)ゑ殺)ト形容シテ〕 たゆ ニカカル枕コトバ。

らばがくる ((第三ガ)(第四ル))(第三上)名。{蛇蛙—蝦蟇} かくるノ一種。形チハ頗ル大キク、色ハ黑ズミ、背中ニイボガ多ク、一種ノ臭氣ノアルモノ。＝イボガヘル。＝クサガヘル。＝ガマ。

○らば・く (第一上)名。{(鼠木)} 普通デナイ木。＝珍ラシイ木。＝珍貴らばく。

らばくさ (全平)名。{蛇草} 草ノ名。水邊ニハヘル。形ハ細長ク、夏ウスムラサキ色ノ小サナ三瓣ノ花ヲツケル。肌ノらばくヲ取リ去ル能ガアルトイフ。麁カラノ名。＝イボトリグサ。＝メイボクサ。

◀らばくひ ((第四イ))(第二上)名。{…食ひ} 相撲ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。＝物類稱呼「相撲ニテイボシリ、又らばくひ」。

らばさぎ ((第四ギ))(全平)名。{…鷺} 鳥ノ名。ものつきどりノ一名。

◀らばさし (…)名。{…刺し} 青森ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。

らばしめぢ (第三上)名。{…茸} きのこノ一種。しめぢノ類。バシメノ出タイボヲアマタ積ミカサネタ様ナモノ。＝イボタケ。

◀らばじり (全平)名。{…蛇り} (一)相撲ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。いばぐひ参考。(二)らばじりもるノ略。

らばじり・もる (…)名。{…蛇も} (一)蝦ノニヒカタノ一種ノ名。グルグルマキニシタモノ。(二)◀〔轉ジテ〕又蝦ノ名。そゝはつノ一名。

らばじり・むし (第四上)名。{…蟲} 蟲ノ名。かもめどりノ一名。

らはけ

計ヨヤカラオホシ。

○らくらく ((…))(第二上)副。{言くらく}〔らくハゆらくノ略〕 イフニハ。＝イフキウ。＝「歌キラくらく」。

○らくゐ ((…))(…)名。{家居} スマヒ。＝ヂヨウキヨ。＝「らくゐ居レバ」。

◁らくゐル ((…))(…)自動「上一」。{…る} 家ヲシクシテスマフ。＝イヘヰスル。＝貫之集「山風ニ香ヲタヅネテヤ梅ノ花ニホヒくルホドニらくゐスケン」。

らくん (第一上)名。{…鈍} ナガツタコト。＝カハツタコト。又ソンヲモノ。＝一筆庵「尾浮世物助物語」出目助オヤメノらくんナシラヲソノオヤシキノ御殿様ガ見ヤメテヨ」。

○らは ((第二ホ))(第二上)名。{…尾} スベテ、草木ヲ結ンデ遊ンダカヤ。＝イホリ。

◁らは ((…))(…)数。{(五百)} (一)コヒヤク。(二)〔轉ジテ〕スベテ数ノホクヲアラハスコト。＝「らはイヲノ翁」。

らはけ (第一上)名。{(疣)}〔らふはノ約〕 皮膚病ノ一種。皮膚オホヨソ微紫グラノ大キサニ一種ノアマヤホシシガ高クナルモノ。＝イヒボ。＝ニボ。＝ニボニボ。＝イヲメ。＝イヒボメ。

◀らば (…)名。{…} 爪ノ名。豫前ノ方言。らばゆびノ一名。

らば・らし (第二上)名。{…石} 石ノ名。らばつぼノ一名。

○らはら (第一上)名。{(蛇邦)} ナガツタ国。＝イヨク。

らばら (全平?)名。 鳥ノ名。ものつきどりノ一名。

らば・らしら (全平)名。〔らばゆしらノ音便〕 蟲ノ名。かもめどりノ一名。

○らば・ゑ・ゑす ((第二ホ))(第四上)枕。〔付ル枕ガシケク蔓ストコロカラらば(五百)ゑ殺)ト形容シテ〕 たゆ ニカカル枕コトバ。

らばがくる ((第三ガ)(第四ル))(第三上)名。{蛇蛙—蝦蟇} かくるノ一種。形チハ頗ル大キク、色ハ黑ズミ、背中ニイボガ多ク、一種ノ臭氣ノアルモノ。＝イボガヘル。＝クサガヘル。＝ガマ。

○らば・く (第一上)名。{(鼠木)} 普通デナイ木。＝珍ラシイ木。＝珍貴らばく。

らばくさ (全平)名。{蛇草} 草ノ名。水邊ニハヘル。形ハ細長ク、夏ウスムラサキ色ノ小サナ三瓣ノ花ヲツケル。肌ノらばくヲ取リ去ル能ガアルトイフ。麁カラノ名。＝イボトリグサ。＝メイボクサ。

◀らばくひ ((第四イ))(第二上)名。{…食ひ} 相撲ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。＝物類稱呼「相撲ニテイボシリ、又らばくひ」。

らばさぎ ((第四ギ))(全平)名。{…鷺} 鳥ノ名。ものつきどりノ一名。

◀らばさし (…)名。{…刺し} 青森ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。

らばしめぢ (第三上)名。{…茸} きのこノ一種。しめぢノ類。バシメノ出タイボヲアマタ積ミカサネタ様ナモノ。＝イボタケ。

◀らばじり (全平)名。{…蛇り} (一)相撲ノ方言。蟲ノ名。いばむしノ一名。いばぐひ参考。(二)らばじりもるノ略。

らばじり・もる (…)名。{…蛇も} (一)蝦ノニヒカタノ一種ノ名。グルグルマキニシタモノ。(二)◀〔轉ジテ〕又蝦ノ名。そゝはつノ一名。

らばじり・むし (第四上)名。{…蟲}

はつッナハフヨロヅヨニ國知ラサントい
はつッナハフ。
△いはつ・つめ　（……）（第三上）根。〔……集め〕〔つめハめつめ（集）ノ略〕　タクサンノ物ノアツマッタコト。
▲いぼ・とり・ぐさ　（（第五グ））（第四上）名。〔疣取り草〕　土佐ノ方言。草ノ名。いぼくさノ一名。
いぼ・にし　（第二上）名。〔……螺〕　介ノ名。
にしノタグヒ。いはにしノ一名。
いぼ・のり・の・ゆぎ　（（第二オ、第七ギ））（第六上）名。〔五百箭の籾〕　神代ノゆぎ。—日本紀、「ソビラニチイソノヨギトいはのりのゆぎトヲ負ヒ」。
いぼひ　（（第三イ））（第二上）名。　イボフコト。—炎ノアトノタダレ。—イボリ。—エボヒ。
いぼひ　（（……））（全平）名。〔疣結ひ〕　いぼゆひトオナジモノ。
いぼフ　（（第三ウ））（第二上）自動四段。　炎ノアトガタダレル。—イボル。—エボフ。
▲いぼ・むし　（……）名。〔疣蟲〕　蟲ノ名。陸奥ノ方言。いぼむしりノ一名。
いぼ・むしり　（第三上）名。〔……毟り〕〔此蟲デ肉ノ疣ヲコスレバオチルト云フ所カラノ名〕　蟲ノ名。かまきりノ一名。—イボクヒ。—イボジリ。—イボジリムシ。—イボクヒムシ。—イヒボムシリ。—イモシリ。—イボサシ。—カマカタ。—イボウジリ。—カハミソ。—ハヒトリ。—ハヒトリゴンベエ。—カマギッチョウ。—カガメッチョ。—カマキリ。—カマキリチャウライ。—タウラウ。—和名抄、「螳蜋、和名、以保無之利」。かまきり參考。
++いぼ・ゆはひ　（（第四ワ、第五イ））（第二上）名。〔……結はひ〕　いぼゆひトオナジモノ。
いぼ・ゆひ　（（第四イ））（第二上、又、全平）名。〔……〕　物ノ結ヒカタノ稱ヘ。繩デモ、紐デモ、先キヲ中ヘ出シ、マハリカラ筋ヲトハセ、引キトホシテ結ンダ形、疣ニ似タ故ノ名。—イボヒ。—イボヒ。—馬琴、「クチノいぼゆひ」。
▲いぼ・らん　（第二上）名。〔……蘭〕　土佐ノ方言。草ノ名。むぎらんノ一名。
いはり　（（第二オ））（全平）名。〔庵〕　（一）イホルコト。（二）イホ。（三）スベテ、隱者ナドガ住ム家。—西鶴、若風俗、「ムカシ逗歌師紹巴ノいはりナドトテ」。（四）△ヂンヤ—和名抄、「營、和名伊保利、軍營也」。（五）いはりかんばんノ第二解義ノ略。
いぼり　（第三上）名。　いぼひ（疣ノ）ノ轉訛。
△いぼり　（全平）名。〔應ぶり〕〔いぶるノ轉〕　霧、霧ナドノモヤモヤト起ッタモノ。—延喜、祝詞式「タカ山ノいぼり」。
いはりかんばん　（（第二オ））（第四上）名。〔庵看板〕　（一）昔、俳優ノ名ヲ木フダニ書イテ芝居ノソトニ出ス時、タダノ木札モオモシロク無イトテ、上ノ方ニ屋根ノ形ヲ簡單ニ拵ヘテ出シタ、ソレカラシテノ名。いはりノ形ニ似セタかんばんトノ義。—手柄岡持、後者昔物語、「オンアヤツリトイフていはりかんばんハ其時ヨリナド云ヒシ」。（二）いはりかんばんハ其時ヨリナド云ヒシ。（三）いはりかんばんヲ占メ得ベキ役者。
△いはル　（（……））（第二上）自動四段。（庵る）（一）イホリヲ建テル。—イホリヲックッテ、ナカニスマフ。
イホリヲックッテ、ナカニスマフ。
▲いぼル　（……）自動四段。　いぼふノ轉訛。
いま　（第一上）名。（今）マノアタリノトキ。—モクゼンノトキ。—コノトキ。—ゲンザイ。—伊勢物語、「イニシヘノ賤ノ苧環クリカヘシ、昔ヲいまニナスヨシモガナ」。
いま　（……）副。（……）　（前ノ語カラ轉ジテ）（一）ゲンザイノトキニ。—マノアタリノトキニ。—六帖、「サクラ花いまサカリナリ思ヒコシカザシニシテハ散ラバ散ルトモ」。（二）○ヤガテ。—ソノウチニ。—ホドタタヌウチニ。—オッツケ。—コレカラ。—「いまコントイヒシバカリニ長月ノアリアケノ月ヲ待チ出ヅルカナ」。（三）タダチニ。—スグニ。—ソクジニ。—「いまスグ行ク」。ゆいまに（第二解義參考。（四）イマシガタ。—スコシマヘニ。—「いまタチサリテアトカタモ無シ」。
いま　（……）副。（……）　ソノウヘニ。—カテテクハヘテ。—サラニ。—モ。—モウ。—マ。—古今集、「春日野ノトブヒノ野守リイデテ見ヨいまイクカアリテ若菜ツミテン」。
いまいま　（第一上）副。（……今）　（一）イマカ、イマカ（アヤブム意ヲ持ツ）。—古今集、「道中ニテニハカニ病ヒヲシテいまいまトナリニケレバ」。（二）デキニ。—イマノマニ。—「いまいまトイヒテ、更ニ思ヒモタタネバ」。
○いまいまし　（第四上）形。〔忌まし忌まし〕（一）○イミッシムベクアル。—狹衣物語、「月ノヒカリニモアラジトアヤフクいまいましキ物ニ思ヒタルニ」。—源氏「いまいましウカタジケナクナドノタマフ」。（二）○〔轉ジテ〕イミキラフベクアル。—源氏、「カクいまいましキ身ノ添ヒタテマツランモイト人ギキウカルベシ」。
いまいましイ　（第五上）形。（……シ）　イヤデ。ニクラシク思ハレル。
●いまいましさ　（第四上）名。（……さ）　イマイマシクアル度合ヒ。
いま・ふり　（全平）名。〔今織り〕　近頃ノ織リ物。—チカゴロノオリカタ。—シンガタノ織リカタ。—西鶴、一代女、「紺地ノいまれりウシロ帶」。
●いま・がた　（（第三ガ））（第二上）副。（……方）　イマスコシマヘ。—イマシガタ。
いま・がは　（（……、第四ワ））（全平）名。（……川）　いまがはやきノ略。
いまがはやき　（……）名。（……燒き）　氷デウドンコヲ溶キ、カキノ輪ニ注ギ入レ、餡ヲ包ンデ燒イタモノ。菓子ノヒトツ。昔、江戸ノ今川橋ノホトリカラ、燒キ始メタトイフ。
●いまか・よらか　（第一上）根。〔今かよらか〕　イマカイマカト思ハレル姿デアルコト。（オモニ東京デツカフ。病人ノ死ニサウナ場合ヒ、マチビトノ來サウナ場合ヒ、サウアルベキコトニサウアリサウナ場合ヒナドニツカフ）。—「いまかよらかトクビヲナガクシテ待ッタガオトヅレガナイ」。
△い・まき　（……）名。〔湯卷〕〔いハゆ（湯）ノ轉〕　昔、貴人ガ湯アミスルトキ、湯ヲ參ラセルモノガ着物ノ上ニ來タ白イキモノ。—ユマキ。—東鑑、「いまきヒトツ」。
△いま・き　（……）根。〔今來〕　イママ井リ。—シンザン。—日本紀、「いまきノテヒト」。
いま・ごろ　（（第二ゴ））（全平）名。（……頃）　イマノトキアタリ。—「キノフノいまごろ」。—「アシタノいまごろ」。—「いまごろハ半七サン、ドコニドウシテ居サンスャラ」。
いまさらか　（……）名。〔……扱〕　いまさかもちノ略。
△いまさらか・もち　（第四上）名。（……餅）　餡ヲ包ンダ餅。紅、白、イロイロアル。但シ、だいふくトハチガフ。だいふくハいまさかホド餅ヲキラズ。いまさかハ最モヨク餅ヲネリ、殆ンドぎうひノヤウニシタモノ。頂上ヲコガシタノガ多イ。
◎コノ語、普通言ニハ大抵瓶語トナル。
△いまさフ　（（第四ウ、及、第三ソ））（第一上）自動四段。〔いまさすノ延〕　いますト同ジ義—續日本紀、「いまさへドモナホ止ムコトヲエズ」。
いま・さら　（……）副。（今更）　いまさらにト同ジ語。—源氏、「いまさらナル身ノ耻ヂニナントテ泣クサマイトイミジ」。—續古今集、「マヌカガミ、知ラヌオキナハ見ナレニキ、いまさらタドルオモカゲハ憂シ」。
いまさらに　（第五上）副。（……に）　今トナッテ。—モハヤ。—古今集、「いまさらに山ヘカヘルナ、ホトトギズ聲ノカギリハ我ガ宿ニ鳴ケ！」
△いまし　（全平）代。（汝）（〔いまし御座〕ノ義カ）　なんぢト同ジ語。イラ來タ敬語カ？）
ニシヘ、上下通ジテモチ非タモノ。—ミマシ。—ナンヂ。—キミ。—ソナタ。—ソチ。—アナタ。ゆなんぢ參考。
○いまし　（第一上）副。（今）〔しハ休メ字〕　いまト同ジ語。—土佐日記、「いましハネト云フ所ニ來ヌ」。
●いまし・がた　（（第四ガ））（第三上）副。（今し方）　いまがたト同ジ語。—三しハ休メ字」　いまがたト同ジ語。—ロヅケ。—チユウイ。—源氏「宮ノウチニ召サンコトハ宇多ノミカドノオンいましめアレバイミジウ忍ビテ」。（二）○〔轉ジテ〕縛ルコト。—「いましめル縄目ノ恥辱」。
いましめル　（……）他動、二。（……る）　いましむ第一解義ノ近體。

御座リマス、アンマリ氣ガ鬱イデ、アタマガオモクテ成リマセンカラいましがた實毋散ヲ飲ミマシタヨ」。
△いまし・の・ま　（第二上）名。〔……しきの間〕　イマノマ。—續日本紀、「いましきのまハ思ヒ見サダメンニ」。
◎しきハ形容詞ノ語尾ノしきデ、いまヲソノママ此語尾デ取リアツカッタモノデモアラウカ？
△いましくは　（（第五ワ））（……）接。〔……くは〕　〔しくハいましきのまノしきト同ジ類ノモノカ？〕　今ハ。—今トナッテハ。—萬葉集、「いましくは見メヤトオモヒシミヨシノノ大カハコドヲ今日見ツルカモ」。
△いまし・は　（（第四ワ））（……）接。〔……は〕〔しハ助辭〕　いまはトオナジ義ノ語。—タダイマハ。—萬葉集、「アラ玉ノトシノ經ユケバいましはト、夢ヨリガセコ、ワガ名ノラスナ」。
●いま・じゃん　（全平）名。〔今時分〕　イマゴロ。—三世相錦繡文章、「シカモキノフノいまじゃん」。
○いましム　（第三上）他動、下二。（戒—警）む〕（一）ココロヲユルスナトイヒツケル。—ヤリソコナフナトサトス。（二）〔轉ジテ〕トドメル。—制スル。—源氏「アヤマチシテ見ン人ノカタクナナル名ヲモタテッベキモノナリトいましむ」。（三）〔又、轉ジテ〕人ヲキンコスル。—シバル。—トリトドメル。
いましめ　（全平）名。（……め）　（一）イマシメル。—ココロヅケヲ與ヘルコト。—ココロヅケ。—チユウイ。—源氏「宮ノウチニ召サンコトハ宇多ノミカドノオンいましめアレバイミジウ忍ビテ」。（二）○〔轉ジテ〕縛ルコト。—「いましめル縄目ノ恥辱」。
●いましめル　（……）他動、二。（……る）　いましむ第一解義ノ近體。

△います（第二上）自動、四段。〔往ます〕〔い（往）ます（座）ノ義〕　ゆく（行）ノ敬語。—古事記「シナタユフサナミヂヲヌクスト吾ガいませバヤ」。

△います（全平）他動、下二。〔坐す〕〔ますハ前ノ語ノトオナジモノ〕　あらす（在）ノ敬語。オイデナサル。—古事記、「アガオホクニヌシコソハヲニいませバ」。

△いますかり（……）自動、ら變。〔坐すかり〕イマシカル。—イマス。—オイデナサル。—非ラセラレル。—源氏「ケシキバミいますかりトモ得カキナラヘシヤト、ワレボメヲシタマフ」。

△いまそかり（第一上）自動、ら變。〔……そかり〕いますかりトオナジ語。

○いまだ（……）副。〔未だ〕〔いまだにノ畧〕ソノトキニナラヌウチ。—マダ。—萬葉集「雪ミレバいまだ冬ナリ、シカスガニハルガスミタチ梅ハ散リツツ」。

いまでがは（第四カ、第五ワ）（第三上）名。〔今出川〕　いまでがはどうふノ略。

○いまでがはどうふ（……）（第六上）名。〔……豆腐〕　昆布ト共ニ煮、クルミヲタタイテフリカケタ豆腐。ツボナドニツカフ。

●いまどき（全平）名。〔今時〕　タウセイ。—チカゴロ。—コノゴロ（オモニ時代ヲサス）。—西鶴、若風俗「アラキ風ヲモヨクテいまどきノ子ヲソダツルニハ心ヲツクシ」。—同「河原ノ顔見世芝居モいまどきナン入レカハルワカシユガタヲ思ヒヤルバカリニ」。

いまどやき（……）名。〔……戸焼〕　（一）東京ノ今戸デ焼ク土器ノ名。（二）轉ジテ、スベテ、カケ藥ヲカケヌ土器ノ總名。（三）▲〔又、轉ジテ〕オダフク。—シコメ。—シウフ。〔今戸焼ニヤク人形ニ阿龜ノヤウナ醜イノガ多イ處カラツイタモノ〕

いまに（第一上）副。〔……に〕　（一）イマトナッテモ。—著聞集、「御影像ヲ等身ニ圖繪シテいまに勝林院ニ安置セラレタルナリ」。（二）●ヤガテ ソノウチニ。—スコシ。（三）●いまに行ク。—ホド經テノチ。—「いまに行ク」。

◎此いまにトタダノいまトノ間、普通言ニハ明ラカニ相違ノ義ガ有ル。即チいまハ即刻、スグソノ時ノ義、いまにハイクラカ程經テ後ノ時ノ義。

△いまのうへ（第五エ）（……）名。〔……の上〕今上皇帝。—源氏「いまのうへニオンカハラケマ非リタマフ」。

いまのゝま（全平）名。〔……間〕　（一）サシセマッテノタダイマ。—續日本紀「シカいまのまの三十六町一里ヲトナヘル語」。（二）轉ジテ、ザンジノ間。—源氏、「いまのまモ戀ヒシキアワリナカリケル」。

○いまは（第三ワ）（……）句。〔……は—（臨終）〕　（一）今ガ限リ。—貫之「ツナデ解キいまはト舟ヲコギイデバワレハ波路ヲコエヤワタラン」。（二）轉ジテ、サイゴ。—リンジウ。—源氏「故大納言いまはトナルマデ」。—「いまはトテワカルルミチノカナシキニ、生カマホシキハ命ナリケリ」。

○いまはし（……）（第三上）形。〔忌まはし〕〔はしハいとはしナドノはし〕　イムベクアル。—イマイマシ。—オモシロクナイ。—キラハシイ。—フキッデアル。

●いまはしイ（……）（第四上）形。〔……し〕　いまはしノ近體。

いまはしさ（……）（第三上）名。〔……さ〕　イマハシクアル度合ヒ。

△いまはる（……）（……）自動、四段。〔……る〕〔いひ（齋）ノ延〕　ツツシム。—イム。〔いまはりカシヅク〕。

△いまひめぎみ（第五ギ）（第四上）名。〔今姫君〕　今ノヒメギミ。（前ニ生マレタ姫君ニ對シテイフコトバ）。

●いまふう（全平）名。〔……風〕　當世ノフウ。—イマヤウ。—西鶴、若風俗「トリナリいまやうノシダシ」。

△いままねり（第三上）名。〔……參り〕　新參。—ニヒマ非リ。—イマキ。—源氏「西ノ方ニレイナラヌワラハノ見エツルヲいままねりノアルカナトオボシテ」。—枕ノ草紙「マダウヒウヒシキ程ナルニ、いままねりドモイトツツマシゲナルニ」。

いまみち（第二上）名。〔……道〕　當世ノミチノリ（ムカシノ六町一里ニ對シテ後世ノ三十六町一里ヲトナヘル語）。

いまみや（全平）名。〔……宮〕　イマ生マレラレタ皇子（サキニウマレタノノ對）。—源氏「ミカドマシテカギリナウメヅラシトコノいまみやヲ思ヒ聞コエタマヘリ」。

いまみや・のまつり（第六上）名。〔……の祭り〕山城ノ國紫野ノいまみやノ祭リ。五月九日ニ行ハレルモノ。正暦五年、長保二年天下ガ靜カデ無カッタ時此神社ヲ祭ル。疫癘ヲフセグ神トイフ。

○いまめかし（第四上）形。〔今めかし〕　當世風デアル。—徒然艸「いまめかしく、キラヲカナラヲド、コダチモノ古リテ」。

○いまめかす（……）他動、四段。〔……す〕　當世風ニスル。

○いまめく（第三上）自動、四段。〔……く〕　當世ノ風デアル。—當世風ニナル。—源氏「アサマシウフリガタクモいまめくカナト」。

いまやう（第三ヨ）（全平）名。〔今樣〕（一）

當世ノフリ。—タウセイフウ。—イマフウ。—枕ノ草紙「コレハムカシノ事ナリ。いまやうハヤスゲナリ」。（二）轉ジテ、いまやうたノ畧。—平家物語「マヅいまやうノウタフベシトノタマヘバ佛御前ウケタマハリ候フトテ、いまやうノウタ歌フタル」。「君ヲハシメテ見ルトキハ、千代モ經ヌベシヒメコマツ、オマヘノ池ナル龜岡ニ、鶴コソムレ非テアソブナレ」。

++いまやうあはせ（第三ヨ、第六ワ）（第五上）名。〔……合はせ〕　ウタヒモノノ今樣ヲ右左リアハセテタタカハセルアソビ。うたあはせノ類。—百錬抄「法皇ノ御所ニ於テいまやうあはせノコトアリ」。

△いまやう・いろ（第三ヨ）（全平）根。〔……色〕紅梅色ノ濃イモノ。—源氏「いまやういろノイトスダレタル」。

○いまやううた（……）（第三上）名。〔……歌〕（一）七五、七五、七五、七五ノ四句ヲ一ツトシタ一種ノウタ。稀ニハ十二句ノモアル。中ムカシコノカタハ越天樂ノ急ニアハセテウタフ。（二）ハヤリウタ。

いまり（第一上）名。〔伊萬利〕　（一）いまりやきノ畧。（二）いまりつちノ畧。

いまり・つち（第三上）名。〔……土〕　肥前ノ國いまり（伊萬利）カラ出ル白イ土。いまりやきニツカフ。—シラツチ。—アヅチ。

いまり・やき（全平）名。〔……燒き〕　肥前ノ國いまり（伊萬利）カラ出ル陶器。オモニ肥前ノ國松浦郡、大河內、三河內、有田カラ出ル。石ヤキデ染メツケナドハ上品ノ評ガ有ル。

いみ（第一上）名。〔忌み〕　（一）スベテ、イムコト。（二）轉ジテ、神事、祭事ナドニ不淨ヲイムコト。—延喜、臨時祭式「應忌者（訓、イミ）」。（二）モノイミ。—カタタガヘ。—源氏「サルベキカタノいみマチイデタマヒテ」。（四）喪ニコモル時ノ間。—「いみニコモル」。—後拾遺集「左兵衛督經成ミカリケルソノいみニ」。（意味）。　ココロ。—ココロ。—ワケガラ。—ギ。

○いみ（……）名。〔異味〕　スベテ普通デナイアヂ、又、ソノモノ。

いみ・あけ（第四上）名。〔忌み明け〕　スベテ、喪ノいみノ日數ノ果テタコト。—キメイ。

いみ・がかり（第三カ）（第三上）名。〔……掛かり〕　スベテ、一家親類ノ喪ノいみノカカルベキッヅキアヒ。

いみ・がたき（……）名。〔……敵〕　忌ミニクムアダガタキ。—「商賣いみがたき」。

いみ・き（第一上）名。〔……寸〕　ムカシノカバチノ名。第四等ニ位スルモノ。☆かばね參考。

△いみ・ぐら（全平）名。〔……倉〕　忌ンデ、キヨメテアル藏。—慶長板、古語拾遺「宮內立藏號齋邊（訓、イミクラ）」。

いみ・ごと（第三ゴ）（第二上）名。〔……事〕　スベテ忌ムベキコト。佛家ノ五戒、十戒ナド。—カイ（戒）。—續日本紀、「佛ノ御デシトテボサチノいみごとウケタマヒテ」。

いみ・ことば（第三上）名。〔齋み詞〕　（一）スベテ、忌ンデイハヌ語。（二）モッパラ加茂ノイッキノミヤニ行ハレタコトバ。イッキノ宮デハ無言デナイト神ノ心ニサハルトテコトサラニ物ヲ言ハズ、ソレカラシテ必用ナ語ニハ別ニ代用ノ語ヲツクッタモノ。無言ノ證據ハ「オモヘドモ忌ムトテ言ハヌコトナレバ、ソナタニ向キテ音ヲノミヲ泣ク」。—延喜、齋宮式、「凡忌詞內七言……」。ソノ七言トハ、「佛ヲなかご、經ヲそめがみ、塔ヲあらちぎ、寺ヲかはらぶき、僧ヲかみながヽ、尼ヲめかみながヽ、とき（齋）ヲかたぞなヽ、以上ヲ內ノ七言トシ、又、別ニ外ノ七言ト云フノヲ置ク、死ぬヲなはる、病ヲやすみ、泣くヲしはたる、血ヲあせ、打つヲなづ、あな（筑）ヲその、はかヲつちくれ。又コノ外ニ堂ヲかうたき、うばそくヲつのはずトイフ。

△いみ・さぶらひ・や（第六イ）（第一「及、第五上）名。〔齋み侍ひ屋〕　伊勢ノ大神宮デ潔齋シタ人ガ非ル家。

○いみじ（第二上）形。〔いみ（齋）カラ出テ、スベテイミツツシムベクアルト ノ義〕　（一）イミツツシムベクアル。（二）〔轉ジテ〕ハナハダシクアル。—枕ノ草紙「花ノ中ヨリ實ノコガネノ玉カト見エテいみじくキハヤカニ見エタル」。（三）〔微妙〕〔轉ジテ〕スグレテアル。—タグヒガナイ。—源氏「楊貴妃ノカタチハいみじき畫師トイヘドモ筆カギリアリケレバイトカギリナシ」。—徒然草「世ハ定メナキコソいみじけれ」。

いみじき（……）名。木ノ名。〔……みのきノ一名。

△いみ・たけ（……）名。〔齋み竹〕　加茂ノ齋宮デ齋ミノタメニタテル竹。

△いみ・たち（……）名。〔……館〕　伊勢大神宮ニアル潔齋ノヤカタ。—イミドノ。

△いみ・どの（全平）名。〔……殿〕　いみたちトオナジモノ。

いみ・な（……）名。〔……名—（諱）〕〔いみ（忌）な（名）ノ義〕。（一）人ノ死ンダアトカラペッニ添ヘラツケル名。—大鏡「文德天皇ト申シケルミカドハ……いみな道康」。（二）〔轉ジ

ヲ]ジッミヤウ。—ホンミヤウ。—實語經、[門ニ入ッテマヅいみなヲ問フ。主人ヲウヤマハンガタメナリ]。(二)又、轉ジテ]オクリナ。—大鏡、[オンいみな忠仁公トナヅケタテマツル]。

○いみ・の・みや　(第一上)名。[……の宮]　神ヲ齋キ奉ル宮。—イミミヤ。—深草草、[イハミヤ、イッキノミヤ、いみのみや]。

++いみやう　(第三ヨ、第二[三合])[……]名。[異名]ノ異音ヨミ。[(一)本名ノ外ニ別ニアル一ッノ名。—イチミヤウ。—マッメイ。—ベツミヤウ。—カヘナ。—無名抄、[人人ニ百首ノ歌ヨマセタマフコトハベリキ。ソノタビイミジキ人人ヒガゴトヨミテ、ハテニいみやうサヘツキタマヒニキ]。(二)轉ジテ]アダナ。—蜀山人、奴凧、[コノ市兵衛河岸ニアリシトキカボチヤト云フ瓜ヲ買ヒオキテ妓ノ總菜ニモチ来、產業ヲヌメテ京町ヘイデシツ。皆人カボチヤ、カボチヤトいみやうセシナリ]。

▲いみ・ゐ・ぐさ　((第四グ)(第三上)名。　豐前及豐後ノ方言。いはれんげノ一名。豐前デハ雌種ヲイヒ、豐後デハ雄種ヲイフ。

いむ　(第一上)自動、四段。(齋む)　ッツシム。—苟クモミダリニセヌ。—萬葉集、[オモフニシアマリニシカバスベヲナミ、ワレハ言ヒテキ、いむべキモノヲ]。

いむ　(……)他動、四段。(忌む)　(一)キラフ。—イヤニオモフ。—後拾遺集、[ワスレニシ人ニミセバヤ天ノ河、いまレシ星ノココロナガサヲ]。(二)轉ジテ]ハバカル。—ケムタク思フ。—[眼朝義經ヲいむ]。

△いむかフ　((第四ウ)(第三上)自動、四段、[いむかム(四段)トオナジ語。(發語)]。

△いむかま　(第一上)名。[齋む鎌]　大神宮ノ草木ヲ刈ルかま鎌。

△いむかまど　(第三上)名。[……竈]　神ニタテマツル物ヲ煮焼キスル竈。

いむき　(第一上)名。[……鯛]　海ノ中ニ居ル一種ノ小サナかに。

いむけ・の・そで　(全平)名。[射向けの袖]　ヨロヒノ名ドコロ。左ノソデ。

△いむと　(第一上)名。[齋む火]　[こハくわ(火)]　いむびトオナジモノ。

△いむと　(第一上)名。[……屋女]　[いむ(齋)ノ音ノ轉]。

△いむ・こ・やめ　(第三上)名。[……屋女]　大嘗會ノ供奉と(火)や(屋)め(女)ノ義。

△いむ・さつき　(第一上)名。[……さ月]　正、五、九ノ三月。モノイミスル月ト云フ處カラノ名。

△いむ・すき　(……)、又、第二上)名。[……鋤]　神宮ノ宮ヲツクルトキニ地ヲ堀ル、キヨメタすき。

△いむ・たま・すり　(第三上)名。[……玉作り]　[いむ(齋)たま(玉)すり(作)ノ義]。　神ニタテマツル玉ヲツクル コト、又、ツクル人。—延喜祝詞式、[いむたますり等ガモチ ニマハリ、モチキヨマハリ]。

△いむ・と　(第一上)名。[……砥]　神事ニツカフ砥石。

△いむ・なた　(……)名。[……鉈]　神事ニツカフなた。

△いむ・ばしら　(第三上)名。[……柱]　大神宮ノ正殿ノ柱。—延喜祝詞式、[ナカラヲ持チ出デキテ、イムスキヲモテ、いむばしらヲ立テテ]。

△いむ・はたどの　(……)名。[……機殿]　天照大神ノ御衣ヲ織ルハタドノ。—日本紀、[齋服殿訓、イムハ(ドノ)]。

△いむ・びぐ　(第一上)名。[……火]　清メタル火。神神ニタテマツル時ニ用ヰルモノ。

△いむ・びぐ・かしきや　(第四上)名。[……炊き屋]　イムビデ飯ヲカシグ家。

△いむ・びと　(第二上)名。[……人]　十一月ノ相嘗祭ノ神、七十一座ノ中、住吉ノ社四座ノ祭リニアル名目。—延喜四時祭式、[齋人(訓、イムビト)]。

△いむ・びと・にはびの・まつり　((第五ワ)(第一上)名。[……火庭火の祭り]　ムカシ六月行ハレタ祭リノ名。內膳司デシタモノ。—延喜四時祭式、[忌火庭火祭……宮主於內膳司行事]。

△いむ・びの・かしきぐの・の・まつり　(……)名。[……の炊き殿の祭り]　ムカシ十一月新嘗祭ノ時、新ニカシキドノヲ造ッテ行ハレタマツリ。—延喜四時祭式、[忌火炊殿祭……右新嘗祭時先新造炊殿、依件鎮祭]。

△いむ・びの・かまぐ・の・まつり　(……)名。[……竈の祭り]　イムビデ炊ク竈ニ鎮座アル神ノマツリ。—延喜齋院式、[忌火竈神祭……右神祇官直移所司請取]。

△いむ・びの・ごはん　(……、及、第六上)名。[……の御飯]　イムビデコシラヘタゴセン、六月、十一月、十二月ノ一日ニ奉ッタモノ。

△いむ・び・や　(全平)名。[……屋]　イムビヲ取ル家。

△いむ・べ　(第一上)名。[齋ひ部]　忌む部。(一)神ヲ祭ル時ッカフ品品ヲ作リ、又ハスベテ潔齋シテ事ヲスル職、又、ソノ人。(二)轉ジテ]カバネノ一ッ。かばね參考。

△いむ・べ　(……)名。[……食]　祭リノ器ノ名。

いはひべトオナジモノ。

△いむ・をの　(第三上)名。[……斧]　神ニ奉ル材木ヲカリトル斧。—延喜祝詞式、[イムベ

ソいひをのヲモラキリトリテ]。

△いめ　(第二上)名。[(夢)]、[い(寢)み(見)ノ義]。ゆめトオナジ語。—萬葉集、[タビニイニシ君シモツギテいめニ見ユ、アガ片戀ヒノシゲケレバカモ]。

い・めい　(第一上)名。[異名]　イミヤウ。

○い・め・たてて　(……)桃。[射部立てて]　とみニカカル枕詞。[いめハいべ(射部)即チ禽獸ヲ射ルモノノ義、とみハと(跡)み(見)ノ義デ、即チ禽獸ノ足跡ヲ見知ルトノ義]。

○いめびと・の　(第二上)桃。[夢人の]　ふしみニカカル枕詞。[いめびとハマヘノ語ト同ジクいびと(射部人)ノ義。禽獸ヲ射ルトキニハマブシト云フモノヲコシラヘ、ソノ陰ニ伏シカクレテマツ、ソノふすヲ縁ニ取ッタモノ]。

△いも　(……)名。[妹]　(一)男カラ女ヲサシテ親シンデイフ語。—古事記、[オキッドリカモドクシマニワガイチシいもハ忘レジ、ヨノコトゴトニ]。(二)イモウト。

いも　(……)名。[芋]　(一)野菜ノ名。春、實ヲウエ、一ッノ根カラ葉ハ幾枚モ出ル。莖ハ太クテ、汁ガ多ク、一ッノ莖ニ葉一枚。葉ハヒロク蓮ノ葉ノヤウニ柔カク、ヨク水ヲハジク。秋ノ末大キナ根ガカタマリ、カタマッタ根ノ大キイノヲおやいもトイヒ、小サイノヲこいもト云フ。イヅレモヒロク食用ニナル。種類ハたうのいも、はすいも、やつがしらナド、ソノ他ニモイロイロアル。—ウモ。—イヘツイモ。—イヘノイモ。—サトイモ。—ハタケイモ。—ハタイモ。—シロミグサ。—ツユトリグサ。—ユグイモ。　(二)[オモニ]サトイモ。

いも　(……)名。[(蘚—薯—芋)]　(一)野菜ノ名。莖デカラマルタチ、莖ニ子ヲムスブ。

[いも(蘚)むかご(零餘子)ノ約]　三河ノ方言。むかごノ一名。

△いもがさ　((第三ガ)(……)名。[疱瘡]　皮膚病ノ一ッ。—ハウサウ。—モガサ。

いも・がしら　((……)(第三上)名。[芋頭]　サトイモノ根。—オヤイモ。

○いも・が・そで　((……)(第二)、及、第五上)枕。[妹が袖]　まくニカカル枕詞[いもノそでヲ手ニマクトノ義]。

△いもかはうどん　((第四ワ)(第五上)名。東海道池鯉鮒、鳴海アタリデハジメコシラヘダシタ平ウチノウドンノ名。モトソノモヨリノ芋川ト云フトコロノ名ニモトヅク。後世ソノカタチノ似タトコロカラアヤマッテいもかはうどんト云フ。—西鶴、一代男、[芋川ト云フ里ニ……名物ヒラウドンヲ手ナレテ]。—淺井了意、東海道名所記、[いもかはうどん、ソバキリアリ]。

いも・がひ　((……、第四イ)(第二上)名。[芋貝]　にしノ類。形チハイモノコニ似テ、イロイロアル。

○いも・が・ひも　((第三カ)(……)桃。[妹が紐]　ゆふ(結)ニカカル枕詞。

○いも・がは　((……、第四オ)(……)名。[痘痕顏]　アバタノアルカホ。—西鶴、若風俗、[トホ目ニ色ヲカヅカセ、キヲトメテ見ルニ世間ノいもがはヲヒトリシテアヅカリ]。—市川白猿、老ノ樂、[子葉(大高源吾)ハスコシ非クビニテいもがはナリ]。芭蕉翁ハウスイモアリ]。

○いも・が・め・を　((第三カ)(第二)、及、第四上)枕。[妹が目を]　みそめニカカル枕詞。

いも・がゆ　((……)(第二上)名。　(一)[芋粥]ヤマノイモヲ煮テ、アマヅラ、水飴ナドヲマゼ、煮クダラシタ粥。　(二)[蕷粥]又、後世、

サツマイモナドヲ入レテコシラヘタ粥。

いもがら (……)(第四上)名。〔芋幹＝蔕〕芋ノ莖ヲ干シタモノ。食用ニナル。ナマナノヲずゐきトイフ。＝オヤバ。＝和名抄、「蔕、和名伊毛加良」。

いもきぐさ (第四グ)(第三上)名。 草ノ名。りんだうノ一名。

▲いもと (全平)名。 若狭、伊賀邊ノ方言。魚ノ名。やまべノ一名。

▲いもど (第三ド)(……)、又第二上)名。〔芋子〕佐渡ノ方言。むかごノ一名。

いもどみ (……)(第二上)名。〔芋塵〕 米ノ粉ニヤマノイモヲスリマゼ、昆布ニツツンデ、煮テ、小口切リニシタモノ。

いもざけ (……)名。〔……酒〕 ヤマノイモヲ摺リ込ンダ酒。

いもし (全平)名。(蔕)〕 いもがらト同シモノ。＝和名抄、「以毛之」。

△いもし (第二上)名。〔鑄物師〕 いものしノ轉。＝宇治拾遺、「江冠者ガ家ノオホヒンガシニアルいもしガ妻」。

▲いもじ (……)名。〔い文字〕 いか(烏賊)ノ異名。奥女中ナドノ語。

いもじ (全平)名。 ゆもじト同シモノ。

△いもしうとめ (第三上)名。〔妹姑＝(姉)〕 妻ノ姉、又ハ妹。＝ヨメ。＝和名抄、「嫂、和名與女、一云伊毛之宇止女」。

▲いもしかご (第五コ)(……)名。〔かごハひかごノ轉〕 常陸ノ方言。むかごノ一名。

いもしり (全平)名。 蟲ノ名。いぼむしりノ一名。〔いぼむしりノ轉〕。

△いもしる (第三上)名。〔芋汁〕 どろろじるト同シモノ。

いもしんじよ (第五、六合)(……)名。 ヤマノイモ又ハツクネイモヲオロシ、豆腐ヲ入レテコデタモノ。

△いもせ (全平)名。〔妹夫〕〔いもハ女、せハ男ノ義〕。 (一)イモトセト。＝男ト女ト。(二)〔轉ジテ〕夫婦。(三)兄ト妹ト。＝姉トオトウトト。

いもせどり (第三上)名。〔……鳥〕 はとと。

いもたけ (第二上)名。〔芋茸〕 きのこノ類。こめじようろニ似タモノ。木ノ下ノザラザラシタ土ノ中ニ生ヘル。近江ニアリ、味ヒノ善イモノ。

いもだこ (第三上)名。〔……蛸＝……章魚〕 芋ト蛸トヲ合ハセテウマニシタモノ。

いもつみいれ (……)名。〔芋摘み入れ〕 ヤマノイモニウドンヲ混ゼ、少シツツ摘ミ切ツテ入レデタモノ。

いもでんがく (第五ガ)(……)名。〔芋田樂〕 (一)さといもヲ串ニサシ、味噌ヲヌリ、アブツテ燒イタデンガク、又ハ味噌ヲヌラズ、タダノ醬油デ炙タモノモイフ。＝オイモノオデン。(二)●親子ノ間ノ姦通〔いもせんがくハ親イモト子イモト互ヒニ密接シテクツツキアツテ居ルノヒツカニ通ジタノニ例ヘテ云フ語〕。

いもと (……)名。〔妹〕 いもうとト同シモノ。

△いもなね (……)名。〔妹姉〕〔いも(妹)の(之)あねノ義〕。 いも(妹)ヲソンケイシテ云フ語。＝萬葉集、「ヲガキツノ麻ヲヒキホシいもなねガ」。

いもなます (……)名。〔鱠鱠〕 サツマイモヲ煮テマヌヲ加ヘタモノ。

いもの (……)名。〔鑄物〕 スベテ、金屬ナド、溶カシテ鑄型ニ入レタモノ。(うちものハ器ノ總名。(うちものノ對)。

いもの・こ (全平)名。〔芋の子〕 サトイモニ付イタ小サナコブ。

いもの・し (第三上)名。〔鑄物師〕 イモノヲ作ル職人。＝イモシ。

△いもの・はは (第五上)名。〔芋の母〕 いもがしらト同シ語。

いもの・みこと (第二上)名。〔妹の命〕 女ヲウヤマツテイフ語。＝萬葉集、「ウラメシキいものみことノアレヲハモ」。

いもの・やま (第五上)名。〔芋の山〕 連歌ノ語。スベテ普通デ云フベキ所ヲカシクナルラニ轉倒シ、ソレデ意味ガヲカシクナルコト。連歌ナドデコトニ之レヲ嫌フ。〔芋の山ハ山の芋ノ轉倒シタモノ〕＝俳諧破邪顯正、「キヨミヅノ瀧ヲ瀧ノ清水ナドトイハバ作意ニモナルベシ。祇園林ヲハヤシギヲントハ云ハレマジ。之レヲ連歌ニテハいものやまトラ大キニ嫌フ。俳諧ニテハグリハマト云フ」。

▲いもは (全平)名。 伯耆ノ方言。草ノ名。なぎノ一名。

いもばたけ (第三上、又……)名。〔芋畑〕 スベテ芋ヲ植エタハタケ。

▲いもばち (第二上)名。〔……蜂〕 大和ノ方言。蟲ノ名。やまばちノ一名。

△いもひ (第三イ)(……)名。〔瘡もひ〕 イモフコト。＝シヤウジン。＝源氏、「いもひノ御盞ニマヰレル」。

◎いもひノニハ。＝(イモヒヲスル所。◎いもひノトコ。＝(イモヒノトキ寢ルトコ)。

△いもふ (第三ウ)(……)自動四段。〔瘡もふ〕〔いひ(齋)ノ延〕。 いひト同シ語。

いもほり (第四上)名。〔芋堀り〕 (一)芋ヲ堀ルコト。(二)●〔轉ジテ〕百姓ヲノノシル語。＝「コノドビヤクシヤウノいもほりメ」。

いもむし (第二上)名。〔……蟲＝(蟲)〕 蟲ノ名。形チハかひこニ似、大キサハ一二寸カラ三四寸。色ハ黑トミドリトノ二ツガアル。後ニ化シテ蝶トナル。種類ハ甚ダ多イモノ。＝トコヨムシ。

▲いもめいげつ (第五グ)(第三上)名。〔……名月〕 大坂ノ方言。八月十五夜ノ月、八月ノ十五夜ニハ芋ヲ率ツル故。「久須美祐信、浪花ノ風月見ニハ團子ヲ製スルコト、江戸ト同ジ。併シ汁粟ニスルコトハ稀レナリ。キナコ又ハ餡ヲ付ケテ食フ。芋ヲ賞玩ス。故ニ十五夜ノ月ヲ稱シテいもめいげつト云フ」。

いもめし (第二上)名。〔……飯＝(飯)〕 芋又ハサツマイモヲ細ク切リ、飯ニ混ゼ、少シ鹽ヲフツテタイモノ。

○いもら・がり (第四ガ)(第三上)枕。〔妹等許〕 いもき ニカカル枕コトバ。〔いも(妹)ら(等)がり(許)ハいもノモトニト云フ義デ即チいものもとといもき(今來)トツヅケタモノ」。

△いもゐ (第二上)名。〔……居〕 モノイミヲシテ居ルコト。

◎いもゐノミヤコ。＝(伊勢ノサイグウ)。

△いや (……)感。〔(彌)〕 イヨイヨ。＝マスマス。＝コトニ、スグレテアルコト。＝古事記、「いやフキニ、いやタチニ風ナミノアヤフケレバ」。

●いや (……)感。〔否＝(嫌)〕 スベテ、コノマヌコト。＝キラヒ。＝「いやオウ云ハセズ」。＝「いやニ見エル」。

●いや (……)副。〔(否)〕 イイエ。＝イナ。＝「いや、サウデ無イ」。 ☆いえ參考。

◎男子ノ方ニムシロ多クツカフ。

いや (第一上)感。 オドロイタ時ニ發スル聲。＝「いやコレハ」。

△いや・いとこ (第四上)名。〔(再從兄弟)〕 父ノイトコノ子。＝マタイトコ。＝フタイトコ。＝和名抄、「伊夜伊止古」。

●いや・いや (全平)感。〔(否否)〕 いや(感)ヲカサネテ意味ヲ强メタモノ。＝決シテ。＝「いやナガラ、トウトウ、ナツトクシタ始末」。

●いや・いや (……)副。〔(……)〕 いや(副)ヲカサネテ意味ヲ强メタモノ。＝イヤトハオモハレテ、いやいや盤龜ヲ見物ニ來タ日ガ丁度眞名鶴ツキ出シノ日デ」。

●いや・いや (……)副。〔……〕 いや(副)ヲカサネテ意味ヲ强メタモノ。＝イヤトハオモヒナガラ。＝曲山人、娘節用、「トモダチニ誘ハレテ、いやいや盤龜ヲ見物ニ來タ日ガ丁度眞名鶴ツキ出シノ日デ」。

●いや・おう・なし (第三上)根。〔否應無し〕 イヤト云ツテモ、オウト云ツテモ、カマハぬコト。＝「いやおうなし殺シテシマフ」。

◎言梅ニ此語ヲ解イテ形容詞トシタハイカガ?

いやおうなし・に (……)副。〔……に〕 いやをうなしノ副詞體。

△いや・おひ (……)名。〔彌生ひ〕 (一)イヤガウヘニイヨイヨオヒカサナルコト(草木ナド)。(二)轉ジテ陰曆三月ノ異名。＝ヤヨヒ。

○いや・が・うへ (第三ガ、第五ニ)(第一上)根。〔……が上〕 イヨイヨ有ルソノウヘ。＝「いやがうへニイヤマサル」。

○いやがうへ・に (……)(第一、及第五上)副。〔……に〕 イヨイヨ。＝ナホソノウヘ。

いやく (第一上)名。〔(醫藥)〕 (一)醫術トクスリト。＝「いやく分業」。(二)又、タダノ藥ト同ジ義ノ語。

○いやし (全平)形。 (一)〔賤＝卑〕タフトクナイ。＝ミブンガ高クナイ。＝源氏、「ナニガシガいやしきイサメニテスギタワメラレ、女ニハ心オカヤタマヘ」。(二)〔鄙＝陋＝俚〕〔轉ジテ〕イヤシムベクアル。＝ゲヒンデアル。(三)〔又、轉ジテ〕イサギヨクナイ(心ガ)。(四)〔あし(惡)ト音ノ似タ所カラ轉ジテ〕ワルイ。＝ヨクナイ。＝堀川百首、公實、「ミドリナル山ノハイロヤカハルランいやしくフレルハツシグレカナ」。

◎いやしきナ(名)。＝(罪アツテ官位ヲ下ゲラレタ噂サ。＝後撰和歌集、「平ノたかともガいやしきなトリテ人ノ國ヘマカリケルヲ」。

●いやしイ (……)形。〔……い〕 いやしノ第一、第二、第三解義ノ近體。

△いやしく (第二上、又、全平)自動、四段。〔彌重く〕〔しくハしげし(繁)ト異體同種〕 多クアル。＝タクサンニアル。＝萬葉集、「ホトトギスいやしき鳴キヌ」。＝續拾遺集、「マシバ刈ル道ヤ絶エナンヤマガツノいやしきフレル夜半ノシラ雪」。

○いやしく・も (……)副。〔(苟)くも〕 カリソメニモ。＝トモカクモ。＝今昔物語、「いやしくも將門柏原天皇ノ五世ノ末孫ナリ」。

いやし・さ (全平)名。〔(賤＝卑＝鄙＝陋＝俚)しさ〕 イヤシクアル度合ヒ。

いやしみ (……)名。〔(蔑)み〕 イヤシムコト。＝サゲスミ。＝アナドリ。＝ケイベツ。

いやしむ (第三上)他動、四段。〔……む〕 クダス。＝カロシメル。＝ミサゲル。＝アナドル。＝カロンズル。＝サゲスム。＝アナヅル。＝ミクビル。＝オトス。＝オトシメル。

○いやしんず (……)他動、サ變。〔……んず〕 イヤシム。

○いやす (第二上)他動、四段。〔(癒＝療)やす〕

ヤマヒヲナホス。—十訓抄「隋後ヤブレタル蛇ヲ見テ、鑿ヲ付ケテいやす」。

△いやちこ（全平）根。〔茫然〕　イチジルシクアルコト。—アラタカデアルコト。—クッテン。（オモニ神佛ナドノ利益ニイフ）。—「レイゲンいやちこナリ」。

△いやちこに（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

△いやつぎつぎ（《第四「及第六ギ》）（第四上）根。〔彌次ぎ次ぎ〕　ナガクアトヲケイグクスルコト。

△いやつぎつぎに（《……》）（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。—「スベラギノ神ノミコトヲ受ケキツルいやつぎつぎに世ヲ思フカナ」。

△いやとしのは（第五上）名。〔彌年ノ端〕　マイネン。—レンネン。—新勅撰集「八重ヤカキシゲキ惠ミノ數ソヘヲいやとしのはニ君ヲイノラン」。

▲いやなぎ（《第四ギ》）（第二上）名。　安藝ノ方言。水ノ名。はとやなぎノ一名。

△いやは（全平）名。〔彌齒〕　齒ノ名。やいばト同ジモノ。—和漢三才圖繪「いやは、齒カザナリ生ヘルナリ」。

△いやはし（第二上）名。〔……端〕　キハメテノハシ。—キヨクタン。

△いやはて（……）名。〔……果〕〔いや（彌）はて（後）ノ義〕　最モノハテ。

△いやひ・ひけ（全平）根。〔……日來經〕〔いや（彌）ひ（日）き（來）ヘ（經）ノ義〕　アマタノ日ヲ經ルコト。—「飛鳥川ミズユキ増サルいやひけニ戀ヒノマサラバアリガテヤシモ」。

△いやふち（……）根。〔吾風〕　イヤラシイフウ。—キラハシイフウ。—西鶴、若風俗「クジノナラヒトラいやふちナル親父メニトリアテラレ」。

†○いやまさり（……、又、第四上）名。〔彌優さり〕　イヨイヨマサルコト。—伊勢物語「思ヒハいやまさりニマサル」。

○いやまさる（第四上）自動、四段。〔……さる〕　イヨイヨ多クナル。

△いやまし（全平）副。〔……益し〕　イヨイヨ多ク。—イヨイヨマス。—「三代實錄「アメガシタハいやましニタヒラケク」—夫木集「いやましニ夜サムニモアルカ濕ノウツ衣ノシマノ秋ノ浦風」。

△いやまし（第三上）形。〔否まし〕　イヤデアル姿デアル。—イヤニ思フラシクアル。—唐物語「ワレラ定メテ其數ナラジト、アマタノ御心ニいやましクオボシケリ」。

△いやまし・に（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

△いやます・ます（第四上）副。〔彌益益〕　イヨイヨマスマス。

△いやますます・に（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。—續日本紀「ヨルヒルカシコマリハベルヲいやますますニ」。

●いやみ（第三上）名。〔否味〕　相手ニ不快ノ感ヲモタセルヤウナ言葉。—ドクグチ。—「いやみヲナラベテ氣ヲウルクサセル」。

△いやむ（第二上）他動、四段。〔……む〕　イナム。—キラフ。—イミキラフ。

△いやめ（第三上）名。〔……目〕　イヤナコトヲ感ジタラシイ目。—カナシンダ目ツキ。—源氏「人ニハタダオンヤマヒノ重キサマニノミ見セテ、カクスズロナルいやめノケシキ知ラセジト」。

▲いやもて（全平）名。〔否持て〕〔いや（否）もて（持）ノ略〕　ツルイモヲナシ。（東京デハ全ク言ハヌ）。

▲いやもの（第四上）名。〔……物〕　キラハシクアルモノ。—イヤナ物。（東京デハ全ク言ハヌ）。

○いやらし（第三上）形。〔否らし〕　いやらしいノ古體。

●いやらしイ（第四上）形。〔……い〕　（一）▲キラハシイ。（二）〔轉ジテ、オモニ〕イロメカシイ。—アダッポイ。—「いやらしい目付キ」。—「いやらしい女」。

◎三河アタリデハ今日デモいやらしいヲ此第一ノ解義ニツカフ。東京デハ第一ノ解義ハ殆ンド癈語トナッタ。ソレ故、岡崎アタリデハいやらしいカゼ（風）、いやらしい河ノ流レカタナドト云フ。

いやらしさ（第三上）名。〔……さ〕　イヤラシクアル度合ヒ。

○いゆ（第一上）自動、下二。〔癒ゆ〕　病氣ガナホル。—センクワイスル。—ホンプクスル。—著聞集「ワガヤマヒ温泉ノ功驗ヲタノムト雖モタヤマチニいえンコトカタシ」。

△いゆく（第二上）自動、四段。〔い行く〕〔い（發語）〕。　ゆく（行）ト同ジ語。

○いゆ・しし・の（第三上）枕。〔所射獸の〕〔いゆしし（獸）ハ矢デ射ラレタクモノノ義。ケモノハ射ラレテ暫時ハ逃ゲテモ遂ニハ死ヌ所カラツヅク〕　ゆきもしなんニカカル枕コトバ。

○いよ（第一上）副。〔彌〕〔いやノ轉〕　イヨ。—マスマス。

いよ（……、又、第二上）感。　スベテ、人ヲホメハヤス聲。—イヨウ（感）。

いよ・いよ（第二上）副。〔愈〕　（一）ソノウヘニ。—マスマス。—ナホ。—「コレヲ仰ゲバいよいよ高シ」。（二）ツヒニ。—ケッヂャウスル所ハ。—「いよいよ絶命ノコトトナル」。

いよ・いわし（第三上）名。〔……鯷〕　伊豫カラ產スル鹽漬ケノいわし。　普通デナイ形ヲ。—ヲカシナカタチ。—イギヤウ。

いよう（……、又、第一上）感　いよ（感）ト同ジ語。—西鶴、若風俗「いよう、いよう、千之助サマ、萬人ノ中ニモマタト御座ルマイ。今ノ世ノヒトゴロシメ！」。

いよ・かづら（第三上）名。〔伊豫葛〕　草ノ名。すすめのをどけガ藝ニナッテ生ヘタモノノ名。葉ハくそかづらニ似テ長ク、毛モナク、クヂミモ無ク、秋五瓣ノ小サナ花ガ咲ク。—カラスノヒルヅル。

いよ・こざね（……）名。〔……小札〕　ヨロヒノコザネノ一種。形チハ鉢附ケノコザネニ似テ、アタマヲ一文字ニ切リ、サキヲ丸クシタモノ。　ことざね參考。

△いよ・じろめ（……）名。〔……白味〕〔ハジメ伊豫ノ國カラ出タ故ノ名〕　鐵物ノ名。あんちもにいノ一名。　參考あんちもにい。

いよ・す（全平）名。〔……蘿〕　いよすだれトオナジモノ。

いよすだれ（第三上）名。〔……〕　（一）伊豫ノ國カラ出ルすだれノ名。篠ハキハメテ細ク、長イノハ七八尺モアル。スダレノ中デハ上品ナモノ。—詞花集「逢フコトハマバラニアメルいよすだれ、イヨイヨウレヲウビサスルカナ」。—麓訓往來「伊豫蹴、鼓岐圓座」。（二）貝ノ名。あしがいノ一名。

いよぞめ（全平）名。〔……染め〕　染メ物ノ地紋ノ名。イヨスダレヲ二枚以上重ネテ、スカシテナガメルト一種木目ノヤウニキラキラシタ筋ノ模樣ガ見エル。コノモヤウヲ取ッテ染メ模樣トシタモノ。オモニ絹ナドニソメル。

いよぞめ（……）名。〔……〕　木ノ名。かまずみノ一名。

○いよだツ（第三上）自動、四段。〔彌堅つ—（堅立）〕〔いや（彌）たつ（堅）ノ義〕　カラダノ毛ガ立ツ。—ソウケダツ。—ヨダツ。

いよ・ど（第二上）名。〔伊豫砥〕　伊豫カラ出ル砥石。色白ク軟カイモノ。

いよ・まさ（全平）名。〔依賴〕　人ヲタノミニスルコト。—モタレカカリ。

いよ・まさがみ（《第五ガ》《第四上》名。〔……紙〕　紙ノ名。まさのノ一種。伊豫ノ國カラ出ル。

オホク錦繪ナドヲスル。

▲いよめ（全平、又、第二上）名。　鳥ノ名。阿波ノ方言。にほノ一名。

○いよ・やか（第二上）根。〔森〕か〕〔いや（彌）ヲカサネタモノ〕　タカクナッタコト。—ソビエルコト。—イヤヤカ。—イヨヨカ（オモニ水ナドニイフ）。

○いよやか・に（……）副。〔……に〕　いよやかノ副詞體。

○いよ・よ（……）副。〔愈〕　いよいよノ略。—萬葉集「世ノ中ハ空シキモノト知ルトキシいよよマスマス悲シカリケリ」。

いよよか（……）根。〔森か〕　いよやかト同ジ語。

○いよよか・に（……）副。〔……に〕　いよやかトオナジ語。

いよよし（第三上）名。〔伊豫葦〕　草ノ名。ひめよしノ一名。

いら（全平）名。〔刺〕　（一）スベテ、草木ナドニアルトゲ。—「イバラノいら」。—「サイカチノいら」。（二）魚ノ脊ニアルヒレ。

△いら（第二上）名。〔刺—茜〕　草ノ名。高サハ三四尺、花ハ四角デ葉ハからむしニ似、莖モ葉モトゲアリ、サハレバ人ヲ刺スモノ。—イラグサ。—イタイタダサ。—イライラ。—オニアサ。—ヒトサシグサ。—ノコギリグサ。—マムシサウ。—ユナグサ。—ヒリヒリグサ。—和名抄「伊良」。

いらい（第一上）名。　（一）ソノコノカタ。（二）〔轉ジテ〕コノノチ。—「いらいヲキットツシメッヨ」。

††いらい（全平）名。〔依賴〕　人ヲタノミニスルコト。—モタレカカリ。

いら・いら（第三上）名。〔刺刺〕　草ノ名。

いらノ一名。

いら・いら（第一上）副。〔……〕　（一）スベテ、トゲナドガ肌ニフレタトキノ感ジヲイフ語。—エラエラ。—イライラト。（二）轉ジテ〕ジレッタクナルコト。—「心ガいらいらスル」。

いらいら・と（……）副。〔……と〕　前トオナジ語。

○いらいらし（第四上）形。〔……し〕　イライラトスル。—十訓抄「未ダ來ラザラン報イヲいらいらしくオボヒモトメテ」。

○いらいらし・さ（……）名。〔……さ〕　イライラシクアル度合ヒ。

△いらか（全平）名。〔いらこ（鱗）ノ轉。屋根ノ瓦ハウロコニ似タ故〕　（一）スベテ、屋根ニ葺クカハラ。（二）瓦ブキノ屋根。—和名抄、「伊良賀」。—八犬傳「芳流閣ノハコムネニ血刀ヒサゲテ立ッタル信乃ヲハルカニウチ見テチットモ擬議セズ、雲ヲシノゲル樓閣ノいらかヲ踏ミラスムホドニ」。

いらぐさ（《第三ク》）（第二上）名。〔刺草〕　草ノ名。いらノ一名。

△いらこ・だか（第三上）名。〔……小鷹〕　タダノ鷹トオナジモノ。—家隆「ヒキステヨ、いらこのたかノヤマガヘリ、ヤダ日ハタカシ心ソラナリ」。

△いらし（金平）名。〔貸し〕　イラスコト。—日本紀「いらしノイ子」。

△いらす（第二上）他動四段。〔……す〕　貸シテ利息ヲトル。—日本紀「いらしタマフベシ」。

いら・だか（金平）名。〔刺高〕　（一）いらだかじゆずノ略。（二）魚ノ名。いらだかあぢノ略。

いらだか・あぢ（第五上）名。〔……鯵〕　魚ノ名。あぢノ一種。大キサハ三四寸、皮ガアツク、イラ、即チ、トゲガタカク多クアル。眼ヒハウマクナイモノ。

いらだか・じゆず（第五、六合）（第四上）名。〔……珠數〕　いらだかずずトオナジモノ。

いらだか・ずず（……）名。〔……數珠〕　スベテツブノ平タイ念珠。—八犬傳「いらだかずずヲオシモミテ」。

いらだつ（第三上）自動四段。〔苛立つ〕　心ガイライラスル。—セキタツ。—シレコム。—イラツ。

○いらだつ（……）他動、下二。〔……〕　セカセル。—イライラサセル。—デレコマセル。

●いらだてル（第四上）他動、二。〔……てる〕　前ノ語ノ近體。

いらツ（金平）自動四段。〔苛つ〕　いらだつトオナジ語。—近松、心中二枚繪草紙「イチゴトオモフ女房ヲウガモノガホノミニクサニいらつハ戀ヒノクセナレドモ」。—八犬傳「現八いらつテウツ大刀ヲ信乃ハ左リニウケナガシ」。

△いらつ・こ（……）名。〔郎子〕〔いら（色）つ（之）こ（子）ノ義〕　ムカシ男子ヲ愛シ、シタシンデ呼ンダトナヘ（いらつめノ對）。—ワカいらつこ。

△いらつ・ひめ（第三上）名。〔郎姫〕〔いらつハいらつこノいらつ〕　ムカシ女子ヲ愛シ、親シンデ呼ンダトナヘ。—イラツメ。—日本紀「大連ノイヘラク、コノいらつひめ」。

△いらつめ（金平）名。〔郎女〕　いらつひめトオナジ語。日本紀「擺磨ノイナメノオホいらつめヲタテテ」。

いら・な（第二上）名。〔刺菜〕〔いら（刺）ガアルカらしノ一種。葉ハ大キク故ニイフ」。

テウスムラサキ、マハリニホソイ刻ミ目ノ多クアルモノ。

△いらなけシ（第四上）形。〔苛甚し〕〔いら（苛）いらなしトオナジ語。—たし（甚）ノ義〕　いらなけく。

古事記「イモヲオモヒテいらなけく」。

△いらなし（……）形。〔……〕　イライラシイ。—ハゲシイ。—ギヤウサンデアル。—日本紀、〔無禮〕〔訓、イラナシ〕。—徒然草「珠數オシスリ、印コトゴトシクムスビナドシテ、いらなくフルマヒテ」。

△いら・ぬ（第三上）名。〔……根〕　草ノ名。れうノ一名。

●いら・ひぢイ（第四上）形。〔苛非道い〕　キハメテヒドイ。

◎コノ語ヤヤ鄙語トナリカケタ。

●いらひぢき（……）名。〔……敷〕　イラヒドクアル度合ヒ。

△いらフ（第三ウ）（第二上）他動、四段。〔……ふ〕　コタカシテ利息ヲトル。—日本紀、〔訓、イラフ〕。

○いらフ（……）（……）自動、下二。〔……ふ〕　コタベル。—ヘンタフスル。—枕ノ草紙「ナドテカジノカドセバク造リテ住ミタマヒケルゲトイヘバ、ワラヒテ、家ノホド、身ノホドニアハセテハベルナリトいらふ」。

+○いら（……）（第三上）（金平）、又、第二上）名。〔……〕　イラフコト。—コタヘ。—ヘンジ。—源氏「ヨロヅノコトヲ泣ク泣クチギリ宣ハスレド御いらへモ得聞コエ給ハズ」。

いらぼ（第二上）名。　朝鮮カラワタル一種ノ陶器ノ名。

いら・むし（……）名。〔刺蟲〕〔いら（刺）むし（蟲）ノ義〕　けむしノ大キナモノ。梅ヤ林檎ニ居テ葉ヲクフ。形チハ平タク、色ハクロズンダ黄ニ、毛ガトコロドコロカラハヘ、ヨク人ヲサス。—オコゼ。—ハンキヤウシ。

○いらめク（第三上）自動、四段。〔苛めく〕〔めくハあきめくナドノめく〕　カドガタツ。

いらもぎ（第四ギ）（金平）名。　常盤木ノ名。わうしんトオナジモノト云フ。—閑院宮、「冬ミレバ四方ノコズエモ葉オツレド霜ニアランフトキハいらもぎ」。

△いららかス（第四上）他動、四段。〔苛らかす〕　イララクヤウニスル。—イカラカス（鼻ノ孔ナドヲ）。

△いららク（第三上）自動、四段。〔……く〕　カドガタツ。—イカル。—ハリヒロガル。

△いららグ（第四グ）（……）他動、下二。〔……〕　いららかすトオナジ語。

いらら・くさ（……）（第三上）名。〔羊桃〕　草ノ名。田野ニハヘル。葉ハ掌グラ非ニ大キク莖ハ弱クテ莖ニ似ル。葉ハ上ガ緑リニ下ガ白ク、花ハ唐紅色デ桃ノ花ニ似、味ハ苦クテ食ベラレヌ。

いらりと（金平）名。　草ノ名。あかささげノ一名。

○いらル（第二上）被動詞、下二。〔煎らる〕　イル（煎）ノ被動體。—枕ノ草紙「オトナダチタル人ハフトキイトヨシ。アマリ痩セカラメキタルハ心いられタラントオシハカラル」。

△いられ・がまし（第四ガ）（第五上）形。〔……れがまし〕　心ガイリックラレルヤウデアル。

●いられん（第一上）根。〔癇氣〕　イライラシタ心デアルコト。「いられんノ氣性」。

◎コノ語ハオモニ東京ニ限ッテ云フ。

いり（第二上）名。〔圦〕—（樋）〔いひ（樋）ノ義〕　ひのくちトオナジモノ。

いり（金平）名。〔入り〕　（一）スベテ、入ルコト。—ハイルコト。—市川白猿、老ノ樂、「十月二十九日晴天、芝居見事ナルいり」。（二）スベテ、見エナクナルコト。—「日ノいり」。—「月ノいり」。（三）いりようノ略。—「金ノいりガオホイ」。（四）いりでまノ略。—「いりでウケアッタ仕事」。ωいりでまノ參考。

いりあひ（第四イ）（……）名。〔入り合ひ〕　日ガイルトキ。—ニチボツ。—タソガレ。—伊勢物語「いりあひバカリニタニイリテ」。

いりあや（……）名。〔入り文〕　舞ヒノ手ノ名。一旦舞ツタ手ヲソノママフタタビ、アヤノヤウニ重ネテ舞ヒカヘスコト。

○いりうど（第二上）名。〔入り人—（入夫）〕〔いり（入）ひと（人）ノ音便〕　後家ノ家ニ入リムコトナツタヲツト。—ニフフ。

△いりうのはな（第六上）名。〔炒り卯の花〕　きらずヲ炒ツタモノ。—イリガラ。

いりうみ（第三上）名。〔入り海〕　陸ニ入リコンダ海。—ウチウミ。—イリエ。

いりえ（金平）名。〔……江〕　岸ヘイリコンダ江。—ワン。

△いりえん（第三上）名。〔……緣〕　イヒイレル緣餞。—西鶴「若風俗」「レキレキノいりえんアレドモ帶ヲ取リアハズ」。

いりがく（（第三ガ）（第二上）名。〔……角〕　モヤウナドノ形チノ名。なでがくノカドニヒトスヂキヅミヲ入レタモノ。—イリズミ。

いりがはら（（第三ガ、第四ウ）（第二上）名。〔炒り瓦〕　いりなべノ一名。

○いりかはり（（第四ウ）（金平）名。〔入り代り〕　イリカハルコト。—イレカハリ。—カウタイ。

○いりかはル（……）（第四上）自動、四段。〔……る〕　カウダイスル。—イレカハル。

△いりかよフ（第五ウ）（……）自動、四段。〔入り通ふ〕　入ッテ往來スル。—萬葉集「玉ダレノヌケギニいりかよひ」。

いりがら（（第三ガ）（第二上）名。〔炒り殼〕　（一）鯨ノアブラヲイリトッタアトニノコル鯨ノ肉ノカス。食用ニナル。（二）○豆腐ノからニ味ヲツケテ炒ツタモノ。

いりくち（金平）名。〔入り口〕　スベテ、ハイルベキクチ。

いりくム（第三上）自動、四段。〔……組む〕　ミダレマザル。—「手がいりくむ」。

●いりくりいんじよ（第七、八合）（第五上）根。〔いりくりハいりくりうたノいりくりトオナジモノ、いんじよノ語原ハ未詳〕。

スベテ物事ノミダレイリクンダコト。—「いりくりいんじよノモツレ絲」。

△いりくりうた（第四上）名。〔入り狂り歌〕〔いりくりハいり（入）くるひ（狂）ノ義〕　コトバガ入リクンデ意味ノトホラヌ歌。

いりこ（金平）名。〔海參〕　なまこヲコデ、日ニホシテカタメタモノ。食用ニナル。—ホシコ。—クロモノ。—クシコ。—カラコ。—和名抄「海鼠、伊里古」。

▲いりこ（……）名。〔炒り粉〕　米ノ粉ヲ炒ツタモノ。菓子ノ種ニナル。

◎東京デハくわしだね又ハたねナドト主ニヒトスヂキヅミヲ入レタモノ。—イリズミ。

〔炒り瓦〕

○いりかはり（（第四ウ）（金平）名。〔入り代り〕　イリカハルコト。—イレカハリ。—カウタイ。

○いりこム（第三上）自動、四段。〔……む〕　イリコム。—中ヘハイル。—内部ヘハイル。

▲いりごめ（（第三ゴ）（第二上）名。〔炒り米〕　やきごめト同ジモノ。越前ノ方言。

▲いりごろ（……）（……）名。〔いりがはらノ轉〕　いりなべト同ジモノ。

いりざけ（……）名。〔煎り酒〕　酒ニ醬油ヲ加ヘ、カツヲブシヲ入レテ煎ジ出シタモノ。ナマス、サシミナドニツカフ。

○いりしごと（（第四ゴ）（金平）名。〔入り仕事〕　イレデマデスルシゴト。

いりしほ（（第四オ）（……）名。〔……潮〕　ヒキシホ。（いでしほノ對）。

○いりじほ（……）（第二上）名。〔炒り鹽〕　炒ツタ鹽。—ヤキシホ。

○いりずみ（……）名。〔炒り炭〕　アラカジメ火ニカザシテ濕氣ヲ取リ、火ノウツリヤスイヤウニシタ炭。—枕ノ草紙「トミニいりずみオコスイト久シ」。

いりずみ（金平）名。〔入り角〕　モヤウノ名。いりがくト同ジモノ。

いりたち（……）名。〔……立ち〕　貴宮中ノ籠中ニ入リ込ンデ、女房タチト同座ヲスルコト。コレハ許サレテ後チ始メテカナフ。—十訓抄「昔ハ女房ノいりたちナカリシ人ノ今ハコレモアラザリケレバ」。

△いりたツ（第三上）自動、四段。〔……つ〕　ニ云フ。いりとハ近江ノ國アタリデ專ラツカフ。

いりとひ（（第三ゴ、第四イ）（第三上）名。〔煎り鯉〕　鯉ノ身ヲ鹽燒キニシテ蒸シタモノ。

○いりとみ（（第三ゴ）（金平）名。〔入り込み〕　クベツナクゴタゴタ入リマジルコト。—イレゴミ。

いりとム（第三上）自動、四段。〔……む〕　イリコム。—中ヘハイル。—内部ヘハイル。

▲いりなべ（（第三ゴ）（第二上）名。〔炒り米〕　やきごめト同ジモノ。越前ノ方言。

いりなべ（……）（……）名。〔いりがはらノ轉〕　いりごろト同ジモノ。

いりなべト同ジモノ。

いりぬけ（……）名。〔煎り酒〕　酒ニ醬油ヲ加ヘ、カツヲブシヲ入レテ煎ジ出シタモノ。ナマス、サシミナドニツカフ。

○いりしごと（（第四ゴ）（金平）名。〔入り仕事〕　イレデマデスルシゴト。

いりしほ（（第四オ）（……）名。〔……潮〕　ヒキシホ。（いでしほノ對）。

○いりじほ（……）（第二上）名。〔炒り鹽〕　炒ツタ鹽。—ヤキシホ。

○いりずみ（……）名。〔炒り炭〕　アラカジメ火ニカザシテ濕氣ヲ取リ、火ノウツリヤスイヤウニシタ炭。—枕ノ草紙「トミニいりずみオコスイト久シ」。

いりずみ（金平）名。〔入り角〕　モヤウノ名。いりがくト同ジモノ。

いりたち（……）名。〔……立ち〕　貴宮中ノ籠中ニ入リ込ンデ、女房タチト同座ヲスルコト。コレハ許サレテ後チ始メテカナフ。—十訓抄「昔ハ女房ノいりたちナカリシ人ノ今ハコレモアラザリケレバ」。

△いりたツ（第三上）自動、四段。〔……つ〕

（一）タダノいる（入）ト同シ語。＝イリコム。＝ウチイル。（二）土佐日記「京ニいりたちテウレシ」。（三）轉ジテ）シタシク出ハイリスル。＝枕ノ草紙「山ノ井大納言ハいりたたヨ御セウトニテモ」。

いり・だひ（（第四イ））（第二上）名。（煎り鯛）鯛ノ身ヲアブツテ、細クムシツタモノ。キウリモミナドニカケル。＝ヲクメダヒ。

いり・たまご（（第五コ））（第三上）名。（煎り玉子）タマゴニ醤油ト酒、又ハミリンヲ加ヘ、鍋デイリツケタモノ。＝タマゴイリ。

++○いり・ちがひ（（第四ガ、第五イ））（第四上）名。（入り違ひ）イリチガフコト。＝イレチガヒ。

○いり・ちがフ（（第五ウ、或ハ第四ゴ））（……）自動四段。（……ふ）コチラトムカフト出入リガ互ニアチラコチラトナル。

いり・つク（金平）自動、四段。（炒＝煎）り付ク。（（熟ニ逢ツテ、イラレテ水分ガナクナル。＝ニツマル。＝センジツマル。＝ミヅケガ無クナル。

○いり・つク（……）他動、下二。（……）熟ニ逢ハセテ水分ヲナクナス。＝ニツメル。＝センジツメル。

いり・つけ（……）名。（……け）（一）スベテ、イリツケタ食物。（二）▲（轉ジテ）京坂ノ方言。にざかなノ一名。

いりつけ・まめ（第四上）名。（……豆）カタク煮シメタ大豆。

●いり・つけル（金平）他動、二。（……る）いりつくノ近調。

いり・どうふ（第三上）名。（炒り豆腐）醤油、ミリン、砂糖ソノ他コマカイ野菜ナドヲ加ヘテ、イリツケタ豆腐。

いり・どり（金平）名。（……鳥）オモニ、アヒガモ、カシハ、鴨ナドノ肉ヲ、醤油トミリン ト砂糖トデ味ヲ付ケテイリツケタモノ。

いりな（第二上）名。（……菜）スベテ、菜ヲ入レタスヒモノ。

いりなべ（第三上）名。（炒＝煎）り鍋）物ヲイル（炒＝煎）トキ用ヰル鍋。鐵マタハ土デツクリ、オモニ、平タイツクリニシタモノ。＝ハウロク。＝イリガラ。＝ハウラク。＝イリガハラ。＝イリゴラ。＝チヤホウシ。＝ヲ入レタ土器デナイモノニ限ツテいりなべトイヒ、土器ナラバ必ズはうろくトイフ。

△いり・なみ（金平）名。（入り涙）シラ来ル涙。沖カラサ入リカカツタ日。

いり・ひ（……）名。（……日）＝ラクショウ。＝ニフヒ。＝セキヤウ。

○いり・ひなす（第四上）枕。（……倣ス）（いりひかくるニ掛カル枕コトバ。

△いり・びやうし（（第四ヨ、第三、四合））（第三上）名。（入り拍子）打チ入レル拍子。

四上名。（入り拍子）＝西鶴、一代女「いりびやうしノ撥シゲク、キク人山ヲナシラ立チカサナリシニ」。

△いり・ふス（第三上）自動四段。（……臥す）裏所ニ這入ツテネル。＝狭衣物語「姫君ノ御前ニ男いりふしテハベリ」。

△いり・ぶち（金平）名。（……淵）海、河ナドガ中ヘ入リコンデ、水ノ深クナツタ所。

いり・ふね（……）名。（……舟）港ヘハイツテ来ル船（でふねノ對）。

△いり・ほが（（第四ガ））（……）根。ココロヲ入レスギテ、事實ニ遠ザカルコト。

いり・まめ（第二上）名。（炒り豆）（一）スベテ、イリツケタ大豆。＝西澤一鳳、大黒「御ヒイキヲ願ヲモオソレいりまめニ、花ノ御江戸ノ御取立テ」。（二）○（轉ジテ）マメイリ。

◎此第二解義ノ語ハ東京デ全ク言ハヌ。

いり・み（金平）名。（入り身）相撲四十八手ノ中ノ一ツ。ムカフヘ身ヲ入レコンデ、相手ヲタフス術。＝相撲傳書「ウハテノいりみ」。

○いり・むぎ（第三上）名。（炒り麥）麥ヲ炒ツテコガシ能ク細カク摺ツタ粉。＝ムギコガシ。＝イリコ。

++いり・むこ（……）名。（入り婿）タダノむこト同ジモノ。家ノ娘ヘノムコ養子。＝西鶴、若風俗「いりむこシテ宵カラ寢テ」。

いり・め（金平）名。（……目）スベテ、ツヒエタ金鍵ノカサ。＝ニフヨウ。＝ニウヒ。＝ヒヨウ。＝西鶴、一代女「イヤト云ハレヌ首尾ニナリテ、子ヲ生マスウチノいりめセヒニ順ミタテマツル」＝森山孝盛、賤ノ小手巻「最モ魚一疋ヅツト思ヒテモ二十三人ナレバいりめモカカルハズナレドモ」。

△いり・めク（第三上）自動、四段。（煎り めく）イソガシクアル姿ニナル「イリツケル意」。＝「いりめきアフ」。

○いり・もの（第二上）名。（炒＝煎）り物）炒ツタモノ。（二）米、豆ヲイリ、砂糖ヲ掛ケタモノ。＝マメイリ。＝イリゴメ。

△いり・もみ（第四上）名。（……揉み）モミツケルヤウナ烈シイ風。

△いり・もみぢ（第三上）名。（……紅葉）極メテ色ノコカイモミヂ。＝呉竹集「いりもみぢ、ヒトシホ色ノ濃キモミヂナリ」。

△いり・もむ（……）他動四段。（……揉む）揉ミニモム。＝ハゲシク揉ム。＝源氏「ヒヤモスニいりもみツル風ノサワギニ」。

○いり・やき（金平）名。（煎り焼き）鳥ノ肉ヲ煎ツテ焼イタモノ。＝イリトリ。

○いりゆ（第二上）名。（炒り湯）飯ヲイリコガシ、湯ニホギテ、一種ノスヒモノシタモノ。

●いり・よう（金平）名。（入り用）イリヨ。＝ニウヒ。＝ヒヨウ。＝ヅツヒ。＝西鶴、若風俗「涼ミチユウノいりようヲ勘定シテコレヲ遊山ノ種トス」。

いル（第二上）自動、四段。（入る）（一）○スベテ、中ヘハイル。＝中ヘイタル。（いづノ對）。（二）○スベテ、日月ナドノ影ガ定ツタ時間ニ、地上カラ見エナクナル。＝日ガいる。（三）スベテ、他ノ動詞ノ下ニ付イテ其動詞ノ意味ヲ強メル語。＝オツレいる。＝「カンジいる」。（四）（後世、轉ジテ）くる（來）ノカハリニツカフ一種ノ敬語。＝西鶴、一代女「コナタハ御渡人衆ナルガ、御奉公スマザル中ハ、ヲリフシ氣ナグサミニオンいりアルベシ」。（五）デキル。＝アラハレル。＝「桃ダコガいる」＝「ヒビガいる」。

◎ミ（實）ガいる。＝ヨク熟スル）。◎ミ（身）ガいる。＝一心ヲ込メル）。◎氣ニいる。＝（好ミニ投ズル。＝心ニ叶フ）。◎○心ニいる。＝（ユトクスル。＝ワカル）。

●いル（……）自動、四段。（……）用井ラレル。＝ツヒヤサレベクアル。＝イリヨウニナル。＝谷峨、傾城買二筋道、「里竟文里サンノコトニいれバコソ。ソレ糧惜イ金ナラ、モウいりイセン」＝森山孝盛、賤ノ小手巻、「御番入リ、御番成リ、共ニコトノ外モノノいりタルナリ」。

いル（第一上）他動、四段。（炒＝煎る）スベテ、土鍋マタハ鐵皿ナドデ物ヲアブツテコガス。

◎キモヲいる。＝（イマイマシク思フ。＝ゴフハラニナル）。

△いル（第二上）他動、上一。（沃る）ソソグ。＝ソツギカケル。＝大鏡「クスシドモノ大小塞ノ水ヲオグシニいサセタマヘト申シケレバ」。

いル（第一上）他動、上一。（鑄る）金ヲ鎔カシテ、イガタニ入レテ、物ニコシラヘル。＝「鐵砲ヲいる」＝「釜ヲいる」。

いル（……）他動、上一。（射る）（一）ハナツ（矢ヲ）。（二）後世、漢語ノ讀ミ方カラ轉ジテ）チラヒ取ル。＝「利ヲいる」。

○いル（第二上）他動、下二。（入る）（一）内部ヘヤル。（だすノ對）。（二）ヲサメル。＝「利息ヲいる」。（四）（ウケイレル義カラ轉ジテ）承知スル。＝「イサメヲいる」。（五）カクシテ置ク。＝ヲサメル。＝「米ヲ倉ニいる」。

●いル（第一上）自動、四段。（癒る）（いゆる（癒ノ略）」。

◎腹ガいる。＝ナホル。

いるか（金平）名。（海豚）海產ノ獸ノ名。身ハヨク肥エ、長サ大抵六七尺。黄ダヨク鯨ニ似タ姿デ毛ガナク、口ハ赤ク、頭ノ後ロニ穴ガ二ツアツテ潮ヲ吹ク。皮ハ厚ク、油ガ多ク、油ヲ取ツテボシ油トシ、肉ハ食用ニナル。＝和名抄「鯨魚和名、伊流加」。

△いるかせ（……）根。（忽）せ）ユルメテ嚴ナラヌコト。＝ユルガセ。＝イルガセ。

△いるがせ（（第三ガ））（……）根。（……）セト同ジコトバ。

△いるかせ・に（……）副。（……に）いるかせノ副詞體。

△いるがせ・に（（第三ガ））（……）副。（……）いるがせノ副詞體。

△いる・さ（……）名。（入るさ）スベテ、ハイル方。＝イルカタ。＝源氏「いるさノ山ヲ誰レカタヅヌル」。

いるぜん（第一上）名。ばてれんト同ジモノ。

いるゐ（……）名。（衣類）スベテ、身ニ着ルモノノ總名。＝キモノ。＝イフク。＝イシヤウ。

いるゐ（……）名。（異類）（一）スベテ、類ノチガツタモノ。＝ナミナミデ無イカタチノモノ。（二）（轉ジテ）チクシヤウ。＝キンジユウ。＝ヒル井。「人トチガツタ類トノ義カラ云フ」。

いれう（（第二リヨ合））（……）名。（醫療）イジユツ。＝レウヂ。

△いれ・かたびら（第三上）名。（入れ片片）着物ナド箱ニ入レルトキ、ソレヲ包ムタメノ着物。今云フふくさノ類ヒ。

++●いれ・かはり（（第四ワ））（全平）名。（……代り）いりかはりノ近體。

●いれ・かはル（（……））（第四上）自動、一。（……る）いりかはるノ轉訛。

○いれ・がみ（（第三カ））（全平）名。（入れ髮＝（義髮））髮ナド結ブトキ、自身ノ毛デハ足リヌタメ、別ニ他ノ毛ヲ添ヘテ入レル、其髮ノ毛。＝ソヘガミ。＝イレゲ。＝谷峨、傾城買二筋道、「ソシテマタ起請ノ紙ナド貰ツタ所ガ、コシバリニモ野暮ヲシク、いれがみニモサレヲエ」。

◎コノ語今日東京デハ既ニ癈語トナル。

++いれ・き（……）名。（入れ木）版木師ノ語。彫刻ノナホシナドニ他ノ木ヲウメコムコト。＝ウメキ。

++いれ・げ（（第三ケ））（……）名。（……毛）いれがみトオナジモノ。

いれ・と　(…)根・(…子=内子)　(一)スベテ一ツノ器ノ中ニ又二重以上ウツハノハイルコト。—森山孝盛、賤ノ小手巻「ウチノベノ烟管ヲ三ツツギニシテいれとニシテフリダセバ」。(二)(轉ジテ)スベテ、上ベニ見エヌ内部ニ別ニカクシテアルモノ、又、コト。—「いれとノアル話シ」。

○いれて・ざけ　(第三上)名・(…鮭)　ハラゴヲ持ツタ鮭。

いれて・まくら　(第四上)名・(…枕)　枕ノ中ニ又別ノ枕ノハイツテ居ルモノ。—種遊用捨箱「ムサウマクラ、又いれてまくらトモイフ。コレハ五ツ或ハ七ツイレコニシタル箱枕ナリ。今モアルベケレド江戸ニテハオコナハレズ」。

++いれ・こみ　((第三ヵ))(全平)根・(入れ込み)　ナンデモカマハズトリマゼテ入レルコト。—イリゴミ。—「男女いれこみノ湯」。

++いれ・ずみ　(…)名・(…墨=墨)　(一)ムカシノ刑罰ノ名。腐ニキズヲツケ、墨ヲ中ヘサシテ後マデノシルシトシタモノ。(二)(轉ジテ)人ノ身ニホドコスホリモノ。ほりもの参考。

++●いれ・ちがひ　((第四カ、第五イ))(全平)名・(…違ひ)　イレ違フコト。—イレチガヘ。

●いれ・ちがフ　((…、第五ウ))(第四上)他動、四　段・(…ふ)　イリチガフ。

++●いれ・ちがへ　((…、第五エ))(全平)名・(…へ)　イリチガヒ。—イレチガヒ。

++●いれ・ぢゑ　(…)名・(入れ智惠)　人カラツケタチエ。—谷峨、商城買二筋道「大道デ梨ヲ賣ルヤウニ呑ミコミスガタヲイツテモ、性ガいれぢゑト云フモノダカラ、人形芝居ノ大刀打チヲ見ルヤウニ小サナ袖カラ大キナ手ガ出タリナニカスルカラ、子ツカラ不都合ダ」。

●いれ・でま　(…)名・(…手間)　いりでまト同ジ語。　天然ノ歯ノ落チタアトヘ入レル人造ノ歯。—義歯。

いれ・ば　(…)名・(…歯)　ムカシノ裝束

いれ・ひも　(…)名・(…紐)　ニツケタヒモ。袍ナホシ、カリギヌナドノ紐ニシ、ムスビ方ハ雌紐、雄紐トテトリアハセテ、輪ニサシ入レテ掛ケテオクモノ。—トウシンムスビ。

○いれひもの　(…)枕・(…の)　おなじことろにむすび、又ハさしてナドニカカル枕詞。

++○いれ・ふだ　(第四上)名・(入れ札)　ニフサツ。—トウヘウ。

◎コノ語大方ハ癩語トナル。

●いれ・ぶつじ　(第五上)名・(…佛事)　(一)佛事ノイトナミノ施物、又ハ費用。(二)(佛事ノ施物ハ返禮ノナイト云フ處カラ轉ジテ)ニフヒヲ掛ケテソレダケノ利益ノカヘラヌコト。—「イクラ金ヲツギコンデモいれぶつじデ、キキメノナイダウラクムスコ」。

いれ・ぼくろ　(全平)名・(…黒子)　スベテ、人ノ腕ナドニ人ノ名ナドヲイレズミニシタモノ。オモニ男女間ノ痴情カラ遊女ナドガ情夫ノ名ヲ入レル。—三世相錦繊文章「ノガルル手先キヒツトラヘ、カクスカヒナノいれぼくろ、六三イノチト彫ツタルハナント證據デゴザラウガナ」。—櫻田治助、奚門俄七福「言フタヲウソト白梅ノ幸ト云フ字ソいれぼくろ、ヤボラシイデハナイカイナ」。

いれ・め　(…)名・(…目)　天然ノ目ノ玉ガナクナツテカハリニ入レル人造ノ目玉。オモニガラスデ造ル。—ギガン。

▲いれ・めし　(…)名・(…飯)(いれハ種種ノ物ヲいれタトノ義)　伊勢ノ方言。ざふすねトオナジモノ。

いれ・もじ　(第二上)名・(…文字)　ウタ(オモニ和歌)ノ中ニカクシ入レタ文字。

△いれ・もとゆひ　((第六イ))(…)名・(…元結ひ)　モトユヒノ上ニ更ニムスンデカザルモトユヒ。ムカシノ童子ガシタモノ。—エモトユヒ。—オホモトユヒ。

いれ・もの　(全平)名・(…物)　スベテ、モノヲ入レルベキウツハ。—近松、博多小女郎浪枕「水ナキ井戸ハ階子ノいれもの」。

●いれル　(…)他動、二・(入)れる　いる(下二)ノ近體。

◎ミ(身)ヲいれる。—(一心ヲコメル)。—ミヅ(水)ヲいれる。—(喧嘩、相撲ナド引キワケル)。

●いれル　(第二上)自動、二・(炒=煎れる)　(一)イツテ成リアガル。—イルコトガデキル。(二)(轉ジテ)スベテ煎エタツ。—イラダツ。—「膽がいれる」。

いろ　(…)名・(色)　(一)光リニ固有ノ一種ノ性質ノアルモノ。光線ノ屈曲ナドカラ物ヲ肉眼ニイロイロノミエトシテアラハスモノ。色ノオモナノハ赤、黄、青ノ三ツトシ、コレカラシテイロイロニマザツテ他ノ間色即チ紫、綠、ナドノマザリイロガデキル。(二)△喪服ノニビイロ。—榮花物語「いろノオンゾスキズキナルニ」—平家物語「ヒトヘニいろノ如クミエケル」。(三)△きんしきトオナジモノ。—「いろユルサル」。(四)スベテ、カホイロ。—源氏「マタ世ノウケヒクマシキコトナレバナカナカアヤフクオボシ憚リテいろニモイダサセタオモニガラスデ造ル。—ギガン。

▲いれ・めし　(…)名・(…飯)(いれハ種種ノ物ヲいれタトノ義)　伊勢ノ方言。ざふすねトオナジモノ。

いれ・もじ　(第二上)名・(…文字)　ウタ(オモニ和歌)ノ中ニカクシ入レタ文字。

△いれ・もとゆひ　((第六イ))(…)名・(…元結ひ)　モトユヒノ上ニ更ニムスンデカザルモトユヒ。ムカシノ童子ガシタモノ。—エモトユヒ。—オホモトユヒ。

いれ・もの　(全平)名・(…物)　スベテ、モノヲ入レルベキウツハ。—近松、博多小女郎浪枕「水ナキ井戸ハ階子ノいれもの」。

●いれル　(…)他動、二・(入)れる　いる(下二)ノ近體。

◎ミ(身)ヲいれる。—(一心ヲコメル)。—ミヅ(水)ヲいれる。—(喧嘩、相撲ナド引キワケル)。

●いれル　(第二上)自動、二・(炒=煎れる)　(一)イツテ成リアガル。—イルコトガデキル。(二)(轉ジテ)スベテ煎エタツ。—イラダツ。—「膽がいれる」。

いろ　(…)名・(色)　(一)光リニ固有ノ一種ノ性質ノアルモノ。光線ノ屈曲ナドカラ物ヲ肉眼ニイロイロノミエトシテアラハスモノ。色ノオモナノハ赤、黄、青ノ三ツトシ、コレカラシテイロイロニマザツテ他ノ間色即チ紫、綠、ナドノマザリイロガデキル。(二)△喪服ノニビイロ。—榮花物語「いろノオンゾスキズキナルニ」—平家物語「ヒトヘニいろノ如クミエケル」。(三)△きんしきトオナジモノ。—「いろユルサル」。(四)スベテ、カホイロ。—源氏「マタ世ノウケヒクマシキコトナレバナカナカアヤフクオボシ憚リテいろニモイダサセタレト。—イロイロ。—「いろいろと手ヲツクス」。

△いろ・え　(…)名・(家兄)(いろハいろは、いろねナドノいろ)　あに(兄)ト同ジ語。

いろ・か　(第二上)名・(色香)　(一)スベテ、イロトカヲリト。(二)(轉ジテ)ツヤツヤシク、ウルホヒナドアル顔色。—カホイロノニホハシサ。

いろ・がは　((第三カ、第四ヲ))(全平)名・(…革)　そめがはト同ジ語。

いろ・がはり　((…))(第三上)根・(…變はり)　スベテ、色ノカハツタコト。—獨山人、俗耳皷吹「いろがはりナンキン」。

いろ・がはり　((…))(…)名・(…)(前ノ語カラ轉ジテ)　婚禮ナドノ時ニ着カヘル色ノカハツタ着物。

いろ・がひ　((…、第四イ))(第二上)名・(色貝)　(一)△サマザマノ介。(二)▲近江ノ方言。べにがひノ一名。さくらがひノ一種デ一方ハ長ク、色ハ極メテ赤ク、ウツクシイモノ。

いろ・がみ　((第三ガ))(…)名・(…紙)　色ニ染メタ紙。—ソメガミ。—チヨガミ。—森山孝盛、賤ノ小手巻「ヤヂハ色色ノいろがみナドニテ搓ヘ」。

●いろ・きちがひ　((第五ガ、第六イ))(第四上)名・(…狂ひ)　(一)スベテ、色情ニ因ツテ精神ガ正氣ヲウシナフコト。(二)(轉ジテ)色情ニ由ツテ發狂シタ人。

△いろ・きらす　(…)名。　ゆきノ異名トイフ。—呉竹集「いろきらす、ユキノコトナリ、『いろきらす庭モハダレニフリニケル柴ノアミドヲアケテ見タレバ』」。

△いろ・くさ　(全平)名・(色草)　サマザマノ草。

マハズ」。(五)カホイロノウルハシサ。—「いろヲ愛ス」。(六)(轉ジテ)シキジヤウ。(七)ヒビキ。—ネイロ。—「コワいろ」。(八)スベテ、ヤウス。—キザシ。—テウコウ。—「ハダいろ」。—「マケいろ」。(九)シナカズ。—ルヰ—ブル井。—西鶴、若風俗「モハヤ吸ヒ物ハヨヒカラ六いろカ」。(十)▲醬油ノ異名。(十一)△遊女ノ異名。元錄ゴロオモニモチヰタモノ。—竹田出雲、假名手本忠臣藏「由良大藏ノ御趣向デ、名アルいろダチヲカミコミ、下座敷ハヲサガツテゴザリマスレド」。(十二)情夫。—情婦。—いろをとこ、いろをんなノ略。—「アイツハ彼ノ女ノいろダ」。

いろ　(…)根・(…)　(一)△髮ノ毛ノ色ノウルハシクアルコト。—源氏「御グシいろニテ柳ノ絲ノヤウニタヲヤカト見エ」。(二)△色メイタコト。—色ゴノミデアル事。—拾遺集「ソメガハヲ渡ラン人ノイカデカハいろニナルラフ事ノ無カラン」。

△いろ　(…)名・(家)　い(ノ古言。—「いろハ」。—「いろヲ」。—「いろト」。

いろ　(第一上)名・(倚廬)　スベテ、喪ニコモツテ井ルトコロ。—文德實錄、「宜陽殿東庭倚廬」。—往然草「リヤウアンノ年バカリアハレナルコトハアラジ。いろノ御所ノサママナド」。

++いろ・あげ　((第四ケ))(第四上)名・(色揚げ)　フルイ布ナドノ色ノサメタノヲ再ビ染メナホシテ、ヨクスルコト。

++△いろ・あそび　(第三上)名・(…遊び)　イウヂヨナドヲアヒテニシテノ遊ビ。—近松、吉野都女楠「カウシタいろあそび、酒モ鮨モアリタケハタケ、買フテヤル」。

いろ・あひ　((第四イ))(…)名・(…合ひ)　色ノカゲン。—色ノアラハレタヤウス。—「紅ト綠トハ取リアハセニイイいろあひ」。

▲いろ・いざやう　((第四ヰ、第五ヨ、第四、五合))(第一上)根・(異類異形)(いろハいるゐ(異類)ノ義)　いるゐいざやうトオナジ語。イロイロ。—「いろいざやうノイデタチ」。

○いろ・いと　(全平)名・(色絲)(いろハッヤツポイトノ義)　(一)タダノいとヲ形容シテイフ語。さみせんいと。—吉原ツネヲ艸(二)(轉ジテ)サミセン。—「いろいとニヒキウタフ」。

(元祿二年板)「加賀ブシ、ツギブシノ小唄ヲいろいとニヒキウタフ」。

いろ・いと　(…)名・(…)　(一)シユジユ

いろ・いと　(…)根・(色色)　(二)サマザマ。—シナシナ。

いろ・いろ　(…)副・(…)　サマザマニ。—シユジユニ。—クサグサニ。—源氏「センザイノいろいろミダレタルヲ」。

いろいろ・ぞろも　((第五ゴ))(…)名・(…衣)　イロイロノ切レヲツギアハセタキモノ。—ボロツトデ。—ハリメゴロモ。—ハリメギヌ。—ボロツコ。—「賤ノ男ガツマギコリニト朝起キテいろいろぞろも袖マクリユク」。

△いろいろし　(第四上)形・(…し)　イロフカイ。—イロメイテ井ル。—十訓抄「イミジクいろいろしくイロフカシ」。

○いろいろ・と　(第一上)副・(いろいろと)　泣クコエヲ現ハス語。—「僧都いろいろとウチナキテ」。

いろいろ・と　(全平)副・(色色と)　アレコレト。

△いろ・くさ　(……)名。〔……種〕　イロイロサマザマノモノ。—源氏「秋ノ花ヲ植ヱサセタマヘルコト……いろくさヲツクシテ」。

○いろくづ　(第三上)名。(鱗)　(一)いろこ(鱗)ト同ジモノ。—ウロクヅ。(二)〔轉ジテ〕魚ノ總名。

++いろ・ぐるひ　(第三ク(第五イ))(……)名。〔色狂ひ〕　色慾ニオボレ、放蕩スルコト。

●いろ・け　(……)名。〔……氣〕　(一)イロアヒ。—「いろけノイイシメカタ」。(二)シキジヤウ。

△いろこ　(全平)名。〔……子—(鱗)〕　(一)ウロコ。—コケ。—イロクヅ。(二)人ノカシラニツクアカ。—フケ。—和名抄「伊呂古」。(三)(第一ノ解義カラ轉ジテ)ツヲ。

△いろこ　(……)名。〔色子〕　ヤクシヤ、カゲマナドノ稱ヘ。—戲場新話「セイグワイコ、只セイグワイトモイフ。俗ニいろこ、コヅメノ類ヒニテ」。

△いろこがた　((第四ガ))(第三上)名。〔鱗形〕　うろこがたト同ジモノ。

いろ・ごと　((第三ゴ))(第二上)名。〔色事〕　スベテ、色情ノ發動ヲモラスタグヒノオコナヒ。

いろ・ごと・し　((……))(第四上)名。〔……師〕　(一)芝居デ云フ語。役者ノ一種。スベテ艶ナ役ヲスルモノ。—戲場新話「故中村少長ハ年ヲハルマデいろごとしノ體ヲクヅサズ」。(二)▲(轉ジテ)スベテ、色事ニフケル人。—色事ニナレタ人。—イロヲトコ。

いろ・ごのみ　((……))(第三上)根。〔色好み〕　婦人ヲ好ムコト。—カウショク。—「いろごのみノウマレツキ」。

△いろ・ごろも　(……)(……)名。〔……衣〕　(一)色色ノイロノマジツタモノ。(二)色ノウルハシイ着物。

△いろ・さかぶり　(……)名。〔……酒振り〕〔いろハいろいとナドノいろト同ジ義デ、イロメイタ、アダアダシイナドノ義〕　(一)イロケヲフクンデ、酒ヲモラナス樣子。(二)〔轉ジテ〕酒ヲモラナス樣子ノドコトナク艶デウルハシイコト。—西鶴若風俗「伊藤ハ古今ノいろさかぶり……コノ大夫ヒトリノ酒ニテヨロヅガ格別世界ノナガメ」。

いろ・ざけ　(第二上)名。〔……〕　イロザトナドデ飲ム酒。—櫻田治助、瀧詣夜雨「前ハ海、後ハケハシキ鴨越、江戸デ申サバ品川ニ、似タリヨツタリいろざけニ、壽永ノ秋ノ風立チテ」。

いろ・さざえ　(第三上)名。〔色螺〕　にしノ類。ツノガ無クテ小ザク。色ハサマザマニウルハシク現レル。—イロサザエ。—ゴシキサザエ。

いろ・さと　(第二上)名。〔……里〕　スベテ、遊女、藝者ナド、色ヲ賣ルモノノ居ルトコロ。—イウリ。—クルワ。—花柳ノチマタ。—リウコウクワガイ。

△いろ・さまた　(全平)名。〔……樣〕　色ノアリサマ、ヤウス。—狭衣物語「ヅツクシカリシ御いろさまヲ見テ」。

○いろ・ざム　(第三上)自動、下二。〔……視む〕　色ガワルクナル。—サメル。—アセル。—イカハル。

△いろ・ぬ　(全平)名。((家姉))〔いろ(家)あね(姉)ノ義〕　(一)アキ。(二)ナニ。

△いろ・ね　(第二上)名。〔色音〕　スベテ、色ト音ト。—耳底記「花鳥ノいろね」。

△いろ・は　(……)名。((家母))〔いろ(家)は(母)ノ義〕　ハハ。—日本紀「カヅいろは哀レト見ズヤ」。

いろ・は　(……)名。〔いろは—以呂波〕　(一)日本ノ假名、四十七文字ノ稱ヘ。初メノ三字ヲ取ツテ名付ケタモノ。いろはにほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみし、ゑひもせす。諸行無情是生滅法ノ意ヲ和譯シテ空海ガツクツタモノトイフ。(二)いろはうたノ略。

●いろ・は　(……)根。〔……〕　〔子供ニ始メテ書ヲ習ハセルトキ、通常いろは四十七字ヲ假字デアタヘルコトカラ轉ジテ〕スベテ、初歩ノヤサシクアルコト。—「其ノ位ノコトハいろはダ」。

いろ・はうた　(第三上)名。〔……歌〕　いろは四十七文字ノ歌。*いろは第一解義參考。

いろは・がな　((第四ガ))(……)名。〔……假名〕　ひらがなト同ジモノ。

いろは・がるた　((……))(第四上)名。〔……骨牌〕　いろはたんかヲカルタニ書キ、頭字ヲいろはがなデ一ツツ記シ、一方ノ單歌ヲ讀メバ、其頭字ノアル札ヲ見付ケテ取ルアソビノ道具ノ名。日本ノかるたノ一種。主ニ子供ガ弄ブ。*いろはたんか參考。

いろはたんか　(……)名。〔……短歌〕　いろは四十七文字ノ字音ヲオノオノアタマニ一ツツ付ケテ、短クタトヘノヤウニシタ謠。オモニ修身ノ目的ヲ以テ作ツタモノヲかるたニシテ子供ニモテアソバセル。

△いろ・な　(全平)名。〔……品〕　カズカズノモノ。—クサグサノシナ。

いろ・じろ　(第二上)根。〔……白〕　スベテ、人ノ肌ノ色ノ白クアルコト。—ハクセキ。—「いろじろノウマレツキ」。

いろ・ずり　(第四上)名。〔……摺り〕　版ナド、色ヲ入レテ摺ルコト。—サイシキズリ。

◎いろずりノモ(裝)。—(昔シ、鳳凰桐、ソノホカ雲龍ナドノ模樣ヲイロドツテ摺ツタ裝)。

△いろ・せ　(全平)名。((家兄))〔いろ(家)せ(兄)ノ義〕　(一)アニ。(二)〔轉ジテ〕オトト。

△いろ・そフ　(第三上)自動、四段。〔色添ふ〕　色色ノ品ガカズカズソフ。—源平盛衰記「哀レモイトドいろそふサマニ云ヒオコセテハベリケル」。

いろ・だま　(全平)名。〔……玉〕　ざくろノ一名。

いろ・づク　(第三上)自動、四段。〔……付く〕　色ガツク。—色ガデル。—萬葉集「アサニケニいろづく山ノシラ雲ノ思ヒスグベキ君ソアラナクニ」。—一來法師「ミワタセバいろづく敵ノ木ノ葉武者秋ヲモマダデ大刀風ニチル」。

○いろ・つけやき　(第四上)名。〔……付け燒き〕　醬油デ色ヲ付ケテ、燒イタモノ。

いろ・つや　(第二上)名。〔……艶〕　色トツヤト。—枕ノ草紙「カタビラノいろつやナドサヘヅイミジキ」。

◎此語ムカシハ此枕ノ草紙ノ文ノ通リ非動ノモノニモ加ハツタモノノ、今日ハ全ク唯非動デナイモノニノミ加ハル。—「いろつやノイイ人」。—「いろつやノワルイ女」ナドノ類。

△いろ・と　(全平)名。((家弟))〔いろ(家)と(弟)ノ義〕　(一)オトウト。(二)〔轉ジテ〕イモウト。

いろ・ぜころ　(第三上)名。〔色所〕　ウハキツポイ所。—クルワナドノ多イ所。—近松、博多小女郎浪枕「カミガタハいろぜころ、定メテ深イワケガアラウ」。

いろ・ぜり　(第四上)名。〔色取り—(彩)り〕　イロドルコト。—ニドリ。—サイシキ。—ヤヤクシヨク。

△いろ・ぜう　(第二上)名。〔……鳥〕　色色ノ島。—呉竹集「いろどりトハ色色ノ島ヲイフ」。

いろ・どりのこ　(第三上)名。〔……の子〕　いろどりのことがみノ略。

いろ・どりのことがみ　((第七ガ))(第六上)名。〔……紙〕　紙ノ名。攝津ノ國名盤カラ出ルモノ。せんしノ一種。越前ノいろぼうしよ、大坂ノでしきがみ、修羅寺ノかきいろがみナドト同ジ類ヒノモノ。

いろ・ぜル　(第三上)他動、四段。〔色取る—(彩)る〕　(一)サマザマノ色デサイシキスル。—ニドル。—チヤクシヨクスル。(二)スベテ、顏ニ紅、オシロイ、マユズミ、ナドヲ塗ル。—源氏「額ガミヲヒキカケツツ、いろどりタル顏ヅクリヲヨクシテ、ツチフルマフメリ」。

◎○いろどる月。—九月ノ異名。木ノ葉ナドガイロヅク所カライフ。

△いろ・なぐさ　(第四ク)(……)名。〔色無草〕　松ノ異名。

いろ・なほし　((第四オ))(……)名。〔……直し〕　スベテ、白カラ轉ジテ色ノアル着物ニ服ヲ着カヘルコト。主ニ婚禮後、或ハ產後白小袖カラ色ノアル小袖ニウツル時ニ云フ。—奥女中袖鏡「婚姻ノ時いろなほし、前ハ總銀ニ鶴、龜、松、竹ヲ畫クナリ」。

△いろ・ぬ　(全平)名。((家姉))〔いろ(家)あね(姉)ノ義〕　(一)アキ。(二)ナニ。

△いろ・ね　(第二上)名。〔色音〕　スベテ、色ト音ト。—耳底記「花鳥ノいろね」。

△いろ・は　(……)名。((家母))〔いろ(家)は(母)ノ義〕　ハハ。—日本紀「カヅいろは哀レト見ズヤ」。

いろ・は　(……)名。〔いろは—以呂波〕　(一)日本ノ假名、四十七文字ノ稱ヘ。初メノ三字ヲ取ツテ名付ケタモノ。いろはにほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみし、ゑひもせす。諸行無情是生滅法ノ意ヲ和譯シテ空海ガツクツタモノトイフ。(二)いろはうたノ略。

●いろ・は　(……)根。〔……〕　〔子供ニ始メテ書ヲ習ハセルトキ、通常いろは四十七字ヲ假字デアタヘルコトカラ轉ジテ〕スベテ、初歩ノヤサシクアルコト。—「其ノ位ノコトハいろはダ」。

いろ・はうた　(第三上)名。〔……歌〕　いろは四十七文字ノ歌。*いろは第一解義參考。

いろは・がな　((第四ガ))(……)名。〔……假名〕　ひらがなト同ジモノ。

いろは・がるた　((……))(第四上)名。〔……骨牌〕　いろはたんかヲカルタニ書キ、頭字ヲいろはがなデ一ツツ記シ、一方ノ單歌ヲ讀メバ、其頭字ノアル札ヲ見付ケテ取ルアソビノ道具ノ名。日本ノかるたノ一種。主ニ子供ガ弄ブ。*いろはたんか參考。

いろはたんか　(……)名。〔……短歌〕　いろは四十七文字ノ字音ヲオノオノアタマニ一ツツ付ケテ、短クタトヘノヤウニシタ謠。オモニ修身ノ目的ヲ以テ作ツタモノヲかるたニシテ子供ニモテアソバセル。

其單歌ノ例一二ヲアゲレバ、いヌモアルケヤ梯ニアタル、ろンヨリ証據、はナヨリダンゴ、にクマレツニ世ニハバカル、ほネヲリ損ノクタビレマウケ、ノ類ヒ。

いろは・ぼたん　(……)名。〔……牡丹〕　濃木ノ名。ぼたんノ下等ナモノ。主ニツギキノ臺ニ用ヰル。—ダイキボタン。

いろは・もみぢ　(……)名。〔……紅葉〕　もみぢノ一種。葉ノワカレメガ七ツニ割レタモノ。「いろはヲ子供ニ與ヘテ習ハセル時ニハ、便宜上四十七字ヲ七ツ宛ニワケル所カラ、其ヒトクギリノ七ツニ數ガ似テ居ルト云フ所デ付ケタモノ」。

△いろフ　((第三ウ))(第二上)自動、四段。〔色ふ〕　〔いろ(色)ヲハタラカセタモノ〕　メウツリガスル。

○いろフ　(……)(……)他動、下二。〔……〕　色ノ比較ヲ加ヘテ、サラニウルハシクスル。

○いろフ　((……))(全平)他動、四段。〔綺ふ〕　(一)カカリアフ。—トリアツカフ。—源氏「いろひツカフマツル人ナレバ」。(二)〔轉ジテ〕口ヲ出ス。(三)〔轉ジテ〕オモチヤニスル。—イヂル。(四)〔誤ツテ〕(辭ふ)イナム。

△いろ・ふし　(……)名。〔色節〕　ハレガマシイコト。—ハレワザ。—枕ノ草紙「イミジキいろふしト思ヒタル」。

○いろ・ぶみ　(第二上)名。〔……文〕　えんしよト同ジモノ。

いろへ　(全平)名。　草ノ名。さぼてんノ一名。

いろ・ぼうしよ　((第五、六合))(第三上)名。〔色奉書〕　いろぼうしよがみノ略。

いろ・ぼうしよ・がみ　((……第七ガ))(第五、六上)名。〔……紙〕　筑前、又ハ越後ノ國カラ出ルぼうしよがみノ一ツ。色ヲ付ケテ、ス

イタモノ。

いろ・め　（第二上）名。〔色目〕　（一）ムカシ、着物ノ色アヒニ用ヰタ名目。—「カサネノいろめ」「アヤノいろめ」。（二）イロメカシイ眼ヅカヒ。—ナガシメ。—シツハ。—「いろめヲツカフ」。（三）△スベテ心ニ思ッタコトノ外部ニアラハレル樣子。—キサシ。—シルシ。—近松、釋迦如來誕生賀「太子モ發心ノいろめヲ人ニサトラレジト、マガキニ打チ寄リテニッコト笑ヒ」。

○いろ・めかし　（第四上）形。〔……めかし〕　イロメク姿デアル。—イロゴノミデアルラシイ。—アガアダシイ。—ウハキラシイ。—イロケガアル。—源氏「いろめかしうナヨビタマヘルヲ」。

○いろめかし・さ　（……）名。〔……さ〕　イロメカシクアル度合ヒ。

いろ・めく　（第三上）自動四段。〔色めく〕　（一）色ガサエル。—色ガハナヤナシク見エル。—續後撰集「マドロマデヲヲノミヅ鳴ク秋ノ花、いろめく秋ハスギニシモノヲ」。（二）○色ヲコノム ラシクアル。—源重之「クチナシヤ君ガ園ニハシゲルラン、いろめくナカニイラヘセジトヤ」。（三）マケイロガアラハレル。—「歟ハいろめきタリ」。

△いろ・も　（全平）名。〔家妹〕〔いろ（家）いも（妹）〕　イモウト。

●いろ・もの　（第二上）名。〔色物〕　人情バナシ、ソノ他スベテヤハラカイハナシ。寄席ノ語。かうしやくニ對シテイフ。

△いろり　（全平）名。〔色利〕　スベテ、美ルモノニ加ヘテ味ヲ添ヘルタネ。—ダシ。—センジ。—ニトリ。「だし參考」。—「カツヲノいろり」。—「豆ノいろり」。

いろ・わけ　（第四上）名。〔……分け〕　（一）イロドリヲシテ區別スルコト（地圖ナドニイフ）。（二）〔轉ジテ〕スベテ區分スルコト。—ブル井ワケ。

いろ・え　（全平）名。〔……繪〕　（一）スベテ、色ヲ付ケタ繪。—サイシキシテアル繪。（二）刀劍ノカザリナドニ金銀ヲホリ込ンダモヤウ。

○い・わ　（第二ヲ）（第一上）名。〔以往〕　（一）イゴ。—コレカラサキ。—コウライ。（二）〔誤ッテ〕イゼン。—コレカラマヘ。—クワコ。

い・わう　（……）（全平）名。〔硫黃〕　（一）ゆわうト同ジモノ。（二）〔ツケギニハ必ズ硫黃ヲ付ケタ所カラ轉ジテ〕　ツケギ。

○い・わう　（……）（第一上）名。〔醫王〕〔醫者ノ王〕　やくしト同ジモノ。

いわう・さう　（……、第四ソ）（全平）名。〔硫黃草〕　草ノ名。高サ二三尺。葉ハやなぎニ似テ、五瓣ノ小サナ黃イロイ花ガ咲ク。—ヤナギサウ。—クサレダマ。

△いわ・く　（第二上）自動〔下二〕〔靈ク〕　いはくト同ジ語。—源氏「心ナグニいわけテキコユルハ」。—同（夢）ニモいわけタルオン振ル舞ヒアラバコソ」。

◎一說ニハ此ノ假名ヅカヒモタシカデアルト云フ。但シアマリウクラレヌ。

いわく　（全平）自動〔下二〕　タダチニオドロク。—オビエル。—日本紀、驚駭訓、イワケテ」。

○いわけ・なさ　（第四上）名。〔靈氣無さ〕　イワケナクアル度合ヒ。

○いわけ・なし　（……）形。〔……し〕　いはけなしト同ジ語。—源氏「いわけなくオハシシトキヨリ見タテマツリ」。

いわし　（全平）名。〔鰯＝鰮〕〔よわし（弱）ノ義〕　東ノ海ニコトニ多クアル魚。形ハあぢニ似テ小サクテ丸ミガアリ、コケハ細カク、脊ハ青黑ク、腹ハ銀色デ、脂ガ多ク、大キイノハ八九寸モアル。性質ハさんまナドト全ジク非常ノ敗デ群レテ行ク。水ヲ出ルト早ク死ヌ。油ノ多イ故アブラヲ取リ、干シテホシカトシテ肥料ニシ、生マナノハ燒キニシ、スリミニシ、酢入レニシ、聚漬クナドニシテタベル。—オムラ。—ムラサキ。—オホイワシ。—オホソ。—キヌカツギ。—カラガキ。—ヤスラ。—和名抄「鰯、以和之」。—市川白猿、老ノ樂ミ「ムラサキ、生いわし」。—蜀山人、俗耳鼓吹「ドンブリ、いわし、ヌタ、トウガラシミソ」。

◎いわしノクロヅケ。—（伊豫ノ名產、黑クツケタいわし）。

いわしくぢら　（第四上）名。〔……鯨〕　南ノ海ニ非ルくぢら。胸ト腹トノ皮ガタテノスヂニナリ、スノコニ似タ處カラ、スノコガハト云フ。他ノくぢらトチガッテ脊ニヒレガアリ、アブラモ少ナク、口ノヒゲモ短カク、コトニ鰯ヲ好ミ、ソノムラガル處ニハ大抵ツイテマハル。—カツヲクヂラ。

い・ゐき　（第一上）名。〔異域〕　チガツタ國。—イコク。

い・ゐぢゆう・きやう　（第三、四合、第六キ、第七ロ、第六、七合）（第一上）名。〔異位重行〕　ムカシ、公事儀式ナドノ時公卿タチガ內裏ノ庭ニタチナラブ、ソノナラビカタノトナヘ。〔位ハチガッテモ行列ガカサナリ並ブトノ義〕。—延喜、內裏式「元正會式、親王以下、參議、非參議三位以上一列……異位重行」。

△いを　（第二上）名。〔魚〕　うをトオナジモノ。—和名抄「魚、和名宇乎、俗云伊遲」。

いを　（……）名。〔……〕　魚ノ名。ふなノ一種。身ハ丸ク、とひニ似タモノ。—ナルヲ。—オホニコロ。—マルブナ。

△いをうり　（第四上）名。〔……賣り〕　うをうりトオナジ語。—サカナヤ。

△いをさし　（第三ク）（第二上）名。〔……串〕　魚ヲヤク時ニツカフ串。—ツヲグシ。

いをすき　（全平）名。〔……鋤〕　草ノ名。春、フルネカラ生ヘル。莖ハ圓ク四五尺ニモソヒ、葉ハめぢさゐノヤヤ長イヤウナモノデ、ナメラカニ見ヤハラカク、夏、五瓣ノ白イ小サナ花ヲツケ、後リゆうのひげノ實ノヤウナ葡萄色ノ實ガナル。スキキノ轉ト云フ。—ヤマゴバウ。—タウゴバウ。—イヌゴバウ。—ジャコスキ。

△いをつり　（第四上）名。〔……釣り〕　魚ヲツルコト。

△いをとり　（……）名。〔……捕り〕　スベテ、魚ヲトルコト。

△い・をな　（第二上）自動〔下二〕〔寢を寢〕〔い（寢）ね（寢）ノ義〕　ネル。—フス。—古今集「夢ニダニ逢フコトカタクナリユクハワレヤいをねヌ、人ヤツスルル」。

△いをの・め　（全平）名。〔魚の目〕　うをのめトオナジモノ。

△いをめ　（……）名。〔……目〕　いぼトオナジモノ。

いつ・か　（第二逼）（第一上）名。〔一家〕　（一）ヒトツノケンゾク。—「いつかノ整理」。（二）ソノ人ニカギル一種ノオモムキ。—イチリウ。—「擊齒自然ニいつかヲナス」。

いつ・かう　（……、第二コ）（全平）副。〔……向〕　（一）ヒトムキニ。—ヒタスラニ。（二）〔轉ジテ〕イッサイ。—スベテ。—不知足山人、聞キソ。—和名抄「魚、和名宇乎、俗云伊遲」。

いを　（……）名。〔……〕　魚ノ名。ふなノ一種。身ハ丸ク、とひニ似タモノ。—ナルヲ。—オホニコロ。—マルブナ。

△いをうり　（第四上）名。〔……賣り〕　うをうりトオナジ語。—サカナヤ。

△いをさし　（第三ク）（第二上）名。〔……串〕　魚ヲヤク時ニツカフ串。—ツヲグシ。

いをすき　（全平）名。〔……鋤〕　草ノ名。春、フルネカラ生ヘル。莖ハ圓ク四五尺ニモソヒ、葉ハめぢさゐノヤヤ長イヤウナモノデ、ナメラカニ見ヤハラカク、夏、五瓣ノ白イ小サナ花ヲツケ、後リゆうのひげノ實ノヤウナ葡萄色ノ實ガナル。スキキノ轉ト云フ。—ヤマゴバウ。—タウゴバウ。—イヌゴバウ。—ジャコスキ。

△いをつり　（第四上）名。〔……釣り〕　魚ヲツルコト。

△いをとり　（……）名。〔……捕り〕　スベテ、魚ヲトルコト。

△い・をな　（第二上）自動〔下二〕〔寢を寢〕〔い（寢）ね（寢）ノ義〕　ネル。—フス。—古今集「夢ニダニ逢フコトカタクナリユクハワレヤいをねヌ、人ヤツスルル」。

△いをの・め　（全平）名。〔魚の目〕　うをのめトオナジモノ。

△いをめ　（……）名。〔……目〕　いぼトオナジモノ。

いつ・か　（第二逼）（第一上）名。〔一家〕　（一）ヒトツノケンゾク。—「いつかノ整理」。（二）ソノ人ニカギル一種ノオモムキ。—イチリウ。—「擊齒自然ニいつかヲナス」。

いつ・かう　（……、第二コ）（全平）副。〔……向〕　（一）ヒトムキニ。—ヒタスラニ。（二）〔轉ジテ〕イッサイ。—スベテ。—不知足山人、聞キタイッサイ。—スベテ。—不知足山人、聞キ上手「スベテ庖丁デキラルルトコロ、イヤハヤアンマリセッナサニヨバッタケレド」。

いつかうニ聲ガデマセナンダ」。

いつかうた　（……）（……）副。〔……に〕　前トオナジ語。

いつかう・しゆう　（……、第五、六合）（第三上）名。〔……宗〕　佛教ノ一ツ、淨土宗ノ一派、龜山天皇ノコロ親鸞トイフ僧カラハジマル。—ジャウドシンシュウ。—シンシュウ。—モントシュウ。

▲いつかき・の・は　（第二逼）（第五上）名。〔……佐渡ノ方言。木ノ名。うこぎノ一名。

いつ・かく　（……）（全平）名。〔一角〕　（一）北極ニ居ル海獸ノ名。くぢらノタグヒ。カタチハすなめりニ似、腹ハ白ク、脊ハ黑クテ斑ガアリ、齒ハナク、上アゴカラダダマツスグニ二本ノ牙ガ出ル。一ツハ短カク、一ツハフトク長ク、チデレテ、質ハ白クキメゴマカデ象牙ニモマサル。長イノハ一丈アマリ、藥種ニシテ非常ニ珍重スル。—ウニコオル。（二）〔轉ジテ〕いつかくノッノ。

いつ・かく　（……）（……）根。〔……格〕　自分デ一ツノ格式ヲ立テルコト。—「いつかくニテ人ニシタガハズ」。

いつ・かけ　（……）（……）名。〔沃懸け〕〔いかけノ音便〕　（一）いかけ（沃懸）トオナジモノ。（二）スベテ、ツハモノノフチナドニ銀ヤ錫ナドノ金屬ヲキセカブセルコト。—蜀山人、俗耳鼓吹「八幡キチ、蟻色、いつかけ」。

いつかけ・ぢ　（……）（……）名。〔……地〕　いかけぢノ音便。

いつかちゆう　（……、第四、五合）（第三上）名。〔一家中〕　武家デ云ッタ語。スベテ一家ノウチニコモッタダケノモノ。—「赤穗いつかちゆうノ混人ドモ」。

いつ・かど　（第二逼）（全平）副。〔……角〕〔ひとかどノひとヲ音讀シタモノ〕　カクダンニ。—ジュウブンニ。「いつかど役ニ立ッ」。

●いつかな　（……）（第三上）接。　いかなト如何ナノ音便。

いつかんばり　（……）（全平）名。〔一閑張り〕〔飛來一閑トイフ人カラハジマッタモノ〕　一種ノ塗リカタ、紙張リノ上ヲウルシデ塗リカタメタモノ。机、茶筒、ソノ他イロイロノ道具ニホドコス。

いつ・き　（……）（第一上）名。〔……擬〕　（一）△中古ノ語。ヒトムレノ軍勢。（二）〔後世轉ジテ〕土民ノムレ。「百姓いつき」。（三）〔轉ジテ〕不平ノ破裂（百姓ナド）。—「いつきヲオコス」。

いつき・うち　（……）（第三上）根。〔……擲打ち〕　ヒトリヅツ順々ニ珠數ツナギニナッテ馬ナドヲウタセテ行クコト。—淺井了意、東海道名所記「宇都ノ山ノタフゲハ道セバクいつきうちニトホル難處ナリ」。

●いつき・うち　（……）（……）名。〔……〕〔前ノ語カラ轉ジテ〕　一人ヅツノタタカヒ。—「いつきうちノハレノ勝負」。

いつ・き・たう・せん　（……、第四ト）（第一上）句。〔一騎當千〕　ヒトリノ力ガ千人ニモアタルヤクアル。—「いつきたうせんノ勇者」。

▲いつきに　（第二逼）（全平）副〔ぢつきにノ轉訛〕。　チキニ。—直ニ。オモニ關西デイフ。—「いつきにイナウ」。

++いつ・きよ　（……、第三、四合）（第一上）名。〔一驚〕　タダヒトタビコロミルコト。—「いつきよシテ功ヲ奏ス」。

いつ・きよう　（……）（第三、四上）名。〔……興〕

一ツノオモシロイコト。—「コレモ亦いつきよう」。

いつきん・どめ　（（第二逼））（全平）名。（……斤染め）　ソメカタノ名。いつとんどめトオナジモノ。

いつ・くわい・き　（（……、第三、四合））（第三、四上）名。（……回忌）　人ガ死ンデ後、翌年ノソノ月ノソノ日ニアタル日。—イッシウキ。—イッセイキ。—イッス井キ。

いつ・け　（（第二逼））第一上）名。（……家）　同シ家スヂ。—イッカ。—「いつけ親類」。

▲いつけ・さう　（（……、第四ソ））（全平）名。　撰前ノ方言、草ノ名。いへにれノ一名。

++いつ・けつ　（（第二逼））（……）名。（一決）　一ツニキメ、又ハキマルコト。

いつ・けん　（（……））（……）名。（……件）　●ソノモノヲ言ハズニダダソレトナク指シシメス語。—アノコト。—イチデウ。—イチギ。—「いつけんデトウトウヤラレタ」。

●いつ・けん・や　（（……））（第三上）名。（……軒家）　ハナレテ一軒ダダアル家。—ヒトツヤ。

いつ・こ　（（……））（第一上）名。（……己）　（一）自分ダケ。—「いつこノイケン」。

いつこ・とう・から　（（……、第五コ））（第三上）名。（……口縛）　菓子ノ名。ウドンコヲコネ、中ニ黒砂糖ヲ入レ、カタツラヲヤイタ菓子。　今日ハ絶エテ無イ。

●いつ・こく　（（第二逼））（第四上）根。（……國）　いつこくものノ略。イッコクモノノ性質デアルコト。—谷醜、愚城買二筋道「カウイツヤヤア可笑シラシイガ、イママデ金デ女郎ヲ買ツタコトノナニガ、ラマヘガヒゴロいつこくナ根性ガホカノモノトチガツテオモシロイカラ咄シニノル」。

いつ・こく・せん・きん　（（……））（全平）句。（……刻千金）（蘇東坡ノ句、春宵一刻價千金カラハジマツタモノ）　一刻ノ間ニ千金ノアタヒガアル。

いつこく・もの　（（……））（第六上）名。（……國物）（ムカシいつこく（一國）ヲトザシテ人ト交際ヲセヌト云フ處カラオコル）　（一）グウコデ人ノ說ヲキカヌ人。（二）轉シテ容易ニ腹立チツポクアル人。

いつこん・どめ　（（……））（全平）名。（……斤染）　べにノ花一斤デ一匹ノ絹ヲソメル、ソノ染メカタ。クレナ井色ノキハメテウスイモノ。—イッキンデメ。—ヤウイロ「こんハきん（斤）ノ轉」—山槐記「治承三年茶染一斤染」。

いつ・さい　（（……））（第三上）副。（……切）　コラズ。—スベテ。—眞言傳「一切我今皆懺悔」。

いつさい・きやう　（（……、第六ヨ、第五、六合））（全平）名。（……經）　佛經ノ書物ノ總名。經、律、論ノ三藏ヲスベテイフ。—枕ノ草紙「いつさいきやう供養セサセタマフ」。—平家物語「いつさいきやう七千餘卷」。

いつさい・しゆじやう　（（第二逼、第五、六合、第八ヨ、第七、八合））（第三上）名。（……衆生）　佛敎ノ語。スベテ生キトシイケルモノ。—イッシンフラン。ささまい參考。

○いつ・し　（（……））（第一上）名。（……子）　ヒトリゴ。

いつ・し　（（……））（……）名。（……紙）　（一）一枚ノ紙。—紙一枚ノ書物。（二）轉ジテ同横ノ紙。—「いつしニウッス」。

++いつ・しう　（（……））（全平）名。（……周）　（一）ヒトマハリ。—廻、森宮式「行陽一周」。（二）「轉ジテ」マル一年。

いつ・しうき　（（……））（第二上）名。（……忌）　オトトヒ。—オトツヒ。—キノフノキノフ。

いつさく・てう　（（……、第五ヂョ））（全平）名。（……朝）　オトトヒノアサ。

いつさく・ねん　（（……））（……）名。（……年）　オトトシ。—キヨネンノキヨネン。

いつさく・ばん　（（……））（第四上）名。（……晩）　オトトヒノヨル。—イッサクヤ。

いつさく・や　（（……））（……）名。（……夜）　前トオナジ語。

いつさく・ゆふ　（（……、第六ウ））（……）名。（……夕）　オトトヒノユフガタ。

いつさつ　（（……））（……）名。（一札）（カキモノ一枚ノ義）　ショウモン。—カキモノ。—近松、博多小女郎浪枕「惣七ドノニハロアヒヤウケモアルシン、後日ノチンニゴシンプノいつさつ」。

●いつ・さん　（（……））（第三上）根。（……散）　ヒトムキ。—ヒトスヂ。

●いつさん・に　（（……））（……）副。（……に）　イチモクサンニ。—「いつさんにニゲル」。

++いつさん・ばしり　（（……））（第五上）名。（……走り）　イッサンニ走ルコト。

いつ・さんまい　（（……））（第三上）名。（一三昧）　佛敎カラ出タ語。專一無上ノさんまい。ソノコトニカカハツテ一念ヲコメルコト。—イッシンフラン。ささまい參考。

○いつ・し　（（……））（第一上）名。（……子）　ヒトリゴ。

いつ・し　（（……））（……）名。（……紙）　（一）一枚ノ紙。—紙一枚ノ書物。（二）轉ジテ同横ノ紙。—「いつしニウッス」。

++いつ・しう　（（……））（全平）名。（……周）　（一）ヒトマハリ。—廻、森宮式「行陽一周」。（二）「轉ジテ」マル一年。

いつ・しうき　（（……））（第二上）名。（……忌）

つくわいきトオナジモノ。

いつ・しき　（（……））（全平）名。（（一式））　ノコラズノモノ。—「いつしきトル」。

いつ・しきうでん　（（……、第四ソ））（第一、及、第四上）句。（……子相傳）　子ニノミタダヒトリツタヘル（秘傳ナドニイフ）。—「いつしきうでんノ術」。

いつ・しはん・せん　（（第二逼））（第一上）名。（……紙半錢）　（一）紙一枚錢半文。（二）轉ジテ、オモニ」スベテ、ワヅカナモノ。—「いつしはんせんノ利ヲアラソフ」。

いつ・しん　（（……））（第三上）名。（……心）　ヒトスヂノココロ。—イチネン。

いつ・しん　（（……））（……）名。（……身）　身ヒトツ。

++いつ・しん　（（……））（全平）名。（……新）　ヒトツアラタマルコト。—「天下いつしん」。

いつしん・ふらん　（（……））（第三、及、第五上）句。（……心不亂）　心ヲ一方ニソソイデミダレヌ。—近松、心中二枚繪草紙「いつしんふらんニカケスズリノ金ニシヤウネヲウバハレテ」。—不知足山人、聞キ上手、「旦那ハ巷ニウチカカッテ、いつしんふらんニワキメモフラズ」。

いつ・しやう　（（……、第四ヨ、第三、四合））（全平）名。（……生）　ウマレテカラ死ヌマデノアヒダ。

いつ・しやう・がい　（（……、第六ガ））（第三、四上）名。（……涯）　シャウガイ。—イッシャウ。

いつ・しやうぞく　（（第二逼、第四ヨ、第三、四合））（……）名。（一裝束）　甲冑ノ五品ヲヒツクルメライフ名目。コテ、ハイダテ、カブト、ハチマキ、スネアテノ五ツ。

いつ・しやう・けんめい　（（……））（第六上）根。（……生懸命）　いつしよけんめいトオナジコトバ。

○いつ・しよ　（（第二逼、第三、四合））（第一上）名。（（……書））　アル書物。—「いつしよニ曰ク」。

いつ・しよ　（（……））（全平）根。（……緒）　ヒトマトメ。—モロトモ。

いつ・しよ・に　（（……））（……）副。（……に）　前ノ副詞ニ。—西鶴、若風俗「トシツキノオンヨシメサザいつしよに御身ヲ捨テタミオボシメサザいつしよに御身ヲ捨テタマヒテモ」。

いつ・しよう・ます　（（……））（第三、四上）名。（一升桝）　マスメノトナヘ。一升ダケハイル桝ノ名。木ノ厚サ三分五厘、内方四寸九分、深サ二寸七分一厘、積六萬四千八百二十七。ささしよう參考。

いつしよ・けんめい　（（……））（第五上）句。（……所懸命）　一ケ所タマハツタ知行ヲイノチニカケテタノミニスルコト。—庭訓往來「一處懸命」。

いつ・しよ・ふ・ぢゆう　（（……、第六、七合））（第一上）句。（（……不住））　ヒトツトコロニ定マツテスマヌ。—「いつしよふぢゆうノヤセ涙人」。

いつすん・ぼし　（（第二逼））（第三上）名。（一寸法師）　スベテ、セイノヒクイ人ヲアザケッテイフ語。—西鶴、二代男「アル夜マタ道頓堀ノ火屋ニいつすんぼしノゲガキシテ井ルヲ」「ぼしハふし（法師）ノ義ムカシカラ口クセニ物ノシリヘニッケタモノ。同ジ法師ノ緣カラシテばう（坊）トモ轉ジ、即チしわんばう、せちべんばう、けちんばう、とちめんばう、うろたへばう、つんばうナド、又ハふしデハなみだはふし、ことばふし、れとばふし、かにふばし、かげぼふし、れきあがりとばふしナドトイフ」。

いつすんぼら　（（……））（第三上）名。（……螺）　介ノ名。ほらがひノ一種、キハメテ小サク、アイラシイモノ。

いつ・す・もの　（（……））（全平）名。（一種物）　ムカシ、アッタアヅビノ名。魚ヲヒトイロッツ持チヨッテ會ヲシテアソブコト。

いつ・すね　（（……））（第三上）名。（……水）　ヒトタラシ。—一滴。—「酒ガいつすねモナイ」。

いつ・すねき　（（……））（……）名。　いつくわいきトオナジ語。一周忌ノ轉訛。

いつ・せ　（（……））（全平）名。（（一世））　（一）イチダイ。—イッシャウ。—イッシャウガイ。（二）△オヤ子トモニタダ一代デアルコト。—「いつせノ親王」。

いつ・せい　（（……））（……）名。（……）　ソノコロ。—ソノトキ。—イチダイ。—「いつせいノ英雄」。

いつせ・いちだい　（（……））（第五上）名。（……一代）　イッシャウガイノウチデカギリトシテ行フコト。—「いつせいちだいノ狂言」。

いつ・せき　（（……））（全平）名。（（一夕））　（一）ヒトバン。（二）ヒトバンノコラズ。（三）アル夜。

いつ・せつ　（（……））（……）名。（……說）　（一）ヒトツノ說。（二）アル說。

●いつ・せつ　（（……））（……）副。（……切）　「いつさいノ（一切）ノ音ヲソノママ漢音ヨミニシタモノ」ノコラズ（下ニ反語ヲ持ツ）。—「いつせつ知ラヌ」。

いつ・せつ・たしやう　（（……、第七ヨ、第六、七合））（第五上）句。（……殺多生）　佛敎ノ語。一人ヲ殺シタタメニ多クノ人ヲイカス。—「破邪顯正一殺多生」。

いつせ・の・ぐあんじ　（（第二逼、第五、六合））（全平）名。（……世の源氏）　天皇ノミコガ臣下トナッテ源氏ヲ賜ハッタモノ。—イ

ツセノ名ジ。—源氏「しつせのこそんじ
ヤタ鶴言大臣ニナリテ後ニ」

しつせ・の・みやこ ((第二通))(……)名。{……}
しつせのこそんじトオナジモノ。

✝しつ・せん ((……)(第三上)名。{(一)戰}} (一)
ヒトツノ戰ヒ。(二)タタカヒ。

しつせん・ぎり ((……)(第五ギ)(全平)名。{……鐵
切り}} ムカシノ刑罰ノ名。斬持ノ鐵ヲ
アリタケ取リアグルコト。

しつ・せん・ぞ・ばら ((第二通)(第八イ))(第
六上)名。{……千度幾ひ}} バラクノコト
バヲ千タビヨンデ罪ヲバラフコト。

●しつそ ((第二通)(全平)副。{(一)(……)}} (一)ふ
シロ。—トテモノコトニ。(二)[轉ジテ]後
世(オモニ天保文政頃)ドウシテモ—ドコ
カ。—ドコヤラ。—谷國。恒城買二筋道ニし
つそスンノ國ハイキタヨ。

しつ・そう ((……)(……)名。{(一)度}} ヒトキ
バ。

しつ・そう ((……)(……)副。{……} ヒトキバ。—
「しつそうアルベ」

しつそく・しつせん ((第二)及第六通))(第
五上)名。{(一)東一本} 紙一束、扇一本ノ
異名。人ニ進上スル時ムカシ言ツタ語。
—「しつそくしつせんヲキル」

しつそく・をり ((第二通))(全平)名。{……折り}
馬ニ乘ルヤウニヤツリ馬アソリヤハスコ
ト。ムカシ行ハレタ一ツノ禮「をりハヲレ
ヤガル義」

しつ・たし ((……)(……)又(……)名。{(一)體}}
オナジカラダ。—「イチレンしつたし」—
「二心しつたし」

しつ・たし ((……)(……)副。{……} (一)オナジ
ヤウデ。—ヨコラズ。—感嘆詞「しつたし」ニ
ハ言フニ及バズ中通リトテ三度
ニ非ル役者ノ分ハ」 (二)●[轉ジテ]モト
ヲイクバ。—三世相錦繡文章「しつたし」ソ
ナタノ病ヒノモトトモ云フベシ」

しつたし・に ((……)(……)副。{……に}} 前ノ語
ノ第二解義トオナジ語。

しつ・たち ((……)(第二)(第三上)名。{……刀}}
(一)一本ノカタナ。(二)ヒトタチ。—ヒト
カタナ。—「しつたちニキリタフス」

しつ・たち・うち ((……)(全平)名。{……洗}}
刀剣ノ一派ノ名。德川氏ハジメ、小野一刀
流ガハジメタ洗義ツバハ小サイノヲ用ヒ
ル時、受ケルヨリハ所リヨコハ所ホ
ハ洗ト反對ノ意ヲナス。

✝しつ・たち・うち・たん ((……)(第六、七合)(第
七ヨ))(第三上)句。{……兩斷}} 一刀デ他
ノ體ヲ二ツニキリワル。

しつ・たん ((……)(第二通))(第三上)名。{(一)嫌}}
カタハシ。—「しつたんヲ以テ非測ス」

しつ・たん ((……)(全平)副。{……旦}} (一)○
ヒトツノアサ。(二)イチヤ。—チヨツト。
—ヒトマツ。—三世相錦繡文章「自慢シテ
居テホドモナクしつたんソナタヲ世間ニ
ソシテコナカナンタ六三ナントヤラノ御身
ノコトナンギ」—近松「吉野都女楠」「七ヒニ
都ヲアケワタシ、敵ニしつたん勝チヲアア
タク」

しつ・たん・し ((……)(第三上)減。{……潤指}}
(一)○ヒトタビ指ヲハジクコト。(二)[轉
ジテ]僅カノ間。—イツシニカン。

✝しつ・ち ((……)(全平)名。{……致}} ヒトツ
ニナルコト。—レンガフ。—ガフドウ。—キ
ヨウドウ。—「心しつちス」

◀しつち ((……)(……)副。{……}}[しつち(一)ノ
コトニスグレテ。—モツトモ。—勝ル毛ノ解
ヲイクバ。—三世相錦繡文章「しつたし」ソ
ナタノ病ヒノモトトモ云フベシ」

しつたし・に ((……)(……)副。{……に}} 前ノ語
ノ第二解義トオナジ語。

しつ・たち ((……)(第三)(第三上)名。{……刀}}
(一)一本ノカタナ。(二)ヒトタチ。—ヒト
カタナ。—「しつたちニキリタフス」

しつ・たち・うち ((……)(全平)名。{……洗}} 刀剣
ノ一派ノ名。德川氏ハジメ、小野一刀
流ガハジメタ洗義ツバハ小サイノヲ用ヒ
ル時、受ケルヨリハ所リヨコハ所ホ
ハ洗ト反對ノ意ヲナス。

✝しつ・たち・うち・たん ((……)(第六、七合)(第
七ヨ))(第三上)句。{……兩斷}} 一刀デ他
ノ體ヲ二ツニキリワル。

しつ・たん ((……)(第二通))(第三上)名。{(一)嫌}}
カタハシ。—「しつたんヲ以テ非測ス」

しつ・たん ((……)(全平)副。{……旦}} (一)○
ヒトツノアサ。(二)イチヤ。—チヨツト。
—ヒトマツ。—三世相錦繡文章「自慢シテ
居テホドモナクしつたんソナタヲ世間ニ
ソシテコナカナンタ六三ナントヤラノ御身
ノコトナンギ」—近松「吉野都女楠」「七ヒニ
都ヲアケワタシ、敵ニしつたん勝チヲアア
タク」

しつ・たん・し ((……)(第三上)減。{……潤指}}
(一)○ヒトタビ指ヲハジクコト。(二)[轉
ジテ]僅カノ間。—イツシニカン。

✝しつ・ち ((……)(全平)名。{……致}} ヒトツ
ニナルコト。—レンガフ。—ガフドウ。—キ
ヨウドウ。—「心しつちス」

◀しつち ((……)(……)副。{……}}[しつち(一)ノ
コトニスグレテ。—モツトモ。—勝ル毛ノ解

ヲ水カンオスクコノ紫藤ノ實ノハカガしつ
ちウメモセ。—個房語國「しつちヨク咲イ
タオイラガ櫻カナ」

しつ・ちゃら ((……)(第四ヨ)(第三)四合)(第三)
四上)名。ちゃノ類ノ魚。口ヒロク、ヨク人
ヲ食フモノ。

◀しつちゃら・つぶり ((……)(第六上)名。 阿
波ノ方言。鳥ノ名。にはノ一名。

◀しつちゃら・ぶくり ((……)(第七ク))(……)名。
豫前ノ方言。鳥ノ名。にはノ一名。

しつ・ちゃら・ら ((第二通)(第四ヨ)(第三)四
合)(第三)四上)名。{(一)帳羅} タダヒトカ
サネ、又ハ一枚シカ持タヌ時レノ者。—西鶴「
若風俗「マシテノウクハカしつちゃ
ら」ヲ取リタシテ、オモヒオモヒニタチ
イテ」

○しつちゃ・ゆ・はん ((第二通)(第三)四
合)(第六、七合)(第六、七上)名。{(一)探手牛}}
オヤニヒトナカニヒトノ間ノ長サニ又ソ
レガケノ長サノ半分ヲ加ヘタモノ。—平
家物語「しつちゃゆはんノ嶋陀ノ三
尊」

しつ・ちゆ ((第二通)(第三)四合))(第一上)
名。{(一)中} しつちゆ・ぶし ノ略。

しつちゆ・ぶし ((……)(全平)名。{……節}}
淨瑠璃節ノ一種ノ名。京都ノ人都一中ト
云フ人カラハジマル。モトハ一向宗ノ僧
デ、延寶ノ頃居タトイフ。三味線ニアハセ
テウタフモノデ、調子ハ甚ダシクイモノ。
—江戸節根元記「都一中元祿ノ頃オヒオ
ヒハヤレリ」。
◎コノ一中ト云フ人ノ名ニツイテハイ
ロノ說ガアル。山本土佐角太夫ノ弟
子デアツタモノガコレニナツタモノ
ヒ、又一中ハ淨瑠璃ノ外ニ物語ノ名人

ジ出テ、スグニ無クナル所カライフ」

●しつ・ど ((第二通))(……)名。{(一)德—(一)德}}
別ニアル一ツノ利。—「馬鹿ナカハリ甚馬
鹿ダケノしつどニハ若勞ガナクナル」

●しつ・ど ((……)(……)名。{……} ヒトツノト
ク。—ヒトツノ樂ケモノ。

しつど・しつし ((第二)及第六通))(全
平)句。{(一)得一失}} 一ツイヤコトト、一
ツワルイコトト。

しつど・たひ ((第二通)(第五イ))(第三上)名。
魚ノ名。形ハきんたひニ似テカラダ赤ク、
鱗毎ニ白イホシガアツテ、背ビカリガア
ル。長サ六七寸バカリノモノ。—シマダビ。

しつど・まち ((第二通))(……)名。{(一)斗桝}}
ハカリノ名。一斗ノ量ガハイルダケノ
桝。木ノ厚サハ六分、ウチカタハ一尺〇五
分、深サハ五寸九分一厘、積六十五萬一千
五百七十七—トヤマス。

しつ・ば ((……)(第一上)名。{(一)派}} (一)ス
ベテ、一ツノ流儀カラマタ別ニ出タ一ツ
ノワカレ。—イチリウハ。—「しつば」ヲ開ク」

◀しつば ((……)(……)副。{言つば}}[しつば(しつ
ゑ言)ノ第三變化(第一表參考)ノ轉訛]
芝居デイフ語。しつばト同ジ義。力ヲヨコト
メ、耳ニ立ツヤウニイフモノ。—「抑モコト
ノ始マリトしつば」

しつ・ぱし ((……)(全平)名。{(一)杯}} (一)スベ
テ、器ニ充分ニチタコト。(二)●[轉ジテ]
スベテノコトラズニ行キワタルコト。—谷
崎「傾城買二筋道」「コガヒダケ年しつばしし
十五両カ?」

●しつ・ぱし ((……)(第一上)副。{……}}[前ノ語カラ
轉ジテ] チヨツト。—ソレヒトツ。—スコ
シバカリ。—西鶴「一代女」「自髮ニツノ髮
後家ラシクツクリナシテ、しつばしい

ヒ、ヒ、ヒ、

ツカマスコトナレドモ」。
◎いつぱいクハセル。—（チヨツトダマカス）。

▲いつぱい（（……））（……）名。（……）　酒ノ異名。
いつぱい・いつぱい（（……）第六逼）（第五上）名。（……一杯）　（一）茶碗ニ一杯ヅツ計ツテ賣ツテ、即チいつぱいいつぱいト呼ビナシタ所カラ付イタ名」近イ頃マデ東京ナドノ市中ヲ賣ツテ歩イタさといりきんちやんノ呼ビ聲。　さといりきんちやん。
參考。（二）〔轉ジテ〕サトイリキンチヤン　いつぱいいつぱい。—「サトイリキンチヤン　いつぱいいつぱい。」

●いつぱい・きげん（（第二逼、第六ゲ）（……）名。（……機嫌）　酒ヲ飲ンダキゲン。—サカキゲン。—「いつぱいきげんノカラサワギ」。
いつぱい・さぎ（（第二逼、第六ギ）（第三上）名。（……鷺）〔肉ハ僅カデ、皿ナドニタツタ一杯シカナイトノ義」　さぎノ一種。最モ小サナモノ。—イツペイサギ。
いつ・ぱう（（第二逼、第三ボ））（……）名。（（一方））（一）ヒトツノハウ。（二）アルハウ。（三）イチヅ。—「他強いつぱう」。
いつ・ぱん（（第二逼）（全平）名。（（一般））　ノコラズ。—サウダイ。—イツトウ。—「世間いつぱんノコト」。
いつぱん・に（（……））（……）副。（……に）　前ノ副詞。
いつ・ぴつ（（……））（……）名。（（一筆））　（一）ヒトフデ。—イツポンノフデ。（二）ヒトフデ取ツテ書クコト。—「いつぴつ啓上仕候」。
いつ・ぴん（（……））（……）名。（（逸品））　スグレタシナ。—サイジャウノシナ。

●いつ・ぷうりう（（……））（第三上）根。（一風流）〔いつ（一）ふう（風）りう（流）〕ノ義〕　ヒトフウ變ハツタ流儀。—「いつぷうりうノ氣性」。
◎ヒトフウカハツタト云フダケナガラ、非常ヲカヤ立派ナ意ヲ持ツテノ場合ニハアマリ此語ヲツカハヌ。多クハ少シイヤシメテ云フ義ヲ持ツ。

▲いつ・ぷく（（……））（全平）名。（一腹）　オナジ腹カラ生マレルコト。
いつ・ぷく（（……））（……）名。（……服）　タバコ、又ハウスチヤ、又ハセンチヤノ異名。—「いつぷくイカガデス」。—「イソガシクテいつぷくヤルヒマモナイ」。
いつ・ぷく（（……））（第四上）名。（（……））　どく
ハラ。—オナジ腹カラ生マレルコト。
いつ・ぷく（（……））（……）名。（……立ち）　（一）人ノチカラヲタノマズ、自分ヒトリデコトヲスルコト。—ドクリツ。—「いつぽんだちノ藝者」。（二）〔轉ジテ〕スベテ、ヒトリデ、相手ノ無イコト。—コリツ。—近松、心中二枚繪草紙「いつぽんだちニテ候フト語リケルコソフシギナレ」。
いつぽん・ばし（（……））（第三上）名。（……橋）　タダ一本ノ材木ヲワタシテ、コシラヘタ橋。—マルキバシ。—ドクボクケウ。
いん（第一上）名。（印）　（一）スベテ、文字ヲ木石、玉、金ナドニホリツケタモノ。朱、又ハ墨デ、書キモノニ押シテシルシトスルモノ。—オシデ。—ハン。—インバン。（二）マタ眞言宗デ云フ語。指デ色色ノ形ヲコシラヘ、呪文ヲ稱ヘテ考ヘルコト。—「いんヲムスブ」。—「いんヲツクル」。
いん（……）名。（尹）　ムカシノ官職ノ名。
彈正臺ノカシラ。☆だんじやう參考。
いん（……）名。（陰）　（一）支那ノ理學ノ語ノヒトツ。易ノ語カラ出タモノ。スベテ、シヅンダ、アラハデナイ所ニ用ヰルモノ。（やう（陽）ノ對）。男ヲやうトスレバ、女ヲいんトシ、日ヲやうトスレバ、月ヲいんトスルタシ「南ヲやうトスレバ、北ヲいんトスルタグヒ。☆いんやう參考。（二）〇カクシドコロ。

サクラ、柳ナドヲタクサン植エルノヲ畧シテ一本植エタモノ。
いつ・ぽん・きやう（（第二逼、第六ヨ、第五、六合））（第三上）名。（（一品經））（一品經ノ異音）法華經二十八品ノ中、メイメイガ一ツヅツ分ケテ佛前デ讀ム其一ツノ稱ヘ。
（（第二逼、第五ソ））（全平）名。
いつぽん・さう（……本草）　草ノ名。ひきおこしノ一名。
いつ・ぽん・だち（（第二逼））（……）名。（……立ち）

●いん（（……））（……）名。（（……））　（一）カクレ居ルコト。（二）〔轉ジテ〕官ヲヤメ、又ハ家督ヲユヅリナドシテ、ヒマニナルコト。—西鶴、若風俗序「いんきよノオヤヂノ弄ビノタグヒナルベシ」。
いんきよ・じよ（（……））（第五、六合））（……）名。（……所）　インキヨシテ住ムトコロ。—インタク。
いん・きん（全平）名。（印金）　紗、絹ナドヘウルシト糊トデ紋ヲ押シ、上ニ金箔ヲ付ケタモノ。

いん（……）名。（淫）　男女交接ノトキ洩ラス精液。—セイエキ。—キミヅ。
いん（……）名。（因）　スベテ、コトノ成リ立ツモト。—オコリ（くわノ對）。
いん（全平）名。（音）　おん（音）ト同ジモノ。
いん・あく（……）根。（陰惡）　（一）スベテ、ハツキリトセズ、何トナクソコイヤナドノ惡イコト。
いん・あく（……）名。（……）　カクレテ現ハレヌアクジ。
○いん・い（第一上）名。（因依）　タガヒニ、モタレアフコト。—タガヒニタノミアフコト。
○いん・いん（全平）副。（殷殷）　支那ノ語ノママヲ用ヰテ雷ノヒビキヲ形容スル語。—ゴロゴロ。—インイント。
○いんいん・と（……）副。（……と）　いんいんト同ジ語。
いん・う（第一上）名。（陰雨）　モヤモヤトカキクモツテ降ルアメ。—「ツユノ頃ハいんう連日」。
いん・う（……）名。（淫……）　ナガアメ。—リンウ。
○いん・えい（全平）名。（風雅）　ダテ。—シソン。—バツソン。—チツヅキ。「平家ノいんえい九州ニアリ」。
いん・えん（……）名。（因緣）〔いん（因）即チ原因、モトノ義、えん（緣）即チタヨリノ義、コレニくわ（果）即チ結果、結局ノ義ト都合三色ソロヘテ一ツノナリユキガ成リ立ツト云フ。素ト佛教カラ出タモノ」。（一）チナミ。—ユカリ。—タヨリ。—インチン。（二）〔轉ジテ〕ユライ。—「其いんえん聞キタシ」。（三）〔轉ジテ〕スベテ定マツタコト。—サダマリヅク。—インチン。—「是レモ前ノ世ノいんえんナラン」。☆參考いん及ビえん。
いん・か（第一上）名。（允可）〔允可ノ字音〕ユルシ。—キヨカ（師匠カラナド藝術ニ付イテ出ルモノニイフ）。—「いんかノカウテイ」。
いん・かん（第三上）名。（印鑑）　（一）印形ノミホン。（二）〔轉ジテ〕スベテ、印ヲ押シタタガタ。
○いん・かん（全平）名。（殷鑑）　前ノ人ノシタ手本。—「いんかんアヤマズ」。
いん・き（第一上）名。（陰氣）　陰ノ氣。
●いん・き（全平）根。（……）〔前ノ語カラ、轉ジテ〕スベテ、ウツウツトシタコト。—氣分ノムスボレタコト。—イウウツ。—「いんきナシヤウブン」。
いんき（第一上）名。（墨汁—洋墨）　（一）〔英語Ink ノ轉訛〕（一）西洋諸國デ用ヰバジマツタ墨汁。（二）〔轉ジテ〕スベテ、墨デナイ色デモ墨汁ノ體裁ヲシタモノ。
いん・きやう（第四ヨ、第三、四合））（第一上）名。（陰莖）　男子ノ陰部。
いん・ぎやう（……。第三ギ））（第三、四上）名。（印形）　（一）印ヲオシタアトノシルシ。（二）〔轉ジテ〕イン。—インバン。—ハン。
いん・きよ（（第三、四合））（全平）名。（隱居）　○スベテ、カクレテ居ルコト。（二）〔轉ジテ〕官ヲヤメ、又ハ家督ヲユヅリナドシテ、ヒマニナルコト。—西鶴、若風俗序「いんきよノオヤヂノ弄ビノタグヒナルベシ」。
いんきよ・じよ（（……。第五、六合））（……）名。（……所）　インキヨシテ住ムトコロ。—インタク。
いん・きん（全平）名。（印金）　紗、絹ナドヘウルシト糊トデ紋ヲ押シ、上ニ金箔ヲ付ケタモノ。

▲いん・きん（……）名。　いんきんだむしノ畧。
いん・きん（（第三ギ））（第三上）根。（慇懃）　チンゴロ。—ライイ。
いん・ぎん（……）（……）名。（……）　ヨシミ。—マジハリ（男女ノナジミアヒナドニイフ）。—「いんぎんヲ通ズ」。
▲いん・ぎん（（……））（第一上）名。　いんげんノ畧。
いんきん・だむし（第五上）名。（陰金田蟲）〔きんハきん、たまノきん、いんハいんぶ（陰部）。いんなら（陰囊）ナドノいん」。　陰囊ニ出來ルたむし。
いんぎん・に（（第三ギ））（第三上）名。（慇懃）に　チンゴロニ。—ライイニ。—西鶴、一代女、「帶ヲモ解カズ、いんぎんにアシラヒテ、ソラヲイリナドシテ居ルヲ」。
▲いんぎん・まめ（（……））（……）名。　オモニ東京ディヲ語。いんげんまめノ轉訛。
いん・く（第一上）名。（印矩）　木デコシラヘタ曲ガリガヲノヤウナモノ。印ヲ捺ストキ定規トシテ當テテツカフ。
いん・く（……）名。　英語ノいんき（Ink）ヲ正則ニヨミナシタモノ。—インキ。
いん・くつ（全平）根。（陰屈）　（一）カクレテカガムコト。（二）〔轉ジテ〕ナイナイデアルコト。（三）又、轉ジテ〕キラビヤカデナイコト。
いん・くわ（（第三、四合））（第一上）名。（（……火））　オニビ。—キツネビ。—リンクワ。—「いんくわバツト燃エチリテ」。
いん・ぐわ（（第三ク。（……））（……）名。（因果））　（一）原因ト結果ト。（二）マヘニシタ業ノムクヒ。—近松、吉野都女楠「マヰル折リカラ出合ヒシハウヌラガいんぐわノキマブリ」。—端唄「ホレタガいんぐわトアキラメ

テ」。

いん・くわ・ふ　(〔第三四合〕)〔第三四上〕)名。〔印華布〕　さらさぬの一名。

いんぐわ・もの　(〔第三ケ〕)〔…〕)〔全平〕)名。〔因果者〕　ハクメイナモノ。

○いん・ぐわん　(〔…〕)〔…〕)名。〔陰丸〕　インナウノ中ニアル玉。＝睾丸。

いん・くんし　(〔第三上〕)名。〔隱君子〕　世ニアラハレズニ居ル君子。＝カクレテ居ル賢人。＝インシャ。

いん・けん　(〔全平〕)名。〔隱劍〕　(一)隱レタカタナ。(二)〔轉シテ〕ワキザシノ一名。人ニ見エヌヤウニ佩ビタトコロカラ云フ。

＋＋いん・けん　(〔…〕)名。〔引見〕　(一)引キヨセテミルコト。(二)〔轉シテ〕目前ニヨビヨセテ對面スルコト。「新參ノ浪人ヲいんけんシテ」。

いん・げん　(〔第二ケ〕)〔第一上〕)名。〔隱元〕　(一)いんげんまめ、又ハいんげんささげノ略。(二)▲伊豆及ビ京坂ノ方言。豆ノ名。ふぢまめノ一名。

○いんげん・ささげ　(〔…〕)〔第七ケ〕)〔第五上〕)名。〔…大角豆〕〔隱元禪師ガ始メテ明國カラ持ツテ來タトイフ處カラツイタ名〕豆ノ一種。苗モ葉モふぢまめニ似テ小サク、毛ガナク、花ハ白ト紫トノ二イロデ、白イ花ノハ豆ハ白ク、紫ナノハ豆ガ茶色、ヨク熟セヌウチノヤハラカイノハ莢ノママ煮テタベル。☆いんげんまめ參考。

いんげん・な　(〔第三ケ〕)〔第三上〕)名。〔…菜〕　(一)菜ノ一種。あぶらなニ似テ色ハウスク、莖ハ白ク、高サ二尺餘ニモソダツ。冬鹽漬ケニシテ食フ。東京三河島ノ產ガ最上ト云フ評ガアル。＝ツケナ。＝タウナ。＝シロナ。＝ミヅナ。(二)又、草ノ名。はばたんノ一名。

いんげん・まめ　(〔…〕)〔第三上〕)名。〔…豆〕　(一)いんげんささげノ一名。オモニ東京地方デイフ。＝タウササゲ。＝シナノマメ。＝ゴグワツササゲ。＝ニドフロウ。＝カフシウフロウ。＝ギンプロウ。＝フロウ。＝マゴマメ。＝ニドフロウ。＝ニドナリ。＝ナタササゲ。＝カマササゲ。＝テウセンササゲ。＝ギンササゲ。＝カヂハラササゲ。＝センダイササゲ。＝ハツシヨウマメ。▲ふぢまめノ一名。　オモニ京坂デイフ。＝タウマメ。＝カキマメ。＝センゴクマメ。＝シャクヂャウマメ。

＋＋いん・ぐわん　(〔…〕)名。〔引見〕　(一)引キヨセテミルコト。(二)〔轉シテ〕目前ニヨビヨセテ對面スルコト。「新參ノ浪人ヲいんけんシテ」。

いん・げん　(〔第二ケ〕)〔第一上〕)名。〔隱元〕　(一)いんげんまめ、又ハいんげんささげノ略。(二)▲伊豆及ビ京坂ノ方言。豆ノ名。ふぢまめノ一名。

○いんげん・ささげ　(〔…〕)〔第七ケ〕)〔第五上〕)名。〔…大角豆〕〔隱元禪師ガ始メテ明國カラ持ツテ來タトイフ處カラツイタ名〕豆ノ一種。苗モ葉モふぢまめニ似テ小サク、毛ガナク、花ハ白ト紫トノ二イロデ、白イ花ノハ豆ハ白ク、紫ナノハ豆ガ茶色、ヨク熟セヌウチノヤハラカイノハ莢ノママ煮テタベル。☆いんげんまめ參考。

いんげん・な　(〔第三ケ〕)〔第三上〕)名。〔…菜〕　(一)菜ノ一種。あぶらなニ似テ色ハウスク、莖ハ白ク、高サ二尺餘ニモソダツ。冬鹽漬ケニシテ食フ。東京三河島ノ產ガ最上ト云フ評ガアル。＝ツケナ。＝タウナ。＝シロナ。＝ミヅナ。(二)又、草ノ名。はばたんコデアルコト。＝心ガヲヂケテ非ルコト。＝ナサケノナイコト。—「いんぢふナオヤヂ」。

いん・ぢふ　(〔…〕)〔…〕)名。〔…〕　因ト業ト。スベテ印ニスベキ材料。木、石、玉、竹、牙、角、金屬ナドノ總名。

＋＋いん・さつ　(〔第一上〕)名。〔印刷〕　版デ刷ルコト。＝スリ。「活版いんさつ」。

いんさつ・し　(〔第三上〕)名。〔…紙〕　印刷ニツカフ紙。オモニ四六版菊版ナドノ洋紙ヲサス。

いん・し　(〔全平〕)名。〔印紙〕　(一)スベテ、印ギヤウヲオシタ書キモノ。(二)オモニ、しようげんいんしノ略。(三)又、オモニいうびんぎつてノ一名。

◎いんしヲハル。＝〔カタク保證スル〕。

いん・じ　(〔第一上〕)名。〔陰事〕　スベテ、カクシテオクコト。「いんじヲアバク」。

いん・じ　(〔…〕)名。〔淫事〕　ミダリガハシイコト。＝イロゴト。

いんじ　(〔…〕)接頭。〔往んじ〕〔ゆきにし即チいにしノ轉〕　スギツツ。「いんじ元年辰ノ冬」。

いん・じゃ　(〔第三、四合〕)〔全平〕)名。〔隱者〕　世カラカクレタ人。＝インクンシ。

いん・しゃう　(〔第四ヨ〕)〔第三、四合〕)〔…〕)名。〔陰症〕　ヒヤウキノトナヘ。內部ニ熱ガコモツテ上ニ發スコト。＝エンシャウ。—「いんしやうノシャウカン」。

いん・しゃう　(〔…〕)〔第三、四上〕)名。〔印章〕〔しやうハあきらかしるしナドノ義〕　いんぎやうトオナジモノ。

いん・じゅ・ぎう　(〔第三、四合〕)〔第五ギ〕)〔…〕)名。〔印地切り〕〔いんじゅハいんぢノ轉〕

ムカシ行ハレタ子供ノタハムレノ名。五月五日端午ノ節句ニ子供ガ菖蒲ヲタバヲ手ニタモトデ地面ヲウツコト。＝インヂウチ。

いん・じゅん　(〔第三、四合〕)〔全平〕)根。〔因循〕　(一)モトノママニ因リシタガフコト。(二)スベテ、ススンデスル勇氣ノナイコト。＝コソク。＝カウシヨ。

○いん・じょ　(〔…〕)〔第一上〕)名。〔隱所〕　(一)カクレタトコロ。(二)カハヤ。＝ベンジョ。

＋＋いん・しょう　(〔…〕)〔全平〕)名。〔引證〕　證據ヲヒクコト。＝ショウコダテ。

＋＋いん・しょく　(〔…〕)〔第一上〕)名。〔飲食〕　飲ムコトト食フコトト。＝又、飲ミモノト食ヒモノト。＝オンジキ。＝ノミクヒ。

＋＋いん・しん　(〔全平〕)名。〔音信〕　オトヅレ。＝タヨリ。

いん・しん　(〔第一上〕)名。〔…〕　(一)マヘノ語トオナジ語。(二)電信ニイフ語。ヒトクギリノサダメ。今日デハ假字十字ヲ一ツノ音信トサダメル。—「いんしん」。—「二いんしん」。

いん・す　(〔全平〕)名。〔黃牙〕　自然ニカタマリヲナシテツララノヤウニナツタ黃金。

＋＋いん・ぜふ　(〔第三ジョ合、第四ウ〕)〔第一上〕)名。〔引接〕　佛教カラ出タ語。彌陀佛ノライガウ。

＋＋いん・うつ　(〔…〕)名。〔引率〕　ヒキ井ルコト。「兵隊ヲいんそつス」。

＋＋いん・だう　(〔第三ド〕)〔…〕)名。〔引導〕　(一)ミチビキ。(二)〔轉ジテ〕佛教カラ出タ語。スベテ、死人ヲ葬ルトキニ僧ガ讀ム偈文ノ名、又ハソレヲ讀ム式ノ名。冥途ヘオモムクタメニ行クサキヲ導クタメト云フ。—八犬傳、「血マブレッイデニコノ刀デト、オモヒニケレド待テシヤシ、アクマデ濱路ガオモヒヲカケタル村雨ニテいんだうセン、豊喜ハシカラズヤ」。

いん・たく　(〔全平〕)名。〔隱宅〕　隱居シタ人ノ家。＝インキョジョ。

▲いんだり　(〔…〕)根。　互ニオナジコトヲシテカチマケナイコト。＝エンダリ。

いん・ち　(〔第一上〕)名。〔英寸〕〔英語、Inch ヲヨミアヤマツタモノ〕　一フウトノ十二分ノ一。日本ノ曲尺デ八分三厘八一ニアタル。

いん・ち　(〔…〕)名。〔印池〕　印肉ヲイレル器。

＋＋いん・ち　(〔…〕)名。〔引致〕　カウインスルコト。＝ヒキツレテユクコト（オモニ無理ニヒキツレルトキニイフ）。

△いん・ぢ　(〔全平〕)名。〔印地〕　石ヲ投ゲアフタハムレ。ハカシオコナハレタモノ。＝インヂウチ。—源平盛衰記、「飛礫のいんぢクワサバラ」。

＋＋いん・ぢ・うち　(〔…〕)名。〔…打ち〕　いんじゅぎりトオナジモノ。—種產、用捨箱、「端午ノ日ノいんぢうち一變シテ」。

いん・ちゃう　(〔第四ヨ〕、〔第三、四合〕)〔第一上〕)名。〔印肉〕　鳥ノ名。形チハにほニ似大キサハ鶉グラ非。脊ハ黑ク、胸ト腹トハ白ク、足ニツカキノアルモノ。＝アビ。＝オホバン。

いん・ちく　(〔第三、四合〕)〔…〕)根。　西京ノ方言。ボンヤリ。＝オトロヘタコト。—「いんちやくナオンヂイ」。

いん・でん　(〔全平〕)名。〔印傳〕　いんでんがハノ略。

△いんでんぢ　(〔…〕)名。〔印傳亞〕〔英語、India ヲヨミアヤマツタモノ〕　昔シ、印度ヲサシテイツタ語。—和漢三才圖會、「いんでんあ」。

いんでんがは　(〔第五ガ、第六ワ〕)〔第三上〕)名。〔…革〕　〔ハシメ印度カラ舶來シタトコロカラいんどがはトイヒナシタノガナマツタモノ〕　なめしがはノ一種。オモニ羊又ハ鹿ノカハデ作ル。最モヤハラカク、見タ處モ上品デ、袋物ソノ他イロイロノモノニツクル。

いん・どう　(〔全平〕)名。〔引頭〕　大法會ノトキ出ル僧ノヤクメ。—拾芥抄、「大法會導師、呪願、唄師、散花、引頭」。

いん・どく　(〔…〕)名。〔隱德〕　スベテ人ニ知ラセズニオコナフ善。—「いんどくノ家必ズ陽報アリ」。

＋＋いん・どく　(〔…〕)名。〔隱匿〕　カクスコト。

いん・どん　(〔…〕)名。〔…道〕　世ノ中ノコトヲノガレテ目ニタタヌ處ニカクレルコト。＝トンセイ。

いん・なう　(〔第三ノ〕)〔…〕)名。〔陰囊〕　ふぐりトオナジモノ。

▲いん・に　(〔…〕)副。〔いんにやノ略〕　いいえトオナジ語。スベテ、人ノコトバニ不承知ヲイフトキノ語。—小金アツ丸、オカメ「消サウガ、彫ラウガカマフモンカエ。モウ見ズトモイイカエ。いんにェ。ソレヂヤ濟ミヤセン。サア消シナセエト腕ヲマクツツキッケル」。

いん・にく　(〔…〕)名。〔印肉〕　印ヲ押ストキ用非ル肉。朱、黑、青ナドイロイロアル。

▲いんにや　(〔第三、四合〕)〔…〕)副。〔うんにやノ轉〕　いんにトオナジ語。—「いんにやオメヘサウヂヤアルメエ」。

いん・ねん　(〔…〕)名。〔因緣〕〔いんえん（因緣）ヲツヅケテ讀ミツラヲタモノ〕　いんえんトオナジ語。

●いんねん・づく　(〔全平〕)名。〔…盡〕〔づくハあそコデアルコト。＝心ガヲヂケテ非ルコト。＝ナサケノナイコト。—「いんぢふナオヤヂ」。

いん・ぢふ　(〔…〕)〔…〕)名。〔…〕　因ト業ト。スベテ印ニスベキ材料。木、石、玉、竹、牙、角、金屬ナドノ總名。

＋＋いん・さつ　(〔第一上〕)名。〔印刷〕　版デ刷ルコト。＝スリ。「活版いんさつ」。

いんさつ・し　(〔第三上〕)名。〔…紙〕　印刷ニツカフ紙。オモニ四六版菊版ナドノ洋紙ヲサス。

いん・し　(〔全平〕)名。〔印紙〕　(一)スベテ、印ギヤウヲオシタ書キモノ。(二)オモニ、しようげんいんしノ略。(三)又、オモニいうびんぎつてノ一名。

◎いんしヲハル。＝〔カタク保證スル〕。

いん・じ　(〔第一上〕)名。〔陰事〕　スベテ、カクシテオクコト。「いんじヲアバク」。

いん・じ　(〔…〕)名。〔淫事〕　ミダリガハシイコト。＝イロゴト。

いんじ　(〔…〕)接頭。〔往んじ〕〔ゆきにし即チいにしノ轉〕　スギツツ。「いんじ元年辰ノ冬」。

いん・じゃ　(〔第三、四合〕)〔全平〕)名。〔隱者〕　世カラカクレタ人。＝インクンシ。

いん・しゃう　(〔第四ヨ〕、〔第三、四合〕)〔…〕)名。〔陰症〕　ヒヤウキノトナヘ。內部ニ熱ガコモツテ上ニ發スコト。＝エンシャウ。—「いんしやうノシャウカン」。

いん・しゃう　(〔…〕)〔第三、四上〕)名。〔印章〕〔しやうハあきらかしるしナドノ義〕　いんぎやうトオナジモノ。

いん・じゅ・ぎう　(〔第三、四合〕)〔第五ギ〕)〔…〕)名。〔印地切り〕〔いんじゅハいんぢノ轉〕

びうこんなどノうこ〕 ダダノらんぬんぬんト オナジ語。「コンモ前世ノらんぬんびうこヨ」。

◀らん・の・こ (第五上)名。〔犬の子〕〔らぬ(犬)の(之)こ(子)ノ義〕 犬ノクン。 ◎らんのこヲ取。「ソノヲヲヲヨコトヲ恨ミニオモシテカダキヲトル」。

◁らん・の・こ (全平)名。〔…子〕〔らぬ(犬)の(之)こ(子)ノ轉〕 「らぬはりこ」トオナジ語。

らんばん (…)名。〔印刷〕 インギヤウ。「イン。一近頃會社・商店・官廳・學校・心中ニコノ九兵衛次ハアトノ月ノ二十五日ニ出張シテ入レンヲオトシテいらんばんトモニウシナフダ」。

らんばんし (第三上)。〔…師〕 インバンヨホル人。「インバンヤ」。

らんばんや (全平)名。〔…屋〕 らんばんしトオナジモノ。

らん・び (第一上)根。〔(鑑)〕 スベテ、カスカニカクレテ見エヌコト。

らん・び (…)名。〔(陰)庇〕 オカダ。「ヒキダテ。一「其昔ノらんびノ下ニアル」。

らん・ぴ (…)名。〔(陰)秘〕 スベテ、カクレダル秘密。

◁らん・び (…)名。〔忌ん火〕〔らび(忌)び(火)ノ義〕 前靜ノトキ前ニダラマツルモノヲ燒ヤキスル火。コトニキヨメタモノ。「イムヨ。「インヨ。

◎らんびノイヒ(仮)一(インビデダオメメシ。「イムヨノバイン」。

らん・ぶ (…)名。〔(陰)部〕 男女ノ體ニアル生殖ノ機關。「カクシドコロ。「マイ。「カクレ。

らん・ぶ (全平)名。〔(嬪)婦〕 インランナ婦人。

○らん・ぶ (第一上)根。〔(腹)富〕 ユダカニ富ミサカエルコト。「倉廣」らんぶ」。

◀らん・ぶく (全平)名。〔(隱)伏〕 カクレヒソムコト。「羅賊深山ニらんぶく」。

らんふるえんざ (第五上)名。〔英語 Influenza〕 Influ ハ影響・感應ナドノ義。病氣ノ力ノキハメテ猛烈ナトコロカラ、勢力即チInfluence トシテ、近頃歐洲デ名ヅケタモノ。近頃見イダシタ病ヒノ一ツ。かぜノタグヒ。原因ハマダ分カラズモノ。カキハメテ烈シクかぜノヤウナ結果ヲアラハシ、ジンクノ傳染スル。

△らん・べ (第一上)名。〔忌ん部〕〔らび(忌)部ノ音便〕 らびトオナジモノ。

◀らん・べら (全平)名。〔(隱)蔽〕 オホヒカクスコト。「事實ヲらんべらス」。

らんべ・やき (…)名。〔忌ん部燒き〕〔らびやきノ轉〕 ヤキモノノ名。びぜんやきトオナジモノ。

らんぼう (…)名。〔(陰)謀〕 ヒソカニタクラスハカリゴト。「らんぼうロケン」。

らんぼん (第一上)根。〔(敬)番〕 ミダリガハシクタルコト。

らんぼん (…)名。〔印本〕 スベテ、版デスツタホン。「かきぼんノ對」。「ハンボン」。

◀らんま (全平)名。〔らま(今)ヲ延バシタモノ〕 オモニ京坂ノ方言。らまトオナジ語。「らんまノ間」。「らんまノサキ」。

◀らんま (…)副。 らまトオナジ語。

らん・もう (第三モ)(…)名。〔(陰)毛〕 陰部ノ毛。

◀らんま・に (…)副。 らんま(副)トオナジ語。

○らん・もつ (…)名。〔言物〕 イランシンニオクルオクリモノ。「ワイロ。「蒜山等ノ山間ノ小手巻ノ古動ノ人ニらんもつヲシタリ。

らん・もん (…)名。〔(陰)門〕 女子ノ陰部。

らん・もん (第一上)名。〔(印)文〕 佛家デタクルらん(印)。釋迦カラハジマツタモノトニ云フ。

△らん・もん (第一上)名。〔(隱)紋〕 (一)カクレテホノカニ見エルアヤ模樣。(二)〔…ジテ〕 隱レテホノカニ見エル樣。「らんもんノまど」。

らん・やう (第三ヨ)(…)名。〔(陰)陽〕 支那ノ理學ノ語。易カラ、出テスベテ高物ノ兩極相對シタモノニアテハメル語。日ヲ陽トスレバ月ハ陰、火ヲ陽トスレバ水ハ陰、男ヲ陽トスレバ女ハ陰、南ヲ陽トスレバ北ハ陰、春ヲ陽トスレバ秋ハ陰、夏ヲ陽トスレバ冬ハ陰、上ヲ陽トスレバ下ハ陰、晝ハヲ陽トスレバ夜ハ陰、天ヲ陽トスレバ地ハ陰ナドノタグヒ。※らん(陰)參考。

らん・やうくわく (…)(第五六合)(第三上)名。〔(運)洋機〕 車ノ名。らかりやきノ一名。

らんやう・せき (第三ヨ)(…)名。〔陰陽石〕 男女ノ陰部ノカタチニ似タ石。

○らん・やく (第一上)名。〔印鑰〕 イン(印)ト鑰ト。

らん・よ (…)名。〔(菌)麹〕 草ノ名。莖根ヲ出ス。高サ三四尺。莖ハ柘榴ニ似テ短クアツク、葉ハ柘榴ニラツク、五月實ヲ結ブ。四月コマカイ白イ花ヲ鳳邪ノ蘂ニムカシハ用ヰタト云フ。「一種ノ毒アル草ナガラニツツジ。「ヲカツツジ。

◀らん・よう (全平)名。〔(引)用〕 ホカノホンニアル文句ヲヒクコト。「ヒキゴト。「シユニツテン。

○らん・よう (…)名。〔(音)巻〕 コヱ(音)トカ(巻)ト。「一「らんよう勢語」。

らん・よく (第一上)名。〔(慾)慾〕 オモニ男女相愛スル情慾。

◀らん・らく (…)名。〔(…)樂〕 ダヤクダダノンジ。「イヨクノ樂シミ」。

らん・らん (…)根。〔(…)亂〕 ホシイママニダヤクダダノンジヲツクスコト。又色ヲ好ムコト。

らん・りよく (第三上)四合)(…)名。〔引力〕〔英語 Gravitation ノ譯〕 物理學ノ語。スベテ、萬物ノ性ニソナハツタ力デ、相互ニヒキヨセアフ一種ノチカラ。にうとん(Newton)ニヨツテ發見セラレタモノ。

附錄、人名篇にうとん參考。

らん・れき (全平)名。〔(陰)曆〕 大陰曆ノ略。曆ノ一種。月ヲ十臺トシテコンラクダモノ。月ノ朔日、十五日、三十日ニヨツテ十二月ヲツクリ、一ケ月ノ日數ヲ二十九日、或ハ三十日トシ、一年ヲ三百六十日ニシタモノ。(やうれきノ對)。「キウレキ。「ダイレキ。

らん・ろう (第三上)名。〔印籠〕 昔ダ小サナ匣、オモニ藥ヲイレル。三重ヲ或ハ五重ヲ、オノオノ互ニハマリアフヤウニナリ、兩ハシカラ紐ヲツラヌキ、腰ニサゲ、禮服ノ細工ヲ加ヘ、薄塗時代マデハ男子ニ必用ノ携帶品ノ一ツデアツタモノ。ハシメ即チ入レタ故ニらんろうト云フ。「インロウギンチヤク。

らんろう・ぎんちやく (第五ギ、第七八合)(第五上)名。〔…巾著〕 らんろうトオナジモノ。「老殘物語」「イトヌヒラシクイタイケシタルらんろうぎんちやく」。「西鶴」「代女「金ツクリノ木ワキサシ、らんろうぎんちやくヲサメテ」。

らんろう・し (第三上)名。〔…師〕 らんろうヲコシラヘル職人。「甲冑製作業」「らんろうし」ニナツスコトヨシ」。

らんろう・うり (全平)名。〔…瓜〕 胡瓜、白瓜ナドノナカノハラワタヲトリ、ソコニ紫蘇ナドヲ入レ鹽漬ケニシタモノ。

らんろう・ぶね (第三上)名。〔…舟〕 セトタノ一種。船トナカコトヒツタリ合ツテ、外面ノ處ガ平タクデキタモノ。インロウノカタチアハセタノニ似タモノ。

らんろう・ゆば (第五上)名。〔…豆腐皮〕 ゆばノ一種。長ク四角デインロウノ形ニ似タタケノモノ。

らん・わい (全平)根。〔(雜)猥〕 スベテミダリガハシクアルコト。

ら

ら 五十音同樣行第三番ノ假名。他ノ假名ノ下ニツケバ多クおノヤウニ響ク。

ら (平)名。〔(兎)〕 らうさぎト同ジモノ。「「らノ毛ノナキニオクル蹄ノ」。

ら (…)名。〔(卯)〕〔らうさぎ(兎)ノ義〕 (一)えとノ名。貫ノツギ、辰ノマヘ。ねえと參考。(二)又方角ノ名。東ノカタ。(三)又ムカシノ時ノ名。今ノ朝ノ六時。

ら (上)名。〔(鵜)〕 水鳥ノ名。形ハからすニ似テ黑ク、背中ト肩トハ茶色クチバシハ長クテ末ガ少シマガリ、水ニモグツテ巧ミニ魚ヲ取ル。性質極メテムサボリ食フコトヲ好ム。「シマツドリ。「和名抄」「鬱鷸」「俗云字」。

ら (…)名。〔(羽)〕 十二律ノ中ノ五音ノ一ツ。※じふにりつ參考。

ら (…)名。〔(字)〕 雄テ物ヲ數ヘル語。けん(所)ト同ジモノ。「一堂一ら(字)」。

○ら (…)名。〔(羽)〕 鳥ヲ數ヘル語。は(羽)ト同ジモノ。「一鳴一ら」。「一隻一ら」。

ら (…)他動。〔下二〕〔(得)〕 (一)ワガモノトスル。「ワガ手ニ入レル。(二)デキル。「ヤレル。「上物ヲ書キら」。

△ら (…)形。〔(憂)〕〔らし(憂)ノ略〕 「タルシイ。「古今集「シカリトモシムカレナクニコトシアレバ、マヅアゲカレズ、アナら世ノ中」。

△ら (…)副。〔(諾)〕 スベテ、承諾ノ義ヲ現ハス語。「尚書集「否モらモホリスルママニ酌スベシ」。

△ら (…)感。〔(吁)〕 ワメク聲ヲ現ハス語。「ウン。「ら ト云ヒテワメクレズ」。

▲う　(平)名。〔うなぎノ略〕　京坂ノ方言。うなぎノ一名。　ゅうう参考。

うぁいさ　(第二上)名。〔鵜秋沙〕　鳥ノ名。ぁいさノ一種。クチバシハ甚ダ長ク、鵜ニ似タモノ。

う・いう　((第二ュ))(全平)名。〔鳥有〕　全クナクナルコト。(多クハ火事ナドデ無クナツタ時ニツカフ)—「遂ニういうトナル」。

▲うう　(第二上)名。　西京大坂邊ノ方言。うなぎノ一名。—ウ。　ゅう参考。

◎之ヲううト書クノハ今始メテノコトナガラ、併シナガラ京坂ノ發音ニ由ツテ調ベレバ、正シクう一字ダケヨリハ尚多クノ響キヲ出ス。京坂地方ノ鰻屋ノ看板ナドニうト書クノハ別ニ意味モナシ、之ヲ讀ンデううト云フハ全平ノ調子ニスレバ必ズ二字重キテ書カネバナラヌ。故ニ殊更ニ獨斷デ此辭書デハ二ツ重キテ書イテ置ク。

○うウ　(第一上)自動〔下二〕(飢—饑)う〕　(一)スベテ、食物ガナクナツテ腹ノ中ガ空ニナル。　(二)(轉ジテ)ハラガヘル。

○うウ　(第二上)他動〔下二〕(植)う〕　(一)スベテ、物ヲ地面ニウヅメテ立テル。—「菊ヲううう」。—「花ヲううう」。—「稻ヲううう」。—六帖、人丸、「アスヨリハツトモノ小田ニ袖ヌレテ富ミクササナへうえツペラナリ」。(二)(轉ジテ)種ヲウク。—「種痘ううう」。(三)(又、轉ジテ)スベテ嵌メ込ンテ立テル。—「活字ヲううう」。

う・えん　(全平)根。(有緣)　緣ノアルコト。—タヨリノアルコト。—ユカリノアルコト。—「うえん無緣ノマウジヤドモニ引導ワタサン」。

△うか　(第一上)名。(食)　タベモノ。—ウケ。

++うか・うか　(…)又(第三上)副。(浮かぶ)　(一)スベテ、心ガ落チ付カズニボンヤリト。(二)(轉ジテ)スベテ、考ヘモナク。—シアンモ付カズ。—西鶴、若風俗「大夫元ニモ慾ヲ知ラズ、物ニモナラヌ客ヲうかうかモテナシ」。

うかうか・と　(…)副。(……と)　うかうかト同ジ語。

うかがひ　((第三カ、第四イ))(全平)名。(伺ひ)　(一)スベテ、ウカガフコト。(下カラ云フ)。　(二)政府ナドニ問ヒ尋ネルコト。(下カラ云フ)。　(三)又神佛ナドノ指圖ヲ問フコト。—「神樣ノうかがひ」。

うかがフ　((…、第四ウ))(全平、又、第三上)他動〔四段〕(……ふ)　(一)コツソリ見ル。(二)ヒソカニ時機ヲ待ツテ居ル。—枕ノ草紙「十五日ハモチガユノセクマ非ル。粥ノ木引キカクシテ家ノ子タチ女房ナドノうかがふヲウタレジト用意シテ」。

うかがフ　((…))(…)他動、四段。(……)　(一)どとふ(問)、きく(聞)、たづぬ(尋)ナドノ敬語。(二)●れとづれる、とひたづねるノ敬語。—「うかがひマシタガお留守デシタ」。(三)ココロミニ見ル。—「醫者ガ脈ヲうかがふ」。

うかがじん　((第二カ))(第二上)名。(宇賀神)　うがのかみトオナジモノ。

○うかス　(全平)他動〔四段〕(浮かす)　ウカセル。—ウクヤウニスル。

●うかせル　(…)他動〔二〕(……せる)　前ノ語ノ近體。

うがッ　(第二上)他動〔四段〕(穿つ)　(一)スベテ、堀ル。—穴ヲアケル。(二)充分道理ヲキハメル。—センサクスル。—アナグル。(三)アバク。—妙姉奇談、「思ヘバ昔シ其ムカシ、君ガ手ボケシチゴトニハ、浮世ノ穴ヲうがちタリ」。(四)漢籍ヨミカラ移ツテ「ツケル。—着ル。—着スル。—「アツワラヂ身ニウガチ」。

うかと　(第一上)副。(浮かと—恍惚)　ウツカリト。—心ガツカズニ。—ボンヤリト。

△うか・ねらフ　(第三上)他動、四段。(窺狙ふ)　〔うかハうかがひ(窺)ノ略〕　ウカガヒネラフ。—ツケネラフ。

うがの・かみ　((第二カ))(第一上)名。(宇賀の神)　ふくのかみノ一名。昔伊非冊尊ガヨロヅノ神神ヲ生マレタナカニくらみたま(倉稻魂)ノ命ト云フ神ヲ生マレタ。此命ハ稻ヲ司ドル神デ、即チ稻ハうか(食)ニナル處カラうがト云フトモ云フ。月讀尊ト云フ神ハ天照大神ノ御弟ニアタル神デ、大神ニ敬ヘラレテ、うけもち(保食)ノ神ノ所ヘオイデニナツタ所、此神ガ口カラ色色ノ物ヲ吐キ出シテ奉ツタ。月讀尊ガ其レヲ見テ、キタナイモノダトテ、劍ヲ振イテ切リ殺シタ所、其殺サレタ額カラ粟ガ出、眉カラ蠶ガ出、目カラ稗ガ出、其外カラダ中カラ麥、豆、小豆ナドガ生ヘ、其レカラ天照大神ガ此粟ヤ稗ナドヲ種トシテ田畑ヲ拵ヘ、カヒコナドヲ飼ツテ、末ノ世マデモ殘サレタコトト云フ。又一說ニ丹後ノ國竹野郡具木ノ里ノ奈具村ニ奈具ノ社ト云フノガアリ、其神ヲうがのめノ命トイフ。丹波郡比治山ノ絶頂ニ昔井戸ガアリ、此井戸ヲマナ井ト名付ケタ。此井戸ニ昔天人ガ八人降ツテ、水ヲアビテ居タ所、ソコニ又わなさトイフ尉ト姥トノ二人ガアリ、一人ノ天女ガ脱イテ置イタ着物ヲ取ツテ隱シタ。ヤガテ天女ガ水ヲアビテ、空ヘ飛ビ歸ヘルコトト成ツタ

コロ、一人ダケハ着物ガ無クテ歸ヘルコトガ出來ズ、大ニカナシミ、泣イテ居ルノヲ見テ、尉ガソレニ向ツテ云フニハ、オマヘハ斯ウナレバ仕方ガ無イカラ私ノ子ニナレトノ言葉ニ、天女モ喜ビ、承諾ノ返事ヲシタノデヤガテ尉ハ之ニ着物ヲ着セテ家ヘ連レテ行ツタ。其レカラ十餘个年ノ間此天女ガ尉ニ從ツテ住ンデ居タ所、イツカ酒ト云フモノヲ工風シタ。其酒ハ非常ニ尊イ酒デ、一杯飲メバ萬病ノ種ガ切レルト云フ位ノモノデ、夫レ故近處ノ者ガ非常ニ評判シ、此酒ヲ飲マウ、飲マウトテ色色ノ品物、タカラモノナドヲ車ニ積ンデ持ツテ來タタメ立チ所ニ其家モ富ミ榮エルヤウニ成ツタ。是レニモ亦尉ハ厭キタラズ、ソレダケノ恩ヲ受ケナガラ却テモウ家ガ富ンデ仕舞ヘバ入リ用ガナイト云ツテ、遂ニ天女ヲ追ヒ出スヤウニナツタ。ココハオマヘノ家デ無イ、早ク出テ行ケト追ヒ立テラレル。永年ノ間ニユニ飛行ノ術モ忘レタカ更ニドウスルコトモナラズ、途方ニ暮レテ天女ハ門ノ下ニ立ツテ空ヲナガメテ歌ヲ讀ンダ。「アマノ原フリサケ見レバ霞立チ、イヘ路マドヒテ行クヘシラズモ」。其レカラ足ニ任セテ、アル里ヘ着イタ。着イタ所デイクラカ心モ安マリ、ナグサムベキ方ヲ付ケタ所カラ、後世此里ヲバなぐノ里ト云フトノコト。夫レカラシテ茲ニヤシロガ出來テ、所謂なぐのやしろト云フ名モ付キ、此天女ヲ祭ツテ、うがのめがみトシ、其レカラ此福ヲ授ケタト云フ所デ、福ノ神ノ本體トモシテアガメタモノト云フ說モアル。今日蛇ヲうがのかみノツカハシメナドト云フノハ、ドンナ原因カラ始ツタモノカ？—

うがの

ウガシン。—ウガノミタマ。

うが・の・みたま　((……))(……)名。〔宇迦の御魂〕　食物ノ神。—イヂノカミ。—イナリノカミ。—イナリダイミヤウジン。　ゅうがのかみ參考。

う・がは　((…、第三ワ))(全平)名。〔鵜河〕　(一)鵜ヲツカツテ鮎ヲ取ル川—ヨガハ。—萬葉集、「カミツセニうがはヲ立テ、シモツセニサデ差シワタシ」。(二)鵜デ魚ヲトルコト。

++う・かひ　((第三イ))(第一上)名。(……飼ひ)　(一)鵜ヲ飼ヒナラシ、其鵜ニ魚(主ニ鮎)ヲ取ラセルコト。—ウガハ。—令義解、「鵜飼(訓、ウカヒ)」。　(二)ウカヒヲ業トスル人。—ウツカヒ。

++うがひ　((第二カ、第三イ))(全平)名。(嗽ひ)　スベテ、ウガフコト。—水ヲ含ミ、又吐キナドシテ、口中ヲキヨクスルコト。—クチソソギ。—森山孝盛、賤ノ小手卷、「タバコボン出シ、茶ヲ振ル舞ヒテ、サテ其内ニ父ハ必ズ小用ヲ辨ジ、テウヅうがひシテ、袴着テ出テ挨拶シ」。

うがひ・ぢやわん　((……、第四、五合))(第四、五上)名。(……茶碗)　ウガヒニツカフ茶碗。—森山孝盛、賤ノ小手卷、「ヌシモ其心得ニテ、必ズ前後ニうがひぢやわんニウガヒヲ取ラセ、挨拶シタリ」。

うかひ・び　((第三イ))(第二上)名。(鵜飼ひ火)　鵜ヲツカフトキニタク火。—カガリビ。

うかひ・ぶね　((…))(第四上)名。(……船)　鵜ヲツカフトキ用非ル船。—家隆、「大井川イクセノボレバうかひぶね嵐ノ山ノアケワタルラン」。—女房、「大井川ナヲ山カゲニうかひぶね、イトヒカネタル夜半ノ月カゲ」。—前内大臣、「うかひぶねクダス程ナキミソカ夜ノ川瀨ニノコルカガリ火ノカゲ」。

うがフ　((第二カ、第三ウ))(全平)自動、四段。(……)(歟)ふ)　ウガヒヲスル。—口ヲソソグ。

うかブ　(…)自動、四段。(浮かぶ)　(一)うく(自動)ト同ジモノ。　(二)スベテ、ナリデル。—リッシンスル。—「身ヲ捨テテコソうかぶ瀨モアレ」。　(三)ウゴイテ定マラヌ。—源氏、「女ノスクセハうかびタルナン哀レニハベル」。　(四)佛說ニ又、マウジヤノ鏡ガ煩惱ノ苦ノガレテ解脫往生スルコト。—諸曲、鵜飼、「奈落ニ沈ミハテテ、うかびガタキ罪人」。

◎心ニうかぶ。—(思ヒダス)。　◎涙ガうかぶ。—(涙ガ出ル)。

○うかブ　(…)他動、下二。(……)　(一)スベテ水ノ上ニノセル。—ウカセル。—ウカブヤウニスル。　(二)思ヒダス。—「心ニうかべル」。　(三)アンシヨウスル。—ソラデヨム。—枕ノ草紙「サテ古今ノ歌ハタマキ(廿卷ヲ者うかべサセタマハンヲ」。

●うかべル　(…)他動、二。(……べる)　うかぶ(他動)ノ近體。

△うかみ　(…)名。(窺見)　ウカガヒ見ルコト〔うかがひみノ略〕。

うかム　(…)自動、四段。(浮かむ)　うかぶ(自動)ト同ジ語。

うかム　(…)他動、下二。(……)　うかぶ(他動)ト同ジ語。

う・がも　((第二カ))(第一上)名。(鵜鴨)　鴨ノ一種。カラダハウス黑ク、稍赤味ヲフクミ、嘴ハホソク尖ツテ、足ハ赤イモノ。

う・がら　((…))(全平)名。(生族)　〔う(生)からノ(族)ノ義〕　血脈ノツヅイテ居ル人。—シンヅク。—シンル非。—「ヤカラうがら」。—「うがらハラカラ」。

うがら

++うかり　(第二上)副。〔浮かり〕〔うか(浮)ヲ働カセタモノ〕　ボンヤリ。＝心ガツカズ。＝ウカウカ。＝ウカリト。＝ウッカリ。

▲うかり　(…)名。　近江ノ方言。魚ノ名。うなぎノ一種。大キクテモ長サ二尺ヲ超エヌモノ。クビハ小サクナイモノ。

うかりと　(…)副。　うかりト同ジ語。

▲うかりばう　(第四ボ)(…)名。　ウツカリシテ居ルモノヲ精ヤノシッテ云フ語。＝ウカリボン。

▲うかりぼん　(…)名。〔ぼんハぼんつくノぼん〕　心ガツカズニアルコト。＝マタソノ人。

○うかル　(…)自動下二。〔浮かる〕　(一)ヒトリデ浮キタツ。＝心ガソラニナル。＝源氏「ウシトオボシ、うかれニシ心」。(二)心ワウハハレル。＝フカク興ニハマル。＝西鶴「一代女」「直チニ御顔モチヨロシク、ソレヨリレロトうかれサセケルニ」。

うかれ・がらす　(第四ガ)(第四上)名。〔…れ鴉〕　(一)月夜ナドニ月ノ光リニダマサレ、ヤグラニオチツカズ浮カレテ飛ブからす。＝谷峨「領城買二筋道」「うかれがらすノ迷ヒケルハカナキ雪ノヨソホヒニ」。(二)轉ジテ)ウカレテアルク人。

うかれ・さんぢゆう　(第六七合)(…)名。〔…三重〕　芝居デツカフ鳴リ物ノ一種。バケモノノ相ヒ方ニツカフ。ナントナク淋シク、スゴミノアルモノ。＝戯場新話「辻ウチ、マツムシ、うかれさんぢゆう」。＊さんぢゆう参考。

○うかれ・づま　(…)名。〔…妻〕　うかれめト同ジ語。

○うかれ・びと　(第三上)名。〔…人〕　ラウニン。＝ヒトトコロニ住マッテ井ヌ人。＝ダラクモノ。

うかれ・びやうし　(第五ヨ)(第四、五合)(第四、五上)名。〔…拍子〕　三味線ナドヒクトキ、人ヲウカレサセルヤウニスル拍子。

うかれ・ぶし　(全平)名。〔…節〕　ウカレタ調子ノ歌ノフシ、マタ歌。

○うかれ・め　(…)名。〔…女〕　うかれづまト同ジ語。スベテ、歌舞、吹彈シテ、人ヲタノシマセ、相應ノ玉代ヲ取ル女。＝兜軍記「平家御サカリノ時ダニモ人ニ知ラレタ景清ガ五條坂ノうかれめニ心ヲ寄スルト云ハレテハ弓矢ノ耻トエンリョガチ」。＊あそび參考。

●うかれル　(…)自動二。〔…る〕　うかるノ近體。

▲う・がん　(第二上)名。〔鵜雁〕　薩摩ノ方言。鳥ノ名。がんノ一種。ビひがたがんト同ジモノ。

う・かんむり　(全平)名。〔宇冠〕　漢字ノ上ニアル片假名ノウノ字ニ似タ恰好ノカンムリ。宅宇宙ナドノ類ヒ。

うき　(第二上)名。〔浮き＝(泛子)〕　(一)スベテ、釣リノ絲ニツケテ、水ニ浮カセル小サナ木ノキレハシ。＝ウケ。

△うき　(…)名。〔浮き〕〔う(浮)ハ(羽)トノ義〕　さかづきノ古言。＝古事記「ミヘノコガサカセルミツタマうきニ」。

△うき　(第一上)名。〔浮き〕　どろノ古言。＝宇治拾遺「一町バカリアルうきアリ」。

う・ぎ　(第二ギ)(…)名。〔雨儀〕　(一)ムカシ宮中ノ儀式ニ雨天ノ時ハ並ヨリハ儀式ヲ略スルコト。(二)轉ジテ)スベテ、公事ヲ略式ニスルコト。

△う・き　(…)名。〔右撥〕　うだいどんノ別名。

うき・いは　(第四ワ)(全平)名。〔浮き石〕　かるいしノ一名。

▲うき・いを　(…)名。〔…魚〕〔うきハうきんたノうき〕　魚ノ名。めだかト同ジモノ。伊豫ノ方言。

▲うぎう　(第一上)名。〔をでノ異體同種〕　海草ノ名。どろてんニ似テ、マタガ多ク、稍ホソナガク、ナマハ紫色デ乾カセバ茶色。裁レバコンニャクノヤウナモノガ出來ル。筑前、越前ナドデ出來ル。

++うき・うき　(第三上)副。〔浮き浮き〕　心ガウカレアガル姿デ。＝心配ガナサウデ。＝イソイソ。＝新撰六帖「君トイヘバイケルアサザノ池水ニうきうきトノミナル心カナ」。＝谷峨「領城買二筋道」「氣ニアタラバカンニンシテうきうきトシテ下サリマシ」。＝曲山人、娘節用「カミガタ歌デサワギタツレド、兎角小三ハうきうきセズ」。

うきうき・と　(…)副。〔…と〕　前ノト同ジ語。

うき・おり　(全平)名。〔浮き織り〕　うきれりものノ略。

うき・おりもの　(…)名。〔…物〕　コマカイ模樣ヲ地ノ上ニ浮カセテ、綾ニ織ッタモノ。＝ウキオリ。＝ウケオリ。

うきき　(第一上)名。〔浮き木〕　(一)スベテ水ノ上ニ浮カンダ木。＝和名抄「楂、和名宇岐岐」。(二)轉ジテ、法華經ニアル浮木ニタトヘテ)スベテ出逢ヒガタイコト。＝メッタニ逢ハヌコト。＝「うききノ亀、ウドンゲノ花」。(三)又、漢ノ張騫ノ故事ニヨセテ、舟ノ義ニ用ヰルコト。＝「秋ノナミイタクナ打チソオモホエズ、うききニ乘リテ行ク人ノタメ」。

▲うきき　(…)名。〔…＝楂魚〕　魚ノ名。陸

奥常陸ナドノ海ニ井ル。形ハヒラタク大キイノハ一丈餘モアル。皮ハさめニ似、色ハ茶ガカッタ黄イロデ、白イホシガアル。ハラワタノ白イ所ヲ取ッテ鹽漬ケ、或ハ粕ヅケ、アハヅケニシテ食用ニスル。肉ハ何ニモナラヌ。＝ウキキマンボウ。＝マンボウザメ。

うきき・さんぼう　(第四上)名。〔…滿方〕　魚ノ名。うききト同ジモノ。

うきき・ぐさ　(全平)名。〔浮き草＝(萍)〕　(一)草ノ名。タマリ水ニハヘル。葉ハ二三分、黄ノ勝ッタ綠色デ、ウラハ紫イロ、形ハ丸クテ艶ガアリ、下ニ多クノヒゲノヤウナ根ガアッテ水ノ上ニウク。＝和名抄、「宇木久佐」。＝古今集、小町「ワビヌレバ身ヲうきくさノ根ヲ絕エテサソフ水アラバ行ナントヅオモフ」。＝「うきくさヤ今日ハムカフノ岸ニサク」。＝トコロサダメヌアノうきくさモケフハアチラノ岸ニサク」。(二)〔…＝(萍)〕又、草ノ名。池澤、田ナドニハヘル。大サハ一寸バカリ。四枚ノ小サナ葉ガヒトソロヒニソロフ。夏、花ガサク、花ハ四瓣デ白色ノモノ。＝ヒン。＝カツミ。

△うき・ぐつ　(第三グ)(…)名。〔…沓〕　水ヲワタルキ、身ニツケテ沈マヌタメニスル道具。皮デツクル。＝ウキブクロ。＝西鶴、若風俗「ソノホカうきぐつ、ボウビヤヲ申シ立テテ御合力分百石下シオカル」。

うき・くも　(第三上)名。〔…雲〕　定メナク空ニ浮イテ井ル雲。＝ウキグモ。＝フウン。

うき・ぐも　(第三グ)(全平)名。〔…〕　うきくもトオナジ語。

うき・こ　(…)名。〔浮き粉〕　米ヲキハメテ細カイ粉ニシタモノ。菓子ノ落雁ナドヲ製シ、又紅ヲ製造スルキ、紅ヲカタマラセルタメニツカフ。

++うき・しづみ　(…)名。〔…沈み〕　(一)ウクコトトシヅムコトト。＝フチン。(二)轉ジテ)楽エルコトト襄ヘルコトト。＝フチン。＝宗祇「附句」、或ハ皆うきしづみスル世ノ中ニ、(前句)、カハルヲ見テモ頼ムハカナサ」。

うき・す　(…)名。〔…巣〕　水ニウカンダ巣。オモニにはノ巣ヲイフ。水ノ高低ニヨッテ浮キアガルヤウニ出來テ井ル。＝頼政、「子ヲオモフニホノうきすノユラレ來テ捨テジトスレヤ、ミガクレモセヌ」。

うき・す　(…)名。〔…洲〕　スベテ沼ナドデ泥炭、材木、泥ナドガアッマッテ土トナリ、草ナドハヘ、巣ノヤウニ見エテウカムモノ。根ノナイデルタ。

▲うき・す　(…)名。〔うきハうきんたノうき〕　魚ノ名。めだかノ一名。尾張ノ方言。

▲うき・すのり　(第三上)名。〔浮洲海苔〕　海藻ノ名。オモニ備前カラ出ル。ふぢとのりノ一名。

○うき・せ　(全平)名。〔憂き瀬〕〔うき(憂)セ(瀬)ノ義〕　水ニウカンダ巣。

▲うき・た　(…)又、第一上)名。〔浮き田〕　大阪ノ方言。魚ノ名。めだかノ一名。〔うき(浮)た(田)〕即チ田ニウカブトノ義。

△うき・たから　(第三上)名。〔…寶〕〔うき(浮)たから寶)ノ義〕　ふねノ異名。

うき・たッ　(…)自動、四段。〔…立つ〕　(一)ウカレテココロガウハノソラニナル。(二)心ガザワダツ。

○うき・とり　(全平)名。〔…鳥〕　スベテ水ニウカンデ井ルトリ。＝ミヅトリ。＝スベテ水ノ方言。魚ノ名。めだかノ一名。〔うき(浮)た(田)〕即チ田ニウカブトノ義。

○うき・な　(第二上)名。〔…菜〕　菜ノ名。かぶらなトオナジモノ。

うき・な　(…)名。〔…名〕　アダナ評判。＝近松、曾根崎心中「モシモ道ニテ追手カカリ、ワレワレニナルトテモうきなハ捨テジト心ガケ、カミソリ用意イタセシガ」。＝京傳、艶氣樺燒、「コノ上ハ女郎買ヒヲシテうきなヲ立テントオモヒ」。

△うき・ぬなは　(第五ワ)(第三上)名。〔…蓴菜〕　ウイテ井ルぬなは。

++うき・ね　(第二上)名。〔…寐〕　(一)スベテ、定マラヌネドコ。＝萬葉集「波タカシ、イカニカヂトリ水鳥ノうきねヤスベキ、猶ヤ漕グベキ」。(二)轉ジテ)スベテ遊女ナドココカシコト定マラズ井ルコト。＝「クルワノ中ニうきぬノ身ノ上」。

うき・はし　(全平)名。〔…橋〕　(一)あまのうきはしノ略。(二)○フナバシ。

うき・びやうし　(第四ヨ)(第三、四合)(第三、四上)名。〔…拍子〕　浮イタヒヤウシ。＝ウカレヒヤウシ。＝瓢簞鯰「スッポン、ドンガメ、ヨドリコノ、ドヂヨウノアテフリ、うきびやうし」。

うき・ぶくろ　(全平)名。〔…袋〕　(一)魚ノフエ。＝魚ノ肺臓。(二)水ヲオヨグトキ沈マヌタメニ身ニツケル道具。革ナドデ袋ニシ、中ニ空氣ヲモタセタモノ。＝ウキグツ。(三)〔又、轉ジテ)水ニ泳グトキ身ニツケテ沈マヌタメニスル道具。コルクノ木デツクリ、紐ヲツケタモノ。

うき・ふし　(第二上)名。〔憂き節〕〔うき(憂)ふし(節)ノ義〕　ツライコト。＝カナシイコト。＝新後拾遺集「サモコソハ竹ノソノフノスエナラメ、身ニうきふしノナド生フルラン」。＝三馬、達磨ノ贄「うきふしシグキ河竹ノ流レニ立ツル眞實ハ色客ヘノ操

ニシテ」。

++うきばり　(全平)名。〔浮き彫り〕　スベテ、摸様ダケヲタカク彫リアゲルコト。彫刻ノ語。

うきみる　(第三上)名。〔……海松〕　ウイテ非ルみる(海松)。

うきめ　(第二上)名。〔憂き目〕〔うき(憂)め(目)ノ義〕　ツライコト。—「世ノうきめ見エヌ山路ヘ入ランニハオモフ人コソホダシナリケレ」。

うきやう・しき　(第三ヨ、第二、三合)(第二、三上)名。〔右京職〕　ムカシノ官名。ムカシ京都ノ中、朱雀大路ヲ界トシテ東ト西トニワカチ、東ヲ左京、西ヲ右京トシタソノ右京ノ事ヲ主ドル職ノ名。職ノ主トスル所ハ戸籍、年貢、宅地ノ坪数、訴訟ナドヲオモトシタモノ。支那ニ配スレバ京兆、之ニ關スル人ノカシラハ相當從四位ノ下以下。スベテ、大夫一人、亮一人、大進一人、少進一人、大屬一人、少屬二人、坊令十二人、使部卅人、直丁二人。—ミギノミサトノツカサ。

うきやう・ぼく　(……)(……)名。〔烏臼木〕　木ノ名。タカサ一丈餘ニナル。葉ハウスク、色モウスク、カチ色ヲソメル繪ノ具ヲ取ル。五月玉子色ノ小サナ花ヲツケ、八九月頃クロイ實ガナル。鴉ガハナハダコノ實ヲコノム。實カラ油ヲシボレバトモシ油トモナリ、又一切ノハレモノ、シツ、ヒゼンナドニキク。

うきやがら　(第四ガ)(第三上)名。〔浮き矢幹〕　(一)草ノ名。れぬやがらノ一名。(二)又草ノ名。みくりノ一名。

うきよ　(第二上)名。〔憂き世〕〔うき(憂)よ(世)ノ義〕　世ノ中ニウレヒガオホイト云フ處カライフ語。ツライ世ノ中。　(一)(マヘノ語)

うきよ　(……)名。〔浮き世〕　スベテ、カラ轉ジテ、又佛說ニコノ世ハ浮イテ非ルモノト云フ處カラヒツカケテイフ語。浮イタ世ノ中。—定家、「玉キハル うきよ忘レテ咲ク花ノ散ラズハ千代モノベノモロビト」。　(二)(轉ジテ)　タダノ世トオナジ語。

△うきよぎんちやく　(第四キ、第六、七合)(第四上)名。〔……巾著〕　ムカシ一ツノ裝飾品トシテ腰ナドニ帶ビタモノ。巾著ノ一種。實物ノ形チハサダカデナイ。—種彦、用捨箱「ムカシハ遊女ニ箱、「承應ヨリうきよぎんちやくト云フモノアリ。うきよぎんちやくハキキャウブクロト云フモノダグヒニハアラズヤ」。

++△うきよぐるひ　(第四グ、第六イ)(……)名。〔……狂ひ〕　遊女ニ戯レルコト。—ヂヨウロカヒ。—種彦、用捨箱「ムカシハ遊女ニタハルルヲうきよぐるひトイヒシナリ」。

うきよ・ござ　(第三上)名。〔……御座〕　ござむしろノ一種。摸様ヲイシダタミノヤウニ織リ出シタモノ。—和漢三才圖會、「文イシダタミノ如キモノヲうきよござト名ヅク」。

うきよ・ぶくろ　(第四上)名。〔……袋〕　ムカシオホク行ハレタモノ。神ナドニ、物ヲ入レテカラマツルトキニモチ非タモノ。後世、轉ジテ、ヌヒグルミノ庚申猿ナドニナル。—種彦、用捨箱「カノ表面金剛ノ石像ヘ堂トイフホドニモアラヌ假ノアマオホヒヲナシ、うきよぶくろニククリ猿ヲツタルガ納メアリシヲ十年バカリ前ニ見タリ…ウツクシきうきよぶくろヲ掛ケ、色ヨキ小袖着セ」。

うきよ・ぶし　(第三上)名。〔……節〕　ハヤリウタノフシ。—寛天見聞記、「ムスメジャウルリ、八人藝、うきよぶしナド、藝人ヲアツメテ外ニ家業モナシ」。

うきよぼん　(……)名。〔……本〕　ウキヨノコトヲ書キツヅツタモノガタリノホン。—セウセツ。—ハイシ。—東京圖書館藏本、柳亭種彦ノ所藏ニカカル絲竹初心集ニ種彦ノ藏書ノ印トシテ、「コノヌシうきよぼんかき種彦」。

うきよぼん・かき　(第四上)名。〔……書き〕　ウキヨボンヲカク人。—小說家。

うきよ・え　(全平)名。〔……繪〕〔うきよ即チ世ノ中ノ有リ樣ヲ畫イタ畫トノ義〕　モト土佐派カラ出タ中古ノ畫工、岩佐又兵衛(☆附錄人名彙、岩佐又兵衛參考)カラ始マツタ一種ノ畫。ハジメハ唯ニガイタダケデアツタトコロ、後世ニナツテスリモノニシテ賣ル。ウキヨ繪ノ畫工ハ第一、岩佐又兵衛ヲハジメトシ、大津又兵衛、當世又兵衛、當世半兵衛、菱川師宣、英一蝶、西川祐信、橘守國、離屋立圃、蒔繪師源三郎、月岡丹下、羽川珍重、野野村治平、下河邊拾水、長谷川長春、吉田半兵衛、近藤清春、鳥井清長、奥村政信、奥村利信、奥村文志、西村重長、石川豐信、鈴木春信、懷月堂氏江、河枝豐信、阿りう、窪川房信、一筆齋文調、柳文朝、鳥山石燕、細田榮之、江龍齋、鳶樂、戀川春町、窪俊滿、春潮、珠雀齋、歌舞伎堂、宮川長春、勝川春章、小松屋百龜、勝川春英、勝川春好、勝川春亭、勝川春扇、春川榮山、春川五七、北尾重政、北尾政演、北尾政美、喜多川歌麿、歌川豐春、歌川豐廣、歌川豐國、歌川國政、法橋玉山、法橋關月、法橋中和、東野春曉齋、竹原春朝齋、歌川國貞、歌川國長、歌川國丸、歌川國安、歌川國直、歌川國

香、葛飾北齋、辰齋、戲斗、蹄齋北馬、魚屋北溪、岳亭春信、柳川重信、菊川英山、溪齋英泉、後藤茂右衛門、泉守一、堤等琳、大蘇芳年。—ユドヒ。—イチマイエ。—アヅマニシキエ。—浮世繪類考、「東都第一ノ名產トシテ他鄕ノモノ江戸ヨリ歸ルニハ江戸繪トイヒテ必ズコレヲ求ムルコトトナレリ。世俗コレヲ一枚繪ト云フ。サキニ山東醒生翁曰ク延寶、天和ノ頃ノ一枚繪ト云フモノヲ藏セル人アリテ見ルニ、西ノ內ト云フ紙一枚ホドノ大サアリテ多クハ武者繪ニテ丹、綠、青、黃、黃土ヲモテ所マダラニイロドリ、大津繪ノイマスコシ不手際ナルモノナリ。畫ハミナ上古ノ土佐風ニテ甚ダヨシ。畫者ノ名ハ書サズ、モトヨリ歌舞伎役者遊女ノ類ノ姿ヲカカズ。元祿ノハジメ下リ役者ノ姿ヲカキハジム。丹ト胡ト云フモノニテイロドレリ。江戸眞砂子六十帖ニ曰ク、元祿八九年ノ頃元祖團十郎鎧櫃ニ扮ス。ソノ形チヲ畫キキザミテ漸クニ賣ル。價ヒ鑑五文。コレヨリ役者一枚繪ト稱スルモノ數種ヲ刻ストイフ。寶永正德ノ頃マデ專ラニアリ、享保ノハジメ同朋町和泉屋權四郎トイフモノ紅彩色ノ繪ヲ賣リハジム。コレヲ組ミ繪ト云フ。ソレヨリイロイロニ工夫シテ墨ノ上ニ膠ヲヌリ、金泥ナドヲモチ非テウルシ繪トイヒテ、大ニ行ハル。寬延ノ頃ヨリ彩色ヲ版刻ニスルヿハ始メテ、紅、藍、黃三遍ズリナリ。明和ノハジメ東錦繪ト云フモノ出來ハジメテ今ニイタリマスマス華美ヲ盡セリ。アル人曰ク寬文ノ頃ハ版刻繪ナシ。大津繪ノ如ク種々ノ武者繪ヲカキ繪ニシテ賣リヌ。版刻ニナリシハ延寶ノ頃ガハジメナルヨシ。シカルヤ否ヤ知ラズ」。—西鶴、若風俗、「セメテハソノ姿アリソママウツセヨトうきよゑノ名人花田內匠トイヘルモノ」。

▲うきんた　(第二上)、(又全平)名。〔浮きん田〕　京坂ノ方言。魚ノ名。めだかノ一名。うきた參考。

▲うきんちやぼ　(全平)名。〔うきんたノ轉訛〕　京坂ノ方言。魚ノ名。めだかノ一名。

▲うきんぢよ　(第四、五合)(……)名。〔……〕　魚ノ名。京坂ノ方言。めだかノ一名。

うく　(第二上)自動、四段。〔浮く〕　(一)水ノ上ニ沈マズニ載ツテ非ル。—ウカブ。—ウカム。—古今集、友則「うきナガラ消ヌルアワトモナルナラン流レテトダニ頼マレヌ身ハ」。　(二)水ノソコ、又ハソコ近イ方カラ水ノ表面ヘ出ル。—「魚ガうく」。　(三)身ニソハヌ。—「氣モタマシヒモうきタチテ」。　(四)タダヨフ。—「雲ガうく」。—「うきぐも」。　(五)齒ナドガ酸類ニ逢ヒナドシテ一種ノサハレヌヤウナ、ウゴクヤウナ感ジヲオコス。—非ル。—「齒ガうく」。

○うく　(……)他動、下二。〔……〕　ウカブヤウニスル。—ウカセル。

○うく　(第一上)他動、下二。〔(受—請)く〕　(一)モノヲ他カラ自分ノ方ニヒキトル。—カウムル。—「恩ヲうく」。—「キズヲうく」。　(二)キキイレル。—ショウチスル。—「タノミヲうく」。　(三)フセギトメル。—「刀ヲうけル」。

○うく　(……)他動、下二。〔(請)く〕　ソノモノニ對スルアタヒヲハラツテ、取リモドス。(賣物、年季ナド)。

うぐ・え　(第二グ)(第二上)名。〔打藍鞭〕　漁ノ具。細イ竹ヲ編ンデツクル。奥ヲ狹クシ魚ガ入レバ歸ルコトノ出來ヌヤウニシタモノ。—ウゲ。

うぐさ　(……)(……)名。〔鶉草〕　(一)ふぢさはぎくトオナジ草。(二)又草ノ名。たかのつつノ一名。(三)▲又、長門ノ方言。草ノ名。かきどほしノ一名。

△うくは　(全平)名。〔浮く羽〕　うきトオナジモノ。孟ノ古言。ムカシ筑紫デコノ語ヲ用非タト云フ。—日本紀、「昔筑紫俗號鵞曰浮羽訓、ウクハ」。

うぐひ　(第二グ、第三イ)(第一上)名。〔石斑魚〕(いぐひノ轉)　魚ノ名。うぐひトオナジモノ。—夫木集、カガリ火ノ光リニマガフ玉藻ニハうぐひノイヲモ隱レザリケリ」。

うぐひす　(……)(第二上)名。〔鶯—(柴鶯)〕　(一)鳥ノ名。めじろニ似テ肥エ、脊中ハヤヤ黑味ノカツタミドリイロ、腹ハハヒイロ、目ハ細ク嘴ハホソクテトガリ、足ハ粉ノ吹イタヤウナ黑色デ、眉ニ鼠色ノ三本ノ毛ガアリ、頰ニ髭ガ三本、聲ハキハメテウルハシク、初春カラナヘヅル。野デハ藪ナドニ住ミ、オモニ小サナ蟲ヲ食トスルモノ。普通人家ニ飼ツテ聲ヲ珍重スル。—トドメドリ。—ニホヒドリ。—キヤウヨミドリ。—「敕ナレバイトモカシコシうぐひすノ宿ハトトハバイカガコタヘン」。—和名抄、「字久比須」。　(二)クリヤノ道具ノ名。せつかいトオナジモノ。　(三)又香ヲ焚ク道具。組ミ香ノ包ミ紙ヲ刺ス串ノトナヘ。長サ四寸バカリ、兩端ガトガリ、銀又ハ赤銅デツクル。炭ヲカキ、又ハ火カゲンヲ見ル道具。語原ニツイテハイロイロノ說ガアル。か(香)ニとまる(止)ノ義ト云フノガ一番アタツテ居ルラシイ。但シ又一說、順德院ノ御歌(續後拾遺集)「アカナクニ折

レルバカリノ梅ノ花、香ヲ尋ネテウぐひすノ鳴クニ基イタトモイフ。（四）▲又、スベテ形チガ小サクテソノワリニ聲ノ高イ人ノ異名。（五）針仕事ノ語。縫フベキ處ニハサミ、絲デクケルタヨリヲヨクシタモノ。多クハ竹デ、ミジカク鎧ノヤウニツクリ、サキヲ二ツニ割ツタモノ。

▲うぐひす（（……）（……）名。〔……〕）（一）周防ノ方言。〔……〕草ノ名。あさなノ一名。（二）又、草ノ名。播磨ノ方言。かきはなノ一名。

うぐひす・がひ（（……、第五ガ、第六イ））第四上名。（一）あこやがひノ一種。大キイノハ長サ三寸アマリ、カラハ長ク、ワキヘツバサノヤウニ張リダシ、ホトンド鳥ノ形チヲシタモノ。（二）又、貝ノ名。くじやくがひノ一名。

うぐひす・さう（（第二グ、第三イ、第五ソ））（金平）名。〔……草〕　草ノ名。るりさうノ一種。葉ハ大キクナガク、毛ガハヘ、夏、ホソイ莖ヲダス、莖ハウナダレテ、ソコニ五瓣ノ水色ノ花ガサク。

うぐひす・そで（（第二グ、第三イ））（第四上）名。〔……袖〕　實物不詳。或ハワキアケノソデトイヒ、或ハふりそでトモイフ。—〔ケフヨリハうぐひすそでブクチハテン、イモヲウラミノ涙ナガラニ〕—長歌、松の葉、「花ノ色色ソノ小蕊、開クニ初音ノうぐひすそでヲ」。

うぐひす・だけ（（……）（第四上）名。〔……竿〕）　キノコノ一種。春、出ルベニたけノ一名。色ハアカク、食用ニナル。

うぐひす・ちや（（……、第五、六合）（……）根。〔……茶〕）　染メ色ノ一ツ。ウグヒスノ羽ノ色ニ似タモノ。綠ニ茶ト黑ガマジツタモノ。—ウラバヤナギ。

うぐひす・な（（……）（……）名。〔……菜〕）（一）こまつなノ一種。春カラ夏ニカケテ食用ニナル。（二）みづなノ小サイモノ。（三）▲又、京都ノ方言。極小サナかぶら。

うぐひす・の・き（（……）（第二、及、第六上）名。〔……の木〕）　灌木ノ名。高サ五六尺マデソダツ。枝葉ハ對生シ、葉ハタマゴナリ、又長イノモアル。春五瓣ノ小サナ赤イ花ヲツケ、あづきグラヰノ赤イ實ヲ結ブ。コノ實ヲあうじちト云フ。—ウグヒスボク。—和名抄「宇久比須乃岐」。

うぐひす・の・さるがき（（……、第八カ））（第二上）名。　蔓草ノ名。葉毎ニ髭ガ二本ツツ、葉ハマルク、扁タク厚クテ光リガアリ、蔓ハ節ゴトニ曲ガツテ、堅イトゲガアリ、春、古イ蔓カラ芽ヲ出シ、新葉ノ間カラ一すバカリノ穗ヲ出シテ、ウスモエギイロノ六瓣ノ花ヲツケル。實ハむくろんじニ似テキレイニ圓ク、熟シテ赤クナリ、根ハ岩ノヤウニ凸凹ガアリ、取ツテ藥ニナル。藥屋ハコレノトゲヲ取ツテ箸ヤ楊枝ニツクル。—サルトリ。—サルトリイバラ。—エビイバラ。—ガンダチンバラ。—ワノサンキライ。—カキムバラ。—オホウバラ。—ワラ。

うぐひす・のみ（（……）（全平）名。〔鷽呑み〕　酒ノ飲ミ方ノ一ツ。二人ガ十杯ヅツ引キウケ、早ク呑ムトテカチマケヲスルモノ。—宗五大雙紙、「うぐひすのみトハ兩人イデテ十杯迷クノミタルヲ勝チト申シ候フ」。

うぐひす・ぼく（（……）（第四上）名。〔……木〕）

うぐひすのきトオナジモノ。

うぐひす・まゆ（（……）（第五上）名。〔……眉〕）　ムカシノ奥女中ガヒイタ眉ノ一種。十六七才ノ頃ヨリモツパラコレニスル。眉ヲ上下カラホソク剃リツケ、中ニコキズミデ心ヲサシタモノ。—イトマユ。—ヤナギマユ。—奥女中袖鏡、「うぐひすまゆ」。

うぐひす・もち（（……）（第四上）名。〔……餅〕）　よねまんぢゆうノ一種。モチニ餡ヲクルミ、兩端ヲトガラセ、青ギナコヲ塗リツケタモノ。色ガ鶯ノ羽ニ似タ處カライフ。—京傳、徒然艸月花シンコ引キフダノ文、「花ニ鳴クうぐひすもちニハコレガ初音ノタカキヲイトハズ」。

▲うぐら（（第二グ）（全平）名。〔古言、うどろもちノ轉〕）　三河、周防ノ方言。ケモノノ名。

ひぐらもちノ一名。

▲うぐら・もち（（……）名。〔……〕）　豐後ノ方言。獸ノ名。ひぐらもちノ一名。

▲うぐらもち（（第二グ）（……）名。〔……〕）　中國ノ方言。獸ノ名。ひぐらもちノ一名。

うくわ（（第二、三合）（第一上）名。〔羽化〕）（一）動物學ノ語。蟲ノタグヒガ、さなぎカラ、羽子ノアルノニカハルモノ。（二）又、人間ノ體ニ羽子ガハヘルトイフコト。—「羽化シテ登仙スルノオモヒアリ」。

うくわい（（……）（全平）名。〔迂回〕）　トホミチヲマハルコト。—サモ無イ道ヲ遠クマハルコト。

うくわつ（（……）（……）根。〔……滑〕）　マハリドホクアルコト。—心ガ行キトドカヌコト。—ボンヤリ。—ウツカリ。—ウカリ。

うくわつ・に（（……）（……）副。〔……に〕）　フカク考ヘズニ。—ウカリト。

△うけ（第一上名。〔食〕〔うか（食）ノ轉〕）　クヒモノ。—ケ。—ウカ。

うけ（（全平）名。〔泛子〕）　うきト同ジモノ。—萬葉集、「住ノ江ノ津守アヒキノうけノ緒ノ浮カビカ行カン戀ヒツツアラバ」。—和名抄「泛子、浮氣」。

△うけ（（……）名。〔虛（空筒）〕〔うつけ（空虛）ノ義〕）　道具ノ名。馬ノ飼ヒ桶ノタグヒ。—ウケフネ。—日本紀、「覆槽（訓、ウケ）」。

うけ（（……）名。〔受け〕）（一）スベテウケルコト。（二）ムカフコト。—〔カザうけ〕。（三）スベテ支ヘツツパルコト。—ウケトメ—〔屋根ノうけヲスル〕。

うけ（（……）名。〔……答〕）（一）スベテ、答ヘルコト。—シヤウダクノ應キノ返事。—〔うけヲスル〕。（二）オモハク。—ココロモチ。—キアヒ。—戲場新語、「上リ高ヨキヤウニ・セントスル時ハ、茶屋ノオモハク惡ク、茶屋ノうけヨロシケレバ、金子ノ上リアシク」。

うけ（（全平）名。〔有卦〕）　陰陽者流デ云フ語。五行ノカチマケノ理カラ、ヒトニ配當シ、人ニ由ツテ吉或ハ凶ニナル。うけニ入レバ七年間吉ガ多ク、むけニ入レバ五年間凶ガ多イト云フ。

◎●うけニ入ル。—〔うけニ入レバ吉ガ多イト云フ所カラ轉ジテ〕（善イ運ニ逢フ。—シアハセヲスル）。

うけ（（第二ゲ））第一上名。　うぐえノ約。同義。

うけ・あひ（（第四イ））（……）名。〔受け合ひ—請け合ひ〕　スベテ、ウケアフコト。—ヒキウケ。—近松、心中二枚繪草紙、「所ヘ繻龍ノ長助來タリ、ワシガうけあひノ菱屋ノ花ダイ、津ノ國屋ノ料理ダイ」。

うけ・あふ（（第四ウ））（……）他動、四段。〔……ふ〕）　スベテ、シツカリト響ツテヤクソクスル。—保證スル。—タシカナ應キノ證人ニ立ツ。—十返舍一九、馬鹿ニツケル藥、「療治ノ致シ方ガチガヒマスカラ、百兩モ御出シナサラズバ成リマスマイ。其カハリうけあつてナホリマス」。

△うけ・あゆみ（（第三上）名。〔浮け歩み〕）　スベテユックリト落チツイテ、足オトヲ甚シクタテズ、柔カクアルグコト。—ウキアシ。—西鶴、一代女、「三カサヂノ衣裝着コナシ、スアシ遣中クリダシノうけあゆみ」。

うけう（全平）名。　うけうと同ジモノ。

うけうと（（……）名。　海草ノ名。ところてんぐさニ似テホソ長ク、紫色。サラセバ玉子色ニナル。コレヲ煮テトコロテンノヤウニ製シテタベル。主ニ筑前ニ產シ、之ヲ紅ニ染メタノヲしやうじやうのりト云フ。

うけ・うり（（……）名。〔受け賣り〕）　問ヒ屋カラ物ヲ御シテ、「取次イデマタ賣ルコト。

うけ・れひ（（第四イ）（第三上）名。〔……負ひ〕）　スベテ、建築、其他ノ細工モノニ云フ語。アラカジメ日限或ハ入費ナドノ高ヲ見積リ、損徳ヲ見キハメテ、後ニ仕事ヲヒキウケルコト。

うけおひ・し（（……）（……）名。〔……師〕）　ウケオヒヲスル人。—ウケオヒヲシテ職業トスル人。—ウケオヒニン。

うけおひ・しごと（（……、第六コ））（第五上）名。〔……仕事〕）　ウケオヒニシタ仕事。

●うけおひ・しごと（（……）（……）根。〔……受ケ負ヒニシタ仕事ガ得テ約束ダケノモノヨリ外デキアガラズ、シカモ、トモスレバ約束ヨリ却テ惡イモノヲ作ル方ガ多イト云フ事實カラ、轉ジテ〕　スベテ、ナゲヤリニスルコト。—「ドウセうけおひしごとダモノヲ、ロクナコトハアリヤアシナイ」。

うけおひ・にん（（第四イ））（第三上）名。〔受け負ひ人〕　うけおひしト同ジモノ。—内藤阿波守、内安鑑、「うけおひにんヨリ封ノママ出シタル由、其後スコシハ改メタリキ」。

うけ・ふ（（第四ウ））（……）他動、四段。〔……ふ〕）　スベテ、ウケオヒノ仕事ヲ引キ受ケル。

うけ・ふり（（全平）名。〔浮け織り〕）　うきふりト同ジモノ。

○うけ・がひ（（第三カ、第四イ））（……、又、第三上）名。（（諧）ひ）〔うけがふノ名詞體〕　ショウチ。—ショウダク。—ウケヒキ。—ガッテン。—落窪物語、「何カうけがひアラント云ヘバ」。

うけ・がふ（（第三カ、第四ウ））（第三上）他動、四段。（（諧）ふ）〔うけ（受）かふ（交）ノ義〕　心ニ引キ受ケテ、ショウチスル。—ウケヒク。—ショウダクスル。—ダクスル。—ウベナフ。—ガヘンズル。

△うけ・ぐつ（（第三グ）（全平）名。〔鹿沓〕〔うけハうがち（穿）ノ義〕　穴ナドノウガタレタ沓、即チ、ヤブレグツ。

うけ・とたへ（（第五ヒ））（……）名。〔受け答へ〕　問ハレタコトヲ受ケ、マタ答ヘルコト。—オウダフ。—アイサツ。—オウタイ。—三世相錦繡文章、「イヤモウ、三味線ノうけとたへ、七郎カンチン。去リナガラ、六三ハオテチンチャンコロナシ」。

うけ・とみ（（……）名。〔……込み〕）　ウケコムコト。—ヒキウケ。—ノミコミ。

うけ・とム（（……）他動、四段。〔……む〕）　承知シテヒキウケル。—ショヒコム。—ウケイレル。

△うけ・ざかや（（第三上）名。〔受け酒屋〕〔うけうり（受賣）さかや（酒屋）ノ義〕　酒ヲ受ケテ、小賣リスルサカヤ。元祿ノコロ行ハレタ語。—西鶴、若風俗、「此若衆メヲ肴ニシテ飲メト、坂ナルうけざかやヲ叩キオコシ、口ノカケタル德利ヲナラシ」。

うけ・じやう　(〈第四ヨ、第三、四合〉〈第二上〉)名。〔……狀〕　ヒキウケルオモムキヲ記シタ證書。—ホシヨウシヨ。—ウケシヨ。—寛天見聞記「役者ノ弟子、奉公人うけじやうニテカカヘルヨシ」。

うけ・しよ　(〈第三、四合〉)〈……〉名。〔……書〕　承知シタ趣キヲ書イタショウシヨ。—ウケブミ。—ウケジヤウ。

△うけ・そう　(全平)名。〔……奏〕　ノゾミ受ケルコトノソウモン。昔シ、朝廷ノモノヲ願ツテ受ケルコトニナツタ時、其コトヲ願フソウモンヲ言ツタ語。

うけ・だす　(……)他動、四段。〔……出す〕　ソレダケノ代ヲ出シテ、ツグナヒカヘス。—西鶴、若風俗「遊女ヲうけだすト、野郎ノ家買フテ遣ルト」。

うけ・だち　(第二上)名。〔……大刀〕　劍術ノ語。切リツケラレタノヲ受ケ止メル太刀。

◎うけだちニナル。—ヨワル。—オトロヘル。—カタムク。—威勢ガナクナル)。

うけ・たまはる　(〈第五ワ〉)(全平)他動、四段。〔(承)る〕　(一)オホセヲ受ケ明ク。專ラ敬語トシテツカフ。—源氏、「オン琴ノキヲ・ヨニうけたまはらデ久シクナリニケル」。(二)普通ノ手紙ニ用ヰル語。キク。—トヒタツネル。

うけつ　(……)名。　貝ノ名。あうむがひノ一名。

○うけ・つく　(……)他動下二。〔受け付く〕　ヒキウケル。—ウケル。—ソレニ出逢フ。—トリアフ—「ナントト云ツテモうけつけズ、空ウンプイチ居タスガタ」。

うけ・つぐ　(〈第四グ〉)〈……〉他動、四段。〔……繼ぐ〕　受ケ取ツテ引キツグ。

うけ・つけ　(……)名。〔……付け〕　(一)ウケツケルコト。(二)〈轉ジテ〉スベテ、トリツギノ所ニ居テ、來タモノヲ受ケ付ケル人。—トリツギ。

●うけ・つけル　(……)他動、二。〔……る〕　うけつくノ近體。

うけ・とり　(……)名。〔……取り〕　(一)ウケトルコト。(二)〈轉ジテ〉專ラ、ウケ取ツタ趣キノコトヲ書イタショウシヨ。—リヤウシヨウシヨ。

うけ・とル　(……)他動、四段。〔……る〕　コチラヘトル。—手ニトリコム。—リヤウシスル。

うけ・にん　(……)名。〔請け人〕　ヒキウケテ、保證ヲスル爲メノ人。—ショウニン。—ホショウニン。—淺井了意、東海道名所記「他國ニハシリテ、うけにん—近松、釋迦如來誕生會「イクヘニモ御詫ビト、長者ノ前ニカシコマリ、私ハ彼ガうけにん」。

◎コノ語ヤ癩語トナリカケタ。

△うけ・の・みたま　(第一上)名。〔稻魂〕　うがのみたまト同ジモノ。—和名抄「稻魂、和名宇介乃美太萬」。

○うけ・の・を　(第三上)名。〔泛子の緒〕　ウケ(泛子)ニ付ケル緒。

△うけ・はしげ　(〈第五ケ〉)(全平)根。〔呪詛はしげ〕　ノロヒゴトガマシイ。—源氏、「弘徽殿ニハうけはしげニノタマフト聞キシヲ」。

△うけはしげに　(……)〈……〉副。〔……に〕　前ノ副詞體。

うけ・はり　(……)名。〔受け張り〕　カブトノ名ドコロノ一ツ。昔ノ兜ニハ之ヲオカズ、後世カラ始マル。かぶとノ上ヲ包ミ、頭ノアタルノヲ防イダモノ。昔シハ髮ヲ高ク結ツタユヱ、髮ノ毛ナドノ多イモノハ兜ノ中ヘ髮ノサキガツカヘ、痛ムユヱ、テツペンカラ髻ノサキヲ出シテカブル。ソレユヱうけはりヲバ付ケヌ。中古カラ髮ガ短クナルト同時ニ、此うけはりガ盛ンニ用ヰラレ、多クハヒトヘ布ヲモモヘ刺シニシタモノヲツカツタ。切レハ太平布カ、上布ガ善ク、何レモ琉球ノヲツカフ。色ハ紺ヲ最上トシ、德川時代ニナツテ縮緬ヲモ用ヰタ。

うけ・ばり　(……)名。〔……〕　ビヤウブノハリカタノ一種。經師屋ノ語。中ヲカラニシテ、骨ダケノ上カラ輕ク浮カセテ、張ルコト。びやうぶ參考。

○うけ・ばル　(……)他動、四段。〔(睹)ばる〕　うけ(睹)ヒキウケル。—ヲハタラカセタモノ。—ショウチスル。—ウケオフ。—オモフママニ專ラスル。—源氏、「人モ得オトシメ聞コエ賜ハチバ、うけばりテ飽カヌコトナシ」。

△うけひ　(〈第三イ〉)(全平)名。〔呪詛ひ〕　ウケフコト。—神ニ誓ツテイノリゴトヲスルコト。—ノロヒ。—日本紀、「宇氣譬」。

△うけひ・がり　(〈第四ガ〉)〈第三上〉名。　(一)チカツテ行ナフ獵リ。(二)獵ノ有無ヲトスルウラナヒ。

うけ・ひき　(全平)名。〔受け引き〕　ウケヒクコト。—ショウダク。

うけ・ひく　(……)他動、四段。〔……く〕　ショウチスル。—ショウダクスル。—ウベナフ。—ショウインスル。—ダクスル。—ウケガフ。—源氏、「オンウシロミスベキ人モナク、世ニうけひくマジキコトナレバ、中中アヤフクオボシハバカリテ」。

△うけフ　(〈第三ウ〉)〈第二上〉他動、四段。〔呪詛ふ〕　(一)ウケヒスル。—キセイヲスル。—チガヒヲカケル。—古事記、「うけひマヲシタマフ」。(二)ノロフ。—神ニ祈ツテ、神ノ力ヲ借リテ、我ガニクム人ヲナヤマセヤウトスル。—イノル。—伊勢物語「罪モナキ人ヲうけへバ、忘レ草、オノガ上ニモオフトイフナル」。

△うけ・ふせ　(全平)名。〔空笥覆せ〕　ウケ(空笥)ヲフセタコト。

△うけ・ふね　(……)名。〔……船〕　うけ(空笥)ト同ジモノ。—延喜、四時祭式「うけふね」。

○うけ・ぶみ　(第二上)名。〔請け文〕　スベテ、ウケアツタ趣キヲシルシテ、出スカキモノ。—ウケシヨ。—ウケジヨウ。

うけ・み　(……)名。〔受け身〕　(一)相撲、又ハ柔術デ云フ語。他カラ來ル働キヲコチラデ受ケルコト。(二)又、文法デ云フ語。前ト同ジク、ハタラキヲコチラデ受ケル義。即チ「見ラレル」「取ラレル」ナドノ類。(三)〈轉ジテ〉スベテ、他カラノハタラキヲ被ルコト。—チカラノ無イコト。—イキホヒノ無イコト。—ウケダチ。—「うけみニナル」。

△うけ・ぶるまひ　(〈第六イ〉)〈第三上〉名。〔有卦振る舞ひ〕　有卦ニイツタ時、ソレヲ祝フタメ行フフルマヒ。—枕ノ草紙「メデタキモノ」「うけぶるまひ」。

うけ・もち　(全平)名。〔受け持ち〕　ヒキウケテ、持ツコト。又ヒキウケタ事業。又引キウケル職。—フタン。—戲場新話「囃子町ノモノ持チ出シタルニヨリ、囃子方ノうけもちニナリタリ」。

うけもち・の・かみ　(……)名。〔保食の神〕　日本ノ古傳ニイフ神ノ一ツ。食物ノ神。「うけもちハしよくもつノ義」。

うけ・もツ　(……)他動四段。〔受け持つ〕　ヒキウケル。—タンタウスル。—自分ノ仕事トシテウケトル。

△うけら　(……)名。〔朮〕　草ノ名。をけらノ古言。—萬葉集、「アサカガタシホヒノユタニ見渡セバうけらノ花ノ色ノイデメヤ」。

●うけル　(第二上)他動、二。〔(受)ける〕　うくノ(受)ノ近體。

うけ・を　(全平)名。〔受け緒〕　鎧ノ緒ノ一ツ。袖ノウシロノぐみヘ付ケル緒ノ名。(前ノぐみヘ付ケルかけをノ對)。

う・げん　(〈第二ゲ〉)〈第一上〉、又、(全平)名。〔繩〕　うんげんトオナジモノ。

うげん・べり　(……)〈全平〉名。〔……縁〕　疊ミナドニツカフ。げんデシタヘり(緣)。—枕ノ草紙「昔シオボエテ不用ナルモノ、うげんべりノタタミノ古リテフシ出デタル」。

△う・こ　(第一上)名。〔鳥滸〕〔をこト異體同種〕　ツタナイコト。—ワラフベキコト。—バカバカシイコト。—アサハカデアルコト。—日本紀「イヤうこニシテ」。

うご　(……)名。〔海髮〕　海草ノ名。ふごト同ジモノ。播磨及ビ東京デモ云フ。サシミナドノツマトシテツカフ。

う・ご　(……)名。〔(雨後)〕　雨ノフツタノチ。—アメノアト。—「うごノ月」。

うごかス　(第三上)他動、四段。〔(動)かす〕　ウゴクヤウニスル。—ユルガセル。—源氏、「アサタノ宮ヅカヘニ付ケテモ、人ノ心ヲうごかし、ウラミヲ負フツモリニヤアリケン」。

うこ・ぎ　(〈第三ギ〉)〈第一上〉名。〔五加木〕〔古言むこぎノ轉〕　灌木ノ名。多ク人家ニ植エテくこノヤウニ垣根トスル。葉ハ鋸齒ガアリ、形ハにんじんニ似テ、若葉ハくこト同ジク食用ニナル。多ク胡麻イリニシ、胡桃ナドトアヘテタベル。夏ノ頃小サナ白イ花ヲ付ケ、實ハ熟スレバ黑クナル。—西鶴、一代女「ムカヒハうこぎノイケガキニテ人ギレナシ」。

うごき　(〈第二ゴ〉)〈……〉名。〔(動)き〕　ウゴクコト。

◎うごきガトレヌ。—運動ガ出來ヌ。—自由ガキカヌ)。◎うごきガツク。—(身ノフリカタガ付ク。—方向ガ定マル。—自由ガ叶フ)。

うこぎ・にんじん　(〈第三キ〉)〈第四上〉名。〔五加木人參〕　草ノ名。かのにげぐさノ一名。

うごく　(〈第二ゴ〉)〈第二上〉自動、四段。〔(動)く〕　物體ガ時トトモニソノ位置ヲカヘル。—トドマツテ非ヌ。—オチツイテ非ヌ。—ユルグ。(しづまるノ對)。

▲うご・こぶ　(……)〈第三上〉名。〔海髮昆布〕　播磨ノ方言。海草ノ名。ふごノ一名。

△うごなはル　(……、〈第四ワ〉)〈第三上〉、又、(全平)自動四段。〔(集はる)〕　參リアツマル。—日本紀「マウキ、うごなはれリ」。

△う・ごま　(〈第二ゴ〉)〈全平〉名。　タダノごまト同ジモノ。ごまノ古言。—和名抄「胡麻、香五萬、訛云宇古末」。

うごめき　(……)〈第三上〉、又、(全平)名。〔蠢き〕　ウゴメクコト。

○うごめく　(……)〈……〉自動四段。〔……く〕〔うごき(動)めくノ義。〕　めくハゆらめくナドノめく。　ウゴクヤウニ見エル。—ヤヤウゴク。—ウザウザトウゴク。—モヂモヂトウゴク。—ヲゴメク。(主ニ小サナ蟲ナドノ類ニ云フ)。

▲うご・も　(……)〈……〉(〈第二上〉)名。〔海髮藻〕　陸奥ノ方言。海草ノ名。もづくト同ジモノ。

○うごもツ　(……)(第三上)自動、四段。(墳ツ)土ガタカクナル。＝ウゴモル。

△うごもり　(……)(全平)名。(……り)　やまのいもノ異名。〔やまのいもハウゴモル所ニアルユヱニ云フ〕—古淨瑠璃、小栗判官、「セイナントハ芹ノコト、うごもりトハ山ノ芋、カゴモリトハトコロテンナリ」。

○うごもル　(……)(……、又、第三上)自動、四段。(……る)　ウゴモツ。

▲うごろ　((……)(全平)名)〔うぐろもちノ略〕備後ノ方言。むぐらもちノ一名。

△うごろ・もち　(……)(……)名。((鼴鼠))　むぐらもちノ古言〔うごら(土墳)もち(持)ノ義〕。

うごつ・けい　((第三逼)(第二上)名。(鳥骨鷄))　鳥ノ名。をこつけいト同ジモノ。

うごん　(……)名。((鬱金))　(一)草ノ名。形ハだんどくニ似テ、少シ大キク、秋、小サナツブノ白イ花ガ咲ク。根ハ香料又ハ薬ノ具ニツカヒ、薬ノ具ニシテハ鬱金染メヲスル。(二)うこんカラ取ツタエノグ。(三)▲又、草ノ名。周防ノ方言。ちやんぱぎくノ一名。

うこん　(全平)根。(……)　色ノ一ツ。うこんカラ取ツタ黄イロイ色。

うこん　(第一上)名。(右近)　官ノ名。うこんゑふノ略。☆このゑふ參考。

うこん・にんぎやう　((第六ギ、第七ヨ、第六、七合))(第四上)名。(右近人形)〔黄色ノカブリモノヲシタト云フ處カラ推セバ或ヒハ鬱金人形カ?〕—京傳近世奇跡考、ムカシ右近源左衛門トイフ若モノ京都ヨリクダリ、三味線ヒキ一人、地ウタヒ一人ニテ、藪スル時今ノカツラナド云フモノナク、黄色ノフクサモノニ細キ絲ヲツケ、額ニカフリテ月代ヲカクス。面體奇麗ノ若者ナレバ女ノゴトクニ見ユル。……此源左衛門黄ナルフクサモノ被リタル體ヲ人形ニ水ニテ遊リ、紙ニテ張リヌキニモ作リテオヒタダシク賣リ」。

うこん・の・つかさ　(第二上)名。(……司)　ムカシ天子ノ御座チカク居テ、警護シタ武官ノ名。☆このゑふ參考。—源氏、「うこんのつかさノトノ井申シノ聲キコユルハ丑ニナリヌルナルベシ」。

うこん・ばな　(……)名。((鬱金花))　木ノ名。山中ニ自然ニ生ヘル。高サ一丈バカリ、春八重ノ小サナ黄イロイ花ガ澤山ニ咲ク。葉ノサシワタシハ三寸バカリデ、丸クテ、三ツノカドガ立ツ。

うこん・ゑ　(全平)名。(右近衛)　官ノ一ツ。☆このゑふ參考。—「うこんゑノ官ノ一ツ。

ノ樓中將」。

うこん・ゑ・ふ　(第四上)名。(……府)　ウコンエノ役所。昔ハ京都上西門ノソバニアツタモノ。☆このゑふ參考。

○う・さ　(第一上)名。((蠶さ))　蠶クアル度合ヒ。—源氏、「ソノハラヒ。＝ツラクアル度合ヒ。—源氏、「ソノハラヤ伏セ屋ニオフル名ノうさニ」。

う・さい・かく　(第二上)名。(鳥犀角)　色ノ黒イ犀角。☆さいかく參考。

うざう・もざう　((第六、及、第五ゲ))(第一、及、第四上)名。(有象無象)　ゴタゴタアル。第四上名。(有象無象)ノ。＝タクサンアルモノ。＝ウヨウヨアルモノ。＝イロイロ。＝ウヨモヅ。—「人間トイフうざうもざう」。

◎言海ニ此語ヲ解シテ、有象無象トシ、世上ニ形チノアルモノト形チノ無イモノト解シタノハ何サマ巧ミナガラ、ナントナク餘リ解ガ巧ミ過ギルヤウニ思ハレル。うざうもざうハ要スルニあくたもくづノ轉デハナカラウカ? あくたもくづハあくぐもくぐ孩、色色ノ音便カラ分レタ語ノアル所デ、其意味ト云ヘバ茲ニ云フうざうもざうト殆シタルチガヒモ無イ。☆あくたもくづ參考。

うさかの・つゑ　(第五上)名。(卯坂の杖)　越中ノ國ニ卯坂明神ト云フ神ガ祭ラレテアル。此祭リニハ女ガスベテ男ニ逢ツタ、其數ダケカンヌシガ杖デ打ツ。夫レ故ニうちのまつりトモ云フ趣キ、ツマリつくまのまつりノヤウナ類ヒノモノ。うさかのつゑハ其時用ヰル杖ノ名。

うさぎ　((第三キ))(全平名。(兎))　(一)本名ハタダノうぎ、うさぎハ蛇語トイフ〕小サナケモノノ名。長サハ二尺バカリ、耳ハ甚ダ長ク、カラダハ茶色デ、前足ガ短ク、後足ガ長イ。口ノウハクチビルハ所謂三ツクチデ長イ毛ガアル。目ハ赤ク、驚動ハ甚ダ敏捷デ、感覺ガ極メテスルドク、坂ヲクダルヨリハ高イ方ヘノボルノガ早イ。常ニ山ノ中、クサムラ、又ハ穴ナドニ棲ミ、他ノモノノ來ルオトヲ聞クバ早ク知ツテ逃ゲ、容易ニ目ニ觸レヌ。肉ハ甚ダ美マク、食用ニシ、毛ハ筆ニツカフ。＝ノウサギ。＝ヲサギ。＝ヤマウサギ。(二)マタ、家ニ飼フのうさぎノ一種。毛ナミハ白、黑ブチ、カキ、ナド色色アツテ、定マラズ、飼ツテモテアソブ。＝カヒウサギ。＝ヲサギ。＝ナンキンウサギ。＝カト。—和名抄「宇佐木」。

うさぎ・うま　((……))(第三上)名。((驢))(耳ノ長クテ兎ニ似タ處カライフ名)　獸ノ名。形チハ馬ニ似テ小サク、足ハ短カク、耳ハ長ク、カラダハ鼠色デ、脊中ニヒト筋黑イ筋ガアリ、肩デ十文字ノ形ヲ現ス。性質ハ極メテ温順デ、且ツスコシ鈍ク、サナガラ

馬ノヤウニシテ車ヲヒカセ、物ナドヲ負ハセル。＝ウサギマ。＝ロバ。—日本紀、「驢」(訓、ウサギウマ)一疋。

うさぎ・かくし　((第三ギ))(第四上)名。(兎隱し)　水ノ名。はまくさぎノ一名。

うさぎ・の・かみ　((……))(第六上)名。(……の神)日本ノ古傳ニ云フ神ノ名。委シクハ、古事記ニ出テヰル。其趣キヲ茲ニ解キヤハラゲレバ、昔大國主神ノ御兄弟ガ澤山ニアツテ、御兄弟八十人オノオノ皆いなばのやかみ姫ト云フ姫ヲ妻ニスル心ガ有リ、イヅレモ因幡ノ方ヘ行カレタ途中、氣多ノ崎ト云フ所ヘ行クト、ソコニ赤肌ノ兎ガ一疋寢テ居タ。ソレヲ見テ、神タチガ其兎ニ云フニハ、オマヘハ此所ノ濱邊ノ潮水ニヒタリ、風ノ吹ク高山ノ峰ニ寢ルガヨイトノ事。ソコデ兎ハ云ハレタ通リ山ノ上ニ寢テ居ルト、海ノ鹽ケノ水ガダンダン乾イテ身ノ皮ガコトゴトク風ニ吹キ裂カレ、痛ンデ痛ンデタマラズ、苦シガツテ泣イテ居タ所ヘ、アトカラ大國主神ガ來テ其兎ヲ見テナゼ泣イテ居ルト聞カレタ。兎ガ答ヘテ、私ハ隱岐ノ島ニ居テ、此國ニ渡ラウト思ツタモノノ、渡ルコトガ出來ナカツタタメ、實ハ海ニ居タ鰐ヲダマシ、私トオマヘト種類ノ多少ヲクラベテ見ヤウデヤナイカ、先ヅオマヘノ仲間ノアル限リコトゴトク連レテ來テ、此島カラ氣多ノ崎マデ一列ニ並ンデ見ロ、サウスレバ私ガ其上ヲ踏ンデ、一一勘定シテ見ヤウ。其レカラ又私ノ方ノ數ヲクラベレバオマヘノ方ガ多イカ、私ノ方ガ多イカ、ドチラガドウデアルト云フコトガ分カルト云ヒ、ソレニ鰐ハ欺カレテ其通リ一疋ヅツ揃ツテ浪ノ上ニ行列シタ、ソノ上ヲ私ガ踏ンデ、數ヲ勘定シナガラ渡リ、愈此岸マデ來テ、今ヤ岸ニトドカウト云フ時ニ、ツヒ口ガスベツテ、ザマヲ見ロ、私ニダマサレテ、馬鹿ナ眞似ヲシテト—惜テ云ハナケレバイイコトニ—云ツタ所カラ、鰐ハオソロシク腹ヲ立テ、スグト私ヲ引ツクハヘテ、殘ラズ私ノ着テヰル着物ヲ剝ギ、欺カレタ怨ヲカヘシテイツテ仕舞ツタ。是レニ由テ斯ウシテ泣イテ悲ンデヰタ所、アナタヨリ先キニオ出デニナツタ神ノ仰セニ鹽ヲアビテ風ニアタツテ居レバイイト云フ話デ、其通リニシタ所カ、イイドコロカ、遂ニ斯ウ云フコトニナツタ始末ト、ウチアケテコマゴマト大國主神ニ申シ上ゲタ。其レカラ大國主神ガ兎ニ教ヘテ云フニハ、ソレハ飛ンデモナイコトダ。早ク此湊ヘ行ツテタダ水デ丁寧ニカラダヲ洗ヒ、ソレカラ湊ニ生ヘテヰル蒲ノ花ヲ取ツテ、下ヘ敷イテ其上ニ寢テ居ルナラバ、オマヘノ身ハモトノヤウニ必ズナホルト教ヘラレタ。ソレカラ教ヘノ通リニシ、遂ニサシモ爛タツテ居レバイイト云フ話デ、其通リニシタ所カ、是カラいなばのしろうさぎト云フモノニナツタノガ今云フうさぎのかみトシテ祭ルモノトイフ。

△うさぎ・ばね　((……))(全平)名。(……跳ね)兎ノヤウニハネルシカタ。＝兎ノヤウニ足ニカヲ入レテ前ヘ飛ブシカタ。

△うさぎ・ま　((……))(第三上)名。　ケモノノ名。

うさぎうまノ略。—夫木集、「身ヲうさぎまニウナガシシガ行ク」。

うさぎ・むし　((……))(……)名。(兎蟲)　蟲ノ名。いいぎりノ一名。

△うさ・ゆづる　(……)名。　カケガヘニ貯ヘテ置ク弓ヅル。—日本紀、「設弦(訓、ウサユヅル)」。

うさん　(第一上)名。(胡燕)(胡燕ノ支那音)茶人ガ用ヰル茶碗ノ名。名物七種ノ一ツ。＝ケンサン。—庭訓往來、「胡燕訓、ウサン」。

うさん　(全平)根。(胡散)(語原不詳)　スベテ、ウタガヒ、アヤシムベキコト。＝アヤシイコト。＝フシンデアルコト。

うさん・がは　((第四ガ、第五オ))(……)名。(……顏)フシンラシイ顏。＝ウケノ分カラヌト云フヤウスノ顏。＝近松、博多小女郎濱枕、「マヅマヅコレヘト、煙草盆モテコイ、茶モテコイヨト云フ程ニ九右衛門うさんがは」。

●うさん・くさい　(……)形。(……臭い)(くさいハものぐさいナドノくさい)　ウサンラシイ。＝ウサンデアリサウナ。＝何トナクアヤシサウデアル。

●うさん・くさ・る　(第五上)名。(……さ)　ウサンクサクアル度合ヒ。

うし　(第一上)名。((大人))(ぬし(主)ト異體同種)　(一)△スベテ、人ヲ尊ンデ云ツタ語。昔シオモニ君主ナドニツカツタモノ。(二)○後世師匠或ハ學者ノ尊稱。—「加茂ノ眞淵ノうし」。

うし　(全平)名。(牛)　(一)ケモノノ名。形チハ馬ヨリ大キク、足ハホンクテ短ク、カラダハ肥エ、頭ニ角ガ二本アル。尾ハ細クテ短ク、ヒヅメハ二ツニワレル。毛色ハ黑、赤、黃、白ブチナド色色アル。性質ハユルク、オチツイテ、力ハ極メテ強ク、常ニ家畜トシテ、イロイロノチカラワザヲサセル。肉ヤ乳ハ食用ニシテ最モ滋養ガアリ。其他血、皮、骨、ヒヅメ、角ナド何レモソレゾレノ役ニ立ツテ、全身カラシテヒトツモ捨テル所ガナイ。—和名抄、「牛、宇之」。(二)ウ

ツバリノ大キイノノ稱ヘ。（三）楊弓ノタハムレノ語。百點ノ異名。

◎此第二ノ解義、即チ大キイウツバリトノ語ヲ解イテ、言海ハ汗牛充棟ノ語カラ轉ジテ來タモノト云フノハ少シ附會ニ過ギル。是レハ牛ニ乘カセル丸太ト云フ義ヨリ外持タヌ。スベテ、普通搬スルニハ大キナモノナラバ牛ヲ用ヰタ所カラ、大キナ材木ヲモ轉ジテうしト云ヒ習ハシタ。今日デモ芝居ナドノ語ニアル。又一種類ノ職人(大工)ノ語ニタテマヘノ時、大キナウツバリガ上ガツタノヲ「うしガハイツタ」ト云フノモ全ク牛ガ引ク材木トノ義ヲ畧シタヨリ外ノコトハ無イ。

うし　（…）名。（五上）〔前ノケモノノうしカラ轉ジタ語〕　（一）えとノ名。子ノツギ、寅ノマヘ。（二）方角ノ名。北ト東トノ中間ヨリ少シ北ヘヨツタ方。（三）△昔シノ時ノ名。今ノ夜ノ二時。—源氏「うしニナリヌルナルベシ」。

うしの・つのもじ　（第五上）名。〔牛の角文字〕昔延政門院ノ御歌カラ出タ語。即チ其歌ハ「二ツモジうしのつのもじ、直グナ文字、ユガミ文字トヅ君ハ覺ユル」。平假名ノいノ字ガチヤウド牛ノ角ノ二ツナランダ形ヲシテ居ル所カラ異名シテ、うしのつのもじト云ツタモノ。

○うさ　（第一上）名。〔憂さ〕　ウクアル度合ヒ。

○うシ　（…）形。〔憂し〕　ツライ。—思フママニナラヌ。—心ガセツナイ。—金葉集「アフコトモナゴ江ニアサル苗鴨ノうきネヲ斯クト人知ルラメヤ」。—源氏「今マデトマリハベルガイトうきヲ」。—古今集貫之。

「サミダレノ空ニトドロノホトトギス何ヲうしトカタダ鳴クラン」。

うじ　（第二上）名。〔蛆〕　蠅ノ卵カラ化生スル蟲ノ名。形チハホソナガク、一方ノハジハトガリ、一方ノハジハトガラズ、多クハ長サ一二分、育ツテ五六分トナレバ尾ガ出來ル。色ハ白ク後ニはなぎトナツテ、蠅ニナル。—古事記「宇士」。　近江ノ方言。せきたんノ一名。

▲うじ　（…）名。

++うしあはせ　（第四ウ）(第三上)名。〔牛合はせ〕　牛ト牛トヲ角デタタカハセ、勝負サセルコト。—タウギウ。—ウシノツノツキ。—ウシクラベ。—八犬傳「越後ノうしあはせ」。

うしあぶ　（…）名。〔…蝱〕　蟲ノ名。あぶノ一種。うまあぶト同ジモノ。

うし・いし　（全平）名。〔…石〕　石ノ名。びいどろいしノ一名。

▲うし・いもご　（第五ゴ）(第三上)名。〔…莓〕播磨ノ方言。草ノ名。なはしろいちごノ一名。

うし・うま　（第二上）名。〔…馬〕　（一）牛ト馬ト。（二）大隅ノ種ケ島ニ產スル一種ノ馬ノ名。身ハ牛ニ似テ、頭ハ馬ニ似タモノ。

▲うしえう　（第三上）名。　陸前ノ方言。魚ノ名。うしえひノ一名。

うしえひ　（…）名。〔牛海鶴〕　魚ノ名。えひノ一種。色ハ黑ク大キイノハ六尺バカリモアル。—ウシエウ。

▲うし・おび　（…）名。〔…帶〕　美濃ノ方言。草ノ名。まんじゆしやけノ一名。

うし・おふ・もの　（第四ウ）(…)名。〔…追ふ物〕いぬおふものノ類ヒ。牛ヲ追ツテ射ルアソビト云フ。

うし・かた　（全平）名。〔…方〕　スベテ牛ヲギヨスル人。—牛グルマヲ取リ扱フ人。—ウシカヒ。—大津繪「ジレツタイモノハうしかたノ夕立チニ、年寄リノ針ノメド、センジユ觀音サンノオテツコ、五百ラカンノ類カブリ」。

うし・かひ　（第四イ）(…)名。〔…飼ひ〕　牛ヲ飼フ人、マタハツカフ人。—ウシカタ。—ウシツカヒ。—ウシツキ。—桃ノ草紙「うしかひハイト大キニテ…顏ノ赤ミテカドカドシゲナル」。

▲うし・かんざし　（第三上）名。〔…簪〕　海草ノ名。肥後ノ方言。あまもノ一名。

▲うし・ぎき　（第二上）名。〔…黃顙魚〕　近江ノ方言。魚ノ名。ぎきノ大キイモノ。

うし・くさ　（全平）名。〔…草〕　草ノ名。たちまぐさノ一名。

うじ・くさ　（第二上）名。〔蛆草〕　灌木ノヤウナ草ノ名。大キイノハ三四尺。葉ハ細長ク、萩ニ似、夏ノ來、玉子イロノまめノヤウナ小サナ花ガ咲ク。腐敗ヲ防ギ、味噌ナドノ中ニ涌ク蛆ヲヨウケルト云フ。

△うし・くすし　（第四上）名。〔牛醫師〕　專門ニ牛ノ病氣ヲ療治スル醫者。

▲うし・くちなは　（第六ワ）(…)名。〔…蛇〕　蛇ノ一種。筑前ノ方言。からすへびノ一名。

うし・ぐは　（第三ク）(第四ワ)(全平)名。〔…鍬〕　農具ノ名。牛ノ身ニツナギ付ケテ、ヒカセテ、地面ヲ耕ス道具。—カラスキ。

うし・ぐるま　（第三グ）(…)名。〔…車〕　（一）スベテ、牛ヲ付ケタ車。（二）牛ヲ付ケテ引クやかたぐるま。昔多ク用ヰタモノ。

▲うし・ごうり　（第三上）名。　（一）筑前ノ

方言。草ノ名。きかちすうりノ一名。花モ實モ葉モかちすうりニヨク似、莖ハ稍ヤハラカイモノ。（二）▲又筑前ノ方言。きかちすうりノ一名。

▲うし・こべ　（全平）名。　豐後ノ方言。草ノ名。きかちすうりノ一名。

▲うし・ど・むし　（第三上）名。　仙臺ノ方言。蟲ノ名。あとびさりノ一名。

▲うし・ところ　（全平）名。　奥州白河ノ方言。蟲ノ名。あとびさりノ一名。

うし・ところし　（第五上）名。〔牛殺し〕　牛ヲコロス職業ノモノ。—トギユウニン。—トシヤ。

うし・ところし　（第三上）名。〔…〕　水ノ名。高サ一丈餘リニナル。葉ハうめもどきニ似テ長ク、莖梢ニ五瓣ノ白イ花ガ咲ク。實ハ豆グラ非。熟スレバ赤クナル。主ニ武藏ディフ語。

うし・ところしば　（第六上）名。〔…場〕—〔屠牛場〕　スベテ、牛ヲコロス所。—トギウバ。

うし・ざき　（全平）名。〔牛裂き〕　昔シ有ツタ刑罰ノ名。極メテ殘酷ナモノ。手足ヲ一本ツヅ牛四疋ニツナギツケ、牛ニ柴ヲ負ハセテ火ヲツケ、互ヒニ引ツパラセテ身體ヲ四ツザキニスルコト。

▲うし・たたき　（第三上）名。〔…叩き〕　木ノ名。土佐ノ方言。いぼたノ一名。

△うし・たばけ　（第四ワ）(…)名。〔…姦淫〕　牛ト姦淫スルコト。

△うし・つかひ　（第五イ）(…)名。〔…役ひ〕　うしかひト同ジモノ。—淺井了意、東海道名所記「船頭、ウマカタ、うしつかひハ口ガマシク」。

△うし・つき　（全平）名。〔…附き〕〔牛ニ附屬スルモノトノ義〕　うしかひト同ジモノ。

うし・ど・ぐさ　（第五グ）(第四上)名。〔牛の角文字〕　方角ノ名。東ト北トノ中間。—キモン。—枕ノ草紙「清涼殿ノうしどちノスミノ北ノヘダテナル」。

△うじな　（第三上）名。〔貉〕　ケモノノ名。むじなノ古言。—日本紀「うじなアリ」。

うしなふ　（第四ウ）(…)他動、四段。〔失＝亡＝喪ふ〕　（一）スベテ、有ツタ物ヲナクナス。（二）ソノモノト死ニワカレス。ミノ北ノヘダテナル。（三）ダシカデ

うしなふ　（第五グ）(第四上)名。〔牛の角〕　心ヲうしなふ。

うしのけぐさ　（第五グ）(第四上)名。〔牛の草ノ名。りゆうのひげノ一種。

毛草〕　草ノ名。りゆうのひげノ一種。

葉ハ至ツテ細ク、長サハ一尺アマリ。

うしの・とづの　（…）名。〔…小角＝牛角觀〕　牛ノツノノ中ニアルカタイ骨。藥ニツカフ。

うしの・さうめん　（第四ン）(…)名。〔…索麪〕　草ノ名。ねなしかづらノ一名。

うしの・した　（第五上）名。〔…舌〕　（一）魚ノ名。したびらめノ一名。主ニ東國デ云フ。（二）▲木ノ名。豐前ノ方言。いぬびはノ一名。（三）草ノ名。山城ノ方言。ふぢさはぎくノ一名。（四）▲又、草ノ名。備後ノ方言。しのねノ一名。（五）▲又草ノ名。土佐ノ方言。きらんさうノ一名。（六）▲又、きのこノ名。河内ノ方言。しかたけノ一名。

うし・の・たせ　（第五上）名。〔…玉＝牛黃〕　牛ノ額ニ出來ル一種ノ毛ノカタマリ。形ハ丸ク、大キサハ一寸アマリ。毛ノカタマリノ中ニカタイシンガアリ、白茶ナド、色モイロイロアル。是レヲ字ニ書イテ「牛玉」ト當タル所カラ、ソレヲごめう(牛玉)ト讀ミアヤマリ、寺ナドノ寶物トナル。—ゴワウ。

△うしの・ち　（第四上）名。〔…乳〕　牛カラシボル乳。—ギウニウ。—ミルク。—ウシノチチ。—醫方「字之乃知」。

うしの・ちち　（第五上）名。〔…〕　うしのちトオナジモノ。

うしの・つのがひ　（第六カ）(第七イ)(…)名。〔牛の角貝〕　貝ノ名。牛ノ角ニタタ形チ、長サ一寸許リ、色ハ白イノトウスチヤノトフタ色アリ、ウツクシイ縱筋ノアルモノ。

うしの・つのつき　（第七上）名。〔…突き〕　うしあはせトオナジモノ。

うしのとき・まゐり　（第六上）名。〔丑の時參り〕　女ナド嫉妬カラシテ自分ノ嫉ムモノヲ祈リコロストテ、夜ノ丑ノ時ゴロ神佛ニイノリニマヰルコト。マタソノ人。—三世相錦繡文章「ハテヨシニシヤ。うしのとき・まゐりガ夕立チニアツタヤウナナリヲシテドウ座敷ガ勤マルモノカ」。

▲うしの・にんにく　（全平）名。〔…大蒜〕　近江ノ方言。草ノ名。まんじゆしやけノ一名。

うしの・はこぼれ　（…）名。　草ノ名。せんにんさうノ一名。

うしの・はなぎ　（第六キ）(…)名。〔牛の鼻木〕　（一）牛ノハナヅラヘ横ニシバリツケル木。牛ヲ車ニツケルトキモチ非ル。—和名抄「裝、牛乃波奈岐」。（二）又木ノ名。かまずみノ一名。

うしの・ひたひ　（第六イ）(…)名。〔…額〕　（一）草ノ名。どうしんぐさノ一種。ホソクテ二尺バカリニソダツ。備後デ多クツクリ取ツテ備後ムシロヲ織ル。（二）又、草ノ名。ゑゑのひたひぐさノ一名。（三）▲又、

草ノ名。備後ノ方言。きからずうりノ一名。(四)▲又、草ノ名。越後ノ方言。いしみかはノ一名。(五)▲又、草ノ名。佐渡ノ方言。みそそばノ一名。(六)▲又、木ノ名。周防ノ方言。いぬびはノ一名。

うしのめ・いし　(第四上)名。〔……目石〕　石ノ名。オモニ阿波カラ出ル。質ハ黑ク、ヤヤ青味ヲモチ、所所ニ牛ノ目ニ似タ銀色ノホシガミエルモノ。

△うしはく　(全平)他動、四段。　ソコダケノ土地ヲ受ケモッテ領スル。—ウスハク。—古事記「うしはけルアシハラノ中ツ國ハ」。

うしはこべ　(第三上)名。〔牛繫縷〕　草ノ名。はこべノ一種。葉ハ一寸バカリニナル。

うしばへ　(第四上)(全平)名。　蟲ノ名。はへノ一種。大小二種アル。形チハあをばへニ似テヒラタク、嘴キハメテスルドク、ヨク牛馬ノ血ヲスフ。

▲うしぶいばら　(第三上)名。〔ぶいハ羽音〕　蟲ノ名。伊豫ノ方言。こがねむしノ一名。

▲うしぶいぶい　(……)名。〔……〕　蟲ノ名。伊豫ノ方言。こがねむしノ一名。

うしべや　(全平)名。〔牛部屋〕　牛ヲツナイダオクトコロ。—ウシゴヤ。

うしほ　((第三オ))(……)名。((潮—汐))〔うみ(海)しほ(鹽)ノ義〕　(一)日月ノ引力ニヨッテ時ヲ定メテサシ、又ヒク海ノ水ノトナヘ。大抵一晝夜ニ二度ツツサシヒキシ、月ノ朔望ニヨッテ大シホト小シホトナル。陸ニヨセルノヲさす或ハあげるト云ヒ、高クナルノヲみちるト云ヒ、ヒククナルノヲひくト云フ。ゴク低クナッテ洲ヲアラハスノヲひるト云フ。種類ハイデシホ、サシシホ、アゲシホ、ミツジホ、ミチシホ、ヒキシホ、イリシホ、ユフシホ、アサシホ、オホシホ、コシホ、ソコリ—和名抄、「宇之保」。(二)轉ジテ[スベテ海ノ水。(三)うしほにノ略。

○うしほに　((……))(……)名。〔海水煮〕　料理ノ語。吸ヒモノノ一種。鯛ナドノ肉ヤ骨ヲ水煮ニシテ、鹽デ味ヲツケタモノ。コレニカギッテ決シテ醤油ヲツカハヌ。—ウシホ。うしほにに。

うしはぼづき　((第四オ))(第三上)名。〔牛酸漿〕　草ノ名。ほうずノ一名。

うしまつり　(第五上)名。〔……祭り〕　山城ノ國、ウヅマサ(太秦)ノオホサケ(大酔)ノ神ノマツリ。舊曆ノ九月十二日。ヨミヤニ不思儀ナナリヲシテ、僧ガ牛ニノリ、社ヲメグル。

うしみつ　(全平)名。〔……海水煮〕　料理ノ語。吸ヒモノノ一種。鯛ナドノ肉ヤ骨ヲ水煮ニシテ、鹽デ味ヲツケタモノ。コレニカギッテ決シテ醤油ヲツカハヌ。—ウシホ。うしほに。

うしはぼづき　((第四オ))(第三上)名。〔牛酸漿〕　草ノ名。ほうずノ一名。

うしまつり　(第五上)名。〔……祭り〕　山城ノ國、ウヅマサ(太秦)ノオホサケ(大酔)ノ神ノマツリ。舊曆ノ九月十二日。ヨミヤニ不思儀ナナリヲシテ、僧ガ牛ニノリ、社ヲメグル。

うしみつ　(全平)名。〔丑滿つ〕　ムカシノ時刻ノトナヘ一ツ。丑ノ時ヲ五ツニワリ、其第三ニアタルトキ、即チ丑ノキハメテ滿チタトコロ。—呉竹集、「夜ヲ五ツニワケテ、又一時ヲ五ツニワクルナリ。一夜ハ二十五點ナリト云フ。夜、戌亥子丑寅ノ五、各五點ヅツ、スベテ二十五點ナリ」。

うしむし　(……)名。〔牛蟲〕　蟲ノ名。あぶさりノ一名。

○うじもの　(第一上)名。〔じものハいぬじもの、しかじものナドノじもの〕　う(鵜)トイフモノ。

▲うしもめら　(第三上)名。　蟲ノ名。まんじゅしゃげノ一名。

うしや　(全平)名。　(一)牛ヲ飼フ小屋。(二)(二)轉ジテ[牛ノ肉ヲ賣ル家。(三)(三)轉ジテ[食料ノ牛ノ肉ヲ賣ル人、又、ホフル人。

うじや　((第二、三合))(第一上)名。〔鳥蛇〕　イ蛇。クスリヤノ語。

うじやう　((第三ヨ、……))(全平)根。〔有情〕　佛教カラ出タ語。スベテイキテ心ノアルモノ(無情ノ對)。

●うじや・うじや　((第二、三、及、第五、六合))(第一上、又、第三上)根。〔コノ假字ハタシカニじデアルカぢデアルカ分カラヌ。ドチカトイヘバぢノ方ガうぢうぢナドニ近イトコロカラ、ヨササウニオモハレルモノノ、又一方カラ見レバ蟲ノうじナドカラ轉ジタ語ラシクモ見エル、ソレ故假定シテじソ部類ヘ入レテオク〕　スベテ、コマカイウゴメクタグヒノモノガ澤山ニアル形チヲイヒアラハス語。—「イナムシガうじやうじや寄ル」。

うじゆ・きつ　((第二、三合))(第二、三上)名。〔雲洲橘〕〔うんしうきつ(雲州橘)ヲチヂメテ讀ンダモノ〕　(一)イマ云フうんしうみかん。(二)一種變生ノたちばなノ名。實ハみかんヨリハ大キク、味ヒガキハメテ酸ク、ニガイモノ。

◎うんしうニツイテハイロ〳〵ノ說ガアル。雲州トイヘバ日本ノ出雲ト云フ義トナルモノノ、實際ハ出雲カラソノヤウナ蜜柑ノ出タ例ガナイ。一說支那ノウンシウ(温州)ノ產ヲウツシ植エタモノト云フ方ノガマコトラシイ。

うしろ　(全平)名。　(一)まへノ對。スベテ、顏ノ向ク反對ノ方。—シリヘ。—ヲシロ。(二)(二)轉ジテ[セナカ。—セ。—榮花物語「高欄ニうしろヲアテ、並ミ居サセタマヘリ」。(三)(三)轉ジテ[スベテ、見エヌトコロ、又行クサキ。—源氏、「世ヲサリナンうしろノコト知ルベキコトニハアラネバ」。—源平盛衰記「頼朝モうしろイブセクオモフナリ」。

◎うしろトあとトハ意味ホトンドオナジクテ、似タヤウナモノノ今日デハ幾分カ相違ガアル。即チ今日デハうしろハオモニすべえすニ關係シ、あとハオモニたいむニカカル。同時ニ又うしろハ平面ニナッタモノニカカリ、あとハコレニカカラヌ。ソレ故ニうしろ姿トハイヘテモ、まへすがたトハイヘズ、まへあし、あとあしトハ言ヘテモ、うしろあしトハ云ヘヌ。

△うしろ・あし　(第三上)名。〔……足〕　足ヲウシロニシテ遁ゲヤウトシカケルコト。—「うしろあしヲフム」。

うしろ・あはせ　((第五ワ))(……)名。〔……合はせ〕　タガヒニウシロトウシロトヲムケアフコト。—セナカアハセ。

うしろ・かげ　((第五ケ))(第四上)名。〔……影〕　行キ去ル人ノウシロスガタ。—「うしろかげヲ見オクリテ涙サシグミタリ」。☆うしろすがた參考。

△うしろがろ・さ　((第四ガ))(第五上)名。　ウシロガロクアル度合ヒ。

△うしろ・がろシ　(……)(……)形。〔……輕し〕　コロヤスイ。—コロガヤスマル。

●うしろ・ぐらイ　((第四グ))(全平)形。〔……暗い〕　うしろぐらしノ近體。

うしろぐら・さ　(……)(第五上)名。〔……さ〕　ウシログラクアル度合ヒ。

○うしろ・ぐらシ　(……)(全平、又、……)形。〔……し〕　ウシロメタクアル。

うしろ・げさ　((第四ゲ))(第三上)根。〔……袈裟〕　刄モノデ人ヲ切ル、キリカタノトナヘ。袈裟ヲカケタヤウニウシロカラ背中ヲヨコニカケテキリサクコト。—三世相錦繡文章「油斷ミスマシうしろげさ」。

うしろ・ざし　(第五上)名。〔……挿し〕　スベテ、ウシロニサス女ノかんざしノトナヘ。

うしろ・すがた　((第五ガ))(第四上)名。〔……姿〕　ウシロヲ見セタスガタ。—ウシロカゲ。

◎うしろかげトうしろすがたト意味ガコンチカフ。うしろかげハ必ズ行キ去ル人ニカカリ、シカモ得テ遠クナッタ人ノうしろすがたヲイフ。うしろすがたハ必ズシモ行キ去ル人ニカカルト限ラヌ。ソレ故ニ「美人ノうしろすがたハ」ナドトイヘル。「美人ノうしろかげウルハシ」ナドトハ言ヘヌ。

うしろ・だて　(第五上)名。〔……楯〕　(一)フセギトシテウシロヘコダテニ取ルモノ。(二)(二)轉ジテ[スベテ蔭カラ助ケルモノ。—ウシロミ。—コウケン。—クロマク。—西鶴、若風俗、「ナホ年タケテモうしろだてニハ三笠山トモオモヒシニ」。

うしろ・つき　(第三上)名。〔……付き〕〔つきハあしつき、くびつき、こしつきナドノつき〕。ソノ物ヲウシロカラ見タソノモノノヤウス。—西鶴、若風俗、「クルリトタチマハリテ、コノうしろつきマタ世ニモ出來マジキ若衆」。

うしろ・で　(……)名。〔……手〕　(一)スベテ、ウシロノ方。—源氏、「空シク歸ランうしろでニ」。(二)(二)轉ジテ[兩手ヲ脊中ニマハスコト。—「うしろでニィマシメル」。—馬琴、二分狂言「ソノママうしろでニィマシメ、サルグツワヲハメル」。

△うしろべた・さ　(第四上)名。〔……べたさ〕　ウシロベタクアル度合ヒ。

△うしろ・べたシ　(……)形。〔……し〕　たしトオナジ語。—枕ノ草紙、「うしろべたくハアラヌヤ」。—同、「メノト代ヘテン、イトうしろべたしト仰セラルレバ」。

++うしろ・み　(第三上)名。〔後見〕　(一)スベテ、ウシロニ居テ他ノ身ノ上ヲススケルコト。—ウシロダテ。—コウケン。—源氏、「オホヤケノオンうしろみヲスルナン行クサキモタノモシゲナルコトトオボシサダメテ」。(二)(二)轉ジテ[スベテ、不能力者ノ主人ノタメニソノ一家ノ事ヲカハッテ助ケルコト、又、ソノ人。—コウケン。—コウケンニン。

△うしろ・みル　(第四上)自動、上一。〔……る〕　うしろみヲスル。—ウシロム。

うしろみ・ム　(第三上)自動、上二。〔後ろむ〕　うしろみるトオナジ語。

うしろ・むき　(全平)名。〔……向き〕　スベテ、ウシロヲ見セテ非ルコト。—ソガヒ。(まへむきノ對)。—「谷文晁うしろむきノ美人」。

●うしろ・めたイ　(……)形。〔……めたい—影護〕　うしろめたしノ近體。

うしろめた・さ　(……、又、第四上)名。〔……さ〕　ウシロメタクアル度合ヒ。—拾遺集、元良親王、「アサマダキ起キテアル見ツル梅ノ花、夜ノマノ月ノうしろめたさニ」。

○うしろ・めたシ　(……)形。〔……し〕〔うしろ(後め(目)いたし(痛)ノ義〕　ノチノコトガ心ニカカル。—心モトナイ。—ウシロベタシ。—ウシロメタナシ。—源氏、「又見タテマツラデ暫シモ在ランハイトうしろめたう思ヒキコエタマヒテ」。—枕ノ草紙「オクノうしろめたかランニ」。—古今集、慈覺、「ヲミナヘシ、うしろめたくモ見ユル哉荒レタル宿ニ獨リ立テレバ」。

△うしろめた・なシ　(第五上)形。〔……無し〕　うしろめたしトオナジ語。—兼輔、「出デタテバうしろめたなくアル人ヨ、メグリニ

スエテ見ルヨシモガナ。

●うしろやすイ　(…)形。(後易い)　うしろやすシノ近體。

うしろやすさ　(第四上)名。(…さ)　ウシロヤスクアル度合ヒ。

○うしろやすシ　(…)形。(…し)　ノチノ事ガ心ニカカラヌ(うしろめたしノ對)。—後撰集、伊衡、「ヨロヅヨノ霜ニモ枯レヌ白菊ヲうしろやすくモカザシツルカナ」。

●うしろゆび　(第三上)名。(後指)　アナドリ、アザケリ、ソシリ、ウタガヒナドカラソノ人ト差ス心デウシロカラ指ヲサスコト。

◎うしろゆびヲササレル。—(蔭デ人ニアナドラレ、ソシラレ、或ハウタガハレル)。

▲うしわくだら　((第五ド))(第五上)名。　九州ノ方言。蟲ノ名。ひきがへるノ一名。

うす　(第一上)名。(臼)　スベテ、穀物ヲツキ、又其他ノモノヲコナシテ、或ハシラゲ、或ハ粉ニスル道具。多ク木又ハ石デツクリ、底ヲ丸クエグリ、杵デツク。種類ハイロイロアリ。或ハカラウス、或ハフミウス、又ハヌリウス、ヒキウスナド。—ツキウス。—和名抄、「臼、和名宇須」。

○うス　(全平)自動、下二。(失—亡)す。　(一)スベテ、ナクナル。—見エナクナル。—萬葉集、「伏シマロビ、足ズリシツツ、タチマチニ心キエうせヌ」。(二)轉ジテ死ス。—土佐日記、「京ニテ生マレシ女子うせニシカバ」。—源氏、「オン叔母北ノ方、ナゲサム方ナクオボシ沈ミテオハスラン處ニ、ズニ尋子行カント願ヒタマヒシシルシニヤ終ニうせタマヒヌレバ」。

うす　(…)接頭。(薄—淡—輕)　ウスイ。—コクナイ。「うすムラサキ」。「うす茶」。

◎うすハ大抵ノ色ニ接頭語トシテツク。タダシ白ト黄ダケニハカカラヌ。(ヒトリ石版術ニダケハうすきノ語ニ限ッテモチ井ル)。

うず　(第一上)名。(醫華)　ムカシ、冠ノ上ニカザシタカザリノ一ツ。—日本紀、「醫華(訓、ウズ)」。

うず　(…)名。(雲珠)　(一)唐鞍ヲカクルトキ、馬ノ鞍ノウシロニツクルカザリ。—和名抄、「雲珠、宇須」。(二)うずくらノ略。

うずくらかり　(第五上)名。(薄明かり—(微明))　ホノカニサスヒカリ。—「うすあかりノオボロ月夜」。

うすあばた　(第三上)名。(…痘痕)　目ニ立タヌアバタ。—ウスイモ。

うすイ　(全平)形。　うすしノ近體。

うすいし　(…)名。(白石)　自然うすニ似タ形ノ石。大和ナドカラオモニ珈リダス。ムカシノ道具デアラウト云フ。

うすいた　(…)名。(薄板)　(一)オリモノノ一種。スベテウスイ地合ヒノモノ。(あついたノ對)。(二)花瓶ヲスエテオク下ノ板、オモニ眞湖洗ナドデツカフ。大方ハ方形ノモノ。

うすいちご　((第五ゴ))(第二上)名。(白苺)　濃木ノ名。一體ガうすのきニ似テ葉ニ酸味ハナク、實ハ赤クうすノヤウナ形チヲシタモノ。

うすいも　(全平)名。(薄痘痕)　うすあばたトオナジモノ。

うすいろ　(…)名。(…色)　(一)織リ物ノ一ツ。タテガ紫デ、ヨコガ白イモノ。(二)カサチノ色目ノ名。表ガ薄花田デ赤ミヲモチ、ウラガ薄ムラサキノモノ。

うすいろ　(…)根。(…)　(一)ウスムラサキ色。(二)フタアヰノ染メ色。

うす・うす　(第三上)副。(薄薄)　スコシ。—ウスウスト。(色ナドニイフ)。—「うすうす見ユル山ノムラサキ」。

うす・うす　(全平)副。(…)　イクブンカ。—スコシハ。—ホノカニ。(事實ナドニイフ)。近松、博多小女郎浪枕、「毛剃ガ諸色ウケコンデ差配ラシゲニモッタイガホ」。「亭主うすうす見知リガアラウ。廊ノタテヨコ十文字」。

うすうす・と　(第三上)副。(…と)　うすうすトオナジ語。(色ニイフ)。—西鶴、一代女、「人ガホノうすうすと見エシ夕グレヲ待チアハセケルニ」。

△うすうた　(全平名。(白歌)　臼ヲツクトキ、ウタフ歌。—コメツキウタ。

うすえん　((第三ヨ、第四ウ))(…)名。(薄葉)　うすやうトオナジモノ。

うすかは　((第四ワ))(…)名。(…皮)　スベテ、ウスイ皮ノ膜。

うすがみ　((第三ガ))(…)名。(…紙)　スベテ、ウスイ紙(あつがみニ對シテイフ)。—「うすがみヲ剝グヤウニ病氣ガナホル」。

うすき　(…)根。(薄黄)　オモニ、石版ノ職工ノ語。黄色ノウスイモノ。

うすぎ　((第三キ))(…)名。(…着)　キモノナド、厚クナク着ルコト(あつぎノ對)。

○うすぎぬ　((…))(第三上)名。(…帛)　スベテ、ウスイ切レ。—オリモノ。—シヤ。

○うすぎぬ　((…))(…)名。(…衣)　スキトホルヤウニ薄イ服。—「牛若ハうすぎぬヒキカツギテ」。

うすぐも　((第三グ))(全平)名。(…雲)　(一)濃クナイ雲。(二)貝ノ名。形チハ小判ナリデ二寸バカリ、白イトコロニ黒イ斑ノ

アルモノ。

うすぐら　(第二上)名。(雲珠鞍)　うす(雲珠)ヲ付ケタ鞍。—ウズ。—八犬傳、「三歳駒ニうすぐらオカセ」。

●うすぐらイ　((第三グ))(全平)形。(薄暗い)　うすぐらしノ近體。

うすぐらさ　((…))(…)名。(…さ)　ウスグラクアル度合ヒ。

●うすぐらシ　((…))(…)形。(…し)　ホノカニクライ。—ホノグラシ。

うすげしやう　((第三ゲ、第五ヨ、第四、五合))(第四、五上)名。(薄化粧—(淡粧))　アッサリトホドコス化粧。(あつげしやうノ對)。

うすとうばい　(第三上)名。(…紅梅)　川魚ノ名。身ハきすニ似テ青黑ク、ワキバラニウスアカイ筋ノアルモノ。

うすさ　(全平)名。(…さ)　ウスクアル度合ヒ。

うすざくら　(第三上)名。(雲珠櫻)　櫻ノ一種。シベハ長ク花ハ一重デ、花ノ心カラサラニ細カイハナビラヲ些シ出スモノ。

うすざくらもえぎ　((第八ギ))(第六上)名。　カサネノ色目ノ名。オモテハ薄青、ウラハ櫻イロノモノ。

○うすシ　(全平)形。　(一)(淡)し。　コクナイ。(こしノ對)。　(二)(薄)し。　一ッノ單純ナ物體ノ一方ノ表面カラ他ノ反對ノ表面ニ至ルマデノ間ガ無イ。—厚クナイ。(三)スコシデアル。—スクナイ。—アサイ。—淡イ。—ホノカデアル。—ハッキリトシナイ。—「雲うすし」。(四)味ガアサイ。—アマイ。—シホケガ少ナイ。(五)輕イ(傷ナドニ云フ)。(六)△身分ガ高クナイ。—東海道名所記、「是ハうすき人人ノ愼城グルヒノコトナリ」。

△うすすク　(…)自動四段。　ソヅロニナッテ走ル。いすすくト同ジ語。

△うすすまル　(…)自動四段。　ムレヨル。—古事記、「ニハ雀うすすまり居テ」。

うすずみ　(…)名。(薄墨)　(一)うすずみがみノ略。(二)△昔ノ女房ノ師。そばがきノ一名。色ノ似タ所カラ云フ。

うすずみ・がみ　((第五ガ))(第四上)名。(…紙)　しゅくし(宿紙)ト同ジモノ。

うすずみ・の・うんし　(第六上)名。(…の綸旨)　ウスズミ紙ニ書イテタマハル綸旨。

うすぞめ　(全平)名。(薄染め)　(一)染メ色ナド、薄ク染メテアルコト。(二)△うすぞめ・ごろもノ略。

△うすぞめ・ごろも　((第五ゴ))(第五上)名。(…衣)　クレナ井色ニ染メタ着物。—萬葉集、「クレナ井ノうすぞめごろもアサハカニ相見ル人ニ戀フルコロカモ」。

△うす・だたみ　(第三上)名。(薄疊み)　春、夏用井ルたたみ。—延喜、齋宮式、「薄帖(訓、ウスダタミ)」。

うす・ちや　((第三、四合))(全平)名。(…茶)　といちやノ對。ひきちやノ一種。分量ヲウスクシテ湯ニタテテ飲ム。氣ハゲシク、葉ノ製シカタニ由ッテチガフ。ひきちや、まつちや參考。

うす・ちり　(…)名。(塵)　ウルシヌリノ語。梨子地ノウスイモノ。—ムラナシヂ。ちりぢ參考。

うす・つク　(…)自動、四段。(舂く)　(一)物ヲ臼デツク。(二)入リカカル(日ナドニ云フ)。—「日西山ニうすつく」。

うす・で　(…)根。(薄手)　スベテ搾ラヘノウスク出來タモノ。—「うすでノセトモノ」。

うす・で　(…)名。(…)(微傷)　カルイ疵。—ケイシヤウ。—ビシヤウ(れもでノ對)。

うす・の・き　(第二上)名。(臼の木)　濃木ノ名。高サ三四尺。葉ハ玉子ナリデ、長サハ一寸バカリ。春夏ノ頃、葉ノ間カラ小サナ、ウス赤イ花ガ咲ク。實ノ形チハ赤豆グラヰデ、味ヒハ酸ク、葉ノ味モ亦酸イモノ。

△うす・の・たまかげ　((第七ゲ))(第二上)名。　萬葉集ニ、ミヤビトノうすのたまかげトアル歌カラ基イタ語。イロイロノ說ガアル。俊賴、顯昭ノ說ハ水グチニ幣ノ串ヲ立テ、大豆ヲソレニ貫ヌイテ置キ、田ノ神ヲ祭ルコトガアル、此串ヲうすのたまかげト云フトノコト。又仙覺ノ說デハ、うすハカンムリノ飾リノうすデ、うすノタマカザリヲ掛ケルノデアルトモ云フ。

うす・の・み　(第三上)名。(臼の實)　うすのきト同ジモノ。

▲うす・のろ　(全平)根。(薄鈍)(のろハのろまノのろ)。　スコシノロマデアルコト。—ウスボンヤリ。—ウスバカ。

うす・ば　(第一上)名。(臼歯)　中ガウツロデ臼ノヤウニナッタ齒(老人ノ齒ナドニ云フ)。

うす・ば　(全平)名。(薄刃)　スベテ、庖丁ナド刃ガウスクナッタモノ。

▲うす・ばか　(…)根。(…馬鹿)　スコシ馬鹿デアルコト。—ウスボンヤリ。

△うすはク　(…)他動、四段。　うしはくト同ジ語。

△うす・はた　(…)名。(薄機)(うす(薄)はた(機)ノ義)　うすものト同ジ語。

うす・ばた　(…)名。(…端)　花器ノ一ッ。口ガヒロク開キ、中央ニシキリガ有ッテ、花ヲ差シ込ム所ガマタ一ッアル。足ナドハ下ノ方ニマタヒロガリ、殆ドサカヅキ

ノヤウナ形ヲシタモノ。

うす・びたひ　(〔第五イ〕)(〔第三上〕)名。〔薄額〕　かんむりノ一種。磯ノ低イモノ。

△うすべ　(全平)名。〔臼邊〕＝鷸。　鳥ノ名。

うすべどりノ翠。＝ウスメ。

△うすべ・どり　(第三上)名。〔……鳥〕　鳥ノ名。にはとりノ一名。或ハばんノ一名トモイフ。〔ふすめどり参考。—下學集、「雞日本云木綿付鳥。或云臼邊鳥」。

うす・べり　(全平)名。〔薄縁〕　(一)ヘリヲ付ケタござ。＝ヘリトリ(疊ノあつべりニ對シテ云フ名)。(二)マタ矢ノはねノ一種。黑イ所ノ少ナイモノ。—平家物語、「二十四サイダルうすべりノ矢負ヒ」。

▲うすま　(…)名。　越後ノ方言。蟲ノ名。かひこノ一名。

うす・み　(…)名。〔薄み〕　ウスクアルコト。

うす・みの　(…)名。〔薄美濃〕　透キトホルホド薄ク出來タみのがみ。

△うすめ　(…)名。　鳥ノ名。ふすめどりト同ジモノ。

○うす・もの　(…)名。〔薄物〕＝〔羅＝綾＝紗〕　スベテ、薄ク織ツタオリモノ。紗、紹ノ類。＝ウスハタ。＝ウスギヌ。—枕ノ草紙、「ウスヅメノコロモ、うすものノ裳裝ナド」。

うす・やう　(〔第三ヨ〕)(…)名。〔……樣〕　(一)紙ノ名。薄ク漉イタ鳥の子紙。—ウスエフ。—奥女中袖餞、「うすやうノ紙ヲ幅五六分ニ斷チテ」。(二)又、紙ノ名。極メテウスクスイタ雁皮紙。　(三)カサネノ色目ノ名。ウス色ノトリ合ハセ。紫ノうすやうナドト云ヘバ上ヘ紫ニ白イノヲ重ネタモノ。—源氏、「ムラサキノうすやうニテ」。

うす・やくそく　(第三上)名。〔……約束〕　深ク、タシカニシタノデ無イヤクソク。＝假リノケイヤク。—近松、博多小女郎浪枕、「來月ハ筑後ノ客ハワタシヲ受ケダスト出口ノ佐渡屋トうすやくそく」。

うす・ゆき　(全平)名。〔……雪〕　(一)少シバカリ降ッテ積ツタ雪。　(二)干菓子ノ名。燒イテ芽バクシシタ粒ニ砂糖ノコロモヲカケタモノ。

うすゆき・こぶ　(第五上)名。〔……昆布〕　甚ダ薄クケヅツタ昆布。大坂ノ名產。

うすゆき・ね　(全平)根。〔薄ら〕　うすらかノ略。

△うすら　(全平)名。〔薄ら〕　(一)ヘリヲ付ケタござ。—「初雪ノうすらニ降レル庭ノオモハ蹈ミ見ンコトモアタラシキカナ」。

○うすら・か　(第二上)根。〔……か〕　ウツスリトシテアルコト。＝淺クナイコト。—枕ノ草紙、「雪ノイト高クハアラデうすらかニフリタルナドハ」。

○うすらか・に　(……)副。〔……に〕　うすらかノ副詞體。

うすらグ　(〔第四グ〕)(全平)自動、四段。〔薄ら〕　(一)ダンダン薄クナル。＝ウスログ。—「立チコミタリシ馬グルマうすらぐ」。(二)カロクナル。＝アハアハシクナル。＝オトロヘル。—「欒シミガうすらぐ」。

△うすらに　(…)副。〔……に〕　うすらかにト同ジモノ。

うすらひ　(…)名。〔……氷〕〔ひハこほり(氷)トオナジモノ〕　薄ク張ッタ氷。—萬葉集、「ササボ川ニ氷ワタレル うすらひノ薄キ心ヲワガ思ハナクニ」。

○うすル　(…)自動、下二。〔薄る〕　ウスラグ。—「今日ヨリハ蘆間ノ水ヤヌルカラン、春ノタチドノ氷りうすれテ」。

○うすろグ　(〔第四グ〕)(第三上)自動、四段。〔……ろぐ〕　うすらぐト同ジ語。

うす・わた　(全平)名。〔……綿〕　着物ニナド、ウスク入レタ綿。—西鶴、一代女、是ハメシタキ女ノミヨゲナルガ、下ニうすわたノ小袖上ニ紺ヅメノ無紋ニクロキ、大ハバノ帶」。

△うす・わらフ　(〔第五ウ〕)(〔第三上〕)自動、四段。〔……笑ム＝微笑〕　スコシ笑フ。＝ホホエム。

うすゐ　(第一上)名。〔雨水〕　(一)アマミツ。(二)二十四氣ノヒトツ。陰曆デ正月ノナカバ、陽曆ノ二月ノ十八日ニアタル日。

▲うす・つ・くらィ　(〔第三逼〕)(全平)形。〔薄暗い〕　うすぐらいノ轉訛。

▲うすつくら・さ　(…)(第五上)名。〔……さ〕　ウスクラクアル度合ヒ。

▲うす・つ・ぺら　(…)(全平)名。〔薄つ箆〕〔うすい(薄)へら(箆)ノ義カラ轉ジテ〕　スベテ、ヘラヘラト薄クアルコト。

△うせ・うど　(〔第二ショ合〕)(〔第二上〕)名。〔失せ人〕　ニゲウセタ人。

うせ・べん　(…)(…)名。〔右少辨〕　昔ノ官名。大政官ニ屬シ、宮中ノイロイロノマツリゴトヲ執行スル官。べん(辨)ニ左ト右トアル、其右ノ方。＝スナイ。＝オホトモヒ。

☆べん參考。

▲うせまつかい　(〔第四逼〕、第六イ)(第三上、又、第五上)形。　コトバダクミデアル。＝郡合ノイイ。—近松、曾根崎心中、「德兵衛メガうせまつかいヤウニ云ッテモ必ズマコトニシャルナヤ」。

うせ・もの　(全平)名。〔失せ物〕　スベテ、ウセタ品。＝無クナッタ品。

▲うせル　(…)自動、一。〔失＝亡〕せる。　うすノ近體。近古カラ始マッタ一類ノ、ノノシル心ヲフクム語。スベテ來ル、行ク、去ル、ナドノ義ヲ一層フカク、ノノシリノ心ヲコメテ云フ時ニ用ヰル。—不知足山人、聞キ上手、「ヒッカヘシテ、橘ギハヘ歸リ、非人ノ前後ニタチマハレバ、非人ハムクムクト起キ上リ、又ブチニうせタカ？」—三世相錦繡文章、「ソレデ留ミモ『待ッテうせう』」。

△うそ　(第一上)名。〔鷽〕　ケモノノ名。をそノ轉。

うそ　(…)名。〔鷽〕　鳥ノ名。雀ヨリ大キク、カシラハ黑ク、頬カラ頸ニカケテクレナ井色ガフカク、嘴ハ短ククロク、胸、腹、脊ナドハ薄アヰ子ズミデ、稍赤ミヲ持チ、尾ハ黑イ。ワタリ鳥ナガラ人家ニ飼ッテ聲ヲ賞美スル。＝ウソトリ。＝ウソヒメ。

△うそ　(第二上)名。〔嘯〕　口ヲツボメテ聲ヲダスコト。＝ウソフク。—竹取物語、「或ハうそヲ吹キ」。

うそ　(第一上)名。〔嘘＝虛＝詐〕　イツハリ。＝マコトデナイコト。＝ザギ。＝キヨゲン。＝キヨゴン。—三世相錦繡文章、「マタシラモ兄サンノうそバッカリ」。

◎●うそヲック(吐)。＝(イツハリノコトヲ云フ)。　◎▲うそヲック(扱)。＝(ウソヲックノ義ヲ一層ニクミノ心ヲフクンデ云フ語。

△うそ　(全平)接頭。〔薄〕　主ニ元祿ノ頃ノ作者、コトニ近松門左衛門ガ多ク用ヰタ一種ノ語。うす(薄)ノ轉。—近松、心中二枚繪草紙、「サキニカラクガヲ見レバ、うそヨゴレタ八丈縞ニ」。

●うそ・つき　(第二上)名。〔虛言吐き〕　ウソヲック人。＝イツハリノコトヲ云フコト、又、ソノ人。

○うそ・とり　(…)名。〔鷽鳥〕　うそ(鷽)ト同ジモノ。

○うそ・ひめ　(全平)名。〔……姫〕　前ノ語ト同ジモノ。

●うそ・はつ・びやく　(〔第四逼〕、第五、六合)(第一上)名。〔嘘八百〕　デタラメニイクツモ云フ所カラ起ッテ、うそノ義ヲ一層ッヨメテ云フ語。—近松、博多小女郎浪枕、「然ラバ聽聞ッカマツレト、何ヤラ知ラヌフトコロ帳、殊勝ラシゲニトリ出ダシ、シワイコトノうそはつびやく長者經トナヅラヘ、聲ハリアゲテ讀ミニケリ」。

うそ・ぶき　(全平)名。〔嘯き〕　(一)ウソブイタ形チヲシタめんくう。(二)ウソブイタ形チヲシタめんくう。

○うそ・ぶく　(第三上)自動、四段。〔……く〕　(一)口ヲツボメテ音ヲ出ス。(二)轉シテ(詩歌)ヲ吟ズル。—源氏、「コウバイしいか詩歌ヲ吟ズル。—松ガ枝ヲうそぶきテタチヨノ木ノモトニ」。　(二)空ヲ向イテ吹エル。—「虎ルケハヒ」。

風にうそぶく。

△うそ・むく　(…)自動四段。〔……〕　うそぶくト同ジ語。

●うぞ・もぞ　(第一上)名。　うざうもざうト同ジ語。

△うそ・ゑム　(第三上)自動、四段。〔微笑む〕　少シワラフ。＝ウスワラフ。＝ホホエム。ビセウスル。

▲うそ・つ・ばじ　(〔第三逼〕)(第五上)名。〔嘘つ端〕　東京ニ限ッテ云フ語。稍アナドリ、サゲスミ、イヤシミ、ニクミナドノ心デ云フ語。＝ウソ。＝ソラゴト。—「ソンナうそつばしヲ云ッタッラ乘ルモンカ」。

うた　(第二上)名。〔歌＝謠＝唄〕　(一)聲ヲ出シ、フシヲ付ケテ、ウタフベキ物ノ總名。多クハ音律ニ配シテウタフ。カグラウタ、サイバラ、今樣、淨瑠璃、琵琶ウタナドヲ始メトシテ種類ハ非常ニ多クアル。(二)音樂ニハ合ハセズ、タダ調子ヅイタ語ヲナラベテ、讀ミツヅル一種ノ文。勾配ハ五、七、五、七、七ノ五句即チ三十一音ヲ正格トシ、始メノ三句ヲカミ(上)ノ句、末ノ二句ヲシモ(下)ノ句ト云フ。其濫觴ハ素盞嗚命ノ「ヤクモタツイヅモヤヘガキ妻ゴメヤヘガキツクルソノヤヘガキヲ」ノ歌カラ基イタト云フ。種類ニハ、ナガウタ、センドウカ、ヨリク、クツカムリ、ハイカイカ、コンボン歌、ナド色色アル。＝ヤマトウタ。＝ワカ。☆ソレゾレノ條參考。

++うた・あはせ　(〔第四ワ〕)(第三上)名。〔……合はせ〕　歌ヲ作ル人ヲ左右ニ分ケ、判人ヲ立テ、其オノオノ讀ンダ歌ヲダダカハセテ優劣ヲサダメルコト。昔シ宮中ナドデ多クアッタモノ。＝ウタクラベ。

うた・だい　(第一上)名。〔宇内〕　アメガシタ。

うた・だいし　(第二上)名。〔右大史〕　ムカシノ官ノ名。文書、勘例、ナドノコトヲツカサドルヤクメ。☆し(史)參考。

うた・だいじん　(…)名。〔…臣〕　官ノ名。右ノオトド。　☆だいじん(大臣)參考。—源氏、「一ノミコハうだいじんノ女御ノオン腹ニテ」。

うた・だいしやう　(〔第五ヨ、第四、五合〕)(…)名。〔…將〕　ムカシノ官名。右近衛大將ノ略。☆たいしやう(大將)、このゑム(近衛府)參考。

うた・だいべん　(…)名。〔…辨〕　ムカシノ官名。オホイオホトモヒ。　☆べん參考。—源

氏、「オンウシロミダチテツカフマツルウダいぺんノ子ノヤウニ」。

▲うだいまつ　(…)名。〔鵜松明〕　雨中ニ、カフダイマツ。カバノ木ノ皮デツクリ、鵜飼ガモチヰ非ル、オモニ信濃ディフ。

▲うだいも　(全平)名。　つくねいもノ一名。

▲うだうだ　(第一上)根。　西京ノ方言。トリシマリノナイコト。—ダグダ。

▲うだうだを　(…)副。　うだうだノ副詞體。

△うたうたし　(第四上)形。〔轉轉し〕〔うたたヲカサネテ、略シタモノ〕　カサネガサネデアル。—萬葉集、「アラキ田ノシシ田ノ稲ヲクラニ積ミテ、アナうたうたしワガ戀フラクハ」。

うたうたひ　((第五イ))(第三上)名。〔歌歌ひ〕(一)スベテ歌ヲウタフ人。(二)▲魚ノ名。山城ノ淀ノ方言。いしぶしノ一名。

うたうら　(全平)名。〔…占〕〔うらハいしうらナドノうら〕　和歌デ運命ナドノ吉凶ヲウラナフコト。—十訓抄、「心中所願ウラナヘトアリクレバうたうらニ」。

△うたがき　((第三ガ))(第二上)名。〔…垣〕　アツマッテ歌ヲウタヒカハス遊ビ。かき(垣)ハ人ヲ見タテタモノ。—日本紀、「歌垣此云字多我岐」。

うたかぐさ　((第四グ))(第三上)名。〔鵜鷹草〕　草ノ名。あはぼノ一名。〃あはぼ參考。

○うたかた　(全平)名。〔沫雨〕〔うつ(空)かた(形)ノ義〕　水ノ上ニ浮ク泡ノ一種。ワケモナク消エルト云フ處カラ、オモニハカナイモノナドニモ轉ジテ用ヰル。—和名抄、「沫雨雨濟上沫起、若覆盆、和名宇太加太」。—風雅集、清雅、「ツクヅクト雨フルサトノニハタヅミ散リテ波ヨルハナノうたかた」。—後撰和歌集、「フリヤメバアトダニ見エヌうたかたノ消エテハカナキ世ヲタノムカナ」。—狭衣物語、「イツマデモシラヌナガメノニハタヅミうたかたアリテワレヅケヌベキ」。

○うた・かた　(…)副。〔…〕　(一)〔マヘノ語カ轉ジテ〕ザンジモ。—ワヅカノマモ。—スコシノマモ。—六帖、「ハナレソニタテルムロノキうたかたモヒサシキ時ヲスギニケルカモ」。—伊勢物語、「思ヒ川絶エズ流ルル水ノ泡モうたかた人ニアハデ消エメヤ」。(二)〔又轉ジテ〕アヤフク。—萬葉集、「うたかたモイヒツモアルカ吾シアレバ、ツチニハオチシ、空ニケナマシ」。

△うたかた・ぐさ　((第五グ))(第四上)名。〔…草〕　萬沸ノ異名ト云フ。

○うた・がたり　((第三カ))(第三上)名。〔歌語り〕　和歌ノハナシ。—和歌ニツイテノモノガタリ。

○うたがはし　((…、第四ワ))(第四上)形。〔疑はし〕　ウタガフベクアル。—不審デアル。—アヤシイ。—源氏、「イトカウキヒハナルホドハ上ゲオトリヤトうたがはしくオボサレッルヲ」。—十訓抄、「刑ノうたがはしきハ輕ニ附スベキノヨシ」。

●うたがはしイ　((…))(全平)形。〔…い〕　うたがはしノ近體。

うたがはしさ　((…))(第四上)名。〔…さ〕　ウタガハシクアル度合ヒ。

うたがひ　((第三ガ、第四イ))(全平)名。　ウタガフコト。—不審。—アヤシビ。—アヤシミ。—源氏、「一ノミコハ右大臣ノ女御ノオン腹ニテヨセオモク、うたがひナキマウケノ君ト世ニモテカシヅキキコユレド」。

うたがフ　((第三ガ、第四ウ))(…)他動、四段。〔…ふ〕　アヤシム。—イブカル。—フシンニ思フ。—タシカニ分カラヌノヲ考ヘハカル。—ウタグル。

○うたがふ・らくは　((第三ゴ、第四ウ、第七ワ))(第三上)副。〔…らくは〕〔らくハ、れも〈らく、い〈らくナドノらく〕　ウタガフニハ。—オソラクハ。—「うたがふらくはソレ然ラン」。

うた・がるた　((第三ガ))(…)名。〔歌骨牌〕(一)かるたノ一種。　オモニ和歌ノ上ノ句ト下ノ句トヲ分ケテカキ、一方ヲ讀ンデ、ソノ歌ニアフ他ノ句ヲ拾ッテ勝チ負ケヲスルタハムレ。普通ニハ百人一首、マレニハ伊勢物語、古今集、源氏物語ナドノ歌ヲツカフ。(二)〔誤ッテ〕いろはがるたノ一名。

△うたき　(第一上)名。　〔をたけびノ義カ?〕猪ノオコッタ樣子ヲ形容スル語。—「井ノうたきニ」。

△うた・きりぎりす　((第五ギ))(第五上)名。　蟲ノ名。こはろぎ(促織)ノ一名。一時東京ディッタ語。

△うたぐ　((第三グ))(全平)自動、下二。　安坐スル。—アグラヲカグ。—日本紀、「アグラニシリうたげテ」。(二)腰ヲカケル。

△うたぐ　(第二上)自動、四段。〔(懷)く〕　心中ニクヤシクオモフ。

△うだく　(…)他動、四段。〔抱く〕　いだくノ轉。—日本紀、「ヲサナキミコヲうたきテ」。

うた・ぐち　((第三グ))(第二上)名。〔歌口〕(一)△和歌ノヨミブリ。　(二)△轉ジテウタヲ上手ニヨムコト。—「うたぐちニテオハシケン」。　(三)又、笛、尺八ナドノ穴ノ、口ニアテテ吹クベキトコロ。—八犬傳、「念玉ハ件ノ笛ヲカキヨセツ、袖モテヌグフテ、うたぐちヲシメシテボロボロト吹キココロミ」。

うたくづ　(第三上)名。〔…屑〕　和歌ノ集ノ中ノ拙作。

うた・くら・く　(…)名。〔…比く〕　和歌ヲタタカハセアフコト。—ウタアハセ。

▲うたぐり　((第三グ))(全平)名。〔(疑)り〕　ウタグルコト。—ウタガヒ。

▲うたぐル　((…))(…)他動、四段。〔…る〕〔うたがふノ轉〕　ウタガフ。—谷峨、傾城買二筋道、「タトヘドウイフ事ガアラウトモ、ヌシノ心イキ次第デドウトモシイスノサ。うたぐりナンスナラ何デモシイシャウ」。

++○うたげ　((第三ガ))(…)名。〔(謎)〕〔うちあげノ約〕　シユエン。—エンクワイ。—日本紀、「ニヒミヤニうたげシタマフ」。

うた・ごとば　(第三上)名。〔歌言葉〕　和歌ソノ他ノウタヒモノニハカリ多ク用ヰル語ノトナヘ。—井ンゴ。

うたた　(第一上、又、全平)副。〔(轉)〕　(一)うたてトオナジ語。—古今集、「花ト見テ折ラントスレバ女郎花うたたアルサマノ名ニコソアリケレ」。(二)〔轉ジテ〕ダンダン。—マスマス。—「オモヒうたた迷フ」。

○うたた・ごころ　((第四ゴ))(第五上)名。〔…心〕　ソゾロナココロ。—ウツリヤスイココロ。—アキッポイココロ。

△うた・たぬし　(第三上)形。〔轉樂し〕〔うたたノシ(轉)たぬし(樂)ノ約〕　ナヨットタノシイ。

++うたた・ね　(全平)名。〔うたた即チそぞろノ義〕　コロヒネ。—カリネ。—古今集、小町、「うたたねニ戀ヒシキ人ヲ見テショリ夢ナラモノハ頼ミソメテキ」。

うだち　(第一上)名。　ウッバリノ上ニタテルハシラ。—ウダツ。—和名抄、「字太知」。

◎うだちガアガル。—(浮カム瀬ガアル。—出身スル。—ナリイデル)。

うたちイ　(第三上)形。〔(期惜い)〕　大分ノ方言。うたてしノ轉訛。

●うだつ　(第一上)名。　うだちノ轉。

△うた・づかき　(第三上)名。〔雅樂寮〕　うたひのつかさトオナジモノ。

うたて　(全平)副。〔うたハいた(甚)ノ轉カ?〕(一)イヨイヨ。—ダンダン。—マスマス。—萬葉集、「イツハナモ戀ヒズアリトハアラネドモうたてコノゴロ戀ヒノ繁クモ」。(二)〔轉ジテ〕世ノ常デナク。—アヤシク。—オダヤカデナク。—日本紀、「うたてアルタハムレ」。—古事記、「うたてモノイフミコナレバ」。—古今集、素性法師、「散ルト見テアルベキモノヲ梅ノ花うたてニホヒノ袖ニトマレル」。

◎うたてアリ—(シカタガナイ。—ケシカラヌ)。

○うたてシ　(…)形。　ハナハダシイ(多クハ悪イ方ノ意味ヲフクム)。

○うたてし　(第二上)形。

○うた・ながめ　((第四ガ))(…)名。　前ノ語ノ轉。ガヘルコト。　歌ヲカン

△うた・なし　(第二上)形。〔疑無し〕〔うたがひなし(無)ノ義〕　ウタガヒガナイ。—

著聞集、「アマノ川ミギハうたなくマサルラン、イカニシッランカササギノ橋」。

△うた・の・つかさ　(全平)名。〔雅樂寮〕　うたれうれうト同ジモノ。

うた・の・かみ　(…)名。〔雅樂頭〕　うたれうノ長官、相當ハ從五位ノ上。唐名、大樂令。〃うたれう參考。

うたひ　((第三イ))(…)名。〔謠ひ〕　能ニアハセテウタフ一種ノウタヒモノ。內外オノオノ百曲、別ニ十番ノ曲ナドアリ、普節ノ流派モナカナカ多イ。ソノ始メハイロイロノ說ガアルモノノ、トモカクモ中古以來ソノモノデアルハウタガフベクモナイ。モチロンうたひト云フ名目ハオホムカシニモ無クハ無シ、聖德太子ガウタハレタト云フ說モアリ、秦川勝ガコレニツヅイテノイロイロノ新曲ヲツクリ、ノコラズデ三十六番ノイハユル猿樂ガデキタト云フ說モアル。(※さるがく參考)。後世デハ扇ヲ以テコレニ擬シテ、ウタフノヲうたひトシ、コレニ伴フ踊リヲ能狂言トシ、今春、金剛、觀世、寶生(或ハ保昌)ノ四座ガデキタ。トモナフ樂器ハ大ツヅミ、小ツヅミ、大鼓、横笛ノ四品ヨリ外ハナイ。源氏物語ソノ他イロイロノ古書ニ猿樂ト云フ語ハスコブル見エル。—和事始、「大饗者ノ伎ハ秦ノ川勝ニ始レリ。今コノ伎ヲナスモノ者其後胤ナリ」。—近代世事談續、「謠詞ノ作ハ多ク佛者ナリ。江口、山姥ハ一休ノ作トイヒツタヘ、卒都婆小町ハ高野山高性院看快ノ作ナド見エ、ソレヨリツギニ彼ノ四座ナドノ大夫ドモ自ラ作リイデ、又ハ位高キキハノ手ズサヒニモノシタマヘルモアルニヤ」。—老人雜話、「ソノ頃謠ヒヲックルニ明智討、高野詣デナドイフアリ」。—大閤記、「大坂ニ於テ新謠御能ノ事文錄三年甲午三月十五日大坂本丸ニ於テ由己法橋(播州人ナリ)新作ノ謠、吉野花見、高野詣デ、明智、柴田、北條、コノ五番今春八郎ニ仕舞ヒヲハタシ候ヘトカヲテ仰セ付ケラレ」。—和漢三才圖繪、「接謳近世之製、以比漢謳歌者也、伶倫本出於聖樂、而和十二律用數品樂器奏之也、不容易、因後世贋之、以扇謳舞、謂之猿樂、又謂之能、其器不過瓦鼓、小鼓、大鼓、横笛四

品。今春、金剛爲下掛、觀世、保昌爲上掛、北謂之四座。凡謠出於源氏物語及和漢軍記者多矣。如高砂、百延喜帝稱當代。如羽衣本於遍昭僧正之謠詠。如三輪歌于玄品僧都之類、皆近世製也。……後花園帝嘉吉元年將軍義教公、入赤松滿祐宅有猿樂遊覽。同寛正五年於亂河原有勸進能。觀世音阿彌、同子又三郎爲太夫。青松院法印善成勸進之。義政公御覽。蓋此勸進能之始乎」。

☆でんがく、さるがく、のう、くわんじんのう、やまとがく、さんばそう參考。

☆うたびくに　(第三上)名。〔歌比丘尼〕　ムカシ、唄ヲウタッテ、錢ヲモラッテアルイタ比丘尼。ソノ他一時地獄ノ責ナドヲ見セテ說明シ、錢ヲモラッテアルイタノモアル。—西鶴、一代女「ワレうたびくにセシ時日毎ニ逢フ人カハリシニ」。—殘口ノ記、「うたびくにムカシハワキバサミシ文庫ニ卷キ物入レテ地獄ノ書トキシ、血ノ池ノケガレヲ忌マレ、ウマズメノアハレヲ泣カスルワザヲシ、トシゴモリノモドリニカラスゴワウクバリテ、熊野權現ノコトヲレメキタリシガ、イツノホドヨリカカクシオシロイ、ウスベニツケテ、ツケヒン、バウシニ帶ハバビロクナシ」。—淺井了意、東海道名所記、「比丘尼ドモ一二人イデキテ、ウタヲウタフ。頌歌ハ聞キモワケラレズ……唯アアアトナガタラシクヒキズリタルバカリナリ……ヒンザサラニノセテウタフ。ミドリノ眉ホソク、薄化粧シ、齒ハ雪ヨリモ白ク、黑キ帽子ニテ、カシラヲアデニツツム」。

うたひ・こう　(第二イ)(全平)名。〔謠ひ講〕　うたひヲスルナカマ。オモニ京都丸山ノカシザシキナドデアッタモノト云フ。—手摺岡持、後ハ昔物語「京ノ丸山ノカシザシキナドニうたひこうト云フコトアリ。モットモ素人ニラウタヒヲ好ム人、イヒアハセテ番組ヲツクリ、ザシキヲ借リテウタフ。カゲノヒト間、アルヒハ繰ガハニモアレ、番組ヲハリ、何、シテ誰、ワキ誰ナドハリ出シオキテ、カゲニテウタフニ、ウタヒヲ好キケル人、今日ハ丸山ニうたひアリトイフ、行キテ聞カントテ、好キノ人トイヒアハセ、辨當ナドコシラヘテ、一間カゲ或ハ繰ガハニテノスウタヒヲ六番モ七番モ聞イテカヘルトナリ」。

うたひ・ぞめ　(第二イ)(…)名。〔謠ひ初め〕　徳川氏ノ頃、毎年正月二日殿中デうたひヲ初メテ開ク、ソノ式。

○うたひと　(第二上)名。〔歌人〕　(一)スベテ、歌ヲタクミニウタヒ得ル人。(二)又、和歌ヲツクル人。—ウタヨミ。

うたひ・もの　(全平)名。〔歌ひ物〕　スベテ、節ヲナシテ歌ヒ得ル一種ノ文章ノ總名。—カキヨク。—ボエトリイ。

うたフ　((第三ウ))(…)他動、四段。〔歌ふ〕　(一)フシヲ付ケテ聲ヲタテテ歌ヲウタフ。—顯仲、「ソラニギテタグサノ數ニ取リカザリ、歌ヘバ明クル天ノイハカド」。(二)吟ズル。(三)鳴ク(ニハトリニ云フ)。—八犬傳、「トリがうたひテ候フニ未ダ目サメタマハズヤ」。

△うたフ　((…))(…)他動、下二。〔訴ふ〕　うつたふノ略。

うた・ふくろ　(第三上)名。〔歌袋〕　スベテ、歌ノ詠草ナドヲ入レテ置ク道具。四角ニ檀紙デ折リ、水引キヲドホシ、柱ヘ掛ケテ置ク。ママ錦デ拵ヘタノモアル。

△うたへ　((第三エ)(全平)名。〔訴へ〕　うつたへノ略。

△うたへ・ただす・つかさ　(…)(第五上)名。〔刑部省〕　昔ノ八省ノ一ツ。刑律ニツイテノ一切ノ事ヲ掌ル。長官ハ卿、數ハ一人。職ノ相當ハ正四位ノ下カラ正八位ノ下マデ至ル。卿ニ亞イテハ大輔一人、少輔一人、大丞、少丞各二人、大錄一人、少錄二人、史生十人、大判事二人、中判事二人、少判事四人、大屬、少屬各二人、大解部十人、中解部廿人、少解部卅人、省掌二人、使部八十人、直丁六人。—ギャウブシャウ。

うた・まくら　(第三上)名。〔歌枕〕　和歌ニツカフ語。和語ニヨミ入レルベキ名所ノ名。—「うたまくらタヅヌル」。

△うた・まひ　((第四イ)(全平)名。〔歌舞ひ〕　ガクニン。—レイジン。

うたまひ・の・つかさ　(…)(…)名。〔雅樂寮〕

うたれうト同ジモノ。

△うた・め　(…)名。〔歌女〕　歌ヲタクミニ歌フ女。

うた・よみ　(第四上)名。〔歌詠み〕　(一)和歌ヲツクル人。(二)和歌ヲツクルコトノ上手ナ人。

うた・よもぎ　((第五ギ)(第三上)名。〔…蓬〕　草ノ名。葉ハやなぎニ似テ、毛ガ少シアル。夏ノ初メ一二尺ノ莖ヲ出ス。きつねあざみニ似テ小サク、且タマゴ色ノ細イ花ガ群ガッテ咲ク。此花ハ後ニ柳ノヤウニ綿ニナッテ飛ブ。—ヤナギヨモギ。

●うだル　(第二上)自動、一。〔萎る〕　ゆだるノ近體。

うた・れう　((第三リョ合))(…)名。〔雅樂寮〕　昔シ、治部省ニ屬シタッカサノ名。舞樂イッサイノコトヲ司サドル。相當ハ從五位ノ上カラ從八位ノ下マデ。—ガガクレウ。

頭一人、助一人、大少一人、小允一人、大屬一人、少屬一人、歌師四人、歌人卅人、歌女百人、儛師四人、儛生百人、笛師二人、笛生六人、笛工八人、唐樂師十二人、樂生六十人、高麗樂師四人、樂生二十人、百濟樂師四人、樂生廿人、新羅樂師四人、樂生二十人、伎樂師一人、腰鼓師二人、使部廿人、直丁二人、樂戶。

うた・ゑ　(全平)名。〔歌繪〕　贊ヲサセルベキ繪。又ハ和歌ノ意味ヲ現シテ書クてにはナドヲ假名デ書キ添ヘタ畫。文字ト繪トデ歌ヲ讀ミ得ルヤウニ作ッタモノ。

△うたを　(…)名。〔…男〕　歌ヲヨクウタフ男。(うためノ對)。

うち　(…)名。(內)　(一)スベテ、アラハデ無イ方ノ部分。—ウラ。(そとノ對)。—古今集、「思ヒセク心ノうちノ瀧ナレバ落ツトハ見レド音ノキコエヌ」。(二)(轉ジテ)ナカ。—「コレダケノうちニコレホドシカ無イ」。(三)又、(轉ジテ)アヒダ。—三世相錦繡文章、「阿梶殿ノハウデイクラニ買フカ知レモセヌうち」。—同、「コノ金持ッテ足モトノアカルイうちトットト早ククヘラッセエ」。(四)番シ、主上ヲ敬マッテ申シタ語。—源氏、「うち、東宮、一院、后ノ宮」。(五)又、轉ジテ)キンリ。—ダイリ。—源氏、「うちワタリノ旅寢モ凄マジカルベシ」。(六)●イヘ。—ワガヤド。—ホオム。—谷峨、傾城買二筋道、「マタ、テメヘモ實ニ呼ブ氣ガアラバ、其シノギヲ二三本貸シテ呉リヤ。サウスリヤ。オレモ大キニうちモ出ヨイト云フモノダ」。(七)●ヲット。—テイシュ。(妻ノイフ語)。

◎うちアリ。—(ナカガヲルクナル)。

うち　(…)接頭。(內)　他ノ名詞ニ附屬シテ、內部ノ義ヲアラハス語。—三相世錦繡文章、「ナゲダス財布ヲ七郎助コハゴハ取ッテうちブトコロ」。

△うち　(…)接頭。(美)(うつくし(美)ノ約。　ウツクシイ。—アテヤカデアル。—萬葉集、「乙女ラガウミ繰ノタタリうちソカケ」。

△うち　(…)接頭。(逸)(いち(逸)ノ轉)。　キハメテ。—コトニスグレテ。—「うちハヤシ」。

○うち　(…)接頭。(打ち)　他ノ動詞ノ上ニツイテ、其動詞ノ意味ヲヨメテ云フ語。—萬葉集、「田子ノ浦ユうちイデテ見レバマシロニゾ富士ノタカネニ雪ハフリケル」。

△うち　(全平)代。　ジブン。—ワレ。—オノレ。

うぢ　(第一上)名。(氏)　(一)家家ノ血スヂニ從ッテ昔朝廷カラタマハッタ名字。昔カラ有ルノハ大伴、曾我ナド、朝廷カラ賜ハッタノハ源、平、藤橘。(二)後世自然ニヒロガルママニ別ニ居ル所ノ地名ナドヲ取ッテざいめうヲ拵ヘ、或ハ新田、楠、北條、足利、織田、德川ナドト付ケタモノ。今日デハ多ク源平藤橘ナド朝廷カラタマハッタノニ姓ノ字ヲアテ、ざいめうノ字ニハ氏ノ字ヲアテテ。(三)前ノ語カラ轉ジテ)スベテ人ヲイクブンカ敬ッテ云フ時ニ人ノ名字ノ終リニ付ケル語。—シ(氏)。—「德川うぢ」「織田うぢ」。☆かばね參考。

☆うち・あげ　(全平)名。〔打ち上げ〕　うたげ(酒宴)ト同ジモノ。

うち・あげ　(第四上)名。〔內上げ〕　近代ノ着物ノ縫ヒカタニアル稱ヘ。あげヲ外面カラ見エル所ニ取ラズ內部ニカクシテ縫ッタモノ。(そとあげノ對)。

うち・あげ　(全平)名。〔打ち上げ〕　はなびノ一種。筒カラウチアゲルダケノモノ。シカケノ有ルノハ言ハヌ。

○うち・あく　(…)他動、下二。〔…明く〕　(一)あく(明)ノ意味ヲツヨメテイフ語。(二)カクサズニ話ス。

▲うち・あけル　(…)他動、二。〔…明ける〕　うちあく(第二解義)ノ近體。

○うちあグ　(…)他動、下二。〔…上ぐ〕　(一)打ッテアゲル。(二)あぐ(上)ノ義ヲ强メテ云フ語。(三)ウツ。—「うちあぐるヒヤウシ」。(四)ウタグスル。—酒宴シテ樂シム。

○うち・あはス　(第四ワ)他動、下二。〔…合はす〕　(一)あはす(合)ノ義ヲ强メテ言フ語。(二)雙方互ヒニウツ。(三)前カラ用意シテサウダンヲシテ置ク。—テハズ。—キメテオク。

☆うち・あはせ　((…))(…)名。〔…〕　(一)ウチアハセルコト。(二)前カラノ相談。—テハズ。

うち・あはせ　((…))(…)名。〔…〕〔ウチガハニ向ッテ合フトノ義。　ふともものノ一名。—和名抄、「腿、和名、字知阿波勢」。

●うち・あはせル　(…)他動、二。〔打ち合はせる〕

うち・あはす　(第二、第三解義)ノ近體。

うち・あはび　((…))(第三上)名。〔…石決明〕　あはびノ肉ヲウスクシ、乾シテ、打チノバシタモノ。中古以來禮式ノサカナニ用ヰル。—ノシアハビ。—ウチアハビ。

☆うち・あひ　((第四イ)(全平)名。〔…合ひ〕　(一)雙方デ互ヒニ打ッ。—タタカヒ。—ブチアヒ。(二)石、テッパウナドヲ打チアフイクサ。

うち・あフ　((第四ウ))(…)他動、四段。〔…ふ〕　(一)雙方デ互ヒニ打ッ。(二)サウハウ互ヒニハナチ、ナゲル(鐵砲又ハ石ナド)。

▲うち・あふび　((第三オ、第四ウ))(第三上)名。

〔打ち石決明〕うちあはびノ轉訛。

うちあみ　(全平)名。〔……網〕〔うつ(打)あみ(網)ノ義〕　トアミ。

++うちいり　(……)名。〔……入り〕　攻メ入ルコト。—セメイリ。—〔義士ノうちいり〕。

うちう　(第一上)名。(宇宙)　(一)うハ天地四方、ちうハ古往今來。(二)(轉ジテ)スベテ此在リトアラユルすべえす。

うちゑうち　(全平)名。〔内内〕　ナイナイ。—源氏〔うちうちニ思ヒタマヘルサマヲ〕。

●うだうだ　(第一上)副〔うだうだト異體同種〕　グヅグヅ。—ウダウダ。—モズモズ。

うちうみ　(第三上)名。〔内海〕　(一)みづうみノ一名。(二)イリエ。—ワン。—ナイカイ。

○うちうら　(全平)名。〔……裏〕　(一)ウチワ。—ナイブ。(二)夜ノ着物ナドノウラニ付カルキレ。

うちえび　(第二上)名。〔……蝦〕　蝦ヲタタイタモノ。料理ニツカフ。

うちがうし　((第三ゴ))(全平)名。〔内格子〕　(一)ソトニ一ツノシマリガアツテ其レカラ又中ニ出來タ格子。(二)又、芝居ノサシキノ名ノヒトツ。東西ノ兩サシキ、鉾鼓ノ方カラ八ツ目マデノモノヲ云フ。

うちがき　((第三カ))(第二上)名。〔打ち牡蠣〕　貝ノ名。いそがきノ一名。

うちかけ　(全平)名。〔……掛け—裲襠〕　(一)服ノ名。貴、武官ガ大儀ニ用ヰタ服。脊ト胸トニアテラ着スルモノ。但シ袖ハナイ。—リヤウダウ。—和名抄、〔字知賀介〕。(二)マタぬの(布)ノ一名。—延喜、四時祭式、〔うちかけ一條〕。(三)近古ノ婦人ノ通常ノ禮服帶ヲシタ上ニ打チ掛ケテ着ル所カラ付イタ名。ツマリこうちぎノ姿ニシタモノ。—カイドリ。—カケ。—兜軍記、姿ハダテノ

うちかけヤ。

うちかけよろひ　((第七イ))(第五上)名。〔……鎧〕　武官ガ儀式ニアフ時カザリニ着ルヨロヒ。—延喜、兵部式、〔挂甲(訓ウチカケヨロヒ)〕。

●うちかた　(第三上)名。〔内方〕　人ノ妻ヲウヤマツテ呼ブ語。—ナイハウ。—オナイギ。—レイケイ。—レイフヨン。—オクガタ。—オクサマ。—西鶴、一代女、〔第一〕、うちかたハ幣氣ブカシ、オモヤノ者イ衆ト物イフコトモ嫌ヒ賜フナリ〕。—ふくさま考。

うちかた　(全平)名。〔……〕　(一)△うち(家)ト同ジ語。—西鶴、一代女、〔トラモ奉公ヲスル身モコンナうちかたニイマスガ仕合セ〕。(二)内部ノヒロサ。—ウチノサシワタシ。〔桝ノうちかた〕。

△うちがたな　((第三ガ))(第三上)名。〔打ち刀〕　スベテ、ツバノ付イタ刀ノ總名。昔、オモニツカツタ語。今云フかたなト同ジモノ。打チ合ヒスル時ニ用ヰルト云フ所カラ付イタ名。—ツバガタナ。—源平盛衰記、〔赤地ノニシキノヒタタレニ白ガナモノ打ツタル黑絲オドシノうちがたな〕。

うちがぬ　((……))(第二上)名。〔……金〕　鉄砲ノ火ブタノ上ニ付クガナグ。押セバ雷管ワツプシテ、火ヲ出ス。

△うちがひ　((……、第四イ))(……)(……違ひ)　(一)〔うちちがひ(打違ノ約)〕うちちがひト同ジ語。—ユキチガヒ。—新撰六帖、〔和泉川クダル小舟ノうちちがひニアサセツシル〕。(二)ホソク作ツタれキ、行キナヤミツツ〕。(三)ウチカケ。—源氏、〔カシラツキ、髮ノカカリひぶくろノ一名。ウチチガヘテ帶ビル所カラ云フ。

うちかぶと　(第三上)名。〔内兜〕　(一)兜ノナイブ。—〔鎗トリアゲテうちかぶとヘグサトバカリニ突キコンダリ〕。(二)〔轉ジテ〕ウチワノヤウス。—ナイジヤウ。—〔うちかぶとヲ見スカサレル〕。

○うちかへス　((第四エ))(全平)他動、四段。〔打ち返す〕　クリカヘス。

うちがみ　((第三ガ))(第二上)名。〔……紙〕　サイヅチデ打チカタメテ滑ラカニシタ紙。

うちがみ　((……))(全平)名。〔氏神〕　(一)神トシテ祭ル先祖。(二)〔轉ジテ後世〕ウブスナ。—西鶴、若風俗〔今ノハ正シクうぢがみノ化身ナルベシト其所ヲタチサリ〕。

●うちがり　((第三ガ))(……)名。〔内借り〕　前金デ借リルコト。—ナイシャク。

うちき　(……)根。〔……氣〕　(一)●エンリヨブカクアルコト。—心ガツツシミブカクアルコト。—モノノ決斷ガハカバカシクツカヌタチデアルコト。—河東節、秃萬歲〔千代ノ數アル御世ナガラ枝モナラサヌうちきハイヤヨ。世ゴコロ知ラヌ姫小松、初音ヲシヘン手枕ノ〕。(二)▲芝居者ノ語。盜ミヲスルコト。—〔うちきヲヤッツケル〕。

うちぎ　((第三キ))(第二上)名。〔打ち木〕　酒カスカラ酒ヲシメル道具ノ名。あぶらしめぎノ類ヒ。

うちぎ　(……)(……)名。〔内衣—袿〕　ムカシノ婦人ガ禮服トシテ着モノノ上、裝束ノ下ニ着シタ服ノ名。上ハヒロク廣袖デ大キク、下ハ裾ニオホクハ花摸樣、纈纈ナドヲ染メ、又ハシボリ出シタモノ。衾ニ在ルムカシノ官女ナドガ着シテ居ルソレ。—ウチカケ。—源氏〔カシラツキ、髮ノカカリハシモうちぎノスソニタマリテ〕。—和名抄〔字知岐〕。

明治二十五年八月廿一日印刷
同　年八月廿二日出版

〔上製第貳卷〕
〔定價金五拾錢〕

東京府士族
編纂兼發行者　山田武太郎
府下神田區平永町九番地
印刷者　同　柳原河岸第十四號地　田中正造
印刷所　同志社活版所
發行所　同　同
特約發賣所　東京市神田區平永町九番地山田美妙方　日本大辭書發行所
同　神田區裏神保町七番地　書肆明法堂
同　日本橋區大傳馬町二丁目二十二番地　書肆文昌堂

版權所有
●内に發行者●
●のは偽版●